

筑波大学博士(国際日本研究)学位請求論文

行為説明表現における授受表現の日韓対照研究
—テモラウ文の機能を中心に—

林 世涓

2015 年度

〔目 次〕

第 1 章 序論	1
1.1 問題提起	1
1.2 研究課題	5
1.3 本研究の意義	10
1.4 本論文の構成	13
第 2 章 先行研究	15
2.1 はじめに	15
2.2 テモラウに関する先行研究	16
2.2.1 受益性	16
2.2.2 語用論的特徴	18
2.2.3 ヴォイスとモダリティ表現との関係	20
2.3 「아/어 주다 (a/eo juda)」に関する先行研究	23
2.3.1 意味的特徴	23
2.3.2 機能的特徴	34
2.4 まとめ及び本研究の分析対象	38
第 3 章 予備調査	40
3.1 はじめに	40
3.2 予備調査①テモラウ文に対応する韓国語	41
3.3 予備調査②日本人母語話者と韓国人日本語学習者のテモラウの使用状況	48
3.4 まとめ	59
第 4 章 テレビ・ラジオにおけるテモラウ文と 「아/어 주다 (a/eo juda)」文の使用実態調査	61
4.1 はじめに	61
4.2 テレビ・ラジオにおけるテモラウ文	62
4.2.1 テモラウ文の分類	64
4.2.2 調査の概要	66
4.2.3 調査結果の分析	67
4.2.4 調査結果の考察	70
4.2.5 直接テモラッテ形と間接テモラッテ形	79

4.3	ショッピングチャンネルにおけるテモラウ文	87
4.3.1	調査の概要	88
4.3.2	調査結果の分析	90
4.3.3	調査結果の考察	93
4.4	ラジオにおける「아/어 주다 (a/eo juda)」文	96
4.4.1	調査の概要	98
4.4.2	分析の方法	99
4.4.3	調査結果の分析	99
4.4.4	調査結果の考察	107
4.5	まとめ	108
第5章	行為説明表現におけるテモラウ文と「아/어 주다 (a/eo juda)」文の使用実態調査-「道案内」と「食べ方」に関する調査を中心に-	110
5.1	はじめに	110
5.2	行為説明表現	111
5.2.1	調査の概要	113
5.2.2	調査の方法	114
5.2.3	分析の方法	117
5.3	日本語の調査の結果	120
5.3.1	「道案内」の調査の結果及び考察	120
5.3.2	「食べ方」の調査の結果及び考察	133
5.3.3	文末との関係	139
5.3.4	「道案内」と「食べ方」の比較分析	141
5.3.5	日本語の調査のまとめ	144
5.4	韓国語の調査の結果	145
5.4.1	韓国語の敬語表現に関する先行研究	145
5.4.2	「길 안내(道案内)」の調査の結果及び考察	150
5.4.3	「먹는 방법(食べ方)」の調査の結果及び考察	157
5.4.4	文末との関係	164
5.4.5	絶対敬語との関係	167
5.4.6	韓国語の調査のまとめ	168
5.5	まとめ	169
第6章	行為説明表現におけるテモラウ文の機能	171
6.1	はじめに	171
6.2	先行研究	171

6.3	待遇表現	175
6.4	行動展開表現	177
6.4.1	「行動」・「決定権」・「利益・恩恵」	182
6.4.2	9種類の行動展開表現	186
6.5	テモラウ文の機能	188
6.5.1	テモラウを使用する理由	189
6.5.2	テモラウの使い分けの基準	193
6.5.3	待遇意識から待遇表現へ	198
6.6	「아/어 주다 (a/eo juda)」の機能	207
6.6.1	受益性のない「아/어 주다 (a/eo juda)」文	207
6.6.2	「아/어 주다 (a/eo juda)」の機能に関する調査	212
6.6.2.1	調査の概要	212
6.6.2.2	調査の結果	214
6.6.2.3	調査の考察	222
6.7	まとめ	223
第7章	全体のまとめ及び今後の課題	225
7.1	本研究の全体のまとめ	225
7.2	本研究の成果	235
7.3	今後の課題	237
	参考資料	240
	参考文献	249

謝辞

凡例

本研究の本文に用いられている韓国語の用例には、必要に応じて次のようなローマ字表記を用いた。ローマ字表記法は韓国の文化観光部告示第 2000-8(2000 年 7 月 7 日)に従って、「()」の中に示す。

短母音

ㅏ	ㅓ	ㅗ	ㅜ	ㅡ	ㅣ	ㅝ	ㅞ	ㅟ	ㅠ
a	eo	o	u	eu	i	ae	e	oe	wi

二重母音

ㅑ	ㅓ	ㅛ	ㅠ	ㅞ	ㅟ	ㅘ	ㅙ	ㅚ	ㅜ	ㅡ
ya	yeo	yo	yu	yae	ye	wa	wae	wo	we	ui

破裂音

ㄱ	ㄲ	ㅋ	ㄷ	ㄸ	ㅌ	ㅍ	ㅑ	ㅑ	ㅑ
g, k	kk	k	d, t	tt	t	b, p	pp	p	p

破擦音

ㅈ	ㅉ	ㅊ
j	jj	ch

摩擦音

ㅅ	ㅆ	ㅎ
s	ss	h

鼻音

ㄴ	ㅁ	ㅇ
n	m	ng

流音

ㄹ	r, l
---	------

凡例

本研究の本文に使われている韓国語の例文には必要に応じて形態素単位の説明を英語でつけ、その下に日本語訳をつけた。形態素単位の説明では、次のような省略記号を用いた。

BEN	Benefactive	授受形態素
ACC	Accusative	対格
DAT	Dative	与格
GEN	Genitive	属格
NOM	Nomination	主格
ADV	Adverb	副詞
DEC	Declarative	平叙文語尾
FUT	Future tense	未来時制
PAST	Past tense	過去時制
Q	Question	文末疑問マーカー

第1章

序論

1.1 問題提起

日本語の授受表現¹の中でテモラウ²は、従来から(1)のように、相手の動作によって話し手や話し手側に受益³が生じた場合に、受益が生じた話し手や話し手側によって使われるという特徴を持っているとされてきた(奥津 1982、グループ・ジャマシイ 1998)。

- (1) (私は)日本人の友達に日本語を教えてもらいました。
- (2) 日本人の友達が私に日本語を教えました。

(2)は「友達」が「私」に「日本語を教えた」という客観的な事実を表しているものであり、そのことを(1)は主語である「(私)」に受益が生じたこととして捉えていることを表わしている。このような受益性については従来の研究においても多く述べられている(佐久間(1936:196)、奥津(1982・1996)、寺村(1982:135)、益岡(2001:26)、高見・久野(2002:294)など)。その中でも、高見・久野(2002:294)は、太郎が話し手に車を貸し、その行為により話し手が受益を受けているという状況を説明するためには、「太郎が私に車を貸した」では十分ではなく、「太郎が私に車を貸してくれた」、または、「私は太郎に車を貸してもらった」のような表現を用いなければならないとしている。つまり、「太郎が私に車を貸した」という表現では話し手が受益を受けたこ

¹ 授受関係を表す表現には「授受補助動詞」、「受給動詞」、「やりもらう動詞」などといった色々な言い方があるが、本研究では「授受表現」という用語を用いる。また、寺村(1982)と奥津(1996)は、日本語の授受動詞に分類される動詞には、ヤル・クレル・モラウ・与エル・受ケ取ル・受ケル・教エル・教ワル・預ケル・預カル・貸ス・借リル・売ル・買ウ・話ス・聞ク等があると述べているが、本研究では、テアゲル・テクレル・テモラウだけを授受表現とする。

² 「～もらう」の授受補助動詞は「～てもらう」であり、授受補助動詞の「～てもらう」のことを本研究では「テモラウ」と表記する。また、その「テモラウ」が使われた文のことを「テモラウ文」と表記する。さらに、便宜上テイタダク文もテモラウ文として述べることにする。しかし、必要に応じては「テイタダク」と示す。

³ 「受益」については後述する。

とを表すことができないのである。

さらに、テモラウのもう一つの特徴は、(3)のように「～てくれる」と言い換えることができる点である。

(3) 日本人の友達が私に日本語を教えてくださいました。

このようなテモラウ文については日本語のテキストや『教師と学習者のための文型辞典』にも記載されている。

(4) わたしは姉にオーストラリアのワインを送ってもらいました。

『新NAGANUMAいつでもどこでも日本語Ⅱ:215』⁴

(5) わたしは山田さんに図書館の電話番号を教えてくださいました。

『みんなの日本語初級Ⅰ:155』

(6) これ、贈り物にしたいんですが、包んでいただけますか。

『教師と学習者のための文型辞典:242』

(4)、(5)、(6)も(1)と同様、「わたし」に受益が生じた(生じる)ことをテモラウを用いて表現したものである。このように、日本語のテキストや参考書では、文末に現れるテモラウ文を中心に話し手や話し手側に受益が生じる場面を用いて、テモラウ文を説明している。

周知のとおり、韓国語も日本語と同様、授受表現を有しており、上記のようなテモラウ文を韓国語の授受表現では、以下のように「아/어 주다(a/eo juda)」を用いて表現する。

(1) 일본친구가 저에게 일본어를 가르쳐 주었습니다.
Ilbonchingu-ga jeo-ege ilboneo-leul galeuchyeo jueossseubnida
日本人の友達-NOM わたし-DAT 日本語-ACC 教えて くれる-PST

(4) 언니가 저에게 호주 와인을 보내 주었습니다.

⁴ (4)、(5)の用例は『新NAGANUMAいつでもどこでも日本語Ⅱ』、『みんなの日本語初級Ⅰ』の韓国語版を引用したものである。

eonni-ga jeo-ege hoju wain-eul bonae jueossseubnida.
姉-NOM わたし-DAT オーストラリアのワイン-ACC 送って くれる-PST

(5) 야마다씨는 저에게 도서관 전화번호를
yamadassi-neun jeo-ege doseogwan jeonhwabeonho-leul
山田さん-NOM わたし-DAT 図書館 電話番号-ACC
가르쳐 주었습니다.
galeuchyeo jueossseubnida.
教えて くれる-PST

(6) 이거, 선물하고 싶은데요, 포장해 주시겠습니까?
Igeo seonmulhago sipeundeyo pojanghae jusigesseubnikka?
これ 贈り物-する ~たい 包む くださる-Q

韓国語の授受表現である「아/어 주다(a/eo juda)」についての詳細は 1.2 節で述べるが、テモラウに直接対応する表現はない。そのため、(4)´、(5)´、(6)´のように「~てくれる」に対応する「아/어 주다(a/eo juda)」で表現することになる。

それでは、テモラウ文は上記のような話し手に受益が生じる場面でしか用いられないのだろうか。以下の例文は、ラジオのアナウンサーと島の人との電話での会話の一部である。スタジオにいるアナウンサーが島の人に対して、島への行き方の教示を依頼し、それに答える島を人の発話である。

(7) [アナウンサー]

そちらに行く方法について教えていただけませんか？

[島の人]

はい。東京からですと、広島空港まで飛行機で来ていただいて、ま、在来線に乗り換えていただいて、JRの大島駅まで来てもらえれば、そこからは近いです。

「NHK ラジオ深夜便 2014/9/17 放送」

島の方は、島までの行き方について説明するという場面において、「来ていただいて」、「乗り換えていただいて」、「来てもらえれば」のようにテイタダクやテモラウ(以下、両者を合わせて「テモラウ」とする)を使って表現している。アナウンサーやラジオのリスナーの、「来る」、「乗り換える」というそれぞれの動作によって、話し手である島の人には受益は生じていない

⁵。話し手に受益が生じていない場合でも話し手によってテモラウが用いられており、このようなテモラウは従来のテモラウの特徴には合致しないものである。また、受益が生じないことから、(7)は(7a)のように、テモラウを省略しても不適格な文とはならず、(7b)のように「～てくれる」と言い換えると不適格な文になってしまうのである。

(7) a 東京からですと、広島空港まで飛行機で来て、ま、在来線に乗り換えて、JR の大島駅まで来て、そこからは近いです。

*⁶b 東京からですと、広島空港まで飛行機で来てくれて、ま、在来線に乗り換えてくれて、JR の大島駅まで来てくれれば⁷、そこからは近いです。

上記のとおり、(1)、(4)、(5)、(6)のテモラウ文は韓国語の授受表現である「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現が可能だが、(7)のように話し手に受益が生じない場合で用いられているテモラウ文については「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現ができない⁸。

それでは、(7)のような「아/어 주다 (a/eo juda)」では対応できないテモラウ文を韓国語ではどのように表現しているのだろうか。また、韓国人日本語学習者はこのようなテモラウ文の用法を理解し、実際に使用しているのだろうか。そして、話し手に受益が生じないのに、何故話し手はテモラウを使っているのだろうか。それは、話し手はテモラウに本来の授受表現としての機能とは異なる何らかの機能を持たせているのではないだろうか。

本研究では、このような疑問を出発点として、以下の3つの課題を設定し、話し手に受益が生じない場合において使われるテモラウ文の機能を明らかにすることを目的とする。

⁵ 筆者は日本語母語話者ではないことから、受益が生じるか否かに関して日本語母語話者3人に判断してもらった。その結果、3人全員がこの場面においては話し手には受益が生じないと回答した。

⁶ 文頭に来る「*」は非文を示す。

⁷ 「来てくれれば」に関しては日本人の中でも揺れが生じている。それについては更なる検討が必要であるだろうが、ここでは非文として扱うことにする。

⁸ 対応関係については次節で述べることにする。

- ・課題Ⅰ：韓国語の授受表現と対応しないテモラウ文を韓国語ではどのように表現するのか明らかにする。また、そのようなテモラウ文について韓国人日本語学習者の使用状況を把握し、韓国人日本語学習者に対する教育現場にフィードバックし、学習効果に寄与する。
- ・課題Ⅱ：行為説明表現(被依頼者による説明表現。詳細は後記 1. 2. 3)における日韓両言語の表現形式の類似点及び相違点を明らかにする。
- ・課題Ⅲ：行為説明表現においてテモラウを用いて表現する具体的な理由を調査し、テモラウの機能を明らかにする。

次節からは、上記の3つの課題について詳細に述べる。

1.2 研究課題

1.2.1 課題Ⅰ

本研究における第Ⅰの課題は、韓国語の授受表現と直接対応しないテモラウ文を韓国語ではどのように表現するのか明らかにする。また、そのようなテモラウ文について韓国人日本語学習者の使用状況を把握し、韓国人日本語学習者を対象とする教育現場に示唆することが目的である。

日韓両言語の授受表現は非常に似ており、〈表 1-1〉に記載のとおり、日本語の「くれる」、「あげる」の本動詞には韓国語では「주다(juda)」が、「もらう」には「받다(badda)」がそれぞれ対応している。〈表 1-1〉は奥津(1983)を引用したものである⁹。

表 1-1 日本語と韓国語の授受動詞の対応関係

日本語	韓国語
くれる くださる	주다(juda) 주시다(jusida)
やる あげる	주다(juda)
さしあげる	드리다(deurida)

⁹ 奥津(1983)では、日本語、韓国語の他、英語についての対応関係も記載されているが、英語については本研究の範囲以外であるため表から省いた。

もらう いただく	받다 (badda)
-------------	------------

しかし、「くれる」、「あげる」、「もらう」が授受補助動詞「～てくれる」、「～てあげる」、「～てもらう」のように使われた場合は〈表 1-1〉のような対応関係は成立しない。日韓両言語の授受補助動詞の対応関係を以下の〈表 1-2〉で示す。

表 1-2 日本語と韓国語の授受補助動詞の対応関係

日本語	韓国語
てくれる	아/어 주다 (a/eo juda)
てくださる	아/어 주시다 (a/eo jusida)
てやる てあげる	아/어 주다 (a/eo juda)
てさしあげる	아/어 드리다 (a/eo deurida)
てもらう ていただく	*아/어 받다 (a/eo badda)

上記の〈表 1-2〉から分かるように、日本語の「～てくれる」、「～てくださる」、「～てやる」、「～てあげる」は本動詞の対応関係と同じように「아/어 주다 (a/eo juda)」、「아/어 주시다 (a/eo jusida)」が対応するものの、「～てもらう」、「～ていただく」はこれらと異なって、以下の(8)のように「아/어 받다 (a/eo badda)」では対応できない(林八龍(1980)、庵(2000)、奥津(1979、1983)、黄(1994)、鄭(1994)、井上(2011)¹⁰)。

- (8)a (わたしは) 友達のお父さんに 駅まで 車で 送って いただきました¹¹
 *(저는) 친구 아버지한테서 역까지 차로 배운해 받았어요.
 (jeo-neun) chingu abeoji-hanteseo yeok-kkaji cha-ro baeunghae badasseoyo.
 (わたし-TOP) 友達の お父さん-DAT 駅-まで 車-INS 送って もらいました.

¹⁰ 井上(2011:38)は、日本語、韓国語、中国語の「動詞+授受動詞」について比較分析している。日本語では受益動詞「もらう」が複合動詞「Vしてもらう」をつくり、受益文「X(受益者)がY(動作主)にVしてもらう」を構成するが、韓国語、中国語には「Vしてもらう」に相当する表現がないと述べている。

¹¹ 『教師と学習者のための日本語文型辞典』から引用したものである。

(直訳) 友達のお父さんが駅まで車で送ってもらいました。

日韓両言語の授受補助動詞のこのような対応関係から、テモラウ文を韓国語の授受表現を用いて表現しようとする場合、「～てくれる」に対応できる「아/어 주다 (a/eo juda)」を用いて表現することとなる。以下のようにテモラウ文の動作主と受け手との位置を交換し、さらに、動作主をガ格にし、つまり動作主を主語としてテモラウを「아/어 주다 (a/eo juda)」に換えれば、韓国語の授受表現となる。意味的には、日本語の(8)と同様、話し手に受益が生じたことを表わす。

(8) b 친구 아버지께서 (저를) 역까지 차로 배웅해
chingu abeoji-kkeoseo (jeo-leul) yeok-kkaji cha-ro baeunghae
友達のお父さん-NOM (わたし-ACC) 駅-まで 車-INS 送って
주셨어요.
jusyeosseoyo.
くださったよ。
(直訳) 友達のお父さんが駅まで車で送ってくださったよ。

それでは、1.1 問題提起で述べた(7)のようなテモラウ文は韓国語ではどのような表現になるのか。

まず、単純に 1.1 でも述べたように、上記の日韓両言語の授受補助動詞の対応関係に当てはめて、「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現すると、実際には以下の(7)´のように不自然な表現になってしまうのである。

(7)´ [島の人]

はい。東京からですと、広島空港まで飛行機で来ていただいて、ま、在来線に乗り換えていただいて、JRの大島駅まで来てもらえれば、そこからは近いです。

네, 도쿄에서라면, 히로시마공항까지 비행기로?¹²와 주셔서, 음, 재래선으로 ?갈아타 주시고, JR 오오하타역까지 ??와 주면 거기에서는 가깝습니다.

ne,tokyo-eseolamyeon hilosimagonghang-kkaji bihaenggi-lo wajusyeseo eum
jaelaeseon-eulo galata-jusigo JRoohatayeog-kkaji wa-jumyeon geogi- eseoneun
gakkab-seubnida.

¹² 「?」は文法的には適格な文であるが自然ではないことを表す。「??」は「?」よりさらに不適格な表現であることを表す。

(直訳)はい。東京からですと、広島空港まで飛行機で来てくださって、ま、在来線に乗り換えてくださって、JRの大島駅まで来てくれれば、そこからは近いです。

つまり、(7)のような話し手に受益が生じないテモラウ文を「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現すると、文法的には不適格ではないものの、通常においては使われることはない¹³。

日韓両言語の授受表現の対応関係を確認した結果から、テモラウ文には「아/어 주다 (a/eo juda)」が対応できるものと、対応できないものがあることが分かった。次に、「아/어 주다 (a/eo juda)」が対応できないテモラウ文、つまり話し手に受益が生じないテモラウ文を韓国語ではどのように表現しているのか、また韓国人日本語学習者はこのようなテモラウ文をどのぐらい使っているのかを明らかにすることによって、テモラウ文の特徴がより一層明らかになるものと考えられる。

1.2.2 課題Ⅱ

本研究の第Ⅱの課題は、「行為説明表現」における日韓両言語の表現形式の類似点及び相違点を明らかにすることである。この節では、本研究における「行為説明表現」についての定義と位置付けについて述べる。

依頼表現についての従来の研究では、身近な依頼の場面として例えば、「すみません。水を一杯いただけますか」という例を用いて、「水をもってきてもらいたい」という「表現意図」の依頼表現、つまり「依頼する(水を持ってきてもらいたい)」側の発話に焦点を当てて分析したものが多く見られる。このような依頼表現は、「水を持ってくる」という「行動」は「相手(聞き手)」が行い、「水を持ってくるかどうか」の「決定権」も「相手」にあつて、その「行動」による「受益」が「自分(話し手)」に生じることから、相手に対し最も高い敬語表現を用いなければならない場面である(蒲谷他 1998)。このような依頼表現に関する研究には、熊谷(2006)、高木(2003、2009)、蒲谷他(1998)などがある。また、依頼する側ではなく、依頼されてそれに答える側(以下、「被依頼主体」とする)に焦点を当てた研究には、尾崎(2006a、2006b)がある。尾崎(2006a)では、役員を引き受けるよう依頼されて受諾する、相手の家で食事を勧められて受諾するという2つの場面での受諾の表現を分析している。また、尾崎(2006b)では、役員を引き受けるよう依頼されて断る、訪問販売の人の依頼を断る、相手の家で食事を勧められて断ると

¹³ ただし、最近の韓国語では使われている事例もあることが分かったので、このことについては第4章で述べる。

いう3つの場面を取り上げ、断る際の表現にも依頼の内容によって違いがあることについて述べている¹⁴。

しかし、従来の研究では、1.1 問題提起の(7)の例文のような「〇〇について説明してもらいたい」、「〇〇について教えて下さい」という依頼を受けた被依頼主体が、それについて説明をするという、被依頼主体の表現に焦点を当てて分析したものは見当たらない。そこで本研究では、このような被依頼主体における発話で用いられるテモラウ、つまり被依頼主体(話し手、(7)では島の人)に受益が生じないテモラウについて分析を行う。なお、被依頼主体における発話を「行為説明表現」と呼ぶ。

具体的には、テレビ、ラジオのメディアで使われる「行為説明表現」と、初対面の人に対して使われる「行為説明表現」を対象に調査をし、分析する。メディアで使われる「行為説明表現」では、テレビとラジオで行われるアナウンサーと専門家¹⁵などとのインタビュー及び、テレビのショッピングチャンネルで行われる、商品に関する説明を対象とする。同じメディアでもインタビューとショッピングチャンネルでの表現の違いについても分析する。また、初対面の人に対して使われる「行為説明表現」では、初対面同士でよく起こる「道案内」と「食べ方」についての説明を対象とする。「道案内」と「食べ方」については、さらに両者に出現する表現の違いについても分析する。

これらの調査は、韓国語についても同様に行い、日本語の調査結果との比較分析を行うことにより、日韓両言語の表現形式の類似点及び相違点が明らかになるものと考えている。

1.2.3 課題Ⅲ

本研究における第Ⅲの課題は、「行為説明表現」においてテモラウを用いて表現する具体的な理由を調査し、テモラウの機能を明らかにすることである。

我々の日常生活における言語活動においては、話し手が聞き手へ何らかの気持ち、例えば敬意を表わすのに、直接、敬語表現¹⁶を用いる場合もあれば、敬語表現ではない他の様々

¹⁴ 例えば、断りの説明をする被験者は、訪問販売の断りでは約8割、役員依頼の断りでは約3割、食事勧めの断りでは約7割であった。訪問販売の断りで数値が高いのは断るという目的達成のため、食事勧めの断りで数値が高いのは相手との関係維持のためであると分析している。詳細については、尾崎(2006b)を参照されたい。

¹⁵ 「専門家」とは、例えば皮膚科専門医、掃除の専門家、法律に詳しい専門家などを言う。詳細については、第4章で述べる。

¹⁶ 本研究における「敬語表現」とは「尊敬語」、「丁寧語」、「謙譲語」のことを示す。

な表現を用いて敬意を表わす場合もある。本研究においても、こうした話し手の気持ちや意識が話し手の発話の表現形式に反映される仕組みに注目する。この仕組みを参考にテモラウを用いる具体的な理由を調査し、話し手の意識が反映されるものかを明らかにする。日韓両言語における、その反映された表現形式に一定の傾向的な差異が存在するのであれば、その差異を分析する。これらのことにより、テモラウの機能が一層明らかになってくるものと考えられる。

蒲谷(2013)は、コミュニケーションを「待遇」という枠組みより捉えている。待遇コミュニケーションとは、コミュニケーション主体が、「場面」をどのように認識し、それをどのようにコミュニケーションに反映させようとするのか、そして、コミュニケーションを通じて「場面」をどう変容させていこうとするのか、ということに焦点を置いてコミュニケーションを捉えたものである。また、待遇表現¹⁷を使う目的の1つは、お互いに気持ちのいい、満足のいくコミュニケーションを達成させるということである。そのためには自分だけではなく相手の意識(気持ち)を考え、表現と理解の両面に様々な配慮や工夫をする必要があると述べている。さらに、話し手のその意識(気持ち)は、「内容(なかみ)」や「形式(形)」と連動することによって伝わるものであり、例えば、依頼表現には相手に迷惑や負担をかけて申し訳ないという気持ちが前提としてあり、さらに、実現してくれたらありがたい、嬉しいという気持ちなどがあるとしている。そして、その気持ちを、それにふさわしい「内容(なかみ)」や「形式(かたち)」に示していくことが大切である(蒲谷他(1998)、蒲谷(2013))。

このような先行研究を基に、話し手がテモラウを用いた理由、つまり話し手の相手に対する意識(気持ち)を調査し、分析をすることがテモラウの機能を明らかにするには不可欠であると考えられる。

1.3 本研究の意義

本研究の意義について、次の3つの観点から述べる。

まず1番目として、日韓両言語の対照研究としての観点からの意義である。日韓両言語の授受表現を対象に比較分析を行った研究は多く見られるが、その殆どは日本語を中心として行われている。つまり、日本語の授受表現である「～てあげる」、「～てくれる」、「～てもらう」があくまで研究対象の中心であり、研究の一過程として韓国語の対応関係の可否等について

¹⁷ 「待遇表現」についての定義は次章で行う。

述べられているというものが多い。また、本研究が対象としている、話し手に受益が生じない場面において使われるテモラウ文に焦点を置いた日韓対照研究は見当たらない。本研究では、このようなテモラウ文について日韓両言語の比較研究を行うことにより、両言語の授受表現の類似点や相違点をより明らかにした点である。特に、日本語におけるこのようなテモラウ文の使い方から見えてきた韓国の授受表現の特徴について言及した点に意義があるものとする。このような授受表現についての日韓両言語の考察結果は、韓国人日本語学習者だけでなく日本人韓国語学習者に対しても学習方法等について示唆するところが大きいものと考えられる。

次に 2 番目としては、テモラウ文の機能という観点からの意義である。渡辺(1985)、益岡(1991)、許(2000)、任・井出(2001・2004)、森(2001)、橋元(2001)においては、授受表現が多用されることについて、授受表現が対人関係を意識し、相手に配慮するための表現として使われるということを理由として述べている。しかし、それについての具体的な調査は見当たらない。また、これらの研究は本研究が対象としている、話し手に受益が生じない場面において用いられるテモラウ文については触れていない。本研究では、話し手に受益が生じない場面においてテモラウを用いた日本語母語話者に対して、その使用理由を調査し、テモラウという表現形式を用いた背景にある表現意識を探った点に意義があるとする。

最後に 3 番目としては、日韓両言語の将来における変遷という観点からの意義である。日本語と韓国語は文法等が非常に似ていることは周知の通りであり、このことから韓国人日本語学習者及び日本人韓国語学習者は、双方の言語については他の外国語に比べて、学びやすいと言われている。ただし、母語と習得する目標言語が似ているということは、単に学習にメリットをもたらすというだけではなく、一方では、両言語がそれぞれお互いに影響を与え易い(メリット、デメリットはともかく)関係にあるということの意味している。例えば、日本人韓国語学習者は日本語の授受表現の作り方の影響を受けて、韓国語の授受表現としては本来非文である「아/어 받다 (a/eo badda)¹⁸」という表現を韓国語の表現として用いており、これらは学習上級者においてもよく見られる。

また、このようなことは、韓国人日本語学習者にも見られる現象であり、韓国語の母語話者の場合でも、日本語の学習の影響を受け、本来非文である「아/어 받다 (a/eo badda)」という表現を抵抗感なく使用している韓国人日本語学習者もいる¹⁹。さらに、日韓両言語の文法

¹⁸ 直訳すると「～てもらう」に対応する韓国語の授受表現の一つである。

¹⁹ 韓国人日本語学習者の「아/어 받다 (a/eo badda)」に関する使用状況についての研究は尹

等の類似性から、日本語を学習している韓国語母語話者以外にも、このような「아/어 받다 (a/eo badda)」という本来非文である表現を使用する韓国語母語話者が出現している。このような表現が不自然なものと認識されなくなり、普通に使われることにより、いつかは定着していくという方向もあり得るのではないかと考えられる。現に、以下のように、韓国の検索エンジンである「NAVER(<http://www.naver.com/> 2015年1月25日にアクセス)」にも「아/어 받다(a/eo badda)」の誤用が見られる。

- (9) 달라이라마에서 ‘달라이’는 몽골어로 ‘큰 바다’라는 뜻이고, ‘라마’는 티베트어로 ‘영적스승’이라는 의미로 달라이라마는 ‘넓은 바다와 같이 넓고 큰 덕을 소유한 스승’이란 뜻이다. 라마교에서 라마는 주술을 부릴 수 있는 영능력을 갖춘 자를 말한다. 라마는 활불(活佛) 즉 환생이라는 믿음에서 절대적 권위와 법왕제 실시로 정치적 권위까지 *부쳐 받았다 (부치다 (付ける+「아/어 받다 (a/eo badda) 」).

ダライ・ラマの「ダライ」はモンゴル語で「大きな海」という意味であり、「ラマ」はチベット語で「霊的な師」という意味で、ダライ・ラマは「広い海のように広く大きな徳を所有している師」という意味である。ラマのラマは、呪術をつかうことができる霊能力を備えた者をいう。ラマは활불(活佛)つまり生まれ変わりという信念で絶対権威と法王制の実施に政治的権威まで付けてもらった。(訳は筆者)

このような現象は一体どこに起因したものだろうか。日韓それぞれの言語が独自に変化していったのか、それとも両言語が相互に影響し合ったのであろうか。

井上(2001、2002)は、ある個別言語を把握するために、他の言語と比較する理由について、「個別言語の持つ性質の中には、他の言語と比較してはじめて明確に捉えられるものが少なくない」、「個別言語にみられる現象が持つ言語学的な意義も、他の言語と比較してはじめて正確に把握できることが少なくない」からであると述べている。日韓両言語における対照研究を通じて両言語の変遷の方向性が予測されるのではないかと考えられる。

本研究が対象としたテモラウ文の考察によって明らかになってきた韓国語の授受表現の特徴に基づいて、日韓両言語の授受表現全体のこれからの変遷を追っていくことは、今後の研究課題として大きな意義のあるものと考えられる。

(2014)を参照されたい。

1.4 本論文の構成

本論文は7章から成る。

序論では、本研究の問題提起と課題及び意義を中心に述べている。従来のテモラウ文についての研究は、授受表現として話し手や話し手側に受益が生じる場面で使われるテモラウ文についてのものが殆どであるところ、話し手に受益が生じない場合でもテモラウ文が使われている現象が実際に見られることを紹介し問題提起をした。話し手に受益が生じない場合でも話し手がテモラウを使っている理由は、テモラウに授受表現という本来の機能とは異なる何らかの機能を持たせているのではないかと考えられ、それを解明するために3つの課題を設定した。また、本研究の意義を3つ挙げた。

第2章では、まず、テモラウの基本的な特徴を確認するため、テモラウ文に関する従来の研究について述べるとともに、従来の研究を踏まえた上で本研究が対象とするテモラウ文の研究範囲について述べた。また、韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」に関する先行研究についても概観する。そして、「아/어 주다 (-a/eo juda)」文については今後の研究課題が多く残されていることについて述べる。

第3章では、テモラウ文について行った予備調査の結果を述べる。本研究における3つの課題を解明するために、まず次の2つの予備調査の結果を述べている。

1つは、テモラウ文が韓国語ではどのように表現されているのかに関する調査である。日韓両言語のコーパスに基づいた調査により、テモラウ文と韓国語の基本的な対応関係が確認され、本調査の議論の基礎的な部分となっている。

もう1つは、上記の調査により韓国語の授受表現には対応しないテモラウ文が確認されたことから、そのようなテモラウ文についての韓国人日本語学習者の使用頻度等を調査した。日韓両言語を対象に比較分析することにより、テモラウの特徴がより明らかになるとの確信が得られた。

続く第4章では、メディアに現れるテモラウ文と「아/어 주다 (-a/eo juda)」文について調査し、分析した結果について述べる。まず、テモラウ文については、話し手や話し手側に受益が生じるのか、あるいは話し手や話し手側に受益が生じないのかという観点を取り入れ、この観点から「テレビ」と「ラジオ」で出現したテモラウ文を、2つに分けて分析を試みる。また、当該調査で現れたテモラウ文については形態別にも分類し、形態ごとに話し手や話し手側に受益が生じるテモラウ文と、話し手や話し手側には受益が生じないテモラウ文の2つに分けて分析した。また、「テレビ」と「ラジオ」の「インタビュー」とは人間関係、場面が異なる「ショッピング

ネル」で現れたテモラウ文についても調査、分析を行い、「テレビ」と「ラジオ」の「インタビュー」で現れたテモラウ文との相違点及び類似点について述べる。

さらに、韓国のメディア(ラジオ番組)を対象に「아/어 주다 (-a/eo juda)」について調査し、日本のメディアで使われるテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」の相違点及び類似点について述べる。

第5章では、テモラウ文が実際の言語生活の中ではどのように使用されているのかについての具体的な調査の結果及びこれに基づく分析結果について述べる。調査は、初対面の人から、「道案内」、「食べ方」について聞かれ、それに答えるという場面を設定して行い、分析は被依頼主体からの発話を中心に行っている。韓国語でも同様な調査を行い、日韓両言語における「道案内」と「食べ方」の説明という行為説明表現で使われるテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」に係る日韓両言語の表現の相違点及び類似点について述べる。

第6章では、第5章で紹介した「道案内」と「食べ方」の調査においてテモラウを用いて表現した被験者から、テモラウを用いて表現した理由について聞き取り調査を行った結果について分析し、考察する。そして、テモラウを用いて表現した背景にある表現意識と表現形式の連動性について確認する。また、韓国語の調査においては、韓国語の敬語表現形式である「(으)시 -(eu)si」を用いて表現した被験者から、「(으)시 -(eu)si」を用いて表現した理由について聞き取り調査の結果と考察を述べる。

また、ラジオのアナウンサーによる、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて説明する場面を用いて「아/어 주다 (-a/eo juda)」文と「(으)시 -(eu)si」文、2つの自然さ判断調査と、それを選択した理由について分析した結果について述べる。

最後の第7章では、本研究の全体のまとめと残された課題について述べる。本研究ではテモラウ文が授受表現の機能だけではなく、待遇表現としての機能をも担っているということを明らかにする。それを裏付けるために、様々な調査を行っているところ、それぞれの調査における反省点について述べるとともに、その反省点を踏まえ、本研究に係る今後の課題について述べる。さらに、本研究が他の研究とは異なる点を3つあげて述べる。

第2章 先行研究

2.1 はじめに

第1章で述べたように、日韓両言語の授受表現についての従来の研究は多岐にわたる(林八龍(1980)、庵(2000)、奥津(1979、1983)、黄(1994)、鄭(1994)、井上(2011))。しかし、従来の研究は日本語の授受表現が中心となっており、韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」については個別の研究が殆ど報告されておらず、課題がまだ多く残されている。

そこで、本章では、本研究の対象であるテモラウについては、受益性に着目した研究、語用論的特徴についての研究、さらに、ヴォイスとモダリティ表現との関係についての研究を中心に述べる。ただし、テモラウについての基本的な意味及び構造について改めて述べる必要がないぐらい多くの研究がなされていることから、テモラウの意味論的及び構造論的な特徴についての先行研究については省く。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」については、意味的特徴である、「受益性」、「期待充足」と機能的特徴である「関係性」について述べる。また、後述するが、ヴォイスとモダリティ表現との関係についての研究は、テモラウについては多く存在しているが、「아/어 주다 (-a/eo juda)」については見当たらないことから、本章でテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」に関して述べている先行研究の範囲は異なっている。

まず、2.2節では日本語の授受表現についての主な先行研究について述べ、2.3節では韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての先行研究を紹介することにする。

2.2 テモラウに関する先行研究

日本語の授受表現は、以下の〈表 2-1〉のように、授受補助動詞「～てやる」、「～てくれる」、「～てもらう」がある(国立国語研究所(1991:120))。本研究では、自分(側)以外が与え手で、自分(側)が受け手であるテモラウ文に関する従来の研究を参考に述べることにする。

表 2 - 1 日本語の授受表現の分類

	与え手	受け手
テヤル テアゲル	自分(側) [主語]	自分(側)以外
テクレル テクダサル	自分(側)以外 [主語]	自分(側)
テモラウ テイタダク	自分(側)以外	自分(側) [主語]

テモラウ文に関して、受益性に着目した研究としては佐久間(1936:196)、奥津(1982・1996)、寺村(1982:135)、益岡(2001:26)等があり、視点制約に着目した研究では、久野(1978:166)等がある。最近の研究では、金澤(2008:124)を始め、滝浦(2005・2008)が、テモラウ文の語用論的特徴についても述べている。その中で、本章では、受益性に着目した研究、語用論的特徴に着目した研究、さらに、ヴォイスとモダリティ表現との関係について確認する。

2.2.1 受益性²⁰

佐久間(1936:196)は、テモラウ文について、「自分(または自分に親近な者)が他人(相手または第3者)に依頼して、その好意を含んだ動作の効果として**好影響**を受ける」場合に使うと述べている。奥津(1982:97)はテモラウ文について、「身内である主文の主語が、よそのものである構文の主語の行為を、**利益**として取得する。ここで、身内というのは、話し手またはそ

²⁰ 日本語の授受表現における受益性についての従来の研究では、松下(1924)、井島(1997)は「利益」、豊田(1974)、益岡(2001)、山田(2004)は「恩恵」と述べているが、これらを同一として扱われることがほとんどである。

の側に立つ人であり(もちろん家族・親族というような一般の意味ではない)、よそのものというのとはそうではない人である。」場合に使うと述べている。金田一(1989:129)は、授受補助動詞について、「利を与える人」と「利を受ける人」のような観点から、テアゲル文、テクレル文、テモラウ文の相違点について述べている。その中で、テモラウ文については、「利を与える人」は主語以外の人であり、「**利を受ける人**」は主語であると述べている。また、日本語の授受表現は物の授受の他に、恩恵の授受もあり、これを庵(2002)は「**恩恵性**」を表すと述べている。さらに、森田・松木(1989)は、テモラウ・テイタダクについて、文の主格に立つ話し手または話し手側のBが他者のAから行為を受け取ることを表し、行為主体はAだが、文の主語も話し手の視点もBの側にあるため、「自己自利」の構造になっていると述べている。

森田(2002)は、恩恵賦与が成り立つ状況として次の4つを挙げている。

- ① 相手方の発意、または、こちらから頼んで授受行為を行う場合。相手からこちら側へと事物の移行を伴う。
- ② 相手に、ある行為を促してやらせる場合。特に事物の移行は伴わない。
- ③ こちらが他者に対して渡し与えるべき事物を、相手の発意で、またはこちらが頼んで相手が肩代わりしておこなう。事物や情報が相手から他者側へと移行する。こちらの事物ではなく相手の事物が他者側へと移行するのである。
- ④ こちらがなすべき行為を、何かの理由で相手が代行する。相手の発意の場合と、こちらが依頼してやらせる場合とがある。

それでは、「恩恵性」、「利益性」というのはどのようなものなのか。益岡(2001)は、「やる(あげる)」等の授受表現は本動詞構文の中に恩恵性(受益性)の萌芽があるとしており、事物が当事者にとって「好ましい」ものであるという意味を表すと述べている。また、益岡・田窪(2011)も、益岡(2001)と同じく、受益の表現とは、人が動作や出来事から利益(好ましい結果)を受けることを表すものとしている。

以上のことから、テモラウ文の意味的特徴としては「受益性がある」ということである。

本研究では、対象とするテモラウ文について、上記の先行研究を踏まえて、話し手は聞き

手²¹が当該の行為をすることによって「結果が好ましい」と感じ、それによって話し手に受益が生じたことを「受益性がある」と定義して論を進めていくことにする。

本研究では、テイタダク文も分析対象とするが、テイタダク文とテモラウ文を区別することなく、便宜上両者を「テモラウ文」とし、カタカナで表記することにする。なお、奥津(1996)²²が述べているように、テイタダクとテモラウは、与え手を目上に上げるか、目下として見下げるかによって使い分けていることから、必要に応じて「テイタダク文」と「テモラウ文」と使い分けする。

テモラウ文の意味的特徴が「受益性がある」ということであるとしても、その受益性が話し手に実際にどのように生じるのか、従来の研究では言及がなされていない。また、単文を研究対象としているため、受益がどのように生じたかどうかは、文脈を確認してみなければ判断できない。さらに、従来の研究は文末を対象として述べているものが殆どであることから、文中に現れるテモラウ文の特徴に関しては明らかになっていない。また、森田(2002)は、恩恵賦与が成り立つ状況として、「②相手に、ある行為を促してやらせる場合」であると述べているが、相手にある行為をやらせたとしても、やらせた話し手には受益が生じない場合もあるのではないかとすることも含めて確認する必要があると考えられる。

2.2.2 語用論的特徴

次にテモラウ文における語用論的特徴について 佐竹(2000)、滝浦(2001・2008)、金澤(2008)を参考に述べる。

まず、金澤(2008)は、テモラウ文について、最近過剰に使用されている理由を、自然な話しことばの資料である3つのコーパス²³を使って調べている。調査の方法は、それぞれの資料

²¹ 本研究は「説明する」場面を対象に述べていることから、説明をする人を「話し手」とし、説明を聞く人を「聞き手」とする。

²² 奥津(1996)は、テモラウ文とテイタダク文の違いについて、テイタダクは、主語は「与え手」ではなく「受け手」であり、「与え手」は「に」または「から」をとるとしている。起点格をとる非主語の「与え手」を目上として見上げ、主語の受け手は目下とする。また、移動はよそのものから身内への方向であると述べている。テモラウについては、主語は「与え手」ではなく「受け手」であるということはテイタダクと同じであるが、受け手の主語が目上であり、与え手の主語が目下であって、この非主語を見下げている点でテイタダクと異なると述べている。

²³ (i)「上村コーパス」母語話者五十人に対するインタビュー実態データ(1996年)
(ii)『女性のことば・職場編』現代日本語研究会編(ひつじ書房、1999)参照
(iii)『男性のことば・職場編』現代日本語研究会編(ひつじ書房、2002)参照

からインフォーマントが使用した「てくださる」と「ていただく」を抜き出し、それらのうちで、もう一方の表現と入れ替える（「くださる」⇔「いただく」）ことが可能な場合を抽出して集計するというものである。その結果、両者の入れ替えが可能な場合においては、「くださる」よりも「いただく」の方が遥かに高い割合で選択され、使用されていると述べている。そして、「ていただく」が好まれる理由は、相手となるべく直接的な関わりを持たない形で人間関係を維持して行きたいというミーイズム(meism)²⁴的な心理が、無意識のうちにかかわっているからであると述べている。つまり、「てくださる」という表現はいうまでもなく「相手が」何かをするのであり、直接相手と関わってゆく感覚を抱きやすい表現である。一方、「ていただく」の方は、基本的に自分の側の問題であり、とりあえず相手と直接関わらないで済む感覚を表すものであると述べている。

金澤(2008)に先立ち、佐竹(2000)と 滝浦(2001)は、「てくださる」は相手がしてくれるという意味で、相手を中心に置いた表現（「聞き手中心性」）であり、「ていただく」は自分がしてもらおうという自分中心の表現（「話し手中心性」）であると述べている。また、滝浦(2008:44)は、テモラウとテクレルについて、「丁寧体世界(テイタダクとテクダサル)」で テイタダクの方が丁寧であり、両者の間でポライトネス²⁵としての差があると述べている。つまり、テクダサルの主語は相手であるのに対し、テイタダクの主語は自分であることから、自分の行為として述べる（相手の領域に触れない）テイタダクの方が丁寧であると述べている。

上記の先行研究をまとめると、テモラウは「～てくれる」より丁寧であるということである。「～てくれる」は主語が相手であり、相手に触れる表現であることから、相手に触れることなく、自分の行為としての表現であるテモラウの方が丁寧であるということである。ただし、上記の先行研究はテモラウとテクレルの言い換えが可能な文を対象にして述べているため、言い換えが不可能なテモラウ文については説明し切れないのではいかと考える。また、「～てくれる」と言い換えが不可能なテモラウ文に関して、待遇表現の観点からどのように位置づけるべきなのか考察する必要性があると考えられる。

²⁴ ミーイズム(meism)とは、自分の幸福のみに関心を示し、社会や他人には関心を持たない考え方。自己中心主義。『大辞林』、第3版を参考にした定義である。

²⁵ ポライトネス理論については、ペネロピ・ブラウンスティーヴン・C・レヴィンソン(2011)を参照されたい。

2.2.3 ヴォイスとモダリティ表現との関係

奥津・徐(1982)は、テモラウ文は使役文「させる」に比べ、対人関係上の気配りがある依頼的な表現であり、このことから、次の例文(1)、(2)と(3)、(4)のように、使役文「させる」の代わりにテモラウ文が使われると述べている。つまり、謙譲語表現が発達している日本語では、使役文「させる」の使用は避けられることが多く、使役文「させる」による使役表現を和らげる謙譲的表現としてテモラウ文が使われることになったと述べている。この種の使役的テモラウ文を「謙譲使役文」と呼び、使役文「させる」を「尊大使役文」と呼んでいる(奥津・徐 1982:99)。

- (1) 私はきのう田中君を辞めさせた。
- (2) 私はきのう田中君に辞めてもらった。
- (3) 私は学生諸君にレポートを書かせた。
- (4) 私は学生諸君にレポートを書いてもらった。

これに関連して楊(1985:67)は、使役文「させる」は、目上の人間の動作を促す際には使えないと述べている。

- (5) *学生が教授に講演をさせる。
- (6) 学生が教授に講演をしてもらう。
- (7) 学生が教授に講演していただく。

楊(1985)は、(5)について、学生にとって教授は自分より目上であるし、尊敬すべき存在であるので、(6)、(7)のように言うのが適当であると述べている。つまり、目上に対しては使役形が使えず、その代わりにテモラウ文を使っているということである。

また、益岡(2001)は、テモラウ文を働きかけの有無によって「受動型テモラウ文」、「使役型テモラウ文」の2つに分類している。「受動型テモラウ文」は相手から一方的に動作を受けるものであり、恩恵的か迷惑的かという点で受動構文と対立するとしている。一方、「使役型テモラウ文」とは、相手に対する働きかけが認められるものであり、主として強制性の有無において使役構文と対立すると述べている。

許(2000:7)は、間接受身文と非依頼テモラウ文²⁶は類似しているが、日常生活における使い方には微妙な違いがあり、それぞれ特有のニュアンスを持っていることについて以下の例を挙げて述べている。

(8) 何の連絡もなく勝手に会社を休まれちゃ困るよ。(間接受身文)

(9) 何の連絡もなく勝手に会社を休んでもらっちゃ困るよ。(非依頼テモラウ文)

さらに、(9)のようなテモラウ文を頻繁に使っている理由について以下のように述べている。

- ① テモラウ文は基本的に人間同士²⁷の出来事を表す構文である。
- ② 動作が話し手に向けられることによって話し手が当事者として出来事に関わる。
- ③ 間接受け身文は第三者が行った動作に対して消極的に関与する一方、テモラウ文は第三者が行った動作があたかも自分に向けられたかのような積極的な表現である。

許(2000)の受身文とテモラウ文との比較が示唆するものは本研究において大きい。許が述べている上記のテモラウ文の特徴が本研究が対象としている文中に現れる受身文に言い換えられないテモラウ文についても当てはまるものなのか検証する必要がある。

また、堀口(1987:67)と山田(2004:136)などの研究では、テモラウ文は命令表現・依頼表現にも用いられると述べている。山田は以下の例を用いて、テモラウ文が主文末で、意志的モダリティとともに用いられると、典型的には命令や依頼とほぼ同じ働きを持つ表現になると指摘している。

(10) 答えるまではここにいてもらいます。

(11) 宿題をやっていない人には、そうじをしてもらおう。

以上のように、従来のテモラウ文に関する研究は多く見られるものの、意味論的な観点から、

²⁶ 許(2000:4)は、客体の動作を受ける主体が客体に対して動作を行うよう促し、動作を依頼する文を「依頼テモラウ文」と呼んでおり、他方、主語である主体は動作に直接的には関与せず、客体が行った動作の影響を間接的に受けることを表す文を「非依頼テモラウ文」と呼んでいる。詳細のことは、許(2000)を参照されたい。

²⁷ 下線は筆者によるものである。以下同様。

ある種の行為において、だれが受益を与え、だれが受益を受けるのか、また、構文論的な観点からは、他の授受表現に言い換えの可能な場合、つまりテモラウ文をテクレル文に交換可能な例文を中心に述べているものが殆どである。また、テモラウ文を他の文法範疇である、ヴォイスやモダリティ表現との比較を通じて、テモラウ文が当該の動作に関する積極性と関わり性(当該の動作に関わりたい、関係を持ちたい)の強い意味を持っていることから、他の文法範疇と言い換えの可能な場合、テモラウ文を頻繁に使っているということに関して述べている研究が多い。さらに、奥津・徐(1982)、楊(1985)は、テモラウ文を敬語表現と比較分析もしているが、それらの研究もヴォイスとの関係から述べている。

そこで、本研究では、構文的には以下の4つの条件を全て満たすテモラウ文を中心に考察していくことにする。

- ①受け身や使役表現とは言い換えが不可能
- ②「～てくれる」とも言い換えが不可能
- ③省略が可能
- ④文中に現れる

さらに、話し手に実際には受益が生じない場合でもテモラウを用いて表現する表現意識²⁸について調べることにする。

²⁸ 「表現形式」及び「表現意識」については第6章で述べることにする。

2.3 「아/어 주다 (-a/eo juda)」に関する先行研究

韓国語においても日本語と同じく授受表現があるということは周知の通りである。日本語の授受表現の本動詞には「～あげる」、「～くれる」、「～もらう」があって、それらの授受補助動詞にはそれぞれ「～てあげる」、「～てくれる」、「～てもらう」がある。一方、韓国語の授受表現の本動詞には「주다(-juda)」、「받다(-batda)」²⁹があって、それらの授受補助動詞としては「아/어 주다 (-a/eo juda)」がある。韓国語においても、これらの表現のことを「授受表現(수수표현)」と呼んでいる研究者が多いため、本研究においても「授受表現」と呼ぶことにする。本節では韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての先行研究を概観する。

2.3.1 「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴

1) 受益性

まず、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴の一つである「受益性」について述べる。이익섭(2009)は「아/어 주다 (-a/eo juda)」について、「施恵」、「特殊な施恵」、「無意志的な施恵」という意味を持っていると述べている。

まず、「施恵」について見てみると、以下の(12)は字が小さすぎてよく見えないおじいさんが孫に「読んでくれる」ように依頼する場面であるが、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。孫が「読む」という行動をすることによって小さい字が読めなかったおじいさんに受益が生じる(嬉しい)ことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現したものと考えられる。(13)は、「ボランティアが洪水で壊れた橋を直す」という行動を行うことによって「あの町の人」に助けを与えたことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。ここで用いられた「아/어 주다 (-a/eo juda)」は日本語では「～てくれる(12)」と「～てあげる(13)」の意味を持っている。

(12) 글씨가 너무 작아 안 보이는구나. 네가 좀 읽어 주렴.

(字が小さすぎて見えないね。ちょっとあなたが読んでくれる)

²⁹ 第1章で述べた通り、「받다(-badda)」を授受補助動詞の形にすると「아/어 받다(-a/eo badda)」となるが、実際には使っておらず、日本語の「～てもらう」を「아/어 받다(-a/eo badda)」で表現すると非文になる。

- (13) 우리 봉사단은 그 마을에 가 홍수 때 망가진 다리를 고쳐 주었다.
(われわれボランティアはあの村に行って洪水で壊れた橋を直してあげた)

次に이익섭 (2009)は「特殊な施惠」については以下の用例を用いて述べる。

- (14) 너 그렇게 말 안 들으면 아빠가 때려 준다!
(直訳)君、言うこと聞かないと父がたたいてやるよ!

(14)は父による子供に対してなので発話であるが、「때리다 (たたく)」という動詞に「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現しており、日本語では「～てやる」の意味を持っている。一方、방운규(1994)は、이익섭 (2009)の「特殊な施惠」(つまり受益性がある)と異なり、このような「아/어 주다 (-a/eo juda)」文のことを「強調」のみの意味を表すと述べている。以下の例文を見てみよう。

- (15) 한대 패 주니까 그제서야 자리를 내 주더군.
(ぶん殴ってやったらやっと席を譲ってくれた)
- (16) 그 놈을 좀 두들겨 주었지.
(あの奴を少し叩いてやったわ)
- (17) 차네 그 여자를 또 괴롭혀 줄 작정인가?
(君、その女性をまた苦しめてやるつもりなのか?)

(15)、(16)、(17)の「아/어 주다 (-a/eo juda)」は本動詞である、「패다(ぶんなぐる)」、「두들기다(叩く)」、「괴롭히다(苦しめる)」を用いることによって、相手に肉体的に苦しみを与えることになることから、受益性は持たず「強調」のみの意味を持っていると述べている。

本研究の対象である「아/어 주다 (-a/eo juda)」は上記の用例のような「～てやる」に対応するものではないため、このような「特殊な施惠」、「強調」の意味的特徴については言及せず、日韓両言語の授受表現の意味的な対応関係のみについて述べることにする。

次に、「無意志的な施惠」の意味で用いられた「아/어 주다 (-a/eo juda)」文について記す。

(18) 다행히 병이 쉽게 나아 주었다.

(幸いにも病気が簡単に治ってくれた)

(19) 무대에서 옷이 벗겨져 찢절 매고 있는데 글썽 전기가 나가 주더라니까.

(舞台上で衣装がとれてしまって大変だったところ電気が消えてくれたのよ)

(20) 아이들이 무럭무럭 자라 주니 고마울 뿐이야.

(子供達がすくすく育ってくれてありがたい限りだ)

(18)は無情物³⁰である「病氣」を主語にして表現しており、日本語では「～てくれる」の意味を持つ「아/어 주다 (-a/eo juda)」文である。(19)も同様に解釈でき、「電気」という無情物を主語にし、まるで電気が意識をもって「消えた」かのように表現しており、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いることにより、話し手に「電気(の行為)」によって「助かった」という受益が生じたことを表しているのである。(20)は、(18)、(19)とは違って有情物である「子供達」が主語であり、子供達がすくすくと「育つ」ということによって「ありがたい」ということを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現しており、これらの用例は「施惠」の意味を持っている「아/어 주다 (-a/eo juda)」文である。

이익섭(2009)を参考に「施惠」の意味を持つ「아/어 주다 (-a/eo juda)」について述べたが、それ以外では、최현배(1971)、서정수(1980)、허용(1983)は、「아/어 주다 (-a/eo juda)」について「남을 섬기는 뜻을 나타내는(他の人を仕える)」という意味を持っている「奉仕補助動詞」であると述べている。また、구종남(1986)は「이로움(利益)」、김기혁(1987)は、本動詞の場合はあるものを「넘기는 것(与えること)」という意味を持っているが、授受補助動詞の場合は「선행행위를 함으로 도움을 주는 것(善行な行動をすることにより助けを与えること)」であるという意味を持っているとし、基本的に、「아/어 주다 (-a/eo

³⁰ 韓国語国立国語院出版の『標準国語大辞典』には「無情物」と「有情物」について次のように記述されており、本研究における「無情物」、「有情物」についての定義はそれに従う。「無情物」とは、「木」や「石」のように感覚がないものを言う。「有情物」とは、「人」や「動物」のように感覚のあるものを言う。なお、韓国語は「無情物」、「有情物」を分ける基準としては、ある行動が及ぶ相手を表す副詞助詞が異なるのである。つまり、行動が及ぶ相手が「有情物」の場合は「에게(-ege)」、「無情物」の場合は「에(-e)」になり、両方とも「に」になる日本語とは異なる。

- 1) 나는 그에게 물을 주었다.(私は彼にお水をあげた)
- 2) 나는 개에게 물을 주었다.(私は犬に水をあげた)
- 3) 나는 꽃에 물을 주었다.(私はお花に水をやった)
- 4) 나는 그 단체에 물을 주었다.(私はその団体に水をあげた)

juda)は「奉仕」の意味を持っていると述べている。また、이기동(1979)では、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の主体が、誰かのために「努力する」という意味を持っていると述べており、また、구종남(1986)は、相手に利益を与えるという意味、そして、손세모들(1991)は、有益性にその意味があると述べている。

上記の研究をまとめると、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の基本的な意味的特徴は、「施恵」、「利益」、「奉仕」であることがわかる。そして、これら「施恵」、「利益」、「奉仕」は、日本語の授受表現の意味的特徴である「受益」と同じ範疇の概念であると解釈できる。つまり、行動をする人によって行動を受ける人に受益が生じるという意味ではテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」は同じであるということである。そこで、本研究では、韓国語の「아/어 주다 (-a/eo juda)」の基本的な意味特徴として日本語と同様、「受益」という言葉を用いて述べることにする。

受益性に関する例文を방운규(1994)から抜粋して詳しく見てみることにする。

(21) 누가 나같은 여자를 데려가 준대야 말이죠.

誰が私のような女を連れて行ってくれるんですか。(直訳。以下同様)

(22) 마늘, 고구마, 소금 등 모든 농산물 값을 올려 줘라.

ニンニク、サツマイモ、牛の値段など、すべての農産物の値段を上げてくれ。

(23) 적십자에서 나온 중년부인들은 수통에 얼음물을 가득 채워 주며 울었다.

赤十字からの中年の婦人達は水筒に氷水をいっぱい入れてあげながら泣いた。

(24) 물에 빠진 놈 건져 주면 보따리 어쩡느냐는 셈으로...

溺れている奴を引き上げてやったら(私の)荷物はどこにあるのかというわけで。

(21)は、結婚をあきらめた女性の愚痴話であるが、その女性と結婚することは彼女に対する奉仕であり、助けになるということを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。(22)は、暴落した農産物の値段を上げることは農民には大きな助けになることを、(23)は、喉の渴いた人の為に水筒に氷水を入れるということは他人を助けてあげることになることから「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。(24)は、水に溺れている人を助けるということは奉仕中の奉仕であることから「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現したことである。

このように「아/어 주다 (-a/eo juda)」は受益の意味を持っているため、「-을 위하여(～のために)」と置き換えても意味の違いはない。

(21) 〰 누가 나같은 여자를 위하여 데려가 준대야 말이죠

誰が私のような女のために連れて行ってくれるんですか。

(22) 〰 (농민을 위하여) 마늘, 고구마, 소값 등 모든 농산물 값을 올려라.

(農民のために)ニンニク、サツマイモ、牛の値段など、すべての農産物の値段を上げろ。

(23) 〰 적십자에서 나온 중년부인들은 (과월장병들을 위하여) 수통에 얼음물을 가득 채워 주며 올었다.

赤十字からの中年の婦人達は(将兵のために)水筒に氷水をいっぱい入れてあげながら泣いた。

(24) 〰 물에 빠진 놈을 위하여 건지면 보따리 어쨌느냐는 셈으로…

溺れている(奴のために)引き上げたら(私の)荷物はどこにあるのかというわけで。

また、박승윤 (2003) は 방운규 (1994) と同じく、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「-을 위하여(～のために)」に置き換えられることは可能だが、「-을 위하여(～のために)」とは意味的な相違点を持っていると述べている。

(25) 한석봉의 어머니는 아들을 위해 떡을 찼었다.

(ハンソクボンの母は息子のためにお餅を切った)

(26) 한석봉의 어머니는 아들에게 떡을 썰어 주었다.

(ハンソクボンの母は息子にお餅を切ってやった)

(25) は 한석봉 (ハンソクボン)³¹의 母가 餅を切るという行動가 한석봉 (ハンソクボン)のためであるということは一般的な「受惠」であって、母가 餅を切ったという行動と 한석봉 (ハンソクボン)との間には緊密な関係がないこともあり得るとしている。つまり、(25)の「-을 위하여(～のために)」の場合、한석봉 (ハンソクボン)は母가 餅を切っている現場にいらなくてもかまわない。また、母가 切った餅を 한석봉 (ハンソクボン)に渡す必要もないのである。しかし、(26)の「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は、한석봉 (ハンソクボン)は母가 餅を切っている現場に

³¹ 韓国朝鮮時代の書道家である。

いないといけないし、母は切った餅を必ず 한석봉(ハンソクボン)に渡さないといけないと述べている。

ここで、注目したいことは、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「-을 위하여(～のために)」と異なって、한석봉(ハンソクボン)と母との緊密な關係を表す機能を持っているということである。つまり、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は受益性という意味的特徴を持っているというだけに留まらず、さらに話し手と聞き手との關係性を表す表現としても用いられるということである。このような、「아/어 주다 (-a/eo juda)」における關係性については次節で改めて述べることにする。

以上、「아/어 주다 (-a/eo juda)」について、최현배(1971)、서정수(1980)、허용(1983)、이익섭(2009)、방운규(1994)、박승윤(2003)等を参考に概観したが、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の基本的な意味としてテモラウと同様、「受益性」があることが分かった。

2) 期待充足

김명희(1984)、방운규(1994)は、「아/어 주다 (-a/eo juda)」には受益性の意味以外に「期待充足」という意味を有していると述べている。以下では、방운규(1994)を参考に「아/어 주다 (-a/eo juda)」の期待充足について確認する。

まず、「～てくれる」の意味を持つ、「아/어 주다 (-a/eo juda)」文の用例から見てみよう。

(27) 애기를 쉽게 순산해 주었다.

(赤ちゃんを楽に産んでくれた)

(27)は、子供の安産という話し手の期待を満足させてくれたことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現したものと解釈できる。それでは、(27)の「아/어 주다 (-a/eo juda)」を省略するとどうなるのか確認する。

(27) 애기를 쉽게 순산했다.

(赤ちゃんを楽に産んだ)

(27)は「赤ちゃんを楽に産んだ」という事実だけを表しており、その行動によって、受益者が

いるのかどうか、また、そのことを期待し、期待に応えたのかどうかというような判断はできない。しかし、(27)のように「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現することによって、(27)の話手が「赤ちゃんを楽に産んでもらいたい」という期待をしたことや、さらに、それに応えてもらったことを表すことができるのである。

次は、「～てあげる」の意味を持つ「期待充足」を表す「아/어 주다 (-a/eo juda)」文について確認する。

(28) 홍제동 화장터에서는 웃돈을 얹어 주어야 화부들이 화장한 뼈를 더 잘 빨아 주지.

(ホンジエドン火葬場では足し金を上乘せしてあげると火夫達が骨をよりよく砕いてくれるのよ)

(28)は、火夫達を満足させることで火葬した骨をより細かくしてもらうためには、お金をもつとあげて火夫達を満足させなければならないという条件を「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。つまり、お金を上乘せすることにより火夫達が骨をより砕いてくれるという期待をするのである。(28)も(27)と同様以下のように「아/어 주다 (-a/eo juda)」を省略して、条件文としても意味は通じるが、骨をよりよく砕いてくれるよう期待したかどうか、話し手に受益が生じたかどうかの確認が難しい文になる。

(28) 홍제동 화장터에서는 웃돈을 얹어야 화부들이 화장한 뼈를 더 잘 빨아.

(ホンジエドン火葬場では足し金を上乘せると火夫達が骨をよりよく砕くのよ)

このような「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴である「期待充足」は基本的には話し手に受益が生じる場合であると考えられる。以下の用例を見てみよう。

(29) 기다리던 비가 와 주어서 정말 다행이다. (作例)

(待っていた雨が降ってくれてとても良かった)

「기다리던 비(待っていた雨)」ということは「雨が降って欲しい」という期待を表しており、雨が降ってくれて嬉しいということを「다행이다(良かった)」で表現していることから話し手には

受益が生じたということを表す。このように「期待充足」という「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴は結局話し手の受益性を表すということであると考えられる。しかし、ここで敢えて「期待充足」という概念を用いている理由は、「아/어 주다 (-a/eo juda)」には、話し手に受益が生じない場合においても用いられる場合があり、その際に用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」には受益性を表すためではなく「期待充足」を表すために用いられると考えているからである。つまり、受益性のある「期待充足」と受益性のない「期待充足」があると考えられる。たとえば、次のような用例である。

(30) 마늘 쉽게 까는 방법 (ニンニクを簡単にむく方法)

먼저 통마늘을 쪼개서 겉껍질은 벗겨 주고 찬물에 10 분정도 담가 줍니다.
그런 다음에 물기가 묻은 채로 비닐팩에 넣어서 냉장고에 하룻밤 넣어
두시고 아침이 돼서 벗겨 주면 싹싹 쉽게 벗겨집니다.

まずニンニクを割って外殻はむいてあげて/*むいてくれて、冷たい水に 10 分ほど?
浸してあげます/*むいてくれます。

次に水気があるままビニール袋に入れて冷蔵庫に一晩入れて、朝になって、皮をむ
いてあげると/*むいてくれるとごしごし簡単にむけます。(筆者による直訳)

韓国のラジオ番組「後を追う女」

上記の用例は韓国のラジオで放送されている「뒤를 캐는 여자(後を追う女)」という情報番組で行われたアナウンサーの発話の一部である。リスナーから「ニンニクを簡単にむく方法」について質問され、それに答えるアナウンサーの説明場面である。「外殻はむく」、「浸す」という行動に「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現しており、ここで用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は日本語の意味としては「～てあげる」、「～てくれる」に相当するものであるが日本語としては不自然な文であると考えられる。しかし、本研究の対象であるテモラウに訳すとより自然な文になると思われる。以下のテモラウ文を見てもらいたい。

(31) まずニンニクを割って外殻はむいてもらって、冷たい水に 10 分ほど浸してもらいます。

次に水気があるままビニール袋に入れて冷蔵庫に一晩入れて、朝になって、皮をむ
いてもらうとごしごし簡単に剥けます。

「外殻は剥く」、「浸す」という行動をするのは「ニンニクを簡単にむく方法」について依頼したりスナーであり、それによって「ニンニクを簡単にむく」ようになるという受益はリスナーに生じるのであって、アナウンサーには受益が生じない。韓国語では、本動詞「받다 (-batda)」の授受表補助動詞として「아/어 받다(-a/eo batda)」という表現はないため、「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現したものである。これを見れば分かるように、韓国語においても、テモラウ文と同じく、話し手に受益が生じない場合においても「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。このようなことから、(30)は「아/어 주다 (-a/eo juda)」を省略しても文法的には適格な文となる。

(30) 마늘 쉽게 까는 방법 (ニンニクを簡単にむく方法)

먼저 통마늘을 쪄서 껍질은 벗기고 찬물에 10분정도 담그세요. 그런 다음에 물기가 묻은 채로 비닐팩에 넣어서 냉장고에 하루 밤 넣어 두시고 아침이 돼서 벗기면 싹싹 쉽게 벗겨집니다.

まずニンニクを割って外殻はむいて、冷たい水に 10 分ほど浸してください。次に水気があるままビニール袋に入れて冷蔵庫に一晩入れて、朝になって、皮をむくと ごしごし簡単に剥けます。

それではこのような場面において用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」はどのような意味的特徴があるのだろうか。このような表現はラジオのアナウンサーだけではなく、韓国語の母語話者である筆者自身も普通に使っている表現である。

ここで用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴は「期待充足」ではないかと考えられる。つまり、「ニンニクの外殻が簡単にむける」という期待から「ニンニクを割って外殻をむく」、「冷たい水に 10 分ほど浸す」などの行動をすると解釈でき、(30)の用例を(28)の用例と同様に条件文にすると「期待充足」の意味で用いられたことがより分かりやすくなる。

(32)a 먼저 통마늘을 쪄서 껍질은 벗겨야 마늘을 쉽게 깔 수 있습니다.

(まずニンニクを割って外殻はむくと、ニンニクがむきやすくなります)

b 찬물에 10분정도 담가야 마늘을 쉽게 깔 수 있습니다.

(冷たい水に 10 分ほど浸すとニンニクが剥きやすくなります)

ここまで「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴である「期待充足」について従来の研究について述べた。「期待充足」には話し手に受益が生じる場合とそうではない場合があると考えられ、話し手に受益が生じる場合における「期待充足」は日本語では「～てあげる」、「～てくれる」と対応し、話し手に受益が生じない場合における「期待充足」は、日本語では本研究の対象であるテモラウと対応させたほうがより自然であると考ええる。

期待充足の日本語対応関係を整理すると以下の〈表 2-2〉のとおりとなる。

表 2-2 「期待充足」の分類

期待充足	日本語の意味的対応
話し手に受益が生じる場合における期待充足	～てあげる/～てくれる
話し手に受益が生じない場合における期待充足	～てあげる/～てくれる テモラウ

以上のことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴としては、①受益性、②期待充足という意味を有していること、また意味的な対応関係として、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「～てやる」、「～てあげる」、「～てくれる」に訳すことができることを確認した。また以下のよう、動作主が人の場合、主体と動作主の位置を代えることにより、「～てもらう」でも表現可能となる。このことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、「～てやる」、「～てあげる」、「～てくれる」に加えて、「～てもらう」にも訳すことが可能であると考えられる。

(20) 아들이 무럭무럭 자라 주니 고마울 뿐이야.

(私は) 子供達にすくすく育ってもらってありがたい限りだ。

(27) 애기를 쉽게 순산해 주었다.

(私は) 赤ちゃんを楽に産んでもらった。

以上、「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての先行研究を参考に日本語の授受表現との意味的な対応関係を整理すると以下の〈図 2-1〉のようになる。

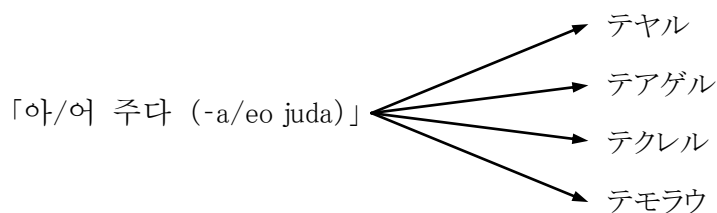


図 2 - 1 「아/어 주다 (- a/eo juda)」と日本語の授受表現

ここで、図<2-1>と第 1 章の<表 1-2>で述べた「日本語と韓国語の授受補助動詞の対応関係」と比較してみる。<表 1-2>で述べたように、「～てやる」、「～てあげる」、「～てくれる」は「아/어 주다 (a/eo juda)」が対応するものの、「～てもらう」は本動詞の対応関係の場合と異なり、「아/어 받다(a/eo badda)」が対応できない。しかし、<図 2-1>から、「아/어 주다 (a/eo juda)」からの対応関係を確認すると、「아/어 주다 (a/eo juda)」は「～てやる」、「～てあげる」、「～てくれる」、「～てもらう」全部に対応することが分かった。つまり、日本語の「～てもらう」に対しては「아/어 받다(a/eo badda)」が対応できないが、「아/어 주다 (a/eo juda)」は「～てもらう」に対応可能であるということである。<表 1-2>と<図 2-1>をまとめると以下の<図 2-2>のようになる。

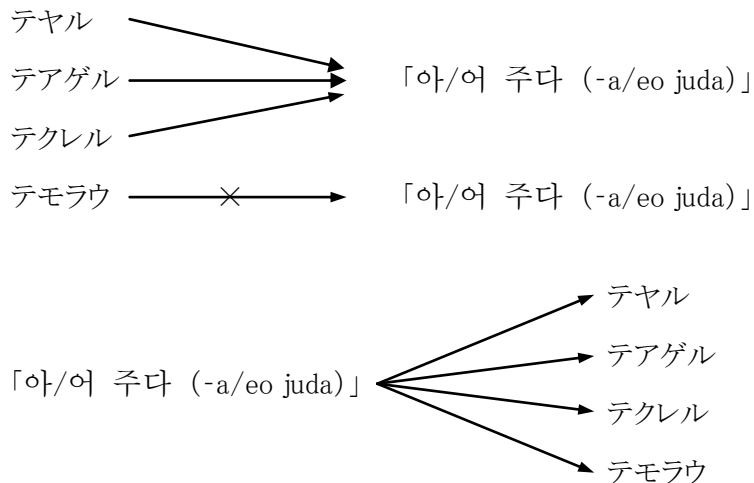


図 2 - 2 日韓両言語の授受表現の対応関係

それでは、上記の(30)で用いられる「아/어 주다 (a/eo juda)」には「期待充足」という意味的特徴を担っているということは分ったが、このような省略可能な「아/어 주다 (a/eo juda)」を用いて表現する理由についての課題は残っている。そこで、以下からは、「아/어 주다 (a/eo juda)」における「関係性」について確認し、(30)のような、「아/어 주다 (a/eo juda)」文

の特徴について考察する際に参考にしたい。

2.3.2 機能的特徴

前節では「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「-을 위하여(～のために)」に言い換えることはできるが、「-을 위하여(～のために)」とは異なって話し手と聞き手との緊密な関係を表す機能を持っていると述べた。つまり、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は受益性という意味的特徴を持っているだけでなく、話し手と聞き手との関係性を表す機能をも担っていると考えられる。

本節では노채환(2006)を参考に「아/어 주다 (-a/eo juda)」の「関係性」について述べる。「아/어 주다 (-a/eo juda)」はほぼすべての動詞に接続が可能であるが、形容詞には接続できない。形容詞に接続不可能な理由は、「아/어 주다 (-a/eo juda)」が持つ方向性と伝達性という機能に係る特徴によるものである。つまり、状態を表す形容詞は方向性を持たず、伝達性の機能を表わすことができないからである。従って、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は以下の例のように、先行に動詞をとり、動詞は自動詞、他動詞のいずれも可能である。

(33) 그가 와 주었다.

彼が来てくれた。

(34) 순호가 만든 음식을 맛있게 먹어 주세요.

スノが作った料理を美味しく食べてください。

(33)は「오다(来る)」という自動詞と結合しており、(34)は「먹다(食べる)」という他動詞と結合している。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は主語との結合に制約がある。つまり主語が自然物や無情物である場合は共起できず、主語が有情物であり、行為者である必要がある。たとえば、(33)、(34)の主語は人間という有情物であり、行為者であることから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」と結合できる。一方、以下の用例は「아/어 주다 (-a/eo juda)」の主語が無情物であることから非文になる。

(35) *태풍이 한국을 강타해 주었다.

(直訳) 台風が韓国を強打してくれた。

(35)は、目的語をとる他動詞の主語は「태풍(台風)」であるが、自然現象は行為性をもつことができないため、「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現すると非文になる。ただし、以下の例の主語は「花」であり、無情物であるが、(35)とは異なり、「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現しても非文にはならない。その理由は、「花」を擬人化して話し手と「花」との親近感を表す比喩表現として表わすことは可能であるからである。親近感を表すということは話し手と「花」との間で関係性が生じるということであると解釈できるだろう。

(36) 꽃이 피 주었다.

(直訳) 花が咲いてくれた。

また、노채환(2006)は「아/어 주다 (-a/eo juda)」が持っている機能について、本動詞「주다 juda」が持っている「건네다(渡す)」という意味から方向性と伝達性という機能が派生的に生じ、このような機能が授受補助動詞である「아/어 주다 (-a/eo juda)」にも受け継がれていると述べている。そして、「아/어 주다 (-a/eo juda)」がこのような方向性と伝達性という機能を持っているということから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は話し手と聞き手との関係性を表わす表現としての機能をもっていると述べている。「아/어 주다 (-a/eo juda)」の関係性について以下の用例を用いて述べることにする。

(37) 영수가 대신 가 주었다.

ヨンスが代わりに行ってくれた。

(38) 새로 나는 가지는 버팀 기능을 만들어 묶어 주어야 한다.

新しく出てくる枝は突っ張り機能を作って縛ってあげなければならない。

(39) 사장님은 직원들을 칭찬해 주었어요.

社長は職人達をほめてあげました。

(37)は「ヨンスが誰かに代わってどこかに行った」という事実を「아/어 주다 (-a/eo juda)」を通じて、「誰かのために」という意味機能と共に「ヨンス」と「誰か」との関係性を表わしている。

(38)は、「枝のために突っ張り機能を作る」という行為者と枝との間にはある種の擬人的な関係性が生じると解釈できる。また、(39)は、社長の「ほめる」という行為を「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現することにより、社員との関係性が把握できる表現になると述べている。

つまり、「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現することにより、話し手と聞き手(あるいは話し手と関係する物)との関係性がより明確になるのである。以下は「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現するか否かによってその意味が大きく異なることを明確に表わしている用例である。

以下の(40)は、扇風機をつけるという行為が及ぶ対象が定かではないことが分かる。つまり、特定の誰かを対象に話しているのか、不特定多数が対象なのか不明である。一方、(41)は、扇風機をつける行為が及ぶ対象が特定される。つまりある個人または不特定多数ではなく、一つのある特定された範囲を示している。

(40) 선풍기 틀까?

扇風機つけようか?

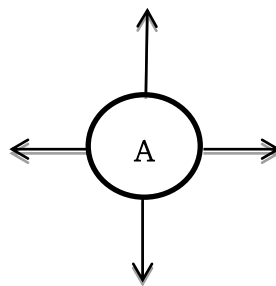
(41) 선풍기 틀어 줄까?

扇風機つけてあげようか?

上記の用例を図式すると以下のようなになる(노채환(2006))。

선풍기 틀까?

(扇風機つけようか?)



A : 発話者

→ : 対象との関係

선풍기 틀어 줄까?
(扇風機つけてあげようか?)

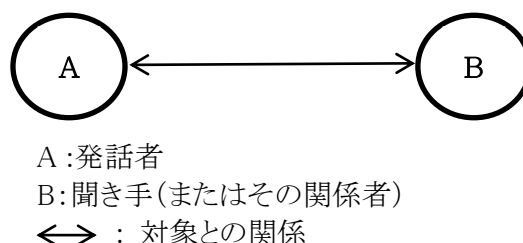


図 2 - 3 「아/어 주다 (-a/eo juda)」の話し手と聞き手の関係性

上記の図式は、「선풍기 틀까?(扇風機つけようか?)」という表現は、扇風機をつけるという行為者 A の行為が及ぶ対象が指定されていないことを表す。一方、「선풍기 틀어 줄까?(扇風機つけてあげようか?)」の場合は、話し手である「A」の行為が及ぶ対象が「B」として活性化され、両者が関係性を持つことを表している。

노채환(2006)を参考に、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の関係性について確認した。「아/어 주다 (-a/eo juda)」は本動詞「주다 juda」が持っている方向性と伝達性という意味機能を受け継ぐことにより、話し手と聞き手との関係性という機能を担っていることである。関係性を表すということは、結局のところ、話し手と聞き手とのある種の親近感を表すことであり、さらに、動作主の動作が特定された相手に向かって(方向性)伝達する(伝達性)という意味にも通じる機能とも言えよう。

このような「아/어 주다 (-a/eo juda)」は話し手と聞き手との関係性を表わすということから、話し手に受益が生じない場合において「아/어 주다 (-a/eo juda)」文を用いて表現する理由について、次のような仮説を立てることができるものと考えられる。(30)の話し手であるアナウンサーが「ニンニクを簡単にむく」方法について説明する場面では、リスナーのそれぞれの動作によって話し手であるアナウンサーには受益が生じるわけではない。そこで用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は受益性のない「期待充足」の意味を表す表現であって、話し手と聞き手との関係性を表すために用いられているのではないかと推察される。

この仮説を検証するためには、話し手に受益が生じる場合だけでなく、聞き手に受益が生じる場合についても調査の対象として、分析、考察する必要がある。そこで、本研究では、第 4 章、第 5 章、第 6 章において、これまで言及されていなかった「아/어 주다 (-a/eo juda)」の新たな機能について言及することにする。

2.4 まとめ及び本研究の分析対象

本章は日韓両言語の授受表現に関する先行研究を概観した。テモラウ文について、意味的及び語用論的特徴、ヴォイスとモダリティとの関係について確認した。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」については、意味的特徴及び「아/어 주다 (-a/eo juda)」の機能である「関係性」について確認した。「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴である、①受益性、②期待充足を持つ用例を日本語の授受表現を用いて訳してみたところ、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は日本語の「～てやる」、「～てくれる」、「～てもらう」といういずれの授受表現でも訳すことが可能であることを確認された。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の主語は有情物しか共起できず、無情物や自然現象とは共起不可能であることを確認した。しかし、「꽃이 피 주었다.(花が咲いてくれた)」のような表現は、「花」を擬人化して話し手と「花」との関係性について比喩表現として表わすことは可能であるということが分かった。さらに、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、話し手と聞き手との関係性を表わす機能を担っているということを確認した。

しかし、先行研究において、韓国語の授受表現についてのヴォイスとモダリティとの関係に関するものは見当たらなかった³²。それは、韓国語のヴォイスとモダリティ表現には「아/어 주다 (-a/eo juda)」では対応できないということが理由と考えられる。前述した日本語の用例を用いて韓国語との対応関係を確認する。

³² 박형익(1989)は以下の例を挙げ、授受表現と使役表現を比較分析しているが、主に本動詞である「주다 juda」を中心に述べている。

- 1) a. 철수가 영화를 감동 시켰다.
(直訳)チョルスがヨンヒを感動させた。
- b. 철수가 영화에게 감동을 주었다.
(直訳)チョルスがヨンヒに感動をあげた。
(意訳)チョルスがヨンヒに感動を与えた。
- 2) a. 철수가 영화를 아프게 만들었다.
(直訳)チョルスがヨンヒを痛くさせた。
- b. 철수가 영화에게 아픔을 주었다.
(直訳)チョルスがヨンヒに痛みをあげた。
(意訳)チョルスがヨンヒに傷つけた。

(1a)は、「철수(チョルス)」が「영화(ヨンヒ)」に「感動を与えた」ということを「시키다(させる)」という使役表現を用いて表現した例文である。(1b)は日本語の「～あげる」に直接対応する「주다 juda」という授受表現の本動詞を用いて(1a)と同じ意味を表している。(2a)は、「철수(チョルス)」が「영화(ヨンヒ)」に「傷つけた」ということを「～게 만들다(させる)」という使役表現を用いて表現した例文である。また、(2b)は「주다(juda)」を用いて(2a)と同じ意味を表している(박형익(1989))。

(8)´ 何の連絡もなく勝手に会社を休んでもらっちゃ困るよ。

*아무 연락도 없이 멋대로 회사를 쉬어 주면 곤란해.

(直訳)何の連絡もなく勝手に会社を休んでくれちゃ困るよ。

(11)´ 宿題をやっていない人には、そうじをしてもらう。

*숙제 안 한 사람에게는 청소해 받 을거야/줄 거야.

(直訳)宿題をやっていない人には、そうじをしてもらう/してくれる。

(8)´は、日本語ではテモラウを使って間接受身文として表現できるのに対して、韓国語では「아/어 주다 (-a/eo juda)」を使っての表現では文法的に不適格的な文となってしまう、以下のように「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いない表現にすると適格になる。また、(11)´で用いられるテモラウに関しても、「아/어 주다 (-a/eo juda)」では対応できず、以下のように命令表現を使わなければならない。このようなことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」とヴォイスとモダリティとの比較分析を行った研究が見当たらないのではないかと考えられる。

(8)´´ 아무 연락도 없이 멋대로 회사를 쉬면 곤란해.

何の連絡もなく勝手に会社を休んじゃ困るよ。

(11)´´ 숙제 안 한 사람은 청소해.

宿題をやっていない人は、そうじをして。

以上で述べた日韓両言語の授受表現の先行研究を踏まえ、本研究の対象である話し手に受益が生じない場面において用いられるテモラウ文について、受益性の有無、対人関係に関する意識の在り方の検証を行うことにする。また、韓国語の授受表現においては、従来の研究では、話し手に受益が生じる場面において使われる「아/어 주다 (-a/eo juda)」についてのもが多く、話し手に受益が生じない場面において用いた表現に関するものはほとんどない。そこで、日韓両言語を対象に、話し手に受益が生じない場面を設け、そこで用いられる表現について調査し、日韓両言語における類似点及び相違点について分析、考察することにする。

このような日韓対照研究を通じて、テモラウ文の特徴がより明らかになるものと考えられる。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」文をテモラウ文と比較分析することにより、従来の研究が言及していない「아/어 주다 (-a/eo juda)」の特徴についても言及できるものと考えられる。

第3章 予備調査

3.1 はじめに

まず、以下のテモラウ文から見ていただきたい。

- (1) 私の部屋、自由に使ってもらっていいよ。

上記の用例は聞き手に「部屋を使っていい」という許可を与えるいわゆる「許可表現」である。許可を与える側である話し手がテモラウを用いて表現している。相手が「部屋を(自由に)使う」ことにより、許可を与える側である話し手には直接的な受益が生じるわけではなく、むしろ部屋を使う相手に受益が生じるだろう。

(1)のような表現を韓国語にすると、以下の(1a)のように許可表現では言えても、(1b)のように授受表現では言えない。

- (1)a 내 방 자유롭게 써도 돼.
nae bang jayuropge sseo-do dwae.
私-GEN 部屋 自由-に 使っても いいよ。
(直訳)私の部屋自由に使ってもいいよ。

- b *내 방 자유롭게 써 줘도 돼.
nae bang jayuropge sseo jueodo dwae.
私-GEN 部屋 自由-に 使って くれて-も いいよ。
(直訳)私の部屋自由に使ってくれてもいいよ。

それでは、(1)のような、韓国語の授受表現には対応できないテモラウ文を韓国語ではどのように表現しているのか。本章では、2つの予備調査について報告する。まず、1つ目は、日韓両言語の対応関係を分析したコーパスを対象に考察したものである。日韓両言語のコ

一パスによる調査を行い、テモラウ文と韓国語の基本的な対応関係が確認され、本調査の議論の基礎的な部分となった。

もう1つは、上記の予備調査①により韓国語の授受表現には対応しないテモラウ文が確認されたことから、そのようなテモラウ文についての韓国人日本語学習者の使用頻度について予備調査②を実施し、分析したものである。

このような2つの予備調査により、テモラウ文は韓国語の授受表現の機能とは異なる機能を有していると予測され、日韓両言語を対象に比較分析することによって、テモラウの特徴がより明らかになると確信が得られた。

3.2 予備調査① テモラウ文に対応する韓国語

第1章では日本語の「あげる」、「くれる」には韓国語の「주다(juda)」が、「もらう」には「받다(badda)」がそれぞれ対応している(表 1-1)。しかし、本動詞である「あげる」、「くれる」、「もらう」が授受補助動詞である「～てあげる」、「～てくれる」、「～てもらう」で使われた場合は〈表 1-1〉のような対応関係が当てはまらないことを確認した(表 1-2)。以下の用例を見よう。

(2) 太郎が 次郎に 本を 買ってあげた。

타로가 지로에게 책을 사 주었다.

taro-ga jiro-ege chaek-eul sa jueossda.

太郎-NOM 次郎-DAT 本-ACC 買ってあげる-PST

(直訳) 太郎が次郎に本を買ってあげた。

(3) 太郎が 次郎に 本を 買ってくれた。

타로가 지로에게 책을 사 주었다.

taro-ga jiro-ege chaek-eul sa jueossda.

太郎-NOM 次郎-DAT 本-ACC 買ってくれる-PST

(直訳) 太郎が次郎に本を買ってくれた。

(4) 次郎が 太郎に 本を 買ってもらった。

*지로가 타로에게 책을 사 받았다.

taro-ga jiro-ege chaek-eul sa badassda.

次郎 -NOM 太郎 -DAT 本-ACC 買ってもらう-PST

(直訳) 太郎が次郎に本を買ってもらった。

日本語の「～てあげる」、「～てくれる」は「아/어 주다 (a/eo juda)」が対応するものの、「～てもらう」は「아/어 받다(a/eo badda)」が対応せず、「아/어 받다(a/eo badda)」で表現すると文法的に不適格な文になってしまうのである。

林(2009)では、日韓並列コーパス³³を対象に日本語のテモラウ文に対応する韓国語について調査を行った。

日本語のテモラウ文 95 例について韓国語と対応させたところ、以下の〈表 3-1〉のようになり、「～てくれる」に相当する韓国語の授受表現である「아/어 주다 (a/eo juda)」が対応しているものが 60 例(61.9%) 現れた。次いで、本動詞の「받다 badda(もらう)」が 5 例(5.2%)、「아/어 달다 eo dalda(てくれる)」³⁴が 3 例(3.1%)、「얻다 eodda(もらう)」が 2 例(2.1%)の順に対応関係が見られた。しかし、授受表現では対応していない、つまり授受表現を使わない例が 25 例(25.8%)あることが判明した。

表 3-1 「～てもらう」の韓国語訳

「～てもらう」に対応する韓国語	数	%
① 아/어 주다 a/eo juda(～てくれる)	60	61.9
② 받다 badda(もらう)	5	5.2
③ 아/어 달다 a/eo dalda(～てくれる)	3	3.1
④ 얻다 eodda(もらう)	2	2.1
⑤ 授受表現に対応しない例(表 3-2)	25	25.8
合計	95	100

³³ 高麗大学日語日文学科李漢燮教授の研究室の日本語コーパスを使用した (<http://www.transkj.com>)。このコーパスには日本語の小説やエッセイの韓国語訳が掲載されている。最終アクセス日は 2009 年 7 月 14 日である。

³⁴ 林八龍(1980)は「아/어 달다(a/eo dalda)」文について、一方的な願望・命令の意でしか使われていないと述べているが、この定義には若干の問題点があると思われる。つまり、「아/어 달다(a/eo dalda)」文は第 3 者への依頼表現や話し手に依頼されたこと又は話し手が依頼したことを引用して述べる場合にも用いられており、この場合の「아/어 달다(a/eo dalda)」文は日本語の話し手に依頼されたこと、または話し手が依頼したことを引用して述べるときに使用される「～てもらう」、「～てくれる」との対応関係が認められる。「아/어 달다(a/eo dalda)」の用法やそれに対応する日本語に関する研究は今後の課題としたい。

テモラウに一番多く対応している韓国語の授受表現は「～てくれる」の意味を持つ「아/어 주다 (a/eo juda)」であり、典型的なものは以下の(5)、(6)のような例文である。

- (5)a (私は) (お父さんに) 携帯電話を 買って もらいました。
 b 아버지는 저에게 휴대전화를 사 주셨습니다.
 abeoji-neun jeo-ege hyudaejeonhwa-leul sa jusyeosseubnida.
 お父さん-NOM 私-DAT 携帯電話-ACC 買う くださる-PST
 (直訳)お父さんは私に携帯電話を買ってくださいました。
- (6)a 座席を 替えて もらえますか。
 b 자리를 바꿔 주시겠습니까?
 jali-leul bakkwo jusigesseubnikka?
 席-ACC 替える くださる Q
 (直訳)座席を替えてくださいますか。

林八龍(1980)などが述べているように、本動詞である「～もらう」には、本動詞である「받다 badda (～もらう)」が対応しているが、授受補助動詞である「～てもらう」には、「받다 badda(～もらう)」の授受補助動詞の形である「아/어 받다(a/eo badda)」では対応できない。このことから、韓国語では、(5)、(6)のようなテモラウ文は、主語と動作主の格関係を替えて、つまり「～てもらう」を「～てくれる」に替えてから、「～てくれる」に対応する「아/어 주다 (a/eo juda)」を対応させる必要がある。テモラウに「아/어 주다 (a/eo juda)」が一番多く対応した理由は、このような日韓両言語の授受表現の対応関係のずれによるものと考えられる。

また、日本語では以下の「診察してもらう」や「認めてもらう」のように「もらう」の授受補助動詞を用いて表現する事柄を韓国語では「진찰을 받다(診察を受ける)」、「인정받다(認定される)」のように、「받다(badda)」という本動詞だけを用いて表現している。

- (7) 早く 診察 してもらい たいのですが。
 급히 진찰을 받고 싶은데요.
 geubhi jinchal-eul badgo sip-eundeyo.
 急ぐ 診察-ACC 受ける ~たい-のですが。
 (直訳)急いで診察を受けたいのですが。

- (8) 川端は このように 世界的に 彼の 文学性を 認めて もらったが。
가와바타는 이렇듯 세계적으로 그 문학성을 인정 받았지만.
gawabata-nen ireohdeus segejeok-euro gu munhakseong-eul Injeong bad-assjiman.
川端-TOP このように 世界的に その 文学性-ACC 認定 もらう-PST-が
(直訳) 川端はこのように世界的に彼の文学性を認定を受けたが。
(意識) 川端はこのように世界的に彼の文学性を認められたが。

今回のコーパス分析の結果、<表 3-1>の通り、①「아/어 주다 (a/eo juda)」が対応しているものが 60 例(61.9%)で一番多く現れたが、⑤「授受表現に対応しない例」、つまり韓国語では授受表現ではなく他の言語形式を用いて表現されている例が全体の 25.8%と 2 番目に多く、この点は興味深い。韓国語では授受表現ではなく他の言語形式を用いて表現されているテモラウ文を分析したところ、以下のような類型のものであった。

表 3-2 韓国語の授受表現に対応しないテモラウ文

ア	第三者への「命令」を表す「~てもらう」
イ	話し手の「意志」を表す「~てもらう」
ウ	「許可」を求める場合の「~てもらう」
エ	聞き手の受益を表す「~てもらう」

上記<表 3-2>のア～オについては、日本語では「~てもらう」で表現しているが、韓国語では授受表現で表現していない。つまり、「第三者への「命令」を表す「~てもらう」」は韓国語では命令表現を用いて表現しており、「話し手の「意志」を表す「~てもらう」」は意志を表す表現を用いて表現している。また、「許可」を求める場合の「~てもらう」」は許可を求める表現ではなく、当該の行動をすることが可能なかという可能表現で表現している。さらに、「聞き手の受益を表す「~てもらう」」は一般動詞を用いて表現している。

以下からはそれぞれの「~てもらう」文に対応する韓国語での表現に焦点を当てて述べる。

ア) 第三者への「命令」を表す「~てもらう」

以下の例のように日本語では、聞き手に対して第三者にステージから降りてくるように命令する場合であっても「~てもらう」という表現形式を用いることがあるのに対し、韓国語ではそのような表現形式を用いることはない。

- (9) とにかく このステージには 合わないわ。 直ちに 降りてもらって。
 아무튼 이 무대에는 어울리지 않아. 당장 내려오라고 해.
 amuteun i mudae-enen eoulliji anha dangjang naelyeoolago hae.
 とにかく この舞台-には 合わない。 直ちに 降りて来いと 言え。
 (直訳)とにかくこの舞台には合わない。直ちに降りて来いと言え。

イ) 話し手の「意志」を表す「~てもらう」

以下の例は話し手が「もうけたい」という意志をテモラウを用いて表現しているのに対して、韓国語では直接的に意志表現で表わしている。

- (10) あしたの 大和の市で ひとつもうけ させてもらわにゃ。
 내일 대화장에서 한 몫 벌어야 겠네.
 naeil daehwajang-eseo han mogs beoleoya gessne.
 あした 大和の市-で ひとつ もうけ しなきゃね。
 (直訳)あしたの大和の市でひとつもうけしなきゃね。

ウ) 「許可」を求める場合の「~てもらう」

以下の例のように、日本語では聞き手に許可を求めるのにテモラウを用いているが、韓国語では「(私が) 部屋を見ることができますか」のように直接的な表現になっている。

- (11) 部屋を 見せてもらえますか。
 방을 볼 수 있을까요?
 bang-eul bol su isseulkkayo?
 部屋-ACC 見ること-が できますか。
 (直訳)部屋を見ることができますか。

エ) 聞き手の受益を表す「~てもらう」

以下の例は親に反発する子供に対する親からの表現であるが、日本語ではテモラウ文で表現しているのに対して、韓国語では授受表現ではなく、一般動詞を用いて表現している。

- (12) でいったい誰に育ててもらったんだ。
 그래 대체 기르긴 누가 기르구?
 geulae daeche gileugin nuga gileugu?
 で いったい 育てたの-は 誰-NOM 育てたのさ。

(直訳)でいったい誰が育てたのさ。

以上、「～てもらおう」とそれに対応する韓国語の授受表現について述べてきた。日韓両言語の授受表現の本動詞は非常に似ているものの、授受補助動詞として使われる場合には多くの相違点が見られた。韓国語の授受表現とテモラウは、その使い方が全く同じというわけではないことが確認された。特に興味深いのは、日本語ではテモラウ文で表現しているものが、韓国語では授受表現以外の普通の動詞を用いて表現しているものが多くみられるという点である。このことは日韓の授受表現の使用の仕方に対する大きな相違点ではないかと考えられる。

ただし、上記の、ウ)の「許可」を求める場合の「～てもらおう」、オ)の「聞き手の受益を表す「～てもらおう」」は以下のように「～てくれる」に対応する「아/어 주다 (a/eo juda)」でも言えることがわかる。

(11) 部屋を見せてもらえますか。

방을 보여 줄 수 있어요?
bang-eul boyeo jul su isseoyo?
部屋-ACC 見せて くれる ことが できますか。

(12) 誰に育ててもらったんだ。

그래 대체 기르긴 누가 길러 줬지?
geulae daeche gileugin nu-ga gilleo juwossji?
でいったい 育てたの-は 誰-NOM 育てて くれたんだ。

(11)は、部屋を見せてもらおう話し手に受益が生じることから「～てくれる」に対応する「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現できるものと考えられる。(12)は場面から考えると子供を育てた「親」には受益が生じず、「子供」に受益が生じる。しかし、話し手である「親」側から「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現可能であり、このことから、韓国語でも話し手に受益が生じない場面においても話し手は「아/어 주다 (a/eo juda)」を用いて表現できるのではないかとということが予測される。なお、「아/어 주다 (a/eo juda)」が使用可能である場合でも、一般的には他の表現を用いて表現されているということから、韓国語では日本語より「아/어 주다 (a/eo juda)」を好んで用いられていないのではないかと考えられる。

次に、韓国語を母語とする韓国人日本語学習者における、テモラウ文の実際の使用頻度等を確

認する。このことにより、テモラウの性格がより明らかになるものと考えられる。

文法等が日本語と非常に似ており、かつ授受表現を有する、韓国語を母語とする韓国人日本語学習者は、目標言語である日本語の発話に際して、韓国語をそのまま日本語に単純に置き換えてしまう傾向がみられる。学習の初級レベルにおける簡単な内容の伝達においては、そのような置き換えによる発話であっても文法的及び意味的に間違ふことは少ない。しかし、上級レベルになれば、そのような単純な置き換えでは正確な意味の伝達に支障が生じると考えられる。また、反対に、目標言語である日本語の影響を受け、当該日本語をそのまま韓国語に置き換え、本来の韓国語としては文法的に不適格な表現である場合でも、そのような表現を間違いだという自覚を持たず、使っている学習者もよくみられる。例えば、以下(13)は韓国人日本語学習者同士の会話である。

(13) A: 김치 어디서 샀어?

gimchi eodiseo sasseo?

(直訳)キムチどこで買ったの?

B: *한국에 있는 엄마한테서 부쳐 받았어.

hangug-e issneun eomma-hanteseo buchyeo badasseo

(直訳)韓国にいる母から送ってもらったの。

「キムチどこで買ったの?」という質問に対して、「韓国にいる母から送ってもらったの」という趣旨の返答をしている。この趣旨を表すため、「～もらう」という日本語に影響を受け、「받다 badda(～もらう)」の授受補助動詞の形である「아/어 받다(a/eo badda)」を用いている。しかし、前述したとおり、「～もらう」に「아/어 받다(a/eo badda)」は対応できず、韓国語では不適格な文となる。(13)の「김치 어디서 샀어?(キムチどこで買ったの?)」に対する文法的正しい答えは、「한국에 있는 엄마가 부쳐 줬어(韓国にいる母が送ってくれたの)」である。

外国語を学ぶ際、母語に影響されるということを習得研究では転移または干渉(interference)として捉えている。それは、学習者の母語と目標言語の文法及び表現における相違点または類似点が学習者の学習に影響するという仕組みが、学習を促す正の転移(positive transfer)として作用するのか、または学習を妨げる負の転移(negative transfer)として作用するのかということである。しかし、韓国語と日本語の関係は、学習者の母語が目標言語に影響を与えるだけでなく、上記の(13)のように、目標言語が反対に学習者自身の母語に影響するぐらい酷似している。尹(2014)もこのような転移のことを「逆転移」と呼んでいる。

次節では、上記の日韓両言語の授受表現の相違点及び類似点を踏まえ、韓国語の授受表現に対応しないテモラウについての韓国人日本語学習者の使用状況等に関する調査結果について考察する。

3.3 予備調査② 日本語母語話者と韓国人日本語学習者のテモラウの使用状況

前節では日韓両言語の授受表現には類似点が多く見られるが、全く同じというわけではな
いということを確認した。

次の(14)と(15)は韓国語の授受補助動詞とは対応しない、話し手の「願望」や「許可」を表
す際のテモラウ文の例である。

(14) [市民のタイガーウッズへのコメント]

反省すべきものは反省してきちんと出直してもらいたいですね。

「ニュースウォッチ9」(NHK ニュース番組 2009年11月17日放送)

(15) [民宿を営んでいる人のコメント]

食材も全部持ってきてもらっていいですよ。

「ラジオビタミン」(NHK ラジオ番組 2009年12月24日放送)

(14)と(15)のようなテモラウ文は様々な場面で使われているが、韓国人日本語学習者は
(14)と(15)のようなテモラウ文をどの程度使用しているのだろうか。本節では、林(2010a)を
参考に、日本語母語話者と韓国人日本語学習者を対象にテモラウ文の使用頻度について
調査し、比較分析を行う。

3.3.1 調査の方法

日本語と韓国語は文法的にも類似点が多く、韓国人日本語学習者は他の母語話者より、
日本語の学習の上達が早いと言われている。しかし、似ていることによる習得のし易さが必ず
しも良いことばかりをもたらすとは限らないのではないか。ある程度コミュニケーション能力が
付いて意思疎通に不自由を感じない段階に達すると、それ以上は韓国語の表現をそのまま
日本語に置き換えて表現して済ませてしまっているのではないだろうか。勿論、意味さえ伝達
できればそれでも良いという考えもあるだろう。しかし、より微妙なニュアンスを表わす表現を

必要とする学習者にとっては文法的な適格性だけではなく表現形式の背景にある日本語母語話者の意識まで知っておいた方が良いと考える。日本語母語話者がテモラウを用いて表現している背景を知ることにより、そのような背景を含めた表現が日本語の特徴であることを学習者に意識化させることにより、適切な場面においてより微妙なニュアンスを表現できるようになることが期待される。

そこで、まず、日本語ではテモラウ文とそうでない文でも同じ意味を表すことのでき、かつ韓国語では授受表現では表現できないような場面を 3 つほど設定して、韓国人日本語学習者を対象にテモラウの使用状況について調査を行った。また日本語母語話者に対しては、テモラウ文とそうではない文のどちらをより好んで使っているのか、またその理由は何かについて調査を行った。これにより日本語母語話者における対人意識による表現形式の現れ方について考察した。

以下の 3 つの場面を設定し、韓国人日本語学習者(日本語で論文を書いたり、発表できる程度の高い日本語能力を持っている修士・博士過程在学中の韓国人) 60 人に対しては、以下の場面を見せて、実際に場面中の話し手になった場合には、どのように答えるのかを日本語と韓国語でそれぞれで答えてもらうという方法により調査を行った³⁵。一方、日本語母語話者 110 人に対しては、あらかじめ設定したテモラウ文(①)とそうではない文(②)の 2 つの文から、どちらか 1 つを選択してもらうという方法により調査を行った(後記〈表 3-3〉)。

³⁵ 調査に関する詳細は「参考資料 I」を参照されたい。

場面Ⅰ. 第3者への依頼表現



〔先生の推薦状を必要とする奨学金の申し込みに来た学生に対して事務の人が〕

【事務の人】

- ①(先生に)推薦状書いてもらってきてください。
- ②(先生に)推薦状をもらってきてください

場面Ⅱ. 第3者への願望表現



〔試合に臨む浅田真央についてコメントを求められて〕

【市民】

- ①真央ちゃんには是非頑張ってもらいたいですね
- ②真央ちゃん、是非頑張ってくださいね

場面Ⅲ. 聞き手への許可表現



〔上司が遅くまで働いている部下に対して〕

【上司】

- ①先に帰ってもらっていいよ。
- ②先に帰っていいよ。

上記の3つ場面の、①については日本語では授受表現を用いて表現しているが、韓国語では日本語のように授受表現では表現できない場面である。ⅠからⅢの場面の①について韓国語の授受表現を用いて無理に当てはめて表現した場合、以下ようになり、不適格な文となる。

- ・場面Ⅰ. 선생님께 추천서를 (*써 받아서/*써 줘서) 오세요.
seonsaengnim-kke chucheonseol-eul (*sseo bad-aseo /*sseo jwoseo) oseyo.
先生-に 推薦書-を (*書いてもらって/*書いてくれて) きてください
- ・場面Ⅱ. *마오짱에게는 열심히 해 받고 싶어요.
maojjang-egeneun yeolsimhi hae badgo sip-eoyo
*真央ちゃん-には 頑張って して もらい たいです。
- ・場面Ⅲ. 먼저 (*가 받아도/*가 줘도) 돼요.
meonjeo (*ga bad-ado/*ga jwodo) dwaeyo.
先に (*帰ってもらっても/*帰ってくれても) いいですよ。

3.3.2 調査の結果及び考察

調査結果をまとめたものが、〈表 3-3〉である。

表 3-3 日本語母語話者と韓国人日本語学習者のテモラウ文の使用頻度の比率
(単位：%、名)

対象 場面	日本人 (110名)	韓国人 (60名)		
Ⅰ 第三者への 依頼表現	①先生に推薦状を書いても らってきてください	74% (82)	テモラウ文	12% (7)
	②推薦状をもらってきてくだ さい	26% (28)	テモラウ文以外	88%(53)
Ⅱ 第三者への 願望表現	①真央ちゃんには是非頑張 ってもらいたいですね	88% (97)	テモラウ文	1% (1)
	②真央ちゃん、是非頑張っ てくださいね	12% (13)	テモラウ文以外	99%(59)
Ⅲ 聞き手への 許可表現	①先に帰ってもらっていいよ	37% (41)	テモラウ文	0% (0)
	②先に帰っていいよ	63% (69)	テモラウ文以外	100%(60)

〈表 3-3〉から、日本語母語話者はⅠの場面で7割強、Ⅱの場面では9割弱がテモラウ文を選択している。また、Ⅲの場面においても4割弱がテモラウ文を選択しており、日本語母語話者はテモラウを用いての表現の方が使わない表現より多いことが分かった。これに対し、韓国人日本語学習者はテモラウを殆ど用いていないということが確認された。以下からは、3つの

場面における韓国人日本語学習者の答えを中心に確認する。³⁶

1) 第3者への依頼表現

I の場面は、大学の事務の人が先生の推薦状を必要とする奨学金の申し込みに来た学生に対して、先生に推薦状を書いてもらってくるように依頼する場面である。日本語母語話者は110人中、82人が「先生に推薦状を書いてもらってきてください」を選択している。一方、日本語の自由記載において韓国人日本語学習者は60人中、「先生に推薦状を書いてもらってきてください」とテモラウを用いた表現で回答した者は7人のみで残りは、テモラウを用いた表現ではなかった。それらは殆どが以下のようなものであった。

- ・ 推薦状を持ってきてください。
- ・ 先生に推薦状をもらって提出してください。
- ・ 担当教員から推薦状をもらって提出してください。
- ・ 指導教員のサインをもらってからもう一度来てください。
- ・ 推薦状がないんですけど。

調査結果から、韓国人日本語学習者は授受動詞を補助動詞として使うのではなく本動詞として使っていることが非常に多いということが分かった。それは、やはり韓国語の影響を受けているからではないかと推測される。つまり、韓国語では、「先生に推薦状を書いてもらってきてください(*선생님께 추천서를 써 받아 오세요)」のような、テモラウ文の補助動詞としての表現がないため、「推薦状をもらってきてください(추천서를 받아 오세요)」「推薦状を持ってきてください(추천서를 가지고 오세요)」のように本動詞を用いたり、他の動詞を用いているものと考えられる。しかし、このような表現を用いると意味は通じるが、まるで先生が推薦状を持っているかのような誤解が生じるおそれがある。

また、同じ被験者による韓国語の自由記載についても以下のようなものであり、授受表現は用いていなかった。

³⁶ 詳細については林(2010a)を参照されたい。

- 추천서 가지고 오세요.(推薦狀を持ってきてください³⁷)
- 추천서가 없네요.(推薦狀がないんですけど)
- 교수님한테서 추천서를 받아서 제출해 주세요.(先生に推薦狀をもらって提出してください)
- 지도교수님한테서 추천서를 받아 와서 제출해 주세요.(指導教授から推薦狀をもらってきて提出してください。)
- 지도교수님께 싸인을 받아서 한 번 더 오세요.(指導教授のサインをもらってからもう一度来てください)

上記の韓国語は日本語での答えとそれほど差がさく、殆ど日本語と同じである。このようなことから、韓国語をそのまま日本語に訳して答えたものと考えられる。

2) 第3者への願望表現

Ⅱの場面は、世界フィギュア選手権大会に参加する予定の浅田真央(韓国人日本語学習者にはキム ヨナ)についてコメントを求められた場面である。日本語母語話者は110人中、97人が「真央ちゃんには是非頑張ってもらいたいですね」を選択している。一方、日本語の自由記載について韓国人日本語学習者は60人中、ただ1人のみが「キム ヨナさんには頑張ってもらいたいですね」とテモラウ文で回答した。テモラウ文以外の回答はほとんどが以下のようなものであった。

- 優勝することを信じています。
- 良くやってくれることを信じています。
- 応援しますから、結果は気にせず頑張ってくださいね。
- いつも応援しますから、頑張ってくださいね。
- 優勝することを願っています。
- 是非応援している韓国人の国民のため、頑張ってください。
- いい結果を出すように頑張ればいいですね。

³⁷ 韓国語を理解してもらうために直訳をする。以下同様。

上記の回答の殆どが韓国語にそのまま置き換え可能なものであり、特に、「応援しますから、結果は気にせず頑張ってくださいね。」、「いつも応援しますから、頑張ってくださいね。」、「是非応援している韓国人の国民のため、頑張ってくださいね。」は、韓国語でもまったく同じ表現である。また、「いい結果を出すように頑張ればいいですね(좋은 결과를 내도록 열심히 하면 좋겠네요.)」は、日本語としては座りが悪いが、韓国語では自然な文であり、韓国語をそのまま日本語に置き換えて表現したものであると思われる。以下は上記の日本語の回答をした被験者の韓国語での表現であるが、これを見ても韓国語をそのまま日本語に置き換えたことが分かる。

- 우승하기를 바랍니다.(優勝することを願っています)
- 우승할 것을 믿습니다.(優勝することを信じています)
- 응원할 테니까 열심히 하세요.(応援しますから頑張ってくださいね)
- 우승하기를 기원합니다.(優勝するよう祈願します)
- 좋은 결과를 내도록 열심히 하면 좋겠네요.(いい結果を出すように頑張ればいいですね)
- 응원하는 우리나라 국민을 위해서 열심히 해 주세요.(応援している我が国の国民のために頑張ってくださいね)

また、上記の回答の中、「응원하는 우리나라 국민을 위해서 열심히 해 주세요.(応援している我が国の国民のために頑張ってくださいね)」以外の表現は、相手と自分との関係性は希薄であるというようなニュアンスが感じられる。「真央ちゃんには是非頑張ってもらいたいですね」のようなテモラウ文とは、相手との関係性という点から異なっていると考える。つまり、「真央ちゃんには是非頑張ってもらいたいですね」は話し手と「真央ちゃん」との間である種の関係性が生じるように思われる。しかし、韓国語の表現はそのような意味はない。たとえば、「좋은 결과를 내도록 열심히 하면 좋겠네요.(いい結果を出すように頑張ればいいですね)」という表現は話し手と「キム・ヨナ」との関係性は感じられない。

日本語母語話者の「是非頑張ってもらいたいですね」のようなテモラウ文が韓国人日本語学習者からの回答になかった理由としては、韓国語では第3者に対する話し手の願望は直接的な願望表現である「~기를 바라다(~することを望む)」、「~기를 원하다(~することを願う)」でしか表現できず、日本語のように「テモラウ+~タイ」のような授受表現

を用いての間接的な願望を表わす表現はないからであると考えられる。また、韓国語は第 3 者に対する願望を表す表現は他者のでき事として表現し、話し手との関係性は表現しにくいということもあるからではないかと考えられる。

最後にⅢの場面は、入社間もない新入社員が、深夜近くなっても退社しようとしなかったのを見た上司が新入社員に対して、先に帰るように許可を与える場面である。日本語母語話者は 110 人中、41 人が「先に帰ってもらっていいよ」を選択している。一方、韓国人日本語学習者の中で、テモラウ文を用いて回答した人は 1 人もいなかった。韓国語では、聞き手への許可をテモラウ文を用いて表す表現がないことがその理由であると考えられる。

なお、日本語母語話者には、さらに、Ⅲの場面においては、Ⅲ-1、「先に帰ってもらっていいよ」とⅢ-2、「先に帰っていいよ」のうち、どちらを上司から言われたいと思うか、また、その理由は何かについてもインタビューを行った。まず、上司からⅢ-1、「先に帰ってもらっていいよ」と言われたいと答えた被験者は 110 人中、78 人おり、最初の質問に対し「先に帰ってもらっていいよ」を選択した 41 人より多いことが分かった。78 人に対し、その理由について質問した。その結果、代表的な答えは以下のようなものであった。

Ⅲ - 1 「先に帰ってもらっていいよ」

- ・ 丁寧な言い方で良い印象を持つから。
- ・ 自分を丁寧に扱ってくれていると感じる。
- ・ 「てもらう」は敬語に入ると思うから。
- ・ 気遣いのあるソフトな表現だからである。
- ・ 「残業までしてくれてありがとう」と言われているような印象を受けるためである。
- ・ 相手を尊重して言っているように感じる。
- ・ 相手に対する気遣いを感じる。
- ・ 上司が部下に気を使っている様子が分かるため。
- ・ 自分に対して配慮してくれるような気がして気持ち的にはいい。

このような回答内容について、キーワードを抽出・整理して図にしたものが〈図 3-1〉である。「先に帰ってもらっていいよ」は、相手に「配慮」した表現に聞こえると回答した被験者が一番多く、次に、「丁寧」な表現、「良い印象」があるという順であった。

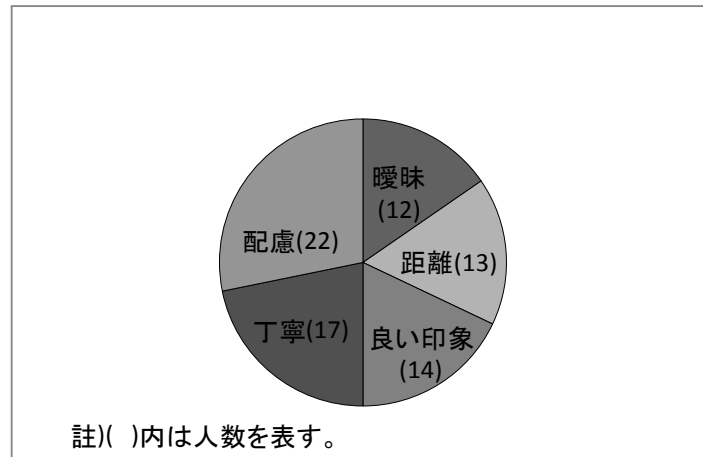


図 3-1 III-1 を選択した理由

次に、III-2の「先に帰っていいよ」については、先の質問で69人が選択したが、上司から言われたい場合として、これを選択した被験者は36人に過ぎなかった。36人に対し、その理由について質問した。その結果、代表的な答えは以下のようなものがあった。

III - 2 「先に帰っていいよ」

- ・ 分かり易いから。
- ・ 直接的ではっきりして気持ちがいい。
- ・ 「先に帰ってもらっていいよ」だと部下にとっても気を使っている感じがするから親近感がない。
- ・ 「帰ってもらっていいよ」は丁寧すぎて距離感を感じる。
- ・ テモラウをつけることで、丁寧に気を使われていて申し訳ない気持ちを受けるので嫌だ。
- ・ テモラウは丁寧すぎて他人事に聞こえるから。
- ・ 「先に帰っていいよ」の方が気楽に聞こえる。
- ・ 「先に帰ってもらっていいよ」は遠慮しているように聞こえるから嫌だ。

回答内容からキーワードを抽出・整理したものが〈図 3-2〉である。

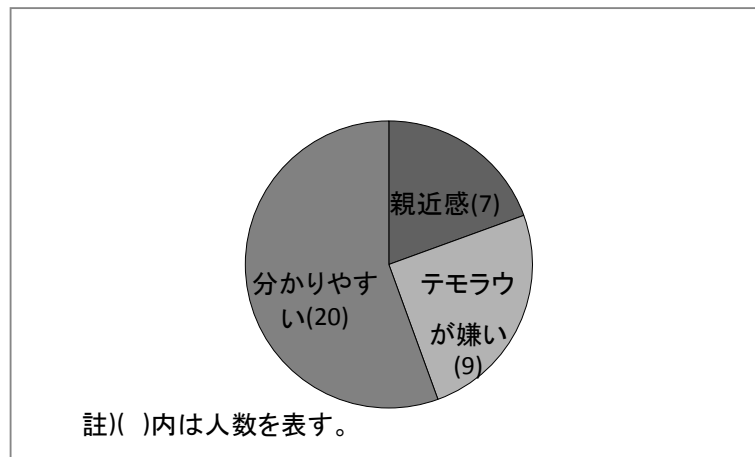


図 3-2 III - 2 を選択した理由

上記の回答からも分かる通り、「先に帰ってもらっていいよ」は、気を使っている様子/丁寧な言い方/気遣いを感じる/相手を尊重する表現であると答えた。また、テモラウで言われた方が気持ちが良いと答えた人もいれば、テモラウ文は丁寧すぎて「先に帰っていいよ」の方が分かりやすく、上司と親近感が感じられていいと答えた人もいたということが分かる。日本語母語話者において、テモラウ文より、「～ていい」の方を選択した者が多かったという結果であったが、これは、上司と部下との距離をどのように置きたいのかの違いに基づくものであって、テモラウ文は相手に対する気遣いや配慮または丁寧という意味まで含まれる言葉であるという認識はどちらを選択した日本語母語話者であっても共通したものであった。

一方、韓国人日本語学習者の回答は以下のとおり、「帰っていいですよ(가도 돼요)」、「先に帰って大丈夫だよ(먼저 가도 괜찮아)」、「帰らないんですか(안 가세요)」のような表現が多く、やはり、母語である韓国語の影響が多く感じられる答えであった。

- 가도 돼요. (帰っていいですよ。)
- 가는 게 좋지 않아. (帰ったほうがいいのでは。)
- 이제 귀가해 주세요. (そろそろ帰宅してください。)
- 오늘은 늦었으니까 갑시다. (今日は遅いから帰りましょう。)
- 오늘은 이 정도로 하고 들어 가. (今日はこれくらいにして帰りな。)
- 다음은 나한테 맡기고 먼저. (後は私に任せて先にどうぞ。)

- 빨리 가. (早く帰りなさい。)
- 이제 가지. 내일도 일찍이니까. (そろそろ帰ったら。明日も早い)
- 먼저 가도 돼요. (先に帰っても大丈夫だよ。)
- 안 가요? (帰らないんですか。)

場面Ⅰ、Ⅱと同様、韓国語の表現は話し手と聞き手との間に関係性が伝わらない。たとえば、「가는 게 좋지 않아. (帰ったほうがいいのでは。)」という表現はまさに話し手である上司と聞き手である部下との関係性が伝わっておらず、無関係に感じられる表現である。また、「이제 가지. 내일도 일찍이니까. (そろそろ帰ったら。明日も早い)」も上司は部下に対して心配しているような気持ちは伝わるが、「가다(行く)」、「내일도 일찍이다(明日も早い)」という表現自体上司とは無関係な行動であり、聞き手である部下だけに関係する表現であると思われる。一方、日本語では「先に帰ってもらっていいよ」という表現は「帰る」という行動は部下である相手であってもテモラウを用いて表現することにより、話し手と聞き手との双方間に関係性が感じられ、この点が韓国語と相違している。

以上、3つの場面において、日本語母語話者と韓国人日本語学習者のテモラウ文に関する使用頻度について分析を行った。その結果、3つの場面のいずれにおいても、日本語母語話者は殆どがテモラウ文を選択しているのに対して、韓国人日本語学習者は殆どテモラウを用いていないということが確認された。

白川(2007:176)は、ある形式を用いないこと背景には、難易度が高い形式を避けて、より簡単な形式で済ませようとする学習者の心理があり、よりの確な表現を使いたいという欲さえ出さなければ使わずに済むことができると述べている。もちろん、韓国人日本語学習者のテモラウの使用不使用は、このような学習者の心理も影響していると考えられるが、それ以上に韓国語と日本語の顕著な類似性による影響の方が大きいと考えられる。つまり、上記の場面における表現は、韓国語を単純に日本語に置き換えて表現しても文法的及び意味的にも不適格な文にはならないからである。

一方、日本語母語話者は話し手に受益が生じない依頼、願望、許可を表す場合であっても、テモラウを用いていることが分かった。日本語母語話者にはテモラウ文とそうではない文の二者択一という調査方法を採用したが、調査方法の影響を考慮に入れたとしても、殆どの被験者がテモラウ文を選択している。その結果には被験者に共通する一定の理由があると考え

べきである。その原因を究明することが本研究の課題であるが、第Ⅲの場面において、テモラウ文を選んだ被験者の答えに基づき仮説を立てれば、テモラウは、聞き手または第3者に対して配慮したいという話し手の気持ちから使われているということである。

予備調査により、本研究の対象であるテモラウの機能についてのこの仮説を検証するには、テモラウの文法的及び意味的な観点ばかりではなく、その言語形式を用いた話し手の気持ち(表現意識)に焦点を当て、考察する必要があるということが分かった。

3.4 まとめ

本章では、林(2009)を参考にテモラウとそれに対応する韓国語について、また林(2010a)を参考に日本語母語話者と韓国人日本語学習者を対象に行ったテモラウの使用頻度について行った予備調査の結果を紹介した。それをまとめると以下のようになる。

- 1) 日韓両言語の授受表現の本動詞は非常に似ているにもかかわらず、授受補助動詞として使われる場合には多くの相違点がみられた。コーパスを対象とした調査では、日本語のテモラウ文での表現に対し、韓国語では同様な授受補助動詞では対応せず、普通の動詞を用いて表現しているものが多くみられた。このことから、日韓両言語における授受表現の使用頻度の違いは文法的な違いによるものだけではなく、他の要素による影響も大きいのではないかと考えられる。
- 2) 韓国語の授受表現とは対応しないテモラウ文を①第3者への依頼表現、②第3者への願望表現、③聞き手への許可表現の3つに分類し、それぞれの意味に基づいた場面設定を行ない、日本語母語話者、韓国人日本語学習者それぞれに対して調査を行った。その結果、日本語母語話者の殆どはテモラウ文を用いているのに対して、韓国人日本語学習者はテモラウを殆ど用いていないことが分かった。
- 3) 日本語母語話者を対象に行った調査によって、テモラウを使った表現には、「配慮」、「丁寧」、「良い印象」というような感じがあるということが分かった。また、テモラウには相手との関係で、相手と「距離」を置くイメージもあるとの被験者もいた。

このような 2 つの予備調査により韓国語の授受表現とは異なる機能をテモラウ文は有していると予測され、日韓両言語を対象に比較分析することにより、テモラウの特徴がより明らかになるとの確信が得られた。

第4章 テレビとラジオにおけるテモラウ文と「아/어 주다 (-a/eo juda)」文 の使用実態調査

4.1 はじめに

第3章で紹介した予備調査では、テモラウは韓国語の授受表現である「아/어 주다 (a/eo juda)」に比べ、様々な場面において用いられていることを確認した。つまり、テモラウは、話し手に受益が生じない場面である「第3者への依頼表現」、「第3者への願望表現」、「聞き手への許可表現」においても用いられるのに対し、そのような表現に「아/어 주다 (a/eo juda)」は使用できず、韓国語では授受表現以外の他の表現形式を用いて表現する傾向があるということが判明した。そして、韓国人日本語学習者を対象に行ったテモラウ文の使用頻度に関する調査においても、このような、韓国語では授受表現以外の他の表現形式を用いるような場面に用いられるテモラウ文については、韓国人日本語学習者は殆ど使っていないという結果も得られた。

それでは、実際の場面においてはテモラウと「아/어 주다 (a/eo juda)」はどのように使われているのだろうか。まず、第4章では我々が日常生活でよく接しているメディア(ラジオとテレビ)での使用を確認することにする。その後、第5章では実際の日常場面で使われるテモラウ文と「아/어 주다 (a/eo juda)」文を確認し、第3章で行われた予備調査を参考に、両者の類似点、相違点を分析することによって、両者の特徴がより鮮明になるものと考えられる。

同一の言語形式であっても人間関係や場によってその表現形式は異なる。例えば、旅行に際しお土産を買って来る約束をするような場面においても、相手が仲の良い友達である場合は「お土産、買って来てあげる」と言えるが、相手が先生や上司の場合に、そのまま「あげる」の敬語表現である「差し上げる」を用いた「お土産、買って来て差し上げます」は文法的には正しくても、先生や上司に対する発話としては不適格なものになってしまう。このように、人間関係や場が授受表現の使用の適・不適に影響する。

第4章では、本研究が対象としているテモラウについて、どのような人間関係でどのような場面において用いられているのかを調べるため、メディアにおける2つの場면을対象に調査を行

った。

1つはテレビとラジオにおける専門家³⁸のアドバイスや市民に対するインタビューを中心に、もう1つは、テレビの「ショップチャンネル」における商品を売るアナウンサーとバイヤーの発話を中心として行ったものである。そして、調査の結果得られたテモラウ文について、話し手に受益が直接的に生じているのか、直接的な受益は生じていないが間接的には受益が生じているのではないかの視点を取り入れる。このような視点からテモラウ文を分析して、話し手に受益が直接的に生じていると考えられるテモラウ文を「直接テモラウ文」とし、直接的な受益は生じていないが間接的には受益が生じていると考えられるテモラウ文を「間接テモラウ文」としてそれぞれについて分析・考察した。また、テモラウ文を形態別にも分類して分析した。さらに、韓国語のラジオ番組に現れた「아/어 주다 (a/eo juda)」について分析し、テモラウ文と比較対照した。

4.2 節、4.3 節では「テレビ・ラジオ」でのインタビューや「ショップチャンネル」で現れたテモラウ文について分析し、考察する。4.4 節では韓国語の調査について分析し、考察を行う。

4.2 テレビ・ラジオにおけるテモラウ文

まず、以下の用例から見てもらいたい。(1)の用例はテレビのアナウンサーと消費者問題に詳しい弁護士との会話である。(2)はラジオのアナウンサーと島の人との会話である。

(1) [アナウンサー]

被害がないためにどのようにすればいいのでしょうか？

[弁護士]

まず、**お年寄り**が契約の意思がないことを明白に①伝えていただくのがいいと思います。従って、買うつもりがないのでお帰りくださいというふうにはっきり②おっしゃっていただくのがよろしいんじゃないでしょうか。従前よりも消費者被害の予防や救済のための規定が改正法に入りましたので心強いものになると思います。ただですね、たくさん量を買わされてしまうのはお年だと気づかないこともありますので**周りの方**がですね、③気配りをしていただきたいと思います。④気配りしていただいて、そういうのが

³⁸ ここで言う「専門家」とは、医者、弁護士、掃除の専門家などのことを示す。

ある場合は消費者生活センターに相談に⑤行っていたなどの配慮が必要ではないかと思います。

「ニュースウォッチ 9」(NHK ニュース番組 2009 年 11 月 12 日放送)

(2) [アナウンサー]

たこしゃぶって、たこをそのまましゃぶしゃぶにしちゃうんですか？

[島の人]

いいえ、そのままだと食べづらいので、これをですね、⑥解体していただいてですね、お刺身のように⑦切っていただいて、これをお湯で⑧しゃぶしゃぶにしていただいて、⑨召し上がるというかたちですね。

「ラジオビタミン」(NHK ラジオ番組 2010 年 2 月 10 日 放送)

上記の(1)、(2)の用例を動作主、当該動作、受益者の3つに整理すると、以下のようになる。

表 4 - 1 テモラウ文の動作主等の関係

動作主	当該動作の内容	受益者
①お年寄り	伝える	話し手？
②お年寄り	おっしゃる	話し手？
③周りの人	気配りをする	話し手？
④周りの人	気配りをする	話し手？
⑤周りの人	消費者生活センターに相談に行く	話し手？
⑥リスナー	解体する	話し手？
⑦リスナー	切る	話し手？
⑧リスナー	しゃぶしゃぶにする	話し手？
⑨リスナー	召し上がる	話し手？

上記の〈表 4-1〉から、(1)と(2)は話し手に当該動作が向けられていない、つまり、話し手は受益者ではないことが分かる。また、①から⑨のテモラウ文はテモラウを省略しても非文にもならないし意味も通じる。それにもかかわらずテモラウを使って表現していることには理由があるだろう。

4.2.1 テモラウ文の分類

テモラウ文には、従来の研究が述べているテモラウの基本的な意味的特徴である、話し手に受益が生じるとしているテモラウ文のほか、前節で話し手は受益者ではないテモラウ文が存在していることが確認された。従って、テモラウ文について検討を進めていくのに際しては、テモラウ文を大きくこの2つに分けて考察することが必要と考えられる。また、話し手は受益者ではないテモラウ文には間接的には相手の行為を受けて、話し手に受益が生じているのではないかと考えられるものもある。

テモラウ文について受益性という観点から、①話し手に直接的に受益が生じるもの、②話し手には受益が生じないもの、の2つに大きく分類した。ただし、②の中、間接的には話し手に受益が生じるのではないかと考えられるものがあることからそのようなものを③と分類した。①を直接テモラウ文、②及び③を間接テモラウ文と呼び、考察していくこととする。

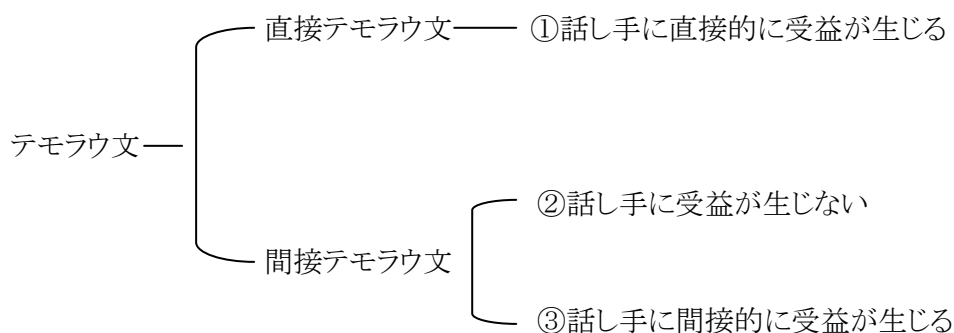


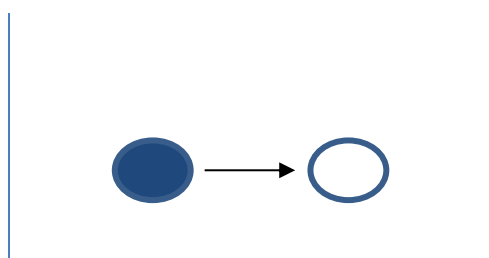
図4-1 直接テモラウ文・間接テモラウ文

話し手に直接的に受益が生じるテモラウ文と間接的に受益が生じるテモラウ文については、(3)、(4)の用例を用いて、考え方を以下のように整理した。

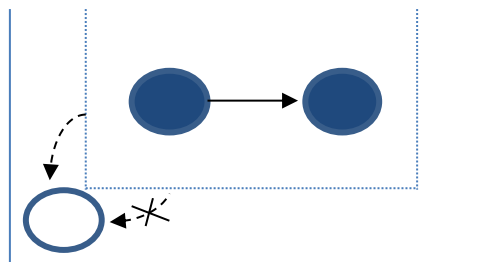
- (3) 私は先生に日本語を教えていただいた。
- (4) (私は)イチローには是非頑張ってもらいたいですね。

(3)と(4)は、動詞に「～てもらう」を接続して表すという形態的な特徴は共通しているものの、意味的な特徴は異なっている。即ち、(3)は「先生」が「日本語を教える」という動作を行うことによって、テモラウ文の話し手である「私」がその行為を直接的に受けるという関係であり、また、その行為によって話し手である「私」に直接的な受益が生じる関係である。一方、(4)は「イチロ

一」が「野球を頑張る」という動作は話し手である「私」に向けられたわけではない。つまり、動作主自身に向けられたことになり、テモラウ文の話し手である「私」は、間接的にその動作を受けて結果的に受益が生じたということを表しているものと考えられる。このような直接テモラウ文と間接テモラウ文の動作の方向性を図で示すと〈図 4-1〉のようになる。



直接テモラウ文



間接テモラウ文

図 4 - 2 直接テモラウ文と間接テモラウ文の動作の方向性

上記の〈図 4-2〉について簡単に説明する。まず、直接テモラウ文は動作主の動作によって話し手がその動作を直接に受け(影響される)、また、当該動作によって話し手に直接的な受益が生じる関係を表している。そして、間接テモラウ文は動作主が動作主自身に向けられたことになり、テモラウ文の話し手には間接的に当該動作を受けて結果的には受益が生じた(あるいは、生じなかった)ということを表している。

また、直接テモラウ文(3)は、(3)´のように対応するテクレル文が存在し、そのテクレル文の話し手と動作を行う動作主との変換によって作られるが、間接テモラウ文(4)は対応するテクレル文が存在せず、(4)´を基本文として、それから派生して作られたものであると考えられる。

〈直接テモラウ文〉

- (3) (私は) 先生に 日本語を 教えテイタダイタ。
- (3)´ 先生は (私に) 日本語を 教えテクダサッタ。
-

〈間接テモラウ文〉

- (4) (私は) イチローに 頑張ッテモライタイ。
- (4)´ イチローが 頑張る
- *イチローは(私に) 頑張ッテクレタ
-

上記を一見すると、「～ていただいた」は直接テモラウ文であり、「～てもらいたい」は間接テモラウ文であるように見えるが、直接テモラウ文と間接テモラウ文は形態的に区別されているものなのだろうか。そこで、次節では、テモラウの形態について確認して、形態ごとに直接テモラウ文と間接テモラウ文に分けることを試みる。

直接テモラウ文と間接テモラウ文の分けについては、話し手が誰なのか、当該動作の動作主は誰なのか、話し手と動作主の関係はどのようなものなのかを基準として整理する。

林(2010b)では、テモラウ文は話し手と聞き手があつて、また受益者と与え手があるということから、書き言葉よりも話し言葉でより多く使われていると考え、その使い方を収集、調査分析する対象として、テレビやラジオ番組で行ったインタビュー文を選択した。特に、インタビューを調査対象にした理由としては、インタビューに答えるということは自分の観点から意見を述べるということであり、自分、つまり話し手を主語とするというテモラウ文の特徴に合致しているからである。

4.2.2 調査の概要

調査の概要は以下の〈表 4-2〉のとおりである。NHK のニュース番組である「ニュースウォッ

チ 9(以下、「ニュース」)」と NHK のラジオ番組である「ラジオビタミン³⁹(以下、「ラジオビタミン」)」で行われたインタビュー文を中心に調査を行った。ニュースでの約 20 時間(2009 年 11 月から 12 月まで)のインタビューで現れたテモラウ文は全部で 279 例であり、ラジオビタミンで(2009 年 12 月から 2010 年 2 月まで)は約 20 時間の放送で 101 例ものテモラウ文が使われていた。

表 4 - 2 調査の概要

番組名	調査時間数	テモラウ文の出現数
ニュース	約 20 時間	279 例
ラジオビタミン	約 20 時間	101 例
計	約 40 時間	380 例

インタビューで使われた上記の 380 例のテモラウ文を形態ごとに整理をし、かつ、話し手は誰か →当該動作の動作主は誰か →動作主と話し手との関係はどのようなものか →動作主の当該動作によって話し手に直接的に受益が生じるかどうか →テモラウ文の前件の主語と後件の主語との関係はどのようなものかという基準から当該テモラウ文を直接テモラウ文と間接テモラウ文に分類して行った。

4.2.3 調査結果の分析

インタビューで現れた 380 例のテモラウ文の分析の結果、直接テモラウ文が 235 例、間接テモラウ文が 145 例であった。それらを形態ごとに出現数を分析したものが以下の〈表 4-3〉である。

³⁹ ラジオビタミンは、2008 年 3 月 31 日から 2012 年 3 月 19 日まで放送されていた NHK ラジオ第 1 放送の情報ワイド番組である。放送時間は原則として毎週月曜から金曜までの朝 8:30～11:50 の放送。

表 4 - 3 直接テモラウ文と間接テモラウ文の形態別出現数

テモラウ文の形態	直接テモラウ	間接テモラウ	合計
テモライタイ	58	31	89
テモラエレバ	25	20	45
テモラッテ(継起/原因の形)	7	33	40
テモラワナケレバ	17	10	27
サセテモラエマセンカ	26	0	26
テモラオウ	14	5	19
テモラエマス(可能)	0	17	17
テモラッテイイ(許可)	0	15	15
サセテイタダキタイ	13	2	15
テモラッテイル	12	1	13
テモラッタ+名詞	9	4	13
テモラワナイト困る	7	3	10
サセテモライマシタ	10	0	10
サセテモライマス	8	0	8
テモライマスカ	6	0	6
テモライマス	6	0	6
テモライマシタ	6	0	6
テモライマショウ	2	2	4
テモラエルノデハナイカ	2	1	3
テモライマショウカ	3	0	3
テモラッテアリガトウ	2	0	2
テモラッテモイイデスカ	1	1	2
テモラエルノデ	1	0	1
	235	145	380

〈表 4-3〉を分かりやすく表したものが〈図 4-3〉である。

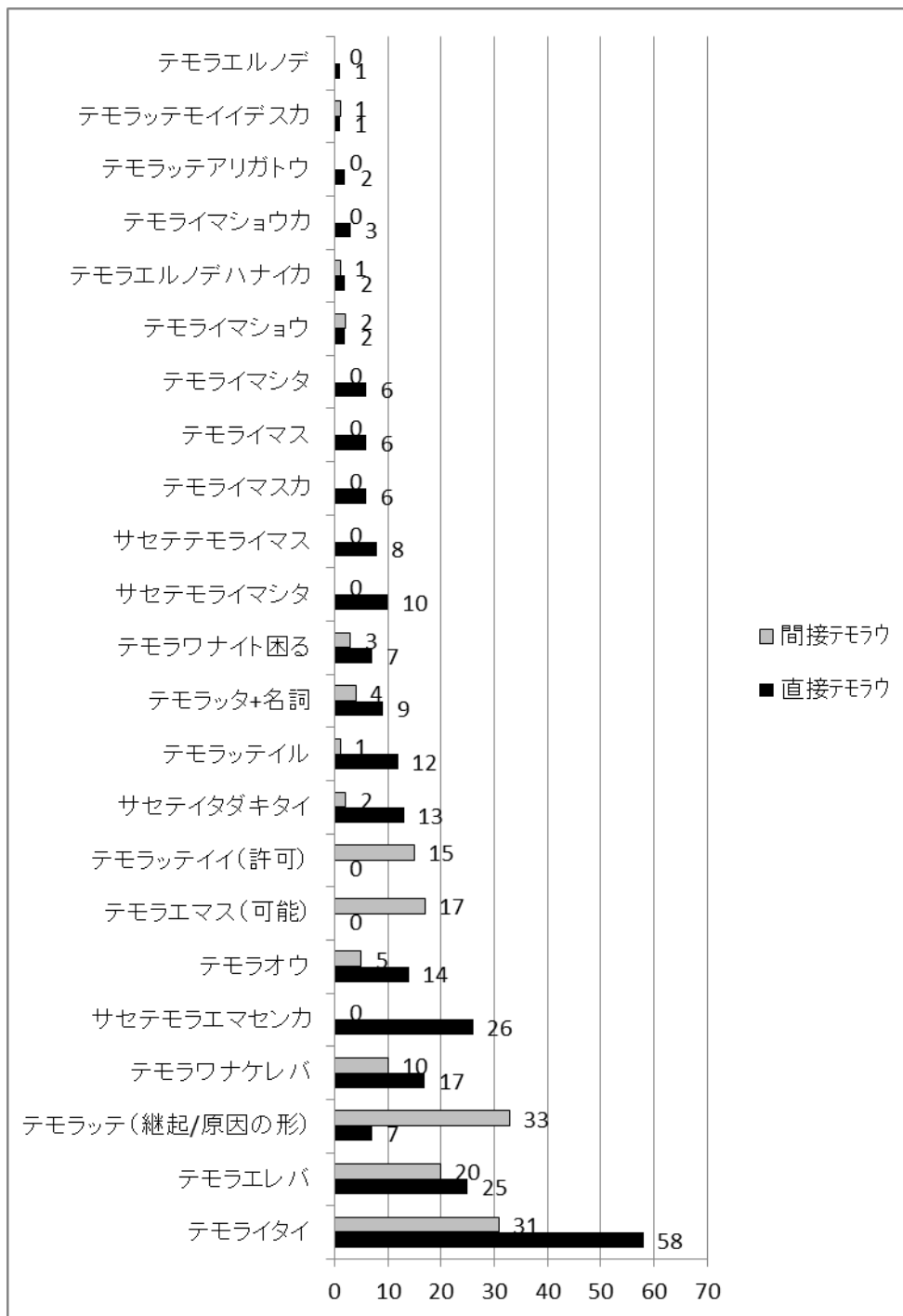


図 4 - 3 テモラウ文

分析の結果、以下のことが分った。

- ① 23 種類の形態のテモラウ文が現れた。
- ② 23 種類の形態のテモラウ文の中、テモライタイが一番多く現れた。
- ③ 23 種類の形態の中、3 種類(下記④)の形態を除き、直接テモラウ文の方が間接テモラウ文より多く現れた。
- ④ テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイイの 3 種類の形態のテモラウ文については直接テモラウ文より間接テモラウ文の方が多く現れた。

以下からは用例を用いて考察することにする。

4.2.4 調査結果の考察

380 例の中、一番多く現れた「テモライタイ」及び直接テモラウ文より間接テモラウ文の方が多く現れた 3 種類の「テモラッテ」、「テモラエマス」、「テモラッテイイ」を中心に考察していくこととする。一番多く現れて、かつ直接テモラウ文の方が多く現れた「テモライタイ」と間接テモラウ文の方が多く現れた 3 種類のテモラウ文を比較分析することにより間接テモラウ文の特徴が明らかになるものとする。

① テモライタイ

まず、380 例中、一番多く見られたのはテモライタイであり、89 例が現れ、うち、直接テモラウ文が 58 例、間接テモラウ文が 31 例であった。

まずは、直接テモラウ文である。

(5) リポーター:小沢さんは鳩山さんの意見についてどのように思われますか。

小沢議員:この場は私の個人的な見解を述べる場ではございませんので、こういう答弁でご理解していただきたいと思います。

「ニュース」

(6) リポーター:最近の景気状況によりスーパーでも影響などありませんか。

スーパーの店員:景気がよくなって6缶で買っていた方がケースで買うよう戻ってきて
いただきたいです。

「ニュース」

(5)はリポーターに意見を求められた小沢議員の答えである。国民が「理解をする」ことによって小沢議員には答弁をしなくても済むという、小沢議員に直接的な受益が生じる事から感謝の気持ちをテモラウを使って表現したものである。(6)は景気が悪くなりスーパーでもその影響があることをスーパー側の人から述べたものである。景気の悪化によりビールを6缶で買って行くようになったお客さんが増えたが、景気がよくなって以前のようにケースで買って行くお客さんが増えると(売り上げが増加すると)スーパー側は助かるということつまり、直接的に受益が生じるということをテモラウで表現している。

次は間接テモラウ文である。以下の例を見てみることにする。

(7) アナウンサー:男性の方も唇の悪い人もいますが、男性の方もリップクリームを
つけたほうがいいですか？

皮膚科専門医:男性の方もリップクリームをつけてもらいたいですね。

「ラジオビタミン」

(8) リポーター:タイガーウッズに関して一言ありましたら？

市民:反省すべきものは反省してきちんと出直しをしてもらいたいですね。

「ニュース」

(9) アナウンサー:観葉植物の育て方をリスナーの方に教えて頂けますか？

アドバイザー:観葉植物は殆ど熱帯植物なので、今の冬の季節にはすごくがんばって
いる時期で、ちょっと日光してもらいたいなと思いますね。

「ラジオビタミン」

(10) アナウンサー:斎藤さん、今日のお天気はいかがですか？

天気キャスター:この後日本列島の上空にはさらに強い空気が南下してくる見込みで、
明日にかけても日本海側では局地的に大雪、西日本側の平野
部にも大雪の恐れがあります。事故や交通事故への影響に気をつ
けていただきたいと思います。

「ラジオビタミン」

(7)は、冬の乾燥肌を防ぐためのアドバイスを求められた皮膚科専門医の返答であり、(8)は浮気問題で世の中を騒がせているタイガーウッズに関するコメントを求められた市民の返答である。また、(9)は、観葉植物の管理についてのアドバイスを求められた植物専門家の発話であり、(10)は天気キャスターによる天気情報である。(7)、(8)、(9)、(10)のそれぞれの話し手である皮膚科専門医、市民、植物専門家、天気キャスターがアナウンサーやリスナーに向かって、「男性もリップクリームをつける」、「反省する」、「日光させる」、「気を付ける」ことを望むということをテモライタイで表現している。そこで、(7)から(10)の「皮膚科専門医」などの話し手については、動作主の動作(「リスナーである男性がリップクリームをつける」、「タイガーウッズが反省する」、「リスナーが植物に日光させる」、「リスナーが気を付ける」)により直接的に受益が生じてはいないものと考えられる。話し手に直接的に受益が生じているのか否かは、文末に感謝の意を表す「ありがたい」を付けてみるとよりはっきりする。つまり、直接テモラウ文は話し手に直接的に受益が生じることから、「ありがたい」と共起が可能であるが、話し手に直接的に受益が生じていなければ、「ありがたい」とは共起できないものとなる。

- (5) (私は)この場合は私の個人的な見解を述べる場ではございませんので、こういう答弁でご理解していただくとありがたいです。
- (6) 景気がよくなって6缶で買っていた方がケースで買うよう戻ってきていただくとありがたいです。
- (7) ?男性の方もリップクリームをつけてもらうとありがたいですね。
- (8) ?(私は)反省すべきものは反省してきちんと手直しをしてもらうとありがたいです。
- (9) ?観葉植物は殆ど熱帯植物なので、今の冬の季節にははすごくがんばっている時期で、ちょっと日光してもらうとありがたいです。
- (10) ?この後日本列島の上空にはさらに強い空気が南下してくる見込みで、明日にかかましても日本海側では局地的に大雪、西日本側の平野部にも大雪の恐れがあります。事故や交通事故への影響に気を付けてもらうとありがたいです。

本調査で、テモライタイが一番多く現れた理由は、松下(1924)などが述べているテモラウの意味的特徴、つまり「テモラウは話し手が動作主に働きかけをして、動作主はその動作を行い、その当該の動作が向けられた側、つまり受益者側からの表現である」という意味的特徴と、動作主にある行為をするように促す願望を表す表現で使われるテモライタイの意味的特徴が

同一であるからであると考えられる。ただし、願望を表すテモライタイであっても、当該の動作が話し手に直接的に及ぶテモラウ文もあれば、当該の動作が話し手には直接的に及ばないテモラウ文もあることが本調査で明らかになった。

次は、テモラウ文の中、直接テモラウ文より間接テモラウ文の方がより多く現れた3種類の形態のテモラウ文について確認する。

② テモラッテ/テモラエマス/テモラッテイイ

従来のテモラウに関する研究は「先生に日本語を教えていただいた」、「タイ人にタイ料理を教えてもらった」のように話し手に直接的に受益が生じる場合を中心に述べているものが殆どである。そこで、本調査では、テモラウは必ずしも話し手に直接的に受益が生じない場合であっても使われるということを確認する。

まず、テモラッテについて見てみることにする。テモラッテは先の380例中で40例が現れた。そのうち、直接テモラウ文が7例、間接テモラウ文が33例であった。また、これらのうち、原因・理由を表すテ形と継起を表すテ形が殆どであったが、原因・理由を表すテ形は直接テモラウ文に多く現れており、継起を表すテ形は間接テモラウ文に多く見られた。以下でそれぞれの例を見てみることにする。

以下は、直接テモラウ文の用例である。

(11) アナウンサー:優勝おめでとうございます。

原監督:これだけ応援していただきまして、今日はファンの皆さんの力で勝ったと思います。

「ニュース」

(12) リスナー:花梨をお茶にして飲むと喉にいいって聞いたことがあるので私もたまに飲んでみます。

アナウンサー:私も喉にいいというものは女優さんに教えていただいて真似しています。

「ラジオビタミン」

(11)は巨人の原監督に対するインタビュー文であり、(12)は喉の健康のために花梨茶を飲んでいるリスナーのことを聞いたアナウンサーのコメントである。(11)の話し手である原監督は

「応援する」の動作主である「ファン」によって「優勝した」との感謝の気持ちをテモラウを使って表現しており、(11)は直接的な受益が生じた受益者側から述べたテモラウ文である。また、(12)の例は、「教える」の動作主である「女優」さんによってアナウンサーが「真似をする」ことになったことをテモラウ文で表現しており、アナウンサーにとっては直接的な受益が生じたことであると思われ、直接テモラウ文に分類される。さらに、(11)と(12)の後件「勝ったと思います」と「真似しています」の受益者は話し手であり、つまり、前件の「応援する」と「教える」の動作が後件に及んで受益が話し手に生じたということをテモラウで表現しているものと考えられる。

次は、間接テモラウ文の用例である。

(13) アナウンサー：口の乾燥を防ぐためにはどのようにすればいいのですか？

皮膚科専門医：リップパックもお勧めです。唇にスクアランとか、蜂蜜とかを口にっぱいつけていただいて、ラップを口のサイズに切っていただいて、びたつと唇に当てて少し暖めたホットタオルでちよつとスチーム効果を与えてください。

「ラジオビタミン」

(14) アナウンサー：ちよつと残念ですね。

鑑定団：お正月とかに(掛け軸を)飾っていただいて楽しんだらどうですか？

「ラジオビタミン」

(15) リポーター：外国人参政権についてどう思われますか。

市民：日本に帰化してもらって投票にいかしたら良いですね。

「ニュース」

(16) 料理研究家：オイルは少なめに使いますので、フライパンを傾けてもらって、オイルを集めてもらったところに、スライスしたにんにくを加えてもらおうと思います。

「ラジオビタミン」

まず(13)はアナウンサーの質問に対して聞き手であるアナウンサーを始めリスナーのために口の乾燥を防ぐ方法に関して皮膚科専門医がアドバイスをしている場面である。「蜂蜜を口につける」、「ラップを口のサイズに切る」という当該動作の動作主は聞き手であるアナウンサーを始めリスナーである。しかし、当該動作をすることによって話し手である皮膚科専門医には直

直接的に受益が生じるわけではない。つまり、(13)の前件の動作は後件の「スチーム効果を与える」の動作主に及び、その動作を行った動作主に受益が生じるのであって、話し手にはその動作が及ばない。また、(14)は、出品者が高値が付くと思っていた掛け軸を鑑した鑑定団の発話で、「楽しむ」にテモラウを使って表現しているが、「楽しむ」という動作を行った動作主によって鑑定団の人に受益が生じるわけではないので、間接テモラウ文に分類した。(15)は外国人の参政権についてコメントを求められた市民の発話であるが、外国人が「日本に帰化する」ことにより、市民には直接的に受益が生じるわけではない。(16)も上記の間接テモラウ文と同じように解釈でき、リスナーが「フライパンを傾ける」ことにより、料理を教えている料理研究家には直接的に受益が生じることはない。このようなことから間接テモラウ文に分類したものである。

上記の直接テモラウ文と間接テモラウ文について、文全体の前件と後件における動作主と受益者との関係を整理すると以下の〈図 4-4〉のようになる。

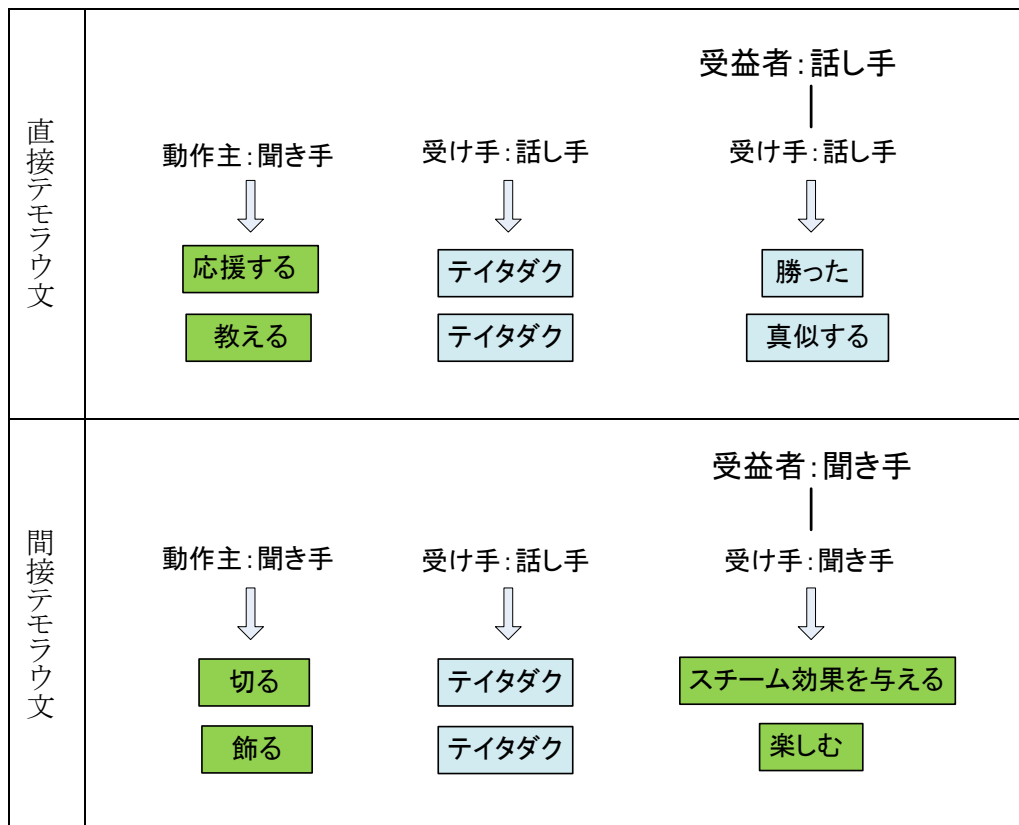


図 4 - 4 テモラウ文の動作主と受益者の関係

つまり、直接テモラウ文は前件の動作主である聞き手の動作によって、後件の話し手に受益

が生じる。一方、間接テモラウ文は直接テモラウ文と異なって、前件の動作主である聞き手の動作によって、後件の聞き手に受益が生じることを表している。

また、直接テモラウ文と間接テモラウ文はテモラウの省略の可否にも相違点が見られた。つまり、(11)、(12)の直接テモラウ文はテモラウを省略すると非文になってしまうが、間接テモラウ文である(13)、(14)、(15)、(16)は省略しても非文にはならないことが分かった。

- (11) 〰 *これだけ応援して、今日はファンの皆さんの力で勝ったと思います。
- (12) 〰 *私も喉にいいというものは女優さんが教えて真似しています。
- (13) 〰 リップパックもお勧めです。唇にスクアランとか、蜂蜜とかを口にいっぱいつけて、リップを口のサイズに切って、ぴたっと唇に当てて少し暖めたホットタオルでちょっとスチーム効果を与えてください。
- (14) 〰 お正月とかに(掛け軸を)飾って楽しんだらどうですか？
- (15) 〰 日本に帰化して投票にいかしたら良いですね。
- (16) 〰 オイルは少なめに使いますので、フライパンを傾けて、オイルを集めてもらったところに、スライスしたにんにくを加えてもらうといいと思います。

次は、テモラエマスについて見てみることにする。テモラエマスは380例の中で17例が現れたが、その17例全部が間接テモラウ文であることが興味深い。その例は以下のようなものであった。

- (17) アナウンサー： 大掃除のこつなどありましたら教えていただけませんか？
掃除の専門家： 一年中掃除していただくと大掃除なんていりません。紅白、ゆっくり楽しんでいただけます。

「ラジオビタミン」

- (18) アナウンサー： 広い島だとレンタカーが楽ですよ。
島の人： そうですね、レンタカーが一番楽しんでいただけますよ。

「ラジオビタミン」

まず、(17)は、お正月に向けての大掃除に対する掃除の専門家の返答であるが、掃除の専門家は聞き手であるアナウンサーを始めリスナーが「掃除をする」という動作によって、「紅白

をゆっくり楽しめる」という事柄をテモラウ文で表現している。しかし、その「紅白をゆっくり楽しめる」ということにより話し手である掃除の専門家に直接的に受益が生じるものではない。(18)の例も同じように説明できる。つまり、(17)、(18)のテモラウ文の当該の動作である「楽しむ」⁴⁰は話し手に向けられた表現ではなく、動作を行う動作主に及ぶ表現であることから、直接テモラウ文とは異なるものと考えられる

次は、テモラッテイイについて考察していく。テモラッテイイは 380 例の中で 17 例が現れたが、その 17 例全部が間接テモラウ文であり、テモラエマスの場合と同じく興味深い。その例は以下のようなものであった。

(19) アナウンサー:片付けて本当に面倒なことですよね。

掃除の専門家:そうですね。片付けはよく使う物、たまに使う物、めったに使わないものに分けて、大雑把に考えていただいても結構です。

「ラジオビタミン」

(20) アナウンサー:口にも日焼け止めクリームを使わなければなりませんか。

皮膚科専門医:いいえ。UPF という日焼け止めが入っているクリームとかも売っているんですけども、見つければそういったものも用意していただいてもいいですが、なかったら普通のリップクリームでもいいですよ。

「ラジオビタミン」

(19)の例は、掃除の専門家の片付けに関するアドバイス、(20)は唇のケアのためのアドバイスを求められたそれぞれの専門家のコメントである。アドバイスというのは、通常、話し手が聞き手のプラスになるようなこと、つまり聞き手に受益となるようなことを話し手側から述べることである。上記はアドバイスをする場面であるにもかかわらず話し手や話し手側に受益が生じるという意味的特徴を持っているテモラウを用いて表現しているのである。実際にも、(19)、(20)の場面は、いずれも掃除の専門家や皮膚科専門医が聞き手に対して受益のある動作つまり、「(片付けることは面倒なことだから)大雑把に考える」、「(日焼け止めクリームを塗ってあげるこ

⁴⁰ 本調査では「楽しむ」に後続したテモラウ文が殆どであったが、ショップチャンネルで現れるテモラウ文の中には、「安く買っていただけます」、「楽に使っていただけます」、「美味しく召し上がっていただけます」などもあり、必ずしもテモラウに接続する語彙の問題ではないと考える。

とにより聞き手の口の健康にいい)日焼け止めが入っているクリームを用意する」といったことをアドバイスしている場面である。

また、(19)、(20)の間接テモラウ文はテモラウを省略しても非文にはならないことが分かった。

(19)「そうですね。片付けはよく使う物、たまに使う物、めったに使わないものに分けて、大雑把に考えても結構です。

(20)「いいえ。UPF という日焼け止めが入っているクリームとかも売っているんですけども、見つければそういったものも用意してもいいですが、なかったら普通のリップクリームでもいいですよ。

以上、380 例のテモラウ文の分析を通じて、テモラウ文の話し手が誰に対して何のためにテモラウを使って表現し、またそれらのテモラウ文の当該動作によって話し手に直接的に受益が生じるのかどうかに焦点を当て、テモラウ文を直接テモラウ文と間接テモラウ文に分けて考察を行った。380 例の中一番多く見られたテモライタイに関して、また、直接テモラウ文より間接テモラウ文の方が多く見られたテモラッテ、テモラエマス、テモラッテイイに関して考察を行った。その結果、以下のようなことが分かった。

- 1) 380 例出現したテモラウ文については、①23 種類の形態のテモラウ文が現れ、②23 種類の形態のテモラウ文の中では、テモライタイが一番多く現れ、③全体的には直接テモラウ文の方が間接テモラウ文より多く現れた。④しかし、テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイイの 3 種類のテモラウ文では間接テモラウ文の方が直接テモラウ文より多く現れた。
- 2) テモラウ文は、話し手に直接的に受益が生じない場面においても使用されることが確認された。
- 3) 話し手に受益が生じない、かつテモラウを省略しても文として適格である場合でも、話し手側から、テモライタイ、テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイイのような表現が用いられることが分かった。

また、この調査から、「継起」を表すテ形に接続するテモラウは間接テモラウ文としてよく現れ

ること、「原因・理由」を表すテ形に接続するテモラウは直接テモラウ文としてよく現れることが判明した。そこで、次節では、「継起」を表すテ形に接続する間接テモラウ文と、「原因・理由」を表すテ形に接続する直接テモラウ文の相違点及び類似点について確認することにする。

なお、本研究では、「原因・理由」を表すテ形に接続するテモラウのことを「直接テモラッテ形」と呼び、「継起」を表すテ形に接続するテモラウのことを「間接テモラッテ形」と呼んで考察していくこととする。

4.2.5 直接テモラッテ形と間接テモラッテ形

まず、テ形の意味について確認する。テ形の意味については南(1974・1979)、庵(2001)、市川(2005)などで述べられているが、本研究では『日本語教育辞典』(1982)の分類(表 4-4)を参考に述べることにする。

表 4-4 テ形の意味

意味	例文
並列	打って、投げて、守る、これが野球の面白さだよ。
継起	歯を磨いて、ご飯を食べた
原因・理由	用事ができて、行けなかった。
逆接	知っていて、知らないそぶりをする
付帯状況	声を出して、泣いている。

「継起」の意味を表すテ形は、時間の流れに沿って次々に行う連続する動きを単につなぐものであり、テ形によって結びつけられた事態を全体として一つの場面として描写するという特徴を持っている。また、「継起」の意味を表すテ形の従属節と主節の述語は動作・変化・働きを表す動詞が用いられ、「手を(洗って/洗い)、おやつを食べた」のような例が「継起」を表すテ形の代表的な例であると言える。なお、「継起」を表すテ形には「突然激しい揺れが起こって、電気が消えた」のように、主体が人間ではない場合もあるが、本研究では、主体が人間である場合のみ対象にして分析する。また、「原因・理由」の意味を表すテ形は、従属節の原因又は理由によって、主節の結果になったことをテ形を用いて表現するという特徴を持っている。

「ニュース」、「ラジオビタミン」で現れたテモラウ文の中から、「テモラッテ形」の例文を抽出し、

次の4つの観点から「直接テモラッテ形」と「間接テモラッテ形」の特徴を考察する。

- ① 「テクレテ」と言い換え可能の可否
- ② 「テモラッテ」の省略の可否
- ③ 話し手における受益の発生が直接的か、間接的か
- ④ 高見・久野(2002)の語用論的要因に係る数値分析によるテモラウ文の適格性

① 「テクレテ」と言い換え可能の可否

まずは、「直接テモラッテ形」の用例である。

以下(21)のテモラウ文は読売ジャイアンツの原監督が阪神タイガーズとの試合後に、読売ジャイアンツのファンに向かって、応援してもらったことによって勝てたことを述べている場面である。

(21) a これだけ応援していただきまして今日はファンの皆さんの力で勝ったと思います。

b これだけ応援してくださって今日はファンの皆さんの力で勝ったと思います。

(21a)の「テモラッテ」は「テクレテ」に言い換えて表現しても文法的に正しい文となる。このような結果から、テモラウ文の動作主((21a)では「ファン」)の「応援する」という行為が、話し手である原監督を始め、読売ジャイアンツに向けられ、その影響を話し手が受けたことが見て取れる。

次は「間接テモラッテ形」の用例である。

(22) a リップパックもお勧めです。唇にスクアランとか、蜂蜜とかを口にいっぱいつけてもらって、ラップを口のサイズに切ってください、ピタッと唇に当てて少し暖めたホットタオルでちょっとスチーム効果を(中略)。

b *リップパックもお勧めです。唇にスクアランとか、蜂蜜とかを口にいっぱいつけてくれて、ラップを口のサイズに切ってください、ピタッと唇に当てて少し暖めたホットタオルでちょっとスチーム効果を。

(22)は皮膚科専門医が、乾燥肌にならないようにする方法を質問したアナウンサーに対し

て行ったアドバイスである。(22a)は、「つける」、「切る」にテモラウを接続させ、テモラッテ形で表現したものであるが、(22a)のテモラッテをテクレテに言い換えると非文になる。このような結果となった理由は、(22a)の動作主である「リスナー」の「口につける」、「ラップを切る」という行為が、話し手((22a)では「皮膚科専門医」)に向けられておらず、話し手は動作主の行為に影響を受けていないからである。

② 「テモラッテ」の省略の可否

高見・久野(2002:294)は、(23)を例にして、太郎が話し手に車を貸し、その行為により話し手が受益を受けているという状況を説明するためには、(23a)の表現では説明できず、(23b)、(23c)のような表現を用いなければならないとし、(23a)の表現では話し手が受益を受けていることを表していないと述べている。

- (23)a *太郎が私に車を貸した。
- b 太郎が私に車を貸してくれた。
- c 私は太郎に車を貸してもらった。(高見・久野 2002:294)

つまり、話し手に受益が生じる場合、日本語では「～てくれる」又は「～てもらう」のいずれかで表現しなければならない。

(24a)は「テモラッテ」を省略すると(24b)となり非文になる。(24a)は「テモラッテ」で表現することで、ファンの応援を受けて試合に勝った(=受益が生じた)ことの意味が伝わってくるが、(24b)は、そのような意味は伝わっておらず、非文になる。

- (24)a これだけ応援していただきまして今日はファンの皆さんの力で勝ったと思います。
(=21a)

- b *これだけ応援して今日はファンの皆さんの力で勝ったと思います。

一方、次の用例は上記の特徴とは異なる。

(25) a お年寄りに気配りしていただいて、そういうのがある場合は消費者生活センターに相談に行っていただく⁴¹などの配慮が必要ではないでしょうか。

b お年寄りに気配りして、そういうのがある場合は消費者生活センターに相談に行っていただくなどの配慮が必要ではないでしょうか。

「ニュース」

(25)は、最近、お年寄りに高い値段で物を売り付け、購入後は返品を拒否するような悪質な犯罪が増えていることから、それを防ぐための方法を質問したニュースキャスターに対する警視庁のアドバイスである。(25a)は(25b)のように「テモラッテ」を省略しても非文にならず、日本語としても自然である。(25a)の「間接テモラッテ形」を(25b)のように言い換えても全く問題がないということは、(25a)は、授受表現を使う必然性はなく、単に事実を伝える場面であるからである。つまり、「間接テモラッテ形」は話し手の受益に関することを伝えるわけではない。

③ 話し手における受益の発生が直接的か、間接的か

(26)のようなテモラウ文を目にすると我々は普通、「民間の方々が大勢加わった」ことによつて、「新しい試みができた」こと、つまり、話し手である総理を始め総理側の人に受益が生じたと受け取るだろう。

(26) 民間の方々にも大勢加わっていただき、大変新しい試みだと思っております。

「ニュース」

一方、次の(27)はどうであろうか。

(27) 失業している方は早く仕事を探さなきゃということで頭がいっぱいになってですね、精神的にも追い詰められていきやすい状態なので、支援策も使えるんだというのに気づいてもらって自治体の意見も聞きながらよりよい形を作っていければと思います。

「ニュース」

⁴¹ 「行っていただく」も「間接テモラッテ形」と同様、テモラウの省略が可能であり、「行く」にしても非文にならない。しかし、「行っていただく」は本節の調査対象の範囲に含まれないため、考察の範囲から除いた。これらについては今後の課題としたい。

(27)は失業者の対策に関するニュースキャスターの質問に対し、失業対策に詳しい自治体の担当者のアドバイスである。(27)は(26)と異なり、動作主の行為によって話し手には受益が生じない。つまり、話し手である自治体の担当者に動作主である失業者の行為である「支援策も使えるんだというのに気付く」ことによって、受益が生じたということは考えられない。このようなことから、「間接テモラッテ形」は「直接テモラッテ形」とは異なり、授受表現が本来持つべき機能である、受益が生じたことを表現するという機能を持たない授受表現であると考えられる。

このような結果は、以下のテストからもより明らかになるものと考えられる。

④ 高見・久野(2002)の語用論的要因に係る数値分析によるテモラウ文の適格性

高見・久野(2002:320)は、「～にVしてもらおう」の基本的な機能について以下のように述べている。

(28) 「～にVしてもらおう」構文の基本的な機能:「～にVしてもらおう」構文の機能は、その埋め込み文の主語(=「ニ」格名詞句)指示物が行う行為や関与する事象を、話し手が、主文主語指示物にとって好都合である(受益になる)と考え、その受益が「ニ」格名詞句の指示物のおかげであると考えていることを示すことである。

また、高見・久野(2002)は、「～にVしてもらおう」構文の適格性はその基本的な機能から生じる4つの語用論的要因の相互作用によって、段階的に決定されることを示している。(29)～(32)は「～にVしてもらおう」構文の適・不適格の判断に当たって数値を使って行った分析方法である。なお、()内にある数値はそれぞれの点数を表す。

(29) 「ニ」格名詞句になりやすさの階層:人が受けた受益を何のおかげによるかに関して、次のような階層があり、その階層の左側の要素ほど、「ニ」格名詞句になりやすい。

人間(2) > 動物(1) > 自然の力(0) > 無生物(-1)

(30) 「～にVしてもらおう」構文になりやすい事象の階層:「～にVしてもらおう」構文になりやすい事象に関して、次のような階層があり、その階層の左側の要素ほど、「～にVしてもらおう」構文になりやすい。

「二」格名詞句自らが > 無生物や自然の > 人間や動物などの
 引き起こす事象(2) > 力などの外的要因が > 外的要因が
 引き起こす事象(0) > 引き起こす事象(-3)

(31) 「～てもらおう」構文の先行文脈で示される受益の階層:「もらおう」が現れる節のところま
 の記述が、主語指示物に対する受益を表すかどうかに関して次のような階層がある。

明示(2) > 含意(0) > なし(-2)

(32) 「～てもらおう」の後続文脈で示される受益の階層:「もらおう」が現れる節に続く記述が、主
 語指示物に対する受益を表すかどうかに関して、次のような階層がある。

明示(2) > なし(-1)

(29)を「人間度(の階層)」、(30)を「自力度(の階層)」、(31)を「先行受益度(の階層)」、(32)
 を「後続受益度(の階層)」と便宜上呼んでおり、次のような典型的な「～にVしてもらおう」構文で
 ある(33)と非文の「～にVしてもらおう」構文(34)についてそれぞれ数値分析を行うと以下のよう
 なものになると述べている(高見・久野 2002:327)。

- (33) a. 教科書を忘れたけれど、隣の人に見せてもらい、助かった。
 b. バスに乗り遅れ、家内に駅まで車で送ってもらって、電車に間に合った。
 c. 先生に励ましの言葉をかけてもらい、元気が出てきた。
- (34) a. *皿に割れてもらった。
 b. *このあたりは、最近大きなビルに建ってもらった。
 c. *窓に開いてもらった。

(33)の数値分析

人間度: 2(人間)

自力度: 2(自力)

先行受益度: 2(明示)

後続受益度: 1(明示)

得点 7点 [適格]

(34)の数値分析

人間度: -1(無生物)

自力度: -3(外的要因—人間)

先行受益度: -2(なし)

後続受益度: -1(なし)

得点 -7点 [不適格]

(33a-c)では、「二」格名詞句が人間なので2点、述べられた事象が「二」格名詞句の指示物

自らの内的な力により引き起こされた事象なので 2 点、そして、「～に V してもらう」が現れる節のところまでで、話し手が受益を受けていることが容易に理解されるので 2 点、後続文脈においても受益の意味が明示されているので 1 点を得て、合計 7 点となる。一方、(34a-c)では、4 つの語用論的要因の数値による分析を行うと－7点となり不適格であると述べている(高見・久野 2002:327)。さらに、4 点以上を持つ文は適格となり、1 点以下の文は不適格となり、その間に位置する 2 点は若干不自然さを伴うが、ほぼ適格と判断されると述べられている。

それでは、「直接テモラッテ形」と「間接テモラッテ形」について、高見・久野(2002)の「～に V してもらう」構文の適・不適格を判断する数値分析をするとどのような結果が出るだろうか。

まず、「直接テモラッテ形」から確認する。

(35) これだけ応援していただきま
して今日はファンの皆さんの
 力で勝ったと思います。
 (=21a)

人間度:	2(人間)
自力度:	2(自力)
先行受益度:	2(明示)
後続受益度:	1(明示)
<hr/>	
得点	7 点[適格]

(35)は、「ニ」格名詞句が人間なので 2 点、述べられた事象が「ニ」格名詞句である「ファン」自らの内的な力により引き起こされた「応援する」ということなので 2 点、そして、「～に V してもらう」が現れる節のところまで、つまり、「これだけ応援する」ということにより話し手が受益を受けていることが理解されるので 2 点、また、後続文脈においても「皆さんの力で勝った」という受益の意味が明示されているので 1 点を得ると考えられ、最得点である 7 点を得て適格な文であると考えられる。

次に「間接テモラッテ形」を分析する。

(36) お年寄りに気配りしていただ
いて、そういうのがある場合
 は消費者生活センターに相
 談に行っていただくなどの配
 慮が必要ではないでしょ
 うか。(=25a)

人間度:	2(人間)
自力度:	2(自力)
先行受益度:	－2(なし)
後続受益度:	－1(なし)
<hr/>	
得点	1 点[不適格]

(36)は、「ニ」格名詞句が視聴者であることから「人間」なので 2 点、述べられた事象が、「ニ」格名詞句である「視聴者」が自らの内的な力により引き起こされた「気配りする」ということであれば 2 点を得るが、ここでは話し手が「気配りする」ということを望んでいることであり、「気配り」してもらったかどうかは今の段階では分からない。「気配り」をしてくれることを前提にする「視聴者」自らの内的な力によって引き起こされることなので自力度が 2 点となる。そして、「～に V してもらう」が現れる節のところまで、話し手が受益を受けていることを明示していないので-2 点、また、後続文脈においても話し手に受益の意味が明示されていないので-1 点を得ると考えられ、合計が 1 点となり不適格な文であると思われる。

ここまで見てきたことから分かるように、高見・久野(2002)による数値分析の結果、「直接テモラッテ形」は適格な文であるのに対して、「間接テモラッテ形」は「～に V してもらう」構文として不適格な文になることが明らかになった。しかし、不適格な文にもかかわらず、(35)、(36)、の「間接テモラッテ形」の例文は実例であり、また、このようなテモラウ文はよく耳にする。

以上、「直接テモラッテ形」と「間接テモラッテ形」の相違点について考察した結果、両者ともテモラウ文であるにもかかわらず、①「直接テモラッテ形」は「テクレテ」と言い換え可能なのに対して「間接テモラッテ形」は言い換えられないこと、②「直接テモラッテ形」は「テモラッテ」が省略不可能なのに対して「間接テモラッテ形」は省略が可能であること、③「直接テモラッテ形」は動作主の行為により話し手に「受益」が生じたことを表現しているのに対して「間接テモラッテ形」にはそのような意味は見出せないということが分かった。さらに、④高見・久野(2002)の「～に V してもらう」構文に係る数値分析による分析では、「直接テモラッテ形」は適格な文であるとの結果であったのに対して、「間接テモラッテ形」は不適格な文になってしまうという結果となった。これらを表にまとめると以下の〈表 4-5〉となる。

表 4-5 「直接テモラッテ形」と「間接テモラッテ形」の相違点

	直接テモラッテ形	間接テモラッテ形
「テクレテ」への言い換え	○	×
「テモラッテ」の省略	×	○
受益の有無	○	×
数値分析による適格性	○	×

以上、4.2 節では、テレビとラジオで行われたインタビュー文を対象に、テモラウ文を話し手に直接的な受益が生じる「直接テモラウ文」と、話し手に直接的には受益が生じない「間接テモラウ文」のように2つに分類して考察することを試みた。その結果、全体的に直接テモラウ文の方が多く現れたが、テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイイの場合は直接テモラウ文より、間接テモラウ文の方が多く現れた。その中で、テモラッテは「継起」を表すテ形に接続するテモラウ文は間接テモラウ文に多く現れており、「原因・理由」を表すテ形に接続するテモラウ文は直接テモラウ文に多く現れていることから、前者を「直接テモラッテ形」、後者を「間接テモラッテ形」とし両者について分析を行った。その結果、「間接テモラッテ形」はテクレテと言い換えることが不可能であり、省略可能であることから、受益が生じないこと、また、高見・久野(2002)のテモラウ文の適・不適格を判断する数値分析を参考にしても直接テモラッテ形とは異なることを確認した。このような結果から、間接テモラッテ形は直接テモラッテ形とは違って、授受表現の機能ではなく他の機能として使われるのではないかと考えるところである。その機能を明らかにするためには、テレビやラジオのインタビューとは人間関係も場も異なる場面についても分析する必要がある。そこで、インタビュー文とは異なる人間関係と場である「ショップチャンネル」を調査対象とし、そこで用いられるテモラウについて分析、考察を行うことにする。

4.3 ショップチャンネルにおけるテモラウ文

4.2 節では、テレビとラジオで行われたインタビューを対象にテモラウ文を、話し手に直接的な受益が生じる直接テモラウ文と話し手に直接的な受益が生じない間接テモラウ文に分けて分析し、考察した。全体的には、直接テモラウ文が、間接テモラウ文より多く現れたが、テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイイに関しては間接テモラウ文の方が直接テモラウ文より多く現れた。

それでは、客に対して商品を売る側にはどのような表現が用いられるのだろうか。人間関係や場が異なることによってテモラウの現れ方にも何らかの影響があるのだろうか。

本節では、ショップチャンネル(以下、「ショップ」)⁴²で現れたテモラウについて分析する。「ショップ」はテレビやラジオのインタビューとは異なり、話し手にとっては聞き手は不特定多数の視聴者であり、かつ話し手には視聴者に商品を購入してもらいたいという表現意図があること

⁴² 「ショップチャンネル」は、様々な商品を約1時間の生放送で宣伝し、その場で視聴者から注文を受け付けるという「BS 朝日1」の番組である。

から、インタビューとは異なる表現が現れるものと考えられる。また、「ショップ」では、商品について詳細に説明する場面であることから「ショップ」を調査対象としたものである。

本節では、「ショップ」を調査対象とした林(2014b)⁴³を参考に述べることにする。

4.3.1 調査の概要

東(2009)は、日本はアメリカと異なって店員と客は平等ではなく力関係で差がある(客が上で店員が下)ということの基本にして言語行動をしていると述べている。また、滝浦(2005)は、敬語表現の程度について、以下のように久野(1978)の「共感度の不等式」を援用した、敬語表現における「距離の不等式」を提案している。

$E^4(x) > E(y)$ 話し手のxに対する共感度がyに対するよりも大きい

yはxよりも遠い(遠くに置かれる)

例:yに対する「敬語/謙語/丁寧語」使用(yをソト待遇する)

日本語における客に対する敬語表現とは、滝浦がいう上記の不等式に当てはまるものである。つまり、商品を売る方から考えると、商品を買う客は遠く離れた距離にあるため、客に対する言葉遣いは、最も高度な敬語表現が使われるものと思われる。「ショップ」では、話し手(売方)は不特定多数の聞き手(視聴者=客)に商品を売るという状況にあるため、話し手は高度で複雑な敬語表現を多頻度に使うであろうと推測し、「ショップ」での話し手の表現を分析の対象として選んだ。

調査の概要は以下(表 4-6)のとおりである。

表 4 - 6 調査の概要

調査期間	調査時間	商品の種類	テモラウ文の出現数
2011/6~7	20 時間	鍋/化粧品/服/出汁/保存容器など	497 例

⁴³ 本節は林(2014b)に書き加えたものである。

⁴⁴ 「E」は「共感(Empathy)」の頭文字である。詳細は滝浦(2005)を参照されたい。

「ショップ」で行われた発話は以下のように、キャスター一人による発話もあれば、キャスターとアシスタントや専門家との会話、また、キャスターと客との電話での会話のような形式もある。「ショップ」で現れた 497 例のテモラウ文それぞれについて、話し手、聞き手、動作主、受益者が誰なのかに焦点を置き、分析し、考察する。

下記は高圧力鍋を宣伝する場面である。料理研究家はその鍋を用いて色々な料理を作り、高圧鍋の良さをアピールする。キャスター一人で料理研究家作った料理を食べながら鍋について発話する場面もあれば、料理研究家からのアドバイスを求める場面、また、鍋を購入した客との電話をする場面もある。高圧鍋を売る場面以外にも上記のようなやり取りで商品を宣伝している。

[キャスター一人による発話]

これだけとろけるような角煮作っていただけ
しかも、これは油とかね、落として圧力をかけていただくと
うれしい。美味しく召し上がっていただけ、とろけるでしょう
いままで高くお金を出して買ったのが、馬鹿みたいになっちゃったぐらい、お家だったらこんな大量なのを、ほらこんなに一気に作っていただけ、すごくコストが安いでしょう
レシピ通りにつくれば美味しく作っていただけます。
これを皆さまのご家族で美味しく召し上がっていただきたいです。
これさえあれば美味しいものが召し上がっていただけますので
ご覧いただければ分かると思いますが
骨まで軟らかく召し上がっていただけ
魚の身も全部召し上がっていただけますよね。
蓋をしめるんですけど、蓋はこの三角にちゃんと目印ついていますのでこれを合わせていただいて、スライドするだけ。そしてここにロックがありますので(中略)

[キャスターと料理研究家との会話]

キャスター	そして先生に質問なんですけど。
料理研究家	はい
キャスター	カレーにしても角煮にしても少し量が増えてもかまわないんでしょうか。

料理研究家	そうですね。なべの高さの 3 分の 2 ぐらいまでグザイと水分の量を抑えていただいたら大丈夫です。
キャスター	はい。
料理研究家	レシピより量を増やしていただいてもいいですが、高さだけ気を付けていただいたら大丈夫です

[キャスターと客との電話での会話]

キャスター	開始 15 分経たずにお客様とお電話がつながりました。お話をさせていただきます。
キャスター	さっそくご購入いただいたんですね。
客	はい、とても気に入っています。私は共働きですので、忙しくてお料理できなくて、いつも子供に悪いなって思っていました。高圧鍋を購入してからは、短時間で料理ができて本当に助かっています。
キャスター	とても貴重なものを買っていただいたんですね(笑)

4.3.2 調査結果の分析

テレビ・ラジオのインタビューの分析結果を参考に、「ショップ」での調査で現れたテモラウ文 497 例を、「直接テモラウ文」と「間接テモラウ文」に分けて考察する。

表 4 - 7 調査の結果

テモラウ文	出現数
直接テモラウ文	114 例
間接テモラウ文	383 例
合計	497 例

以下では、「直接テモラウ文」と「間接テモラウ文」それぞれの例を通して見てみることにする。

① 直接テモラウ文

今回の調査対象である「ショップ」で用いられた 497 のテモラウ文では「直接テモラウ文」が「間接テモラウ文」より少ないという結果であった。

(37) [キャスター]

2 つも購入ですか。ありがとうございます。ぜひ気に入った点を教えていただけませんか。

[客]

色々なお洋服によく似合うんです。カジュアルとしても着れますし、フォーマルとしても着れてとても楽ちんですよ。

(38) [キャスター]

井頭さん、二重になっているところ手に入れていただけませんか。

[バイヤー]

ここですか。

[キャスター]

はい、ありがとうございます。

(39) [キャスター]

カメラ—ここを映してもらっていいですか。

まず、(37)は視聴者とキャスターが電話をしている場面である。2 つも購入してくれた客に気に入った点を教えてもらうという方法により他の客に商品の良さを客観的な立場から知らせることになり、話し手には受益が生じると考えられる場面である。(38)の場合は、キャスターと商品のセールのために出演しているバイヤーとの会話であるが、キャスターがバイヤーである「井頭さん」が着ているブラウスの二重になっているところに手を入れてもらいたいということを頼む場面である。(38)の場合はバイヤーもキャスターも商品を売る側であり、話し手であるキャスターから見ると客よりバイヤーの方が距離が近く、バイヤーに動作を頼んでそれをやってもらうことにより商品の説明がしやすくなる。つまり、話し手に受益が生じることをテモラウで表現していると考えられる。また、(39)は、キャスターがカメラマンに商品を映してほしいことをテモラウで表現している。このようなテモラウ文も話し手が受益者であると考えられるものである。

上記の、話し手が受益者の場合のテモラウ文は、依頼をする、いわゆる「依頼表現」が多いことが分かる。依頼表現で用いられるテモラウ文は、基本的に依頼者である話し手に受益が生じることからテモラウの基本的な使い方の一つである。このようなことから、日本語のテキストにも以下のような用例が載っている。

(40) 〈隣の人に〉すみません。教科書を忘れてしまったので、見せてもらえますか。

(41) この本を田中さんに渡してもらいたいですが。

(42) もう少し大きい声で話していただけませんか。

『レベルアップ日本語文法(中級):121』

② 間接テモラウ文

テモラウ文 497 例の中で、383 の例文が「間接テモラウ文」であった。まず、以下の用例を試みることにする。

(43) 届いたら一回下を開けていただいて、このなかにバッテリーが入っていますので、この部分だけはめていただければすぐ使っていただけます。

(44) 小分けするときに暖めたいものと暖めたくないもの、例えば唐揚げとポテトサラダを入れていただく際にポテトサラダだけ外していただいて電子レンジに入れていただくこともできるんです。

(45) もう一回 VTR ご覧にいただきますけど、届いたら、まずこれを開けていただいてこのバッテリーを出していただいて、ここだけ接続してください。

(46) センサー状態にしたいときは ON を入れてもらって、ずっと回ってもらいたいときにはこのセンサー状態をオフにしていただいても結構ですね。

(43)は扇風機を売る場面であり、(44)は食材保存容器を売る場面である。食材保存容器は小分けができるように設計されており、その小分けができるところを取り外すことまでできるようになっているということを説明している場面である。「唐揚げとポテトサラダを入れる」こと、「ポテトサラダだけ外す」こと、「電子レンジに入れる」こと全ての行動は聞き手である食材保存容器を使う客であって、話し手ではない。また、それらの行動をすることにより、話し手であるバイヤーやキャスターに受益が生じるわけではなく、聞き手の方に受益が生じることが分かる。このよう

な解釈は、(45)、(46)の扇風機を売る場面で用いられるテモラウに関しても同じく適用できるものと考えられる。また、(43)から(46)では、テモラウを使わなくても意味は通じるのであって、ここであえて使用する何らかの特定の意図の存在が考えられる。

それは、以下のようなテモラウ文からも、話し手が受益者でないことは明らかであり、かつ、テモラウを使わなければならない理由も見当たらない。

(47) 安心の30日間の返金保証が付いてますので、30日以内にお掃除が楽になったと実感していただけない場合、たとえお使いになった後でも商品代金全額お返し致します。

(47)は、掃除機を売る場面において用いられるテモラウ文であるが、「実感する」ということができない場合、つまり、受益が生じない場合には、「全額返金」ということになることを表現している。「実感できない」という動作主は客であることから、当該動作により「全額返金」という受益を受けるのは客であることは明らかであるし、テモラウを使わなくても意味は通じる。

「ショップ」の調査結果から、テモラウは話し手が受益者ではなく聞き手が受益者である場面においても使われるということが明らかになった。次節では、話し手には受益が生じないにもかかわらず、話し手はテモラウを使う理由を探っていくことにする。

4.3.3 調査結果の考察

話し手に受益が生じない場合でも、なぜ話し手はテモラウを使って表現するのだろうか。本節ではそれについて考察することにする。

まず、以下の用例から確認したい。

(48) 私はね、私自身も玄米続けられなかったんですよ。なにで炊いても美味しく炊けなくて。美味しくなくて。でもね、この高圧力鍋で炊いた時の美味しさ。私は使いだしてから4年ですけども、ずっと続けていますよ。これ3合炊いてるんですけど、3合炊いて一膳ずつで冷凍して毎日一個ずつチンして一食ずつ食べてるんですよ。

(48)は高圧力鍋を売る場面において、料理研究者でもあるバイヤーの発言である。話し手である「私」の行為を「テ形」を使って述べている。次の(49)は(48)の動作主とは反対の立場である客の行動を「テ形」を使って述べている場面である。

(49) これをぷっと上にあげていただいて、このアルミをですね、これをぐっと力を込めて軽くあの一抑えていただいて、これを横に回していただいてですね。今度はこちらのノズルをかちっというまで付けていただくんです。キャップをとっていただきまして、それで、そのノズルを押していただきますとご自身のお好きなだけ出てきます。

(49)は、化粧品の容器の使い方を細かく説明している場面であるが、(49)もテモラウを使わなくても十分意味は通じるし、意味が特段変わるわけでもない。それでも話し手はテモラウを使って説明している。(48)は自分の行動を説明する場面であることから、当然、自分に対する敬語表現を使う必要はないが、(49)は自分の行動ではなく聞き手つまり客の行動を説明している場面であり、このことが(48)と(49)の場面の大きな違いである。つまり、この違いがテモラウを使うか使わないかの理由の一つと考えられる。客に対しては、何らかの配慮を表すための表現を使用するのが当然である。そのため、キャスターやバイヤーは、客への配慮から客に精神的な負担(商品を買うという負担)をかけないようにするために、客の動作によって、あたかもキャスターやバイヤーである話し手自身に受益が生じるかのように表現するために、テモラウを使っているのではないかと考えられる。

以下(50)、(51)、(52)のようなテモラウ文はそのような特徴がより明らかに説明できるものと考えられる。

(50) お家で洗っていただけます。

(51) これだったらボディのラインも隠していただいて、勿論ベルトをすると腰の部分も綺麗に見せていただけます。

(52) なんと 15000 円以下で買っていただけます。

(50)は客である聞き手が「家で洗える」ことで経済的であるということ、(51)は、ふんわりしたブラウスを着ることにより、客は「ボディのラインも隠せる」、またそのブラウスにベルトをすることにより腰の部分も「綺麗に見せる」ことができる、(52)は、普通は20,000円もするものがセット

で買うことにより 15,000 円以下で「買える」ということをテモラウを使って表現している。(50)から(52)のテモラウ文は、聞き手には心理的に微妙な領域に当たることから話し手にとっては最も気をを使うべきであろうと思われるところである。つまり、(50)のブラウスを家で洗えることや(52)の安く買えるということは聞き手である客の経済的な領域、また、(51)は客の身体に関する領域まで踏み込んだものである。しかし、テモラウを使うことにより、あたかも客ではなく、話し手である自分に受益が生じるかのように、つまり自分の領域の事であるというように表現ができ、客の領域には触れていないかのように配慮している表現になると考えられる。

鈴木(1997)は、待遇形式において高い丁寧度が要求されるような場面(鈴木はこれを丁寧体世界と呼んでいる)では、聞き手の私的領域に踏み込む内容は避けなければならないと述べている。例えば、目上の人物の欲求・願望・感情・能力などを直接尋ねることは回避され、あるいはまた、目上をほめることも慎むべきとしている。

今回の調査対象である「ショップ」は、聞き手が客(目上と同視できる)であることから高い丁寧度が要求される場面であることは確かである。(50)と(52)は客の経済的な能力について言及することであり、(51)は客の身体に関するものである。つまり、聞き手の私的領域に関わるものであることから、最も気を使わなければならない場面である。このような場面においてテモラウを使うことによって、受益が話し手に生じるように表現し、客の私的領域に踏み込んでいないということを表わしているものと考えられる。

以上のことから、話し手は、聞き手である視聴者に負担をかけないというような、聞き手に配慮する気持ちをテモラウを使って表現しているものと考えられ、テモラウは授受表現として使われたのではなく聞き手に配慮するための待遇表現⁴⁵として使われたものと考えられる。

それでは、韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」はどのような場面でどのような意味で使われるのだろうか。次の 4.4 節では「아/어 주다 (-a/eo juda)」について確認することにする。

⁴⁵ 「待遇表現」についての詳細は第 6 章で述べることにする。

4.4 ラジオにおける「아/어 주다 (-a/eo juda)」文

4.2節と4.3節では日本語のラジオとテレビ及びショップチャンネルでの調査結果から、テモ라우は話し手に直接的な受益が生じない場面においても使われるということが確認され、そのようなテモ라우は授受表現としてではなく待遇表現として使われていると考えたものである。

そこで、韓国語の「아/어 주다 (-a/eo juda)」の使用場面、使用の仕方等を調査し、テモ라우と比較分析をすることにより、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の特徴がより明らかになるとともに、テモ라우についての理解も深まるものと考ええる。

「아/어 주다 (-a/eo juda)」については第1章、第2章、第3章でも述べたが、授受表現であることから、基本的には以下のような場面でよく用いられる。

(53) 친구가 (나에게) 일본어를 가르쳐 주었다.

友達が(私に)日本語を 教えてくれた。

(54) 나는 친구에게 한국어를 가르쳐 주었다.

私は友達に韓国語を教えてあげた。

(53)は「友達が私に日本語を教えてくれた」ことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。(54)は「私は友達に韓国語を教えてあげた」ことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。このように「아/어 주다 (-a/eo juda)」は動作主によって主体に受益が生じる場合に用いられる特徴を持っている。このようなことから、第2章でも述べたように、従来の研究では以下のような表現を用いて述べているものが殆どである。

(55) 글씨가 너무 작아 안 보이는구나. 네가 좀 읽어 주렴.

(字が小さすぎて見えないね。ちょっとあなたが読んでくれる)

(56) 우리 봉사단은 그 마을에 가 홍수 때 망가진 다리를 고쳐 주었다.

(われわれボランティアはあの町に行って洪水で壊れた橋を直してあげた)

さらに、방운규(1994)は、「아/어 주다(a/eo juda)」は以下の詩のように、比喩表現や擬人表現としてよく用いられ、親近感を表すと述べている。

(57) 오는 봄에 나무끝을 쓰다듬어 주는 작은 바람으로 돌아온다면.

(来る春に木の先端を撫でてあげる/くれる小さな風に戻ってきたら)

(58) 내가 그의 이름을 불러 주었을 때 그는 나에게로 와서 꽃이 되었다.

(私は彼の名前を呼んであげたとき、彼は私に来て、花になった)

(57)は「風」が「撫でる」という動作を「木の先端」に「してあげる/くれる」ことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現しており、「風」を擬人化した表現である。(58)の用例は「花」の名前を「呼んであげる」ということを「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現しており、(57)と同じく「花」を擬人化して表現したものである。방운규(1994)はこのような場面で使われる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は親近感を表わすと述べている。しかし、방운규(1994)は「風」や「花」のように自然を対象にしており、無生物に関しては課題が残っている。

林(2014)は、日韓両言語のショッピングチャンネルを対象に調査を行った結果、日本語では商品についての説明やアピールをする際にテモラウが頻繁に用いられているのに対して、韓国語では「아/어 주다 (-a/eo juda)」があまり使われてはいないということが分かった。それでも以下のような用例が 5 例ほど現れており、「아/어 주다 (-a/eo juda)」もテモラウと同じく、説明をする場面においては用いられるのではないかと考えられた。

(59) 여기 기름을 두루시고요, 김치전을 구워 주시고요, 그리고 마요네즈를 뿌려 주시고, 다량어 가루를 뿌려 주세요.

ここに油をお入れになってですね、キムチチジミを焼いてくださってですね/あげてですね、それからマヨネーズをかけてくださってですね/あげてですね、カツオ節をかけて下さい。

(60) 세안을 깨끗히 해 주시고요, 스킨으로 얼굴을 정리해 주신 다음, 이 크림을 얼굴에 듬뿍 발라 주세요.

洗顔を綺麗にしてあげてですね/くださってですね、化粧水で顔を整えてあげた後/くださって後、このクリームを顔にたっぷり付けてください。

(59)は料理研究家がキムチチジミの焼き方について説明しながらキムチ冷蔵庫を宣伝している場面において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。リスナーが「焼く」、「かける」のそれぞれの動作を行うことにより、話し手である料理研究家には受益が生じるわけ

ではない。もちろん、キムチ冷蔵庫を多く売ることにより結果的には受益が生じるだろうが、「焼く」、「かける」などの動作によって直接的な受益が生じるわけではない。(60)の用例も(59)の用例と同じく解釈でき、「洗顔を綺麗にする」、「顔を整える」という動作によってクリーム(化粧品)を宣伝しているアナウンサーには直接的な受益が生じるわけではない。このようなことから(59)、(60)で用いられた「아/어 주다 (-a/eo juda)」は省略可能である。しかし、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。このように考えると日本語の「テレビ・ラジオ」や「ショッピング」を対象に行われた調査結果とも類似しているように思われる。

それでは、「ショッピング」で使われた「아/어 주다 (-a/eo juda)」はどのような機能を担っているのだろう。従来の研究で述べている受益を表わす表現でもなければ、擬人化による親近感を表わす表現でもないようである。

それを解明するために、本節では、ショッピングチャンネルとは異なる場面であるが、ある事柄について質問を受けてそれについて説明する場面を用いてそこで使われる「아/어 주다 (-a/eo juda)」について調査分析した。

4.4.1 調査の概要

調査は以下のようなラジオ番組を対象にした。

表 4-8 調査の概要

プログラム名	그건 이렇습니다. 이재용입니다 (それはこうです。イ・ゼヨンです) (MBC FM)
プログラムの内容	午前 11 時 10 分から 11 時 50 分まで毎日 40 分間放送されている。3 つのコーナーを設けてリスナーの質問を受け、それに答えるという番組。リスナーの質問はニュースの解説を始め様々である。
対象としたコーナー	뒤를 캐는 여자(後を追う女性)
対象とした説明内容	<ul style="list-style-type: none"> ・便器を綺麗に掃除する方法 ・焼肉をした後、床を掃除する方法 ・冬車が曇らないようにする方法 ・土焼きの器(トックペギ)を管理する方法

	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンジャンパーの洗濯方法 ・蠣を洗う方法 ・魔法瓶を洗う方法 ・ウッドブラインドを掃除する方法 ・足裏の角質を除去する方法 ・乾燥する冬に唇を元気に保つ方法
--	---

上記の「뒤를 캐는 여자(後を追う女性)」コーナーでは、リスナーが日常生活において気になることを質問し、それに対して説明するというものである。例えば、質問は、上記の「対象とした説明内容」に記載したとおり、「便器を綺麗に掃除する方法」から「乾燥する冬に唇を元気に保つ方法」まで様々である

4.4.2 分析の方法

分析は、15 分間の説明全体を文字化して、その中から「아/어 주다 (-a/eo juda)」を抽出して行った。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」文を文末に現れるものと文中に現れるものに分けて分析を行った。その理由は日本語ではテモラウが文末はもちろんのこと文中においても使われており、特に継起を表すテ形に接続するテモラウ文は授受表現としてではなく待遇表現としての使われていることが比較的是っきりしていることから、そのようなテモラウ文と比較するためである。

4.4.3 調査結果の分析

15 分間の放送 10 回分を調査分析したところ、以下の〈表 4-9〉のような結果を得た。

表 4 - 9 「아/어 주다 (- a/eo juda)」文

区分	文中	文末	計
出現回数	61 例	38 例	99 例

「아/어 주다 (-a/eo juda)」は計 99 例現れ、その中で文中に現れたものは 61 例であり、文末では 38 例であった。

以下では、「足裏の角質を除去する方法」と「魔法瓶を洗う方法」についての説明内容すべ

てを記載した。

「足裏の角質を除去する方法」

1	방법은 발을 발가락 사이사이까지 <u>닦아 주시고요</u> (直訳(以下、同様)) 方法は足を足指の間まで拭いてあげてですね。
2	대야에 따뜻한 물을 넣고 베이킹 소다를 한 두스푼 정도 넣고 잘 <u>녹여 줍니다</u> . 洗面器にお湯を入れてベーキングパウダーを1スプーンぐらい入れて良く混ぜてあげます。
3	이 베이킹 소다가 물에 녹으면 물을 좀 부드럽게 <u>만들어 주는</u> 작용을 하거든요. このベーキングパウダーがお湯で溶けたらお湯を少し柔らかくしてあげる/くれる作用をするんですよ。
4	이 물에 발을 약 10 분에서 15 분 정도 담궈서 <u>족욕을 해 줍니다</u> . このお湯に足を約10分から15分ぐらい入れて足湯をしてあげます。
5	시간이 지나서 이번에는 베이킹 소다를 작은 용기에 덜어서 뜨거운 물을 조금만 <u>부어 주시고</u> <u>걸쭉하게</u> 만들어요. 時間が過ぎたら今度はベーキングパウダーを小さい容器に入れてお湯を少しだけ入れてあげてとろみを付けます。
6	이걸로 각질 부분에 <u>문질러 주는데요</u> これで角質部分をこすってあげるんですが
7	손으로 동글동글 <u>문질러 줘도</u> 되고요 手で丸こすってあげてもいいですね
8	각질제거 하는 버퍼있잖아요.이걸 이용해서 <u>문질러 줘도</u> 됩니다. 角質を除去するbufferあるんじゃないですか。それを利用してこすってあげてもいいですよ。
9	베이킹소다의 뛰어난 연마작용이 있고요,그리고 안에 들어가 있는 나트륨 성분이 <u>보습해 주고</u> <u>피지 제거해 주고</u> 각질 제거까지 <u>해 줍니다</u> . ベーキングパウダーの優れた研磨作用があってですね、そして中に入っているナトリウム成分が保湿してくれて皮脂除去してくれて角質除去までしてくれます。
10	각질이 두꺼워져 있는 상태라면 긁어내고 잘라 내는 것 보다 <u>족욕을 자주 해 주는</u> 게 좋아요. 角質が厚くなっている状態であれば、削り取ったりカットすることよりも足湯を頻繁にしてあげるのが良いですよ。

11	<p>계속해서 수분을 <u>공급해 주는</u> 게 더 중요하거든요. 족욕을 따뜻한 물에서 10분에서 15분 정도 하고 이번에는 베이킹소다 대신에 소금을 이용해서 살살 문질러 주는데,</p> <p>継続して水分を供給してあげることの方が重要なんですよ。足湯を暖お湯で10~15分程度で、今回はベーキングパウダーの代わりに塩を利用して優しくこすってあげてなんですが、</p>
12	<p>이걸 매일 매일 <u>해 주셔야</u> 합니다.</p> <p>これは毎日やってあげなければなりません。</p>
13	<p>일주일 정도는 꾸준히 매일매일 족욕을 일단 <u>해 주시고요</u>,</p> <p>一週間程度は着実に毎日足湯をひとまずしてあげてですね、</p>
14	<p>겨울에는 목욕하거나 샤워한 후 로션을 발바닥에도 듬뿍 <u>발라 줘야</u> 하구요,</p> <p>冬にはバス、またはシャワーした後、ローションを足の裏にもたっぷり塗ってあげなければならぬですよ。</p>
15	<p>그리고 볼이 좁고 굽 높은 구두는 피하는 게 좋고 발바닥이 받는 압력과 마찰을 <u>줄여 줘야</u> 하니까 걷는 자세도 좀 신경을 쓰셔야 합니다.</p> <p>そして足の幅が狭くかかとの高い靴は避けたほうが良く、靴底が受ける圧力と摩擦を減らしてあげなければならないので、歩く姿勢も少し気を使う必要があります。</p>

「魔法瓶を洗う方法」

16	<p>뜨거운 물에 베이킹소다를 <u>풀어 줍니다</u>.</p> <p>お湯にベーキングパウダーを溶かしてあげます。</p>
17	<p>여기에 보온병을 한 10분간 <u>담가 주고</u> 젓병 씻는 솔로 살살 씻어요.</p> <p>ここに魔法瓶を約10分間浸してあげて、哺乳瓶を洗うブラシで優しく洗います。</p>
18	<p>긴 나무젓가락에 부드러운 수세미를 끼워서 사용해도 됩니다. 그리고 나서 여러번 <u>헹거 주면</u> 됩니다.</p> <p>長い割り箸にやわらかいスポンジを挟んで使用してもいいですね。そして、何度も洗ってあげれば良いです。</p>
19	<p>세척한 달걀껍데기를 대충 부셔서 약간의 물과 함께 보온병에 넣고 손으로 입구를 막고 막 <u>흔들어 줍니다</u>.</p> <p>洗浄した卵の殻を適当に割って少しの水と一緒に魔法瓶に入れて、手で口をふさいで振ってあ</p>

	げます。
20	그럼 달걀껍데기는 잘 부서지면서 꼭 세제 넣은 것 처럼 하얀 거품이 생기는데 물로 깨끗이 <u>헹궈 주면</u> 끝입니다 その後、卵の殻はよく壊れてまるで洗剤を入れたもののように白い泡が立つので、水できれいに洗ってあげれば終わりです
21	달걀껍데기 대신에 쌀을 한줌 넣어서 흔들거나 굵은 소금을 한줌 넣어서 <u>흔들어 줘도</u> 좋습니다. 卵の殻の代わりに米を一握り入れて振ったり、粒の大きい塩を一握り入れて振ってあげてもいいですね。
22	미지근한 물에 식초를 희석해서 넣고 30 분 정도 방치해 두고 솔로 한번 더 <u>닦아 주면</u> 붉은 반점 물때 냄새까지도 싹 제거 되고 살균소독도 돼서 좋습니다. ぬるま湯に酢を希釈して入れて30分ほど放置しておいてブラシでもう一度拭いてあげると赤い斑点、水の垢、匂いまでもきれいに除去され、殺菌消毒もなってお勧めします。
23	최대한 고무패킹이나 스프링 등등 분리가 되는 부분은 다 분리를 <u>시켜 주시고</u> 미지근한 물에 식초를 풀어서 10 에서 20 분 <u>담가준 후</u> 애들 빨대컵 닦는 아주 작은 솔 있으면 그걸로, 없으면 부드러운 미세모 칫솔로 <u>닦아 줍니다.</u> 最大限ゴムパッキンやスプリング等の分離ができる部分は、全部分割をしてあげて、ぬるま湯に酢を溶かして10から20分浸してあげた後、子供たちのストローカップ洗う、非常に小さいブラシがあればそれ、なければ柔らかい歯ブラシで磨いてあげます。
24	이걸로도 안 된다면 이쑤시개에 키친타올 작게 돌돌 말아서 구석구석 꼼꼼히 <u>닦아 줍니다.</u> これでもだめならつまようじにキッチンタオルを小さくくるくる巻いて隅から隅まで細かく磨いてあげます。
25	그리고 물에 여러 번 <u>헹궈 주면</u> 대부분 물때가 제거됩니다. そして水で何度も洗ってあげればほとんど水垢は削除されます。

上記の用例を用いて分析した結果、まず、文中と文末に焦点をおいて観察してみると文中においては、「닦아 주시고요(拭いてあげてですね)」、「부어 주시고 (入れてあげて)」、「보습해 주고(保湿してくれて)」、「제거해 주고(除去してくれて)」、「담가 주고 (浸し

てあげて)」、「분리를 시켜 주시고 (分解をしてあげて)」のような継起を表す「아/어 고 (-a/eo go)」が多く現れていることが分かった。このような継起を表す「아/어 고 (-a/eo go)」についている「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、日本語の継起を表す「テ形」についてのテモラウと同様省略しても以下のように非文にはならない。

(61)a 방법은 발을 발가락 사이사이까지 닦아 주시고요

(直訳)方法は足を足指の間まで拭いてあげてですね。

b 방법은 발을 발가락 사이사이까지 닦으시고요

方法は足を足指の間までふいてですね。

(62)a 일주일 정도는 꾸준히 매일매일 족욕을 일단 해 주시고요,

一週間程度は着実に毎日足湯をひとまずしてあげてですね、

b 일주일 정도는 꾸준히 매일매일 족욕을 일단 하시고요,

一週間程度は着実に毎日足湯をひとまずしてですね、

(63)a 겨울에는 목욕하거나 샤워한 후 로션을 발바닥에도 듬뿍 발라 줘야 하구요,

冬にはバス、またはシャワーした後、ローションを足の裏にもたっぷり塗ってあげなければなりませんよ。

b 겨울에는 목욕하거나 샤워한 후 로션을 발바닥에도 듬뿍 발라야 하구요,

冬にはバス、またはシャワーした後、ローションを足の裏にもたっぷり塗らなければならないですよ。

このような省略の可否は継起を表す「아/어 고 (-a/eo go)」についている「아/어 주다 (-a/eo juda)」だけではなく、以下のような「아/어 주다 (-a/eo juda)」においても省略可能であることがわかる。

(64)a 그럼 달걀껍데기는 잘 부서지면서 꼭 세제 넣은 것 처럼 하얀 거품이

생기는데 물로 깨끗이 헹궈 주면 끝입니다

その後、卵の殻はよく壊れてまるで洗剤を入れたもののように白い泡が立つので、

水できれいに洗ってあげれば終わりです。

b 그럼 달걀껍데기는 잘 부서지면서 꼭 세제 넣은 것 처럼 하얀 거품이 생기

는데 물로 깨끗이 헹궈 끝입니다

その後、卵の殻はよく壊れてまるで洗剤を入れたもののように白い泡が立つので、水できれいに洗えば終わりです。

(65)a 그리고 물에 여러 번 헹궈 주면 대부분 물때가 제거됩니다.

そして水で何度も洗ってあげればほとんど水垢は削除されます。

b 그리고 물에 여러 번 헹궈 주면 대부분 물때가 제거됩니다.

そして水で何度も洗えばほとんど水あかは削除されます。

次は、文末に現れる、「아/어 주다 (-a/eo juda)」について確認する。文末には、「해 줍니다(してくれます)」、「녹여 줍니다(混ぜてあげます)」、「해 줍니다(してくれます)」、「해 주셔야 합니다(やってあげなければなりません)」、「풀어 줍니다(溶かしてあげます)」、「닦아 줍니다(磨いてあげます)」のような表現が多く現れた。文末に現れた「아/어 주다 (-a/eo juda)」も以下のように、省略しても非文にはならない。

(66)a 세척한 달걀껍데기를 대충 부셔서 약간의 물과 함께 보온병에 넣고 손으로 입구를 막고 막 흔들어 줍니다.

洗浄した卵の殻を適当に割って少しの水と一緒に魔法瓶に入れて、手で口をふさいで振ってあげます。

b 세척한 달걀껍데기를 대충 부셔서 약간의 물과 함께 보온병에 넣고 손으로 입구를 막고 막 흔들니다/흔드세요.

洗浄された卵の殻を適当に割って少しの水と一緒に魔法瓶に入れて、手で口をふさいで振ります/振ってください。

(67)a 이걸로도 안 된다면 이쑤시개에 키친타올 작게 돌돌 말아서 구석구석 꼼꼼히 닦아 줍니다.

これでもだめならつまようじにキッチンタオルを小さくくるくる巻いて隅から隅まで細かく磨いてあげます。

b 이걸로도 안 된다면 이쑤시개에 키친타올 작게 돌돌 말아서 구석구석 꼼꼼히 닦습니다/닦으세요.

これでもだめならつまようじにキッチンタオルを小さくくるくる巻いて隅から隅まで細かく磨きます/磨いてください。

さらに、文末に現れる「해 줍니다(してくれます)」、「녹여 줍니다(混ぜてあげます)」、「해 줍니다(してくれます)」、「해 주셔야 합니다(やってあげなければなりません)」、「풀어 줍니다(溶かしてあげます)」、「닦아 줍니다(磨いてあげます)」のような表現は、リスナーから質問を受けて、その質問に対して説明する場面であることからむしろ、以下のように「아/어 주세요 (-a/eo juseyo〜てください)」のような命令表現にした方が適格であると考えられる。しかし、今回の調査においては「아/어 주세요(-a/eo juseyo)」のような命令表現は一つも現れなかった。

(68)a 대야에 따뜻한 물을 넣고 베이킹 소다를 한 두스푼 정도 넣고 잘 녹여 줍 니다.

洗面器にお湯を入れてベーキングパウダーを1スプーンぐらい入れて良く混ぜて
あげます。

b 대야에 따뜻한 물을 넣고 베이킹 소다를 한 두스푼 정도 넣고 잘 녹여 주세요.

洗面器にお湯を入れてベーキングパウダーを1スプーンぐらい入れて良く混ぜて
ください。

(69)a 이 물에 발을 약 10 분에서 15 분 정도 담궈서 족욕을 해 줍 니다.

このお湯に足を約10分から15分ぐらい入れて足湯をしてあげます。

b 이 물에 발을 약 10 분에서 15 분 정도 담궈서 족욕을 해 주세요.

このお湯に足を約10分から15分ぐらい入れて足湯をしてください。

また、以下のように今回の調査から、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は主体が人に関する場合はもちろんのこと、物が主体の場合においても使われることが分かった。

(70) 계속해서 수분을 공급해 주는 게 더 중요하거든요. 족욕을 따뜻한 물에서 10 분에서 15 분 정도 하고 이번에는 베이킹소다 대신에 소금을 이용해서 살살 문질러 주는데, 이걸 매일 매일 해 주셔야 합니다.

継続して水分を供給してあげることの方が重要なんですよ。足湯を暖お湯で10～15分程度で、今回はベーキングパウダーの代わりに塩を利用して優しくこすってあげる
んですが、これは毎日やってあげなければなりません。

(71) 베이킹소다의 뛰어난 연마작용이 있고요, 그리고 안에 들어가 있는 나트륨 성분이 보습해 주고 피지 제거해 주고 각질 제거까지 해 줍니다.

ベーキングパウダーの優れた研磨作用があつてですね、そして中に入っているナトリウム成分が保湿してくれて皮脂除去してくれて角質除去までしてくれます。

(70)、(71)の主体は人の身体である足裏である。足裏に「水分を供給してあげる」、「塩を利用して優しくこすってあげる」、「毎日やってあげる」、「保湿してくれる」、「皮脂除去してくれる」、「角質除去までしてくれます」ということによって足裏の角質がとれるということを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。しかし、以下の用例は上記の用例とは異なって、主体が人の身体ではなく魔法瓶である場合でも、「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現している。

(72) 달걀껍데기 대신에 쌀을 한줌 넣어서 흔들거나 굵은 소금을 한줌 넣어서 흔들어 줘도 좋습니다.

卵の殻の代わりに米を一握り入れて振ったり、粒の大きい塩を一握り入れて振ってあげてもいいですね。

(73) 미지근한 물에 식초를 희석해서 넣고 30 분 정도 방치해 두고 솔로 한번 더 닦아 주면 붉은 반점 물때 냄새까지도 싹 제거 되고 살균소독도 돼서 좋습니다.

ぬるま湯に酢を希釈して入れて 30 分ほど放置しておいてブラシでもう一度拭いてあげると赤い斑点、水の垢、匂いまでもきれいに除去され、殺菌消毒もなってお勧めします。

(72)、(73)の「아/어 주다 (-a/eo juda)」の表現を日本語に直訳すると「～てあげる」であると考えられるが、ここで「～てあげる」を使用するとやや不自然ではあるが、使えないわけではないようである(日本語母語話者 3 名⁴⁶に確認済)。しかし、上記の韓国語は以下のように本研究の対象であるテモラウに置き換えることができることから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」はテモラウのように待遇表現としての機能を持っているのではないかと考えられる。

⁴⁶ 日本語母語話者 3 名に適格性について聞いてみたところ、「～てあげる」で言わない方が自然であるということであった。

(72) 달걀껍데기 대신에 쌀을 한줌 넣어서 흔들거나 굵은 소금을 한줌 넣어서 흔들어 줘도 좋습니다.

卵の殻の代わりに米を一握り入れて振ったり、粒の大きい塩を一握り入れて振ってもらってもいいですね。

(73) 미지근한 물에 식초를 희석해서 넣고 30 분 정도 방치해 두고 솔로 한번 더 닦아 주면 붉은 반점 물때 냄새까지도 싹 제거 되고 살균소독도 돼서 좋습니다.

ぬるま湯に酢を希釈して入れて 30 分ほど放置しておいてブラシでもう一度拭いてもらうと赤い斑点、水の垢、匂いまでもきれいに除去され、殺菌消毒もなってお勧めします。

つまり、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は従来の研究で述べている授受表現の機能だけではなく、テモラウが持っている待遇表現としての機能をも持っているのではないかと考えられる。このようなことを検証するためには上記のような場面において「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現する韓国語母語話者を対象に調査する必要があるだろう。それらについては、第 6 章においてその調査の結果を述べることにする。

4.4.4 調査結果の考察

4.4 節で、韓国のラジオ番組を調査対象とした「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての分析を行った結果、「쇼핑」よりもラジオ番組の方が「아/어 주다 (-a/eo juda)」が多く使われていることが分かった。また、文中と文末を詳細に分析した結果、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を省略しても文法的にも適格的な文となり、意味的にも「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いなくても変わりのない文であるにもかかわらず使われているということが確認された。また、文末で使われている「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、「아/어 주세요 -a/eo juseyo」のように命令形にしても説明をする表現においては適格であると思われるが、そのような表現は見当たらなかったということが分かった。

このような結果から、韓国語においても日本語と同様、行為を説明する場面において、命令形を用いて表現することに抵抗感があるのではないかと考えられる。つまり、本来、ある事柄について説明する場面においては話し手に受益が生じるわけではないが、「아/어 주다 (-

a/eo juda)」で表現することにより、動作主の行為によって、まるで話し手に受益が生じたかのような表現になり、聞き手に対する配慮をする気持ちを表現しているのではないか、そのようなことから命令形でも表現しないのではないかと考えられる。また、行為を説明する場面において使われる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「～てあげる」、「～てくれる」で表現すると不自然だが、本研究の対象であるテモラウで表現すると自然であることも確認された。このようなことから「아/어 주다 (-a/eo juda)」もテモラウのような待遇表現としての機能をも担っているのではないかと考えられ更なる研究が必要である。このような疑問に関しては第 6 章で述べることにする。

4.5 まとめ

第 4 章では、テレビ・ラジオにおけるテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての使用実態の調査を行った。調査により、テモラウが使われている具体的な場面や形態が確認できた。それに基づき、テモラウ文を話し手に直接的な受益が生じるテモラウ文と話し手に直接的な受益が生じないテモラウ文に分けて分析することを試みた。

「テレビ」、「ラジオ」と「ショッピング」のいずれについても、テモラウ文は、話し手に直接的には受益が生じない場面においても用いられるということが確認された。しかしメディアによつての相違点も分った。「テレビ」、「ラジオ」の「インタビュー」では、受益者が話し手である場合のテモラウ文の方が受益者が聞き手である場合のテモラウ文よりも多く現れたが、「ショッピング」では、それと反対に受益者が聞き手である場合のテモラウ文の方が多く現れた。それは「インタビュー」と「ショッピング」の場面の違いによるものであると考えられる。つまり、「ショッピング」では潜在的な客である視聴者に対しては、売り手であるキャスターやバイヤーは最も高いレベルの敬語表現を使わなければならないという場面であり、一方、「インタビュー」はそのような必要性はないものである。そして分析結果から、テモラウは授受表現の機能としてではなく、待遇表現として使われているものと考えられる。

また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、「ショッピング」では殆ど使われていなかったのに対して、「ラジオ番組」では多く使われていることが判明し、このことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は人間関係や場によって使い方に制限があるのではないかと考えられる。

「ラジオ番組」で使われていた「아/어 주다 (-a/eo juda)」をテモラウと比較分析した結果、

テモラウと同様省略が可能であることが分かった。また、文末において使われる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「아/어 주세요 -a/eo juseyo」のような命令表現で表現しても適格であるにもかかわらずそのような表現は一つも現れなかったことから、韓国語においても命令形を用いて表現することに抵抗感があるのではないかと考えられる。

このようなことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」はテモラウのような待遇表現の機能をも担っているのではないかと考えられ、さらなる検討が必要であろう。このような課題について第 6 章で述べることにする。

第 4 章ではテレビにおけるテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての調査分析をした。次の第 5 章ではテレビとラジオとは異なる実際の人間関係や場面において、テモラウや「아/어 주다 (-a/eo juda)」がどのように表現され発話されているのかを確認する。

第5章

行為説明表現におけるテモラウ文と「아/어 주다 (a/eo juda)」文の使用実態調査 - 「道案内」と「食べ方」に関する調査を中心に-

5.1 はじめに

第4章では、メディアに現れたテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」について分析を行った。その結果、テモラウについては話し手に受益が生じない場面においても多く使われることが判明した。「아/어 주다 (-a/eo juda)」については「ショップ」では殆ど使われていなかったのに対して、「ラジオ」では多く使われるということが分った。「아/어 주다 (-a/eo juda)」については人間関係や場によって使い方に制限があるのではないかと考えた。また、テモラウとの比較分析を行った結果、テモラウと同様に省略が可能であることも分かった。

それでは、テレビやラジオ番組とは異なる場面においてどのような表現が発話されるのだろうか。人間関係や場面が異なれば発話にも違いが現れるだろう。

そこで、本章ではテレビやラジオ番組とは異なる人間関係や場面である実際の日常生活の中で、テモラウや「아/어 주다 (-a/eo juda)」がどのように発話されているのかを確認する。

林(2014b)では、「ショップ」の、売り手が商品の良さや使い方などを詳細に説明している場面において、特にテモラウが多く使われていることを明らかにした。そこで、そのようなテモラウの性質については、売り手が客に対して何らかの配慮をしていることを表している表現ではないかとの仮説を立てた。つまり、林(2014b)では、〈表 5-1〉のように、当該「ショップ」の場面は、商品を売る店員(話し手)が客(聞き手)に対して商品を購入してもらいたいという「依頼」をする場面であることから、客に対して負わせた「(購入)依頼」という負担を軽減させる必要が生じており、そのための表現の工夫として、テモラウを使って表現しているものではないかと考えたところである。また、「ショップ」では、店員と客という立場の上下関係⁴⁷(南 1987)があるということ

⁴⁷ 南不二男(1987)では、敬語の要素の現れに関する条件として、「外的条件」「内的条件」があると述べている。そのなかで、「外的条件」には「人間関係の条件」があり、「人間条件」にはまた、「本人か本人ではないか」、「性別」、「所属階層、地位、立場その他」、「上下関係」のような各

や話し手が発話する場が公式的なメディアの場であるということも、影響されるのではないかと考えられる。

表 5 - 1⁴⁸ 「ショップチャンネル」の場面状況

話し手	聞き手	人間関係	親疎関係	表現の場	表現意図
依頼主体	被依頼主体	客と店員	疎	公式的な場	商品を購入してもらいたい

それでは、「ショップ」における状況の関係とは異なるような関係、つまり、話し手は聞き手に負担を負わせるのではなく、反対に聞き手からの依頼により聞き手に対し利益たる情報を提供するという関係にあり、また、話し手と聞き手に立場的上下関係がない初対面同士というような関係にあって、かつ、メディアという媒体ではない日常生活という場面における話し手の発話にはどのような特徴を見られるのであろうか。

第4章で述べたようにテモラウ文や「아/어 주다 (-a/eo juda)」文を分析したところ、話し手が聞き手に対して何らかについて説明をする場面において良く用いられるということが分かった。そこで、本章では説明をする場面を設定してテモラウの出現頻度等に関する具体的な調査を試みる。さらに、韓国語でも同じ方法で調査を行い、日本語の調査と比較分析を行う。

5.2 行為説明表現

私たちの言語生活においては、色々な言語行動があるが、本研究では、相手にある事柄がよくわかるように述べるという場面を設定して、その場面における表現に焦点を当て分析を試みる。具体的には、「説明してもらいたい」と依頼してきた依頼主体に、「説明してあげる」という被依頼主体における発話のことを「行為説明表現」と呼び、「行為説明表現」という談話レベルで用いられるテモラウについて分析を行う。

「説明する」際、話し手は聞き手との関係や説明の内容を考慮し、様々な言語形式の中から、

種のあるものと述べている。さらに、「上下関係」を「身分的上限関係」、「生得的上下関係」、「経歴的上下関係」、「役割的上下関係」、「差別的上下関係」、「能力的上下関係」、「立場的上下関係」、「絶対的上下関係」がある。その中で、「立場的上下関係」には、「客-店員」、「貸す側-借りる側」、「頼まれる側-頼む側」、「教える側-教われる側」のような各種があると述べている。

⁴⁸ <表 5-1>は、蒲谷(2013)を参考に作成したものである。

最適のものを選択するというプロセスを経て表現しているもの考えられる。本研究が設定した場面は話し手にとって聞き手は初対面であり、説明の内容は、初対面同士でよく起こり得る、「道案内」と「食べ方」とした。

「道案内」と「食べ方」、この二つの場面において、テモラウがどのような形式で現れ、どのぐらいの頻度で使われているのかを確認する。また、日本語と同じく授受表現を有している韓国語との比較分析を行う。

蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)⁴⁹からもわかるように、当該の「行動」を誰がして、その「行動」をするかしないかの「決定権」が「表現主体」つまり話し手である「自分」と、「理解主体」、つまり聞き手である「相手」のどちらが持つのか、さらに、その「行動」によって「恩恵・利益」が「自分」に生じるのか、「相手」に生じるのかによって、その表現の仕方が変わってくる。つまり、「表現主体(=自分)」、「理解主体(=相手)」、「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」は敬語表現で表現するか否かに関わる大事な要素ということである。

本研究の対象であるテモラウや「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、授受表現であることから、第2章で述べたように、受益性と密接な関係を持つ文法項目である。その受益性を生じさせた原因を作った動作主(=行動者)は誰なのか、その動作主に働きかけがあったかどうか、等によってその授受表現の使い方や意味が変わってくる。まさに、授受表現を用いて表現するか否かは、敬語表現の場合と同様に、「表現主体(=自分)」、「理解主体(=相手)」、「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」などの要素に関係していると思われる。

従来の研究は、「依頼する」側に焦点を当てての分析が殆どであった⁵⁰。このような依頼表現は、「行動」は「相手」がし、「決定権」も「相手」にあって、その「行動」による「利益・恩恵」が「自分」に生じることから、最も高い敬語表現を用いなければならない場面である(蒲谷(1998))。そこで、従来の研究では殆ど対象としていなかった被依頼主体における発話によって、依頼主体である「相手」に「利益・恩恵」が生じる場面における、話し手の表現にはどのような特徴があるのか調査する。さらに、表現主体つまり話し手の表現に焦点を当て、テモラウで表現した理由についても調査を行い、その表現の表現意識をも確認する。

なお、「表現意識」に関して、蒲谷(1998)は、敬語表現を行う目的の1つは、お互いに気持ちのいい、満足のいくコミュニケーションを達成させるということであるとしており、そのためには自

⁴⁹ 蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)に関する詳細は第6章で述べる。

⁵⁰ 「依頼表現」に関する先行研究は第6章で紹介する。

分だけではなく相手の意識(気持ち)を考え、表現と理解の両面に様々な配慮や工夫をする必要があると述べている。その意識(気持ち)は、「内容(なかみ)」や「形式(形)」と連動することによって伝わるものであるということから、例えば、行動展開表現⁵¹の中で、依頼表現には相手に迷惑や負担をかけて申し訳ないという気持ちが前提としてあり、さらに、実現してくれたらありがたい、嬉しいという気持ちなどがある。その気持ちを、それにふさわしい「内容(なかみ)」や「形式(かたち)」に示していくことが大切であると述べている。

5.2.1 調査の概要

調査の対象は次の2つの「行為説明表現」場面である。1つは、駅までの行き方について説明する場面である(以下「道案内」と呼ぶ)。もう一つは、しゃぶしゃぶの食べ方について説明する場面である(以下「食べ方」と呼ぶ)。

調査で用いた被験者の質問文は次のとおりである。⁵²

【道案内】

1. 初対面の人に道案内をする場面です。「希望駅」までの行き方を下の地図を使って説明してください。

【食べ方】⁵³

2. しゃぶしゃぶを初めて食べる初対面の人にその食べ方を、「お肉を取る/鍋の中で2、3度しゃぶしゃぶする/好みのソースをつけて召し上がる」などの言葉を使って説明してください。

調査の対象者⁵⁴は、日本に住んでいる日本語を母語とする日本人52人と韓国に住んでいる

⁵¹ 「行動展開表現」に関する詳細は第6章で述べる。

⁵² 調査に関する詳細は「参考資料Ⅱ」を参照されたい。

⁵³ しゃぶしゃぶの食べ方に関しては、被験者が設問の例文を読んでもしまう可能性を防ぐため、食べ方の例文は参考にするだけで、被験者自身の食べ方で自由に話してもらうことにした。

⁵⁴ 本研究は社会言語学的な調査及び分析を行ったわけではないため、調査の協力者は、日韓両言語の母語話者共に、大学の教授、医者、主婦、サービス業など様々な職業を対象に行ったが、それぞれの特徴については分析から除外することにする。しかし、日本語の調査において

韓国語を母語とする韓国人 50 人である。

1) 調査期間

2014 年 3 月 20 日～6 月 20 日

2) 調査場所

日本: 東京都内にある、公園、病院、美容室、学校、空港等

韓国: ソウルと仁川にある、学校、文化センター、空港等

5.2.2 調査の方法

本調査では、できるだけ日常に近い言葉遣いや言語意識を引き出されるよう、気軽な会話の雰囲気の中で被験者が回答できるように心懸けた。

調査は、調査員である筆者自身が実際に質問し、その質問に対して被験者が口頭で述べた自由発話形式の方法であり、被験者の回答を録音し、文字化して分析を行った。また、テモラウを用いて表現した被験者にはその使用理由及び聞き手が初対面ではなく、仲の良い友達や家族の場合にはどのように表現するかについてもできるだけ⁵⁵回答してもらった。調査員と被験者の会話は以下のように行った。

日本語の調査

I ⁵⁶ 18	希望駅までの行き方を教えてください。
J18	ここまっすぐ行っていただいて、空駅十字路というところに突き当たりますので、そこを右にまがりますね。一本目に夢銀行十字路というところがありますので、そこを左に曲がってください。で左に希望駅があります。

は日本語教師の発話は本研究の対象であるテモラウ文の特徴と比較し、その特徴を明らかにする必要があったため、日本語教師の発話は分析の対象とした。また、年齢は日韓共に、10 代から 70 代まで、男女区別せず調査を行ったが、年齢における分析も対象外にした。

⁵⁵ 調査の特徴上、録音をするという負担度の高いものであるため、相手が初対面の場合に対する答え以外に、相手が仲の良い友達や家族の場合に対する答えまで聞くことは無理な場合があった。そこで、テモラウ文を使って説明した被験者には、「相手が仲の良い友達や家族の場合にもテモラウ/テイタダクを使いますか」と聞き、「はい」、「いいえ」で答えてもらった。本調査では、テモラウ文で答えた被験者全員が相手が仲の良い友達や家族の場合においてはテモラウ文を使わないと答えた。詳細については、第6章で述べることにする。

⁵⁶ 「I」は調査員である。また「J」は日本の被験者であり、「K」は韓国の被験者のことである。

I18	しゃぶしゃぶの食べ方を教えてください。
J18	お鍋とお皿と配膳されてきたら、まず、好きな具をお箸でつかんでいただいて、お湯の中でしゃぶしゃぶと、つけていただいて食べてください。でも、少しお野菜は煮た方がいいかもしれませんね。お肉ですけども、お肉をお箸でつまんで、お湯の中でつけてしゃぶしゃぶと手振り、つけていただいて、好きな、ま〜ポン酢だったり、ゴマタレだったりありますので、それにつけていただいて召し上がってください。
I18	ここ、初対面ではなくて、友達です。友達だったらどういう風に教えますか。
J18	そしたら、ですます使わないで普通にくだけた言葉で話します。
I18	どういう風にですか？
J18	(笑)普通に、別に、ここにいるので、空駅十字路があるので、そこを右に曲がって、まっすぐ行くと、一本目に夢銀行という十字路があるから、そこをいくと希望駅が左手にあります。あるよって。(笑)
I18	先ほど、初対面の人にはテイタダイテって使って、友達にはテイタダイテって使ってなかったんですが、その理由はなんですか？
I18	初対面の人だと、こう、やはり、くだけた言い方、何というの？初対面の人にはあまり、こう〜敬語使ったほうがいいでしょう。年も分かんないし、どんな立ち立場かも分かんないし。
I18	ありがとうございます。

韓国語の調査

I18	희망역까지 가는 방법 좀 가르쳐 주시겠어요? (希望駅までの行き方を教えてください ⁵⁷)
K18	현위치에서요, 직진하시다가 오른쪽으로 보시면 하늘역 7번출구를 지나자마자 우회전을 하셔서요, 쪽 직진을 하시다가 보면 다음 사거리가 꿈은행사거리 나와요. 거기 꿈은행 사거리에서 좌회전을 하셔서 쪽 가시다보면 왼편에 희망역이 보입니다. (現位置からですね、直進されて右側をご覧になると空駅7番出口を過ぎてすぐ右折をなさ

⁵⁷ ここで用いられる日本語の訳は筆者による直訳である。以下、同様である。

	<p>ってですね、まっすぐ行かれてみると次の十字路に夢銀行が出てきます。そこ夢銀行十字路で左折をなさってまっすぐ行かれてみると左側に希望駅が見えます。)</p>
I18	<p>샤브샤브는 어떻게 먹는 거예요? (しゃぶしゃぶはどのように食べますか)</p>
K18	<p>맛있는 육수를 열을 가해서 끓입니다. 열이 가열이 돼서 충분히 100 도씨가 되면은 야채를 먼저 샤브샤브 육수에다가 넣어서 건져서 드시는데요. 보통 채소는 버섯하고 미나리 그리고 여러가지 배추라든가 여러가지 채소가 있구요. 샤브샤브에서 제일 중요한 건 야채나 고기를 찍어 먹는 소스가 중요합니다. 소스는 보통 간장에다가 겨자를 넣어서 기호에 맞게 알맞게 해서 드시면 되구요. 다 드시고 난 후 해산물, 해산물은 기호에 따라 새우라든가 아니면 소라 라든가 아니면 여러가지 해산물을 건져서 드시는 게 맛있구요, 그리고 소고기를 얇게 썰어서 육수에 넣어서 건져서 드시면 됩니다. 샤브샤브의 마지막으로 드시는 별미로 소고기 육수물에 칼국수 사리를 넣어서 맛있게 끓여 드시면 될 것 같습니다.</p> <p>(美味しいスープを熱を加えて煮込みます。熱が加熱になって十分に 100 度になると野菜を先にしゃぶしゃぶスープに入れてから取り出して召し上がるものですが。普通野菜はキノコとセリそして様々な白菜とかいろいろな野菜があるんです。しゃぶしゃぶで一番重要なのは野菜や肉をつけて食べるソースが重要です。ソースは、通常、醤油にマスタードを入れてお好みに合わせて適当に召し上がればいんです。全部召し上がった後シーフード、シーフードは好みに応じてエビとか、またはサザエとか、または様々なシーフードを取り出して召し上がった方がいいですね。そして牛肉を薄く切り、スープに入れて取り出して召し上がればいんです。しゃぶしゃぶの最後に召し上がる珍味として牛肉スープにカルダクサリーを入れておいしく召し上がればいと思います)</p>

なお、調査員である筆者自身が日本人にとっては外国人であるため、日本人に対する調査においては、被験者が外国人にもわかりやすい表現を選択してしまうことも考慮し、予め、質問者は日本人であると仮定するよう条件付けした。

5.2.3 分析の方法

調査の結果から、「道案内」では、「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」という動詞が多く現れたので、その6つの動詞について分析を行った。韓国語の場合は、「가다(gada 行く)」、「돌다(dolda 曲がる)」、「건너다(geonneoda 渡る)」、「하다(hada する)」を中心に分析した。また、「食べ方」は、日本語の分析においては、「取る」、「つける」、「入れる」、「する」、「食べる/召し上がる」という動詞について分析をした。一方、韓国語の場合はしゃぶしゃぶの食べ方が日本とは異なるため、日本語の「取る」、「つける」、「入れる」、「する」、「食べる/召し上がる」だけではなく様々な動詞を用いて説明していたため、「잡다(jibda 取る)」、「찍다(jjigda つける)」、「넣다(neohda 入れる)」、「하다(hada する)」、「먹다/ 드시다/잡수시다(meogda 食べる/deusida/jabsusida 召し上がる)」以外の動詞についても分析を行った。

そして、上記の動詞について、日本語の分析においては、「授受補助動詞」、「本動詞」、「丁寧語」という形態別に分析を行った。「授受補助動詞」とは、テモラウ/テイタダクを用いた形式を示し、「本動詞」とは、テモラウ/テイタダクを用いない形式を示す。また、「丁寧語」とは動詞に丁寧語を表わす「～です/ます」が付いた形を示す。まず、「授受補助動詞」の分析をし、テモラウを用いて表現する特徴について確認した後、「本動詞」のテモラウを使わない表現について分析を行った。さらに、テモラウと敬語表現との関係について調べるため、「丁寧語」の分析を行った。このような分析をする理由は、テモラウが文中に現れる際にどのような形で表れるのかを確認し、また、それとテモラウで表現しない形とを比較するためである。テモラウを使った表現とテモラウを使わない表現の比較によってテモラウを用いて表現する理由が明らかになるものと考えられるからである。さらに、韓国語の調査における表現の仕方と比較するためである。

一方、韓国語の分析においては、テモラウ/テイタダクに対応する韓国語の授受表現である「아/어 주다 (a/eo juda)」、「아/어 주시다(a/eo jusida)」が現れなかったため、日本語と異なる分析方法を取った。つまり、「本動詞」、「尊敬語」、「本動詞+요(-yo)」、「尊敬語+요(-yo)」という形態別に分析を行った。「本動詞」とは、「道案内」では、「가다(gada 行く)⁵⁸」、「돌다(dold 曲がる)」、「건너다(geonneoda 渡る)」、「하다(hada する)⁵⁹」、「食べ方」では、

⁵⁸ また、日本語の「行く」に対応する「가다(gada 行く)」は単独に現れておらず、「걸어가다(-georeogada 歩いて行く)」、「올라가다(-olragada 上っていく)」のような複合動詞の形が多かったため、これらを「가다(-gada 行く)」として数えた。

⁵⁹ 「하다-hada」は、日本語の「する」動詞に当たるが、日本語の「道案内」の調査では「直進する」しか「する」動詞が現れなかったのに対して、韓国語では「우회전하다(右折する)」、

「잡다(jibda 取る)」、「찍다(jjigda つける)」、「넣다(neohda 入れる)」、「하다(hada する)」、「먹다/ 드시다/잡수시다(食べるmeogda/deusida/jabsusida 召し上がる)」などの動詞について、日本語のテ形に対応する「고(-go)」、「어서(-eoseo)」、「다가(-daga)」、タラ形、ト形に対応する「(으)면(-eu)myeon」がついた形を言い、「尊敬語」とは、それぞれの本動詞に尊敬語を表わす「(으)시(-eu)si」がついた形を言う。また、「本動詞+요(-yo)」は、「本動詞」に丁寧を表わす「요(-yo)」がついた形であり、「尊敬語+요(-yo)」は「尊敬語」に「요(-yo)」がついた形のことを言う。

上記の日韓両言語の分析方法を以下の〈表 5-2〉に示す。

表 5 - 2 日韓両言語の分析方法

	日本語	韓国語
形態別	a.授受補助動詞	a.本動詞
	b.本動詞	b.尊敬語
	c.丁寧語	c.本動詞+요 (-yo)
		d.尊敬語+요 (-yo)

以下からはそれぞれの分析の方法についてより詳しく確認する。まず、日本語の分析方法から述べる。

a. 授受補助動詞

テモラウには、テ形である①「～てもらって」、②「～ていただいて」、ト形である③「～てもらうと」、④「～ていただくと」、タラ形である⑤「～てもらったら」、⑥「～ていただいたら」の6つの形態について分析を行った。

b. 本動詞

テモラウが接続されていない、テ形、ト形、タラ形について分析した。

c. 丁寧語

動詞に丁寧語が接続された表現について分析した。調査では敬語の中、日本語の尊敬語の形である、「～られる」や「お～になる」は現れなかったため、動詞に丁寧語の「～です/ま

「좌회전하다(左折する)」、「직진하다(直進する)」など、「하다 (-hada)」動詞が日本語の「する」動詞より多く現れたため、韓国語の調査では、「하다(-hada)」をキーワードとして数えた。

す」が接続されたものについて分析を行った。

次に韓国語の分析方法について確認する。

a. 本動詞

日本語の分析においては、テ形である①「～てもらって」、②「～ていただいて」、ト形である③「～もらうと」、④「～ていただくと」、タラ形である⑤「～もらったら」、⑥「～ていただいたら」の6つの形態について分析を行ったが、韓国語においては、これらの6つのそれぞれの形態に対応する韓国語である、①「～아/어 주고(=～てもらって)」、②「～아/어 주시고(=～ていただいて)」、③「～아/어 주면(=～てもらうと/～もらったら)」、④「～아/어 주시면(=～ていただくと/～ていただいたら)」が現れなかったため、それぞれの動詞に、日本語のテ形に対応する「고(-go)」、「어서(-eoseo)」、「다가(-daga)」、タラ形、ト形に対応する「(으)면(-eu)myeon」がついた形をについて分析を行った。

b. 尊敬語

「本動詞」に尊敬語を表わす「(으)시(-eu)si」がついた形について分析を行った。

c. 本動詞+요(-yo)⁶⁰

「本動詞」に「요(-yo)」がついた形である、「～고요(-goyo)」、「～면요(-myeonyo)」、「～어다가요(-eodagayo)」、「～어서요(-eoseoyo)」とした。なお、韓国語の「요(-yo)」については次節で述べることにする。

d. 尊敬語+요(-yo)

「尊敬語+요(-yo)」は「尊敬語」に「요(-yo)」がついた形のことを言う。たとえば、「道案内」では、「가다(gada 行く)」、「돌다(dold 曲がる)」、「건너다(geonneoda 渡る)」、「하다(hada する)」、「食べ方」では、「집다(jibda 取る)」、「찍다(jjikda つける)」、「넣다(neota 入れる)」、「하다(hada する)」、「먹다/ 드시다/잡수시다(meokda 食べる/deusida/jabsusida 召し上がる)」などの動詞について、日本語のテ形に対応する「고(-go)」、「어서(-eoseo)」、「다가(-daga)」、タラ形、ト形に対応する「(으)면(-eu)myeon」に尊敬語を表す「(으)시(-eu)si」にさらに敬語表現である「요(-yo)」がついた形について分析を行った。

上記の4つの形態を動詞の「가다(gada 行く)」をテ形に対応する「고(-go)」を用いて解りやすく表わしたものが以下の通りである。

⁶⁰「요(-yo)」については、5.4節で述べる。

「가다(gada 行く)」

- | | |
|------------|---------------------------|
| a.本動詞 | 가고(ga-go 行って) |
| b.尊敬語 | 가시고(ga-si-go 行かれて) |
| c.本動詞+요-yo | 가고요(ga-go-yo 行ってですね) |
| d.尊敬語+요-yo | 가시고요(ga-si-go-yo 行かれてですね) |

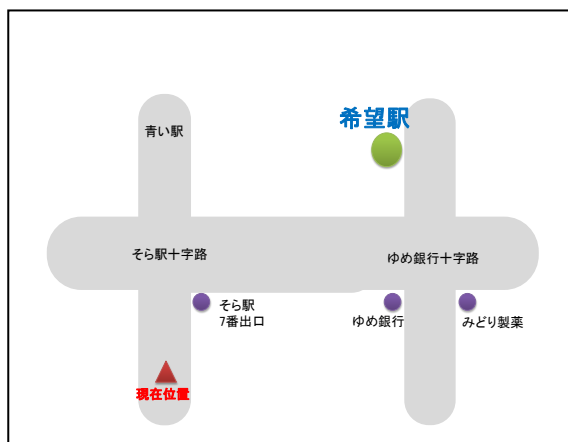
このように分析した理由は、日本語の結果と比較するためである。つまり、日本語ではテモラウを用いての表現が多く見られたのに対して、韓国語では敬語表現を用いての表現が多く見られたため、テモラウと韓国語の敬語表現を比較分析することにより、テモラウの特徴が明らかになるものと考えたからである。

5.3 日本語の調査の結果

本節では上記の分析方法による、日本語における「道案内」と「食べ方」についての調査結果を述べる。

5.3.1 「道案内」の調査の結果及び考察

「道案内」では、以下の調査図を使用した。調査図から分かるように、現在地から目的地である希望駅にたどり着くには、最大5回の行為が成立することから、テモラウの使用も最大5回あると考えられた。「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」という動詞について、テモラウの使用頻度を分析した。



現在位置からまっすぐ行く(=歩く/直進する/進む) ➡ 右に曲がる ➡ まっすぐ行く(=歩く/直進する/進む) ➡ 左に曲がる(=渡る) ➡ まっすぐ行く(=歩く/直進する/進む)

まず、6つの動詞について、テ形、タラ形、ト形のように形態別、「授受補助動詞」、「本動詞」、「丁寧語」別に分類した調査結果を示す。この結果から分かることは、テモラウやテイタダクを用いた表現である「授受補助動詞」よりもテモラウやテイタダクで表現していない「本動詞」を用いた表現が多いということである。また、「丁寧語」は、「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」の6つの動詞全てについて、殆ど現れていないことが分かった。

テ形

区分	行く	曲がる	歩く	直進する	渡る	進む	計
授受補助動詞	21	28	2	2	4	10	67
本動詞	37	79	11	6	5	19	157
丁寧語	1	0	0	0	0	0	1

ト形

区分	行く	曲がる	歩く	直進する	渡る	進む	計
授受補助動詞	11	5	3	2	0	2	50
本動詞	37	6	1	2	0	3	49
丁寧語	2	1	1	0	0	1	5

タラ形

区分	行く	曲がる	歩く	直進する	渡る	進む	計
授受補助動詞	1	0	0	0	0	0	0
本動詞	2	1	0	0	0	0	3
丁寧語	0	0	0	0	0	0	0

註) 数字は度数である。

「行く」、「歩く」、「曲がる」、「直進する」、「進む」、「渡る」という移動動詞に焦点を当て、文中に現れるそれぞれの動詞に関わるテモラウを分析したところ、被験者(1)のようにテモラウで表現したり、しなかったりしている人や、(2)のように全ての動詞にテイタダクを用いて表現する人、(3)のように、テモラウは全く用いていない人もいた。また、(4)のように「曲がりますと」のように

丁寧語を使用した人も少数ながら存在した。

- (1) まっすぐこのまま進んでもらって、空駅十字路を右手に曲がってもらって、まっすぐそのまま進んでもらって、ゆめ銀行十字路を左に曲がって少し行くと左手に希望駅に着きます。
- (2) こちらをまっすぐ進んでいただいて最初の十字路で、空駅7番出口があります。その角を右に曲がっていただいてまっすぐ歩いていただくと十字路がまたあります。そこがゆめ銀行十字路というところなんですけども、その十字路を左に曲がってください。そうしますと貴方の左側に希望駅がございます。
- (3) まず、空駅十字路までまっすぐ行って、それから右に曲がってください。ゆめ銀行が右手に見えてきたら左に曲がってまっすぐ行ったら希望駅があります。
- (4) え～～と現在位置がここですね。このまままっすぐ行って空駅十字路という交差点がありますので、そこで右に曲がってください。右に曲がって少し行くとゆめ銀行十字路という十字路がまたありまして、角にゆめ銀行があります。それを左に曲がりますと、あなたが行きたい希望駅に着きます。

本節では、「授受補助動詞」、「本動詞」、「丁寧語」の順で調査結果の概要を確認する。

a. 授受補助動詞

今回の調査では、被験者 52 人中、40 人が少なくとも 1 回はテモラウを用いて表現していた(テモラウを 1 回も使わなかった人はわずか 12 人のみであった)。

表 5-3 全体の被験者数及び「授受補助動詞」の使用者数

全体の被験者数	テモラウ文を使用した被験者数
52 人	40 人

形態別には、テ形である「～てもらって」、「～ていただいて」、ト形である「～てもらおうと」、「～ていただくと」、タラ形である「～てもらったら」、「～ていただいたら」の6つの形態が現れ、テイタダクを合わせて、計 91 回現れた。その内訳が〈表 5-4〉である。

表 5-4 「道案内」におけるテモラウ文の形態及び出現回数

てもらって	てもらおうと	てもらったら	ていただいて	ていただくと	ていただいたら	計
42	9	1	36	3	0	91

テモラウで表現した6つの①「授受補助動詞」の中では「～てもらって」が1番多く、2番目は、「～ていただいて」であった。次に、「～てもらおうと」、「～ていただくと」、「～てもらったら」の順であった。

b. 本動詞

「本動詞」だけで表現した被験者数は全体の52人中12人であった。つまり、テモラウやテイタダクを1回も用いていない被験者はテモラウやテイタダクで表現した40人よりはるかに少なかった。

表 5-5 全体の被験者数及び「本動詞」の使用者数

全体の被験者数	本動詞のみを使用した被験者数
52人	12人

「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」、それぞれの動詞に、以下の〈表 5-6〉のような割合でテ形、ト形、タラ形が現れた。テ形、ト形、タラ形の中では、テ形が一番多く現れた。テ形が一番多いという結果は「授受補助動詞」の結果と同じである。次にト形、タラ形の順で現れたが、タラ形は「授受補助動詞」での結果と同じく、殆ど現れていない。

表 5-6 「道案内」における「本動詞」の形態別出現数

行く		歩く		渡る		直進する		進む		曲がる		計
行って	36	歩いて	11	渡って	5	直進して	7	進んで	19	曲がって	79	157
行くと	37	歩くと	1	渡ると	0	直進すると	2	進むと	3	曲がると	6	49
行ったら	3	歩いたら	0	渡ったら	0	直進したら	0	進んだら	0	曲がったら	1	3

註) 数字は度数である。

全体ではテモラウやテイタダクを一回でも使った被験者の方が一回も用いていない被験者より遥かに多いことが分かったが、テ形、ト形、タラ形について、テモラウやテイタダクを使った表現より、これらを用いていない表現の方が多いたことが分かった。このことは、「行く」を始めとする6つの動詞全てにおいても同じであった。6つの動詞について、「授受補助動詞」と「本動詞」について比較分析したものが以下の〈表 5-7〉である。このような結果から、テモラウやテイタダクを使わなくても文としては成り立つということが分かった。

表 5 - 7 「授受補助動詞」と「本動詞」の出現割合

区分	テ形		ト形		タラ形	
	本	授	本	授	本	授
行く	76.6	23.4	86.1	13.9	66.6	33.3
歩く	84.6	15.4	25.0	75.0	0.0	0.0
渡る	55.5	44.5	0.0	0.0	0.0	0.0
直進する	70.0	30	100.0	0.0	0.0	100.0
進む	65.5	34.48	50.0	50.0	0.0	0.0
曲がる	75.2	24.76	66.7	33.3	100.0	0.0
平均	427.48	172.46	327.72	172.28	166.6	133.3

(「本」は「本動詞」、「授」は「授受補助動詞」のことである。) 単位:%

c. 丁寧語

本研究の対象である文中に現れるテモラウと敬語表現との関係性を解明するため、文中に現れる「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」の敬語表現について調べた。調査の結果から、「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」、それぞれの動詞に敬語表現の形である、「(ら)れる/お~になる」が付いている表現、つまり、尊敬語は、一つも現れなかった。そこで、動詞に「ます」が付いている形について調べた結果をまとめたのが、以下の〈表 5-8〉である。

表 5 - 8 丁寧語

区分	テ形	ト形	タラ形
行く	行きますして(1)	行きますと(2)	行きましたら(0)
歩く	歩きますして(0)	歩きますと(1)	歩きましたら(0)
渡る	渡りますして(0)	渡りますと(0)	渡りましたら(0)
直進する	直進しますして(0)	直進しますと(0)	直進しましたら(0)
進む	進みますして(0)	進みますと(1)	進みましたら(0)
曲がる	曲がりますして(0)	曲がりますと(1)	曲がりましたら(0)

註) ()内は、度数である。

〈表5-8〉から分かるとおり、文中に現れる6つの動詞の殆どは敬語表現(=丁寧語)の形ではあまり現れない。「行きますと」が2つ、「行きますして」、「歩きますと」、「進みますと」、「曲がりますと」がそれぞれ1つずつ現れるのみであった。

以下からは、用例を通してテモラウ文の特徴について考察を行う。

まずは、「授受補助動詞」について考察を行う。最初は、「授受補助動詞」の中、テモラウを使った用例についてである。

- (5) まず、まっすぐ行ってもらおうと、空駅という十字路がありますんで、そこを左にまが、あっ失礼、右に曲がってもらって、まっすぐ行くと、右側にゆめ銀行ってあります。そこにゆめ銀行という交差点がありますから、そこを今度は左に曲がってもらってしばらく行くと希望駅があります。
- (6) 空駅十字路というところがあるんですけど、そこを右に行ってもらって、で、ずっとしばらく歩いて行ってもらって、え～～とゆめ銀行というところがあるんですけど、そここのころの角で右に曲がってください。しばらく行ったら希望駅があります。
- (7) 希望駅に行くのには、このまま空駅十字路までまっすぐ行ってもらって、空駅の7番出口の角を右に回って、で、しばらくまっすぐ行くと、え～～とゆめ銀行の十字路が見えますので、ゆめ銀行の十字路の交差点をまっすぐ渡ってもらって、しばらくまっすぐ行くと希望駅が見えます。
- (8) ここまっすぐ行ってもらおうと空駅十字路の7番出口が見えるのでそこを十字路につい

て、右に曲がってもらって、まっすぐ行って次の角の夢銀行十字路で左に曲がってください。そうすると左手に希望駅が見えます。

- (9) 今いるところをまっすぐ行ってもらったら右手に空駅 7 番出口が見えるので、右に曲がってもらって、まっすぐ行くと、右手にゆめ銀行が見えるので、ゆめ銀行十字路を左手に曲がてもらおうと、曲がってもらってまっすぐ行くと希望駅があります。

(5)から(9)までの用例を見てみると、同じ被験者であっても、文中においてテモラウを用いて表現する場合もあれば、そうではない場合もあることが分かる。(5)の用例を詳細に見てみると、「行ってもらおうと」、「行くと」のようにテモラウで表現する場合もあれば、本動詞のト形を用いる場合もある。また、文中では 6 つの動詞以外に「ある」、「見える」などの動詞も現れたが、それらにおいても、「あります」、「見えます」のような敬語表現が使われ、表現全体としては丁寧に表現されていることが分かった。

次に、「授受補助動詞」の中、テイタダクを用いて表現した用例を紹介する。

- (10) えっと、希望駅に行くには、現在位置からまず、まっすぐ進んでいただいて、空駅十字路を右に曲がります。その時に右手に空駅 7 番出口が見えますので、空駅十字路を右に曲がてもらって、直進するとゆめ銀行十字路という十字路が見えますので、そこを左に曲がってください。左に曲がって、まっすぐ、行くとえ〜と向かって左側に希望駅が見えます。
- (11) え〜今いるところから、空駅十字路というところがありまして、そこまで一回歩いていただいて、え〜でその7番出口があるのでそこについたら右に曲がってください。曲がってまっすぐ行くと十字路があつてゆめ銀行があつてゆめ銀行の反対の方向に渡って、うん〜ゆめ銀行を背中に向けてまっすぐ歩いて行ってください。ずっと歩いて行くと左手の方に駅があります。
- (12) えっと、今いる道をまっすぐ進んでいただいて、空駅が見えてくるので、そこをええと、右に曲がってもらって、そのまままっすぐ進んでもらいます。そうすると、初めて交差点が見えてくるので、ゆめ銀行が見えてくるので、そのゆめ銀行の反対側の横断報道を歩くと、まっすぐそのまま行くと駅に着きます。
- (13) 道案内ですね。希望駅までですけれども、まっすぐ行くと、空駅十字路というところがあります。それを右方向に行っていただくと、しばらく行くとゆめ銀行十字路という交差

点があります。今度はそれを左に曲がって、しばらく歩いていただくと希望駅がありますので駅に行けると思います。

(10)から(13)の用例を詳細に見てみると、テイタダクで表現しており、同じ被験者であってもテモラウで表現している場合もあることが分かる。また、「本動詞」だけで表現する場合もあることが分かった。さらに、6つの動詞以外においても、「見えますので(10)」、「ありまして(11)」、「ありますので(13)」のような敬語表現を用いて表現していることも分かった。

以下の(14)は、今回の調査でテイタダクを一番多く使った被験者の用例である。希望駅まで「進む」と「曲がる」を用いて道を教えているが、全ての動詞にテイタダクを用いて表現している。また、「ありますので」、「そうしますと」、「ありまして」も用いており、文全体では敬語表現を用いているものが多い。

(14) まず、今いる通りをまっすぐ進んでいただいて、空駅の7番出口がありますのでその、え〜〜右に曲がっていただいて、え〜そうしますと銀行とえ〜と製薬会社がありまして、え〜〜と交差点がありますので、そこを進んでいただいて、左側に進んでいただくと希望駅があります。

次に、「本動詞」の用例について考察していく。

(15) はい。今がここなので、ここまっすぐ行って、空駅十字路というところで右に曲がって、そのまままっすぐ行って、次はゆめ銀行が右手に見えたら左に、まっすぐ行けば、左手に見えてきます。

(16) まず、空駅十字路までまっすぐ行って、それから右に曲がってください。ゆめ銀行が右手に見えてきたら左に曲がってまっすぐ行ったら希望駅があります。

(17) あの〜〜目の前の空駅十字路がありますね。その空駅十字路を右に曲がってください。しばらく歩くと、ゆめ銀行十字路があります。ゆめ銀行十字路を今度は左に曲がってください。すると、左側に希望駅があります。

(18) まず、ここをまっすぐ行きますと空駅7番出口に、右側に出てきますので、そこを右に曲がって、それからまっすぐ行くと夢銀行十字路が出て来るんですね。ゆめ銀行と緑製薬の間を左に曲がってください。そしてまっすぐ行くと左側に駅が見えます。

(19) 希望駅ですね。まず、この道をまっすぐ行くと空駅十字路があります。その空駅十字路を右に曲がってください。それからまっすぐ行くとゆめ銀行が右手に見えます。そこの右手に見えたゆめ銀行十字路を左にまがってください。しばらく行くと希望駅が左手にあります。

上記の例文は、文末に、「見えてきます」、「あります」、「見えます」のような敬語表現を用いて表現しているため、文全体は丁寧な表現であると考えられる。今回の調査の対象者 52 人中 12 人がテモラウやテイタダクは全く使わず「本動詞」で表現していたが、この 12 人中 5 人が日本語教師であった。日本語教師は日頃「やさしい日本語」であるフォリナートークで留学生に話すという特徴がある(坂本他 1989)。このような理由からなのか、本調査においても上記(17)、(18)、(19)の例文は日本語講師の回答であるが、これらは他の被験者の文より短くてテモラウやテイタダクは使わない特徴が見られた。今回の調査では多くの日本語教師を対象とすることはできなかったが、5 人の日本語教師全員が同様の傾向であった。テモラウやテイタダクは使わなくても文としては全く問題のないということが、日本語教師の答えからも分かる。

次は、「丁寧語」について考察していく。

第 1 章の「研究課題」の箇所ですべて述べた、道を案内する場面において、日本語ではテモラウで表現する箇所を韓国語では授受表現では対応せず、尊敬語では対応できるものと考えられ、日本語においてもテモラウの代わりに尊敬語の形式である、「(ら)れる/お～になる」で表現できるのではないかと考えた。そのような考えから、テモラウの代わりに「(ら)れる/お～になる」でテストしてみた結果、韓国語と同様「(ら)れる/お～になる」で表現できることが分かった。しかし、本調査の 2 つの場面において「(ら)れる/お～になる」を用いた表現は現われておらず、以下のような「丁寧語」が現われた。

(20) このまままっすぐ行きまして、空駅の十字路 7 番出口があるんですね。そら駅のところを右に曲がって、次に夢銀行というところが右側にも見えますから、それを右手に見てそこを左に曲がってまっすぐ行く希望駅に出ます。

(21) 現在の位置をまっすぐ進んでいただくと交差点があるんですね。交差点に着いたらそこを右に曲がっていただいてまたしばらく直進します。そうしますと交差点が見えてくるんですけども、多分右手の方にゆめ銀行が見える交差点がありまして、その交差

点、そこに着いたら、左の方に曲がっていただいて、しばらく進みますと左の方に希望駅が見えてくると思うので行ってください。後は頑張ってください。

- (22) え～～と現在位置がここですね。このまままっすぐ行って空駅十字路という交差点がありますので、そこで右に曲がってください。右に曲がって少し行くゆめ銀行十字路という十字路がまたありまして、角にゆめ銀行があります。それを左に曲がりますと、あなたが行きたい希望駅に着きます。

(20)から(22)の例文を見てみると、「本動詞」と「丁寧語」を混ぜて表現したり、「授受補助動詞」、「本動詞」、「丁寧語」を混ぜて表現したりしていることが分かる。また、6つの動詞以外にも、「見えますから」、「ありまして」、「ありますので」のような動詞においても丁寧表現しており、全体的に丁寧な表現を用いて道を案内していることが見て取れる。

今回の調査では尊敬語での表現は現われておらず、また「丁寧語」よりテモラウの方が多く使われていることが確認できたが、このようなテモラウ文はいつから使われるようになったのだろうか。宮地(1975)、森(2011)を参考にすれば⁶¹、授受表現を使うようになった歴史的変遷については気になることである。そこで、次節では、国立国語研究所が行われた『敬語と敬語意識』に関する報告を参考に本研究の対象であるテモラウの歴史的変遷について触れてみる。

5.3.1.1 『敬語と敬語意識』⁶²との比較

『敬語と敬語意識』に関する報告は、国立国語研究所が、1952年及び1953年の2年間に

⁶¹ 宮地(1975)は、現代語より複雑な敬語表現がある源氏物語に授受補助動詞の用法が用いられているかどうかを原文と現代語の訳を比較することにより、確認している。その結果、現代語訳には原文にない「てやる、てくれる、てもらう」という授受表現が多く使われていることが確認された。このことは、われわれ現代人が当時の人々よりも、「てやる・てくれる・てくださる」によって表わされる人間関係あるいは行為の授受関係を細かく把握する習慣を持っている(宮地:1975:807)。また、敬語表現の単純化を補うかのごとく発達してきたのが、事態の授受表現だと述べている(宮地 1975:814)。さらに、森(2011:35)は、明治期以降、依頼表現において直接的な依頼表現型の用例は殆どみられず、受益型が用いられるようになった背景には、「受益表現の運用が、聞き手に対する丁寧さを示すことと結びつき、用法を拡張していく様相を示していると考えられる」と述べている。つまり、話し手に利益があるかどうかに関わらず、聞き手を恩恵の関係の上位者として待遇することが明治以降必須になったと述べている。

⁶² 3回目の調査は、2008年11月に実施されたが、国立国語研究所のホームページで一部のみ報告されており、2014年8月に全体の報告が公開されるようであるが、2014年12月現在未公開中。

わたり、三重県上野市と愛知県岡崎市の地域における敬語の使用状況とその意識についてのものであった。1回目の報告及び20年後の1972年に岡崎市における敬語の使用状況及び意識の変化について調査を行った2回目の報告があるところ、本研究では2回目の報告(以下に『敬語と敬語意識』と呼ぶ。)のうちの「知らない旅行者から道を尋ねられて教える」(以下、「道教え」)場面における調査結果との比較を行った。

なお、『敬語と敬語意識』では、「医者に往診を頼む」、「買いつけの店に荷物を預ける」、「電報局で電報用紙をもらう」、「道教え」等12の場面を設定している。その中で、被験者らは、12の場面のうち、「医者に往診を頼む」場面を一番敬語を使わなければならない場面であり、「魚つりの少年に釣れるかどうか尋ねる」場面を丁寧さの順位としては一番低い場面と答えており、「道教え」は11番目に低いものであった。つまり、知らない人に道を尋ねられた場面ではそれほど丁寧な対応はする必要がないという意識であった。

『敬語と敬語意識』における調査の概要を簡単に紹介する。

1) 「道教え」における質問文

101. わたしのような旅行で来たものが、東岡崎駅(出口)で、明代橋はどちらかというのをあなたにたずねました。あなたは何と言って教えますか。

- 2) 対象者: 岡崎市在住の15歳から79歳の人を対象として等間隔単純無作為抽出法で抽出した男女合わせて600人。学歴(低学歴から高学歴まで)も様々で、職業に関しても無職、農業、事務、サービス業まで様々。
- 3) 調査方法: 調査員が被験者と個別面談して回答を得るという方法。

「道教え」においては、被験者合計600人の中、583人が文中において敬語表現を用いて道順を細かく説明しているが、このうち、文中に現れる「行く」系の「おいでになる」、「行かれる」、「いらっしゃる」、「行きます」、「お行きます」のような敬語表現が146例現れた。

一方、文中に現れる「行く」系に接続されたテモラウ文は38例しか現れておらず、圧倒的に敬語表現の方が多く現れている。その主な例文は以下のとおりである。まず、敬語表現から確認する。

020 ⁶³	この駅の前を歩いて3分ぐらい、だからまっすぐおいでになればわかります ⁶⁴ 。
038	ここを出られますと、まっすぐ行かれますと、30メートル行かれますと、すぐ橋になります。それが明代橋です。
057	まっすぐ北に行かれて初めての橋が明代橋です。
069	信号を渡りましてまっすぐ行きますとすぐです。
156	その橋へ、ここからお行きますと明代橋です。
194	すぐこちらにまっすぐ行かれまして、橋がちょうどありますからね、そちらが明代橋です。
205	ここをまっすぐいらして、なになにの道をまっすぐいっらしやると、橋がございます。

次に、テモラウ文では以下のような例文が現れた。

043	明代橋は、北へ100メートルくらい行ってもらえば、明代橋になります。
191	あ〜ここをまっすぐ行っていただいたら明代橋です。

本研究における「道案内」の調査と『敬語と敬語意識』で行われた「道教え」との間には、約40年という時の隔りがある。しかしながら、両調査において、初対面の人に道を聞かれた場合、目的地まで着くようわかりやすく説明してあげようという表現意識と、失礼のないような、かつ恩着せがましい表現にならないよう、聞き手を意識した待遇表現を用いているということは共通してみられたところである。その待遇表現の方法において、『敬語と敬語意識』では敬語表現を用いて、一方、本研究では敬語表現ではなく、当該箇所ではテモラウが使われていた。もちろん、40年前も現在も、敬語表現と授受表現いずれも存在しており、これらの出現頻度等を比較することに問題はなく、むしろ、違いを比較することにより、両調査における待遇表現方法の特徴が現れてくるのではないかと考える。なお、『敬語と敬語意識』における被験者は600人、本研究の「道案内」の調査の被験者は52人であり、被験者数に大きな違いがみられるところであるが、両調査とも被験者は無作為に選ばれており、属性に偏りがあるものではないことから、調査結果の傾向を比較することに問題はないものと考えられる。

本研究における調査の結果及び『敬語と敬語意識』との比較によって、『敬語と敬語意識』

⁶³ 本研究では『敬語と敬語意識』の被験者の番号をそのまま引用する。

⁶⁴ 『敬語と敬語意識』では被験者の答えをすべてカタカナで表記している。

においては敬語表現が多用されているのに対して、本研究では敬語表現は殆ど用いられておらず、敬語表現に替わってテモラウが多用されていることが判明した。

『敬語と敬語意識』と本研究におけるテモラウの関係を整理すると、次の図のような関係にあるものと考えられる。つまり、相手に失礼のないような丁寧さを表現するため、1972年に用いられていた敬語表現は、約40年後の2014年においてはその使用を著しく減少させ、それに取って替わって、テモラウが用いられるようになったのではないかと考えられる。

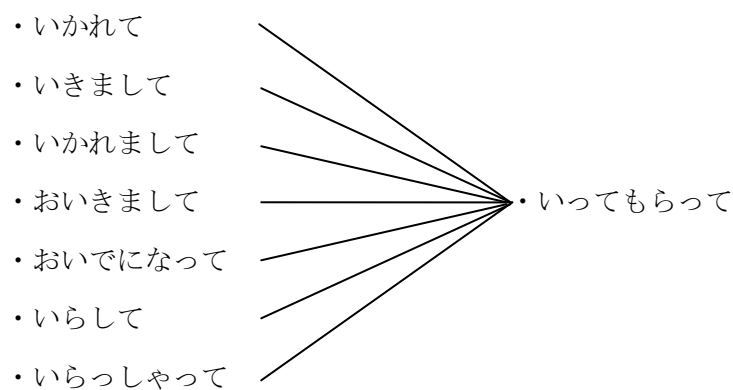


図5-1 敬語表現からテモラウへの移行

『敬語と敬語意識』の調査結果からも分かるように、初対面の人に対する「道教え」の場面は、相手に対する表現を極度に緊張させなければいけない場面ではない。そういう意味において、敬語表現を正しく使わなくてはいけないという圧力が強い場面ではない。しかしながら、そうは言っても、初対面の人に対しては、ある種の礼儀正しさ、聞き手に対する配慮を持って接したいところであり、そういう思いも表したいという気持ちは十分理解できる場所である。

敬語全体が単純化してきた一方で、それを補うために授受表現が発達したと言われているが(宮地 1975)、このような背景も相まって、「道案内」という敬語使用の社会的要請があまり強くない場面においては、本来の敬語表現に代わって(又は本来の敬語表現を使うまでに至らないことから)、テモラウを敬語表現として用いているものと考えられる。

それでは、「道案内」と同様「行為説明表現」である「食べ方」においてはどのような表現形式の特徴があるのだろうか。同様な被験者、同様な「行為説明表現」であるが、説明をする場面を「道案内」から「食べ方」に変えるだけで表現形式に変化が見られるのだろうか。次節から、「食べ方」についての分析結果を考察していく。

5.3.2 「食べ方」の調査の結果及び考察

「食べ方」の調査では、被験者に自由に回答してもらったので、色々な動詞が現れたが、その中で共通して多く現われた「取る」、「つける」、「する(～こうする、しゃぶしゃぶするなど)」、「食べる」、「入れる」について、「道案内」と同じ方法で分析を行った。

5つの動詞について、テ形、ト形、タラ形それぞれの形態別にまとめたものが以下である。

テ形

区分	取る	つける	する	食べる	入れる	計
授受補助動詞	9	8	4	0	1	22
本動詞	36	47	38	19	18	141
丁寧語	0	0	0	0	0	0

ト形

区分	取る	つける	する	食べる	入れる	計
授受補助動詞	0	2	0	0	0	2
本動詞	0	0	3	19	0	21
丁寧語	0	0	0	0	0	0

タラ形

区分	取る	つける	する	食べる	入れる	計
授受補助動詞	0	0	0	0	0	0
本動詞	0	0	1	0	0	1
丁寧語	0	0	0	0	0	0

註) 数字は度数である。

「取る」、「つける」、「する」、「食べる」、「入れる」について、文中に現れるそれぞれの動詞に関わるテモラウ文を分析したところ、被験者 52 人の中、テモラウやテイタダクを一回でも使った者は 17 人であった。この結果から、「道案内」に比較し、「食べ方」においては、テモラウやテイタダクがあまり使われていないことが分かった。しかし、以下のように同じ被験者でもテモラウを使ったり、使わなかったりしており、このことも「道案内」と共通している。

- (23) しゃぶしゃぶはまず、野菜を入れて、白菜とか芯がある野菜を先に入れてもらって、その後にお肉を、豚肉を入れます。で、豚肉は大体赤みが取れるぐらい、大体 2、3 回ぐらいお湯でくぐらせて⁶⁵、だいたいポン酢かゴマタレとかに、ねぎとか入れて、一緒に食べます。
- (24) はい。人それぞれなんですけど、鍋にお湯があるので、お肉を取ってもらって、好みの加減にしゃぶしゃぶして、好きなゴマタレとかポン酢とかをつけて、食べてください。以上です。
- (25) しゃぶしゃぶは薄いお肉を鍋で火がとおるといふ肉の色が赤くなくなるまで、ゆでてま～ゆらしていただいて、それで、いくつかごまとかポン酢とかつけて食べるものがあるので、ま～肉を自分の箸で取って、そうです、2、3 回ぐらい色が変わるぐらいまで鍋に、ま～いいかなと思ったときに、自分の好みで食べていただくというものです。

本節では、「食べ方」に関する調査結果及びその考察について、「授受補助動詞」、「本動詞」、「丁寧語」の順で述べていく。

a. 授受補助動詞

今回の調査では、被験者 52 人の中、17 人が少なくともテモラウやテイタダクを用いて表現していた。

表 5-9 全体の被験者数及び「授受補助動詞」の使用者数

全体の被験者数	テモラウ文を使用した被験者数
52 人	17 人

5 つの動詞と一緒に現れたテモラウやテイタダクは、テ形である「～てもらって」、「～ていただいて」、ト形である「～てもらおうと」、「～ていただく」と、タラ形である「～てもらったら」、「～ていただいたら」の 6 つ形態が現れ、計 24 回現れた。その内訳が以下の〈表 5-10〉である。

⁶⁵ 「くぐらせる」も「する」として数えた。

表 5-10 「食べ方」におけるテモラウ文の形態及び出現回数

てもらって	てもらおうと	てもらったら	ていただいて	ていただくと	ていただいたら	計
11	2	0	11	0	0	24

テモラウで表現した6つの「授受補助動詞」の中では、「～てもらって」、「～ていただいて」が同じくそれぞれ 11 回現れており、2 番目は、「～てもらおうと」、「～てもらったら」、「～ていただくと」、「～ていただいたら」は一回も現れなかった。

b. 本動詞

「本動詞」だけで表現した被験者、つまり、テモラウやテイタダクを1回も使わなかった被験者は全体の 52 人の中 35 人おり、1 回でもテモラウやテイタダクで表現した被験者が 17 人だったことに比べるとはるかに多かった。このことから、「道案内」と「食べ方」では異なる結果が現れたということが分かった。

表 5-11 全体の被験者数及び「本動詞」の使用者数

全体の被験者数	本動詞のみを使用した被験者数
52 人	35 人

「取る」、「つける」、「する(～こうする、しゃぶしゃぶするなど)」、「食べる」、「入れる」、それぞれの動詞に、以下の〈表 5-12〉のような割合でテ形、ト形、タラ形が現れた。テ形、ト形、タラ形の中では、テ形が一番多く現れた。テ形が一番多く現れた結果は「授受補助動詞」と同じである。次に、ト形、タラ形が現れたが、タラ形は「授受補助動詞」と同じく、殆ど現れていない。

表 5 - 12 「食べ方」における「本動詞」の形態別出現数

取る		つける		する		食べる		入れる		計
取って	36	つけて	47	して	38	食べて	19	入れて	18	158
取ると	0	つけると	0	すると	3	食べると	19	入れると	0	22
取ったら	0	つけたら	0	したら	1	食べたら	0	入れたら	0	1

註) 数字は度数である。

また、それぞれの動詞を用いて「授受補助動詞」と「本動詞」ごとに分析したのが以下の〈表 5-13〉である。

表 5 - 13 「授受補助動詞」と「本動詞」の割合

区分	テ形		ト形		タラ形	
	本	授	本	授	本	授
取る	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
つける	85.5	14.5	0.0	100.0	0.0	0.0
する	90.5	9.5	100.0	0.0	100.0	0.0
食べる	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
入れる	94.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	87.8	12.2	200.0	100.0	100.0	0.0

(「授」は「授受補助動詞」、「本」は「本動詞」のことである) 単位:%

〈表 5-13〉から、「取る」を始め、5 つの動詞は「授受補助動詞」より、「本動詞」の方が遥かに多いことが分かる。これは、「道案内」と同様の傾向である。

このような結果から、「食べ方」においても、「道案内」と同様テモラウやテイタダクは使わなくても文としては成り立つということが分かった。

a. 丁寧語

上記の結果から、「道案内」より「食べ方」の方がテモラウやテイタダクは用いていないことが分かった。次に、丁寧語について見てみる。「取る」、「つける」、「する(～こうする、しゃぶしゃぶするなど)」、「食べる」、「入れる」を対象に調べた結果が以下の〈表 5-14〉である。

表 5 - 14 丁寧語

区分	テ形	ト形	形
取る	取りまして(0)	取りますと(0)	取りましたら(0)
つける	つけまして(0)	つけますと(0)	つけましたら(0)
する	しまして(0)	しますと(0)	しましたら(0)

食べる	食べまして(0)	食べますと(0)	食べましたら(0)
入れる	入れまして(0)	入れますと(0)	入れましたら(0)

註) ()内は、度数である。

〈表 5-14〉から、5 つの動詞全てにおいて、丁寧語は全く見当たらないことが分かる。「道案内」では少数ではあったが丁寧語がみられたが、「食べ方」には一つも現れなかった。しかし、「食べる」に対して、「召し上がる」という敬語表現は 52 人中 9 人が用いており、全部で 11 回現れた。以下、「召し上がる」の例文を紹介する。

- (26) お鍋とお皿と配膳されてきたら、まず、お好きな具をお箸でつかんでいただいて⁶⁶、お湯の中でしゃぶしゃぶと、つけていただいて食べてください。でも、少しお野菜は煮た方がいいかもしれませんね。お肉ですけども、お肉をお箸でえ～、お湯の中でつけてしゃぶしゃぶと手振り、つけていただいて、好きな、ま～ポン酢だったり、ゴマタレだったりありますので、それにつけていただいて召し上がってください。
- (27) えっと肉を取って、沸騰したお鍋の中で、2、3 回お箸で揺らして、お肉を取ってもらって、お好みのソースをつけて召し上がってください。
- (28) お湯が沸騰したらば、お野菜とかね、お肉がありますでしょう。それを取ってお湯のなかにこうお肉でも揺らして、あの牛肉だから、たぶん全部火通さなくても揺らすようにして、そのお肉とかお野菜も取って好きなあの好みのソースをつけて召し上がると思いますね。

(26)は今回の「食べ方」の調査でテイタダクを一番多く使った例文だが、文末まで「召し上がって下さい」という敬語表現で表現しており、相手に対して丁寧な表現で答えようという気持ち⁶⁷の現れと考えられる。

ここからは例文を通して考察を行う。

⁶⁶ 「つかむ」は全体で 1 回しか現れておらず、また、それを使った被験者は(26)の被験者のみであったため、動詞の分類からは除外した。しかし、テイタダイテの数には入れた。

⁶⁷ 蒲谷(2013)によると、敬語表現を使う際に、敬語表現を知っていて(知識があつて)、敬語表現を使おうとする気持ちがある前提で使われるとしている。このことに関しては次章で述べることにする。

- (29) しゃぶしゃぶはまず、野菜を入れて、白菜とか芯がある野菜を先に入れてもらって、その後にお肉を、豚肉を入れます。で、豚肉はだいたい赤みが取れるぐらい、だいたい2、3回ぐらいお湯でくぐらせて、だいたいポン酢かゴマタレとかに、ねぎとか入れて、一緒に食べます。
- (30) そのお肉を取ってもらって、え〜と鍋の中で2、3度しゃぶしゃぶしてください。そのあとは、好みのソースにつけて召し上がってください。
- (31) お肉を先にお箸で取っていただいて、お鍋の中でほんの軽くでもいいですけど、さっさと泳がすようにしていただいてそのまま、あ、水を切ってそのまま好みのタレにつけていただいて食べてください。

(29)は、「入れて」、「くぐらせて」⁶⁸、「入れて」のように「本動詞」の方が多く、「授受補助動詞」は、「入れてもらって」一つしか用いていない。また、(30)は、「取る」は「授受補助動詞」で表現しているのに対して、「つける」は「本動詞」で表現している。さらに、(31)は、「取る」、「する」、「つける」にテイタダクを付けて表現している。

また、「食べ方」においても「道案内」と同じく、「授受補助動詞」より「本動詞」の方が遥かに多く出現したが、以下の例のように「本動詞」だけで表現していた人が被験者52人中35人いた。

- (32) しゃぶしゃぶはお肉を取ってその後、お鍋の中で、2.3回しゃぶしゃぶしてください。で、好みのソースをつけて召し上がってください。
- (33) まず、肉を自分の箸で取ってその沸騰しているお湯にこう2.3回くぐらせてください。そうすると色が変わるから、それをすぐ取って自分のソースの入ってるお皿にそれをちょっとつけて召し上がってください。
- (34) 自分のお箸でお肉を取って、お湯に入れてお肉の色が少しだけ変わったら取ってポン酢たれやゴマだれにつけて食べてください。野菜もありますので、それもお湯に入れてすこし火が通ってから好みのたれにつけて食べてください。

(32)、(33)の被験者は文中においては、「取って」、「つけて」のように「本動詞」で表現しているのに対して、文末においては「召し上がる」を用いて丁寧に表現している。一方、(34)の被

⁶⁸ 調査の結果、「くぐらせて」は一回しか現われなかったため、動詞「する」のテ形として数えた。

験者は、(32)、(33)と同様、文中では「取って」、「入れて」、「つけて」のように「本動詞」で表現しているが、文末においては、(32)、(33)の被験者とは異なって、「食べる」で表現している。

上記の「道案内」、「食べ方」の調査結果から、初対面の人に対しては全体的に丁寧に表現していることが確認された。ただし、文末においても文中においても敬語表現を用いた場合や、文末のみに敬語表現を用いた場合があるなど被験者により違いが見られることが分った。そこで、日本語の場合、文中と文末における敬語表現の使い方にはどのようなルールがあるのか、以下の節で確認することにする。

5.3.3 文末との関係

日本語は人物に対する敬意を表す表現方法として、述語部分を中心として高度に言語化されていると言われている。つまり、以下の用例のように、文中では非丁寧形である「潜る」を用いても、文末で「行きました」のように丁寧形を使えば、全体として丁寧な表現となるのである。

(35) きれいな海に潜るために、船で1時間もかかる島まで行きました。(野田 2002:38)

また、以下の用例のように、文末で聞き手に対して丁寧な働きかけ(命令・勧誘など)を行うような場合については、文中では敬語表現を使わない方が自然であり、「降りました」という対者敬語を使うと却って聞き手に対して失礼な表現になるとしている。このような場合、文中においても敬語表現を使用したいのであれば、対者敬語ではなく、(37)のように「お降りになった」という素材敬語を使用する必要があるとしている(庵他 2001:507)。

(36) 名古屋でこだまにお乗換えの方は{○降りた/?降りました}ホームでお待ちください。

(37) 名古屋でこだまにお乗換えの方は{○降りた/○お降りになった}ホームでお待ちください。

本研究の調査の設定場面は初対面での「道案内」や「食べ方」であったことから、回答に現れた表現の文末部分は全て、例えば「～てください」、「～あります」という敬語表現であった。

- (38) え～今いるところから、空駅十字路というところがあって、そこまで一回歩いていただいて、え～～でその7番出口があるのでそこについたら右に曲がってください。曲がってまっすぐ行くと十字路があって、ゆめ銀行があって、ゆめ銀行の反対の方向に渡っていただいて、うん～～ゆめ銀行を背中に向けてまっすぐ歩いて行ってください。ずっと歩いて行くと左手の方に駅があります。
- (39) まず、今いる通りをまっすぐ進んでいただいて、空駅の7番出口がありますので、その右に曲がっていただいて、え～そうしますと銀行とえっと製薬会社がありまして、え～と交差点がありますので、そこを進んでいただいて、左側に進んでいただくと希望駅があります。

(38)の用例は、文末の「～てください」に対して、文中では、「歩いていただいて」、「曲がって」、「行くと」、「渡っていただいて」のように、テイタダクを使用したり、しなかったりしている。また、(39)は、今回の調査でテイタダクを一番多く使った被験者の用例であるが、文末の「あります」に対して、文中では全ての動詞にテイタダクを用いて表現している。

今回の分析結果から次の2点が確認された。まず、①文末が敬語表現である場合、文中でもテモラウやテイタダクが多く使用されているということ、それに、②しかし、文末が敬語表現である場合でも、文中で必ずテモラウやテイタダクが使用されているというわけではない。そこで、次に、反対に文末が敬語表現ではない場合、つまり、全体として丁寧な表現とならない場合における文中でのテモラウやテイタダクの使用を確認し、比較することとする。

まず、全体として丁寧な表現にはならないであろうと考えられる場面、具体的には、話し手の相手が初対面ではなく、家族や仲の良い人の場合にはどのように表現するのか、「道案内」の調査においてテモラウで表現した被験者40人に対して質問した。その結果、40人全員が、テモラウやテイタダクは使わないというものであった。40人中、2人の答えを以下で紹介する。

- (40) えっと、希望駅に行くには、現在位置からまず、まっすぐ進んでいただいて、空駅十字路を右に曲がります。その時に右手に空駅7番出口が見えます。で、空駅十字路を右に曲がってもらって、直進するとゆめ銀行十字路という十字路が見えますので、そこを左に曲がってください。左に曲がって、まっすぐ、行くとえ～～と向かって左側に希望駅が見えます。

- (40) 空駅十字路をえ～～右に曲がって、直進するとゆめ銀行十字路があるので、そこ

を左に曲がって直進すれば左側に希望駅がある。

(41) え～今いるところから、空駅十字路というところがありまして、そこまで一回歩いてただいて、え～～でその7番出口があるのでそこについたら右に曲がってください。
曲がってまっすぐ行くと十字路があつてゆめ銀行があつてゆめ銀行の反対の方向に渡っていただいて、うん～～ゆめ銀行を背中に向けてまっすぐ歩いて行ってください。
ずっと歩いて行くと左手の方に駅があります。

(41)´ 現在位置からまっすぐ行って、行くと、途中で角の方に 7 番出口があるからそこを右に曲がって、まっすぐ行くと、また十字路にぶつかるから、え～～その十字路の角のところの方にゆめ銀行があるから、銀行が見つかったら、え～～と信号の緑薬局の方じゃないところに渡る。渡って、反対側を渡るとゆめ銀行を背中にして、その～～まっすぐ行くと駅がある。

上記の(40)´、(41)´の例で分かる通り、家族や仲の良い人には文末が敬語表現ではないことから、全体として丁寧な表現ではない。そして、このように文末が敬語表現ではない場合には、文中においてテモラウやテイタダクは使われていない。ここでは 2 つの例しか記載していないが、他の被験者も家族や仲の良い人に対しては、テモラウやテイタダクは使わず、全体的に敬語表現はしていないとしていることから、全体的な文が敬語表現でない場合には、文中でテモラウやテイタダクは使われないということが確認された。

文末と文中に焦点を当てて分析した結果、テモラウは敬語表現と何らかの特別な関係が認められるのではないかと考えられる。つまり、話し手は聞き手との人間関係や場を意識して敬語表現で表現するか否かについて判断するのと同様の理由で、テモラウを用いて表現するか否かについても判断しているのではないかと考えられる。

5.3.4 「道案内」と「食べ方」の比較分析

前節では、「道案内」と「食べ方」の調査の結果について述べたが、この2つの場面におけるテモラウやテイタダクの使用には違いが見られることが確認された。それをまとめると以下のようになる。

- 1) 「道案内」では、被験者 52 人中 40 人が少なくとも 1 回はテモラウやテイタダクを用いていた。
- 2) 「食べ方」は「道案内」と比べテモラウやテイタダクはあまり用いておらず、52 人中 17 人しかいなかった。17 人は「道案内」にでもテモラウやテイタダクを用いており、「食べ方」だけにテモラウやテイタダクを用いている被験者はいなかった。
- 3) 「道案内」では、文全体を詳細に分析すると、テモラウやテイタダクで表現した a.「授受補助動詞」より、テモラウやテイタダクで表現していない b.「本動詞」の方が遥かに多かった。
- 4) 「食べ方」でも、「道案内」と同様、a.「授受補助動詞」より、b.「本動詞」の方が多く現れた。
- 5) 「道案内」では a.「授受補助動詞」の中、テモラッテが一番多かった。テイタダイが次に多かった。しかし、テモラウト、テイタダクト、テモラッタラ、テイタダイタラは殆ど現われていないことから、テモラウはテ形と共起しやすいということが分かった。このような特徴は「食べ方」においても同じ結果であった。つまり、テモラウはテ形と一番共起しやすいということが「食べ方」においても現れた。
- 6) 両場面共に、敬語表現の中、尊敬語は用いておらず、丁寧語は用いているもののほんの少しであった。
- 7) このような結果から、テモラウやテイタダクは使わなくても文としては全く問題のない適格的な文であるにもかかわらずテモラウやテイタダクを用いて表現するということが分かった。

以上をまとめて〈表 5-15〉に示す。

表 5 - 15 「道案内」と「食べ方」の比較

区分	道案内	食べ方
テモラウを使った被験者数	52 人中 40 人	52 人中 17 人
テモラウの出現数	91	24
「授」と「本」の出現数の比較	「授受補助動詞」<「本動詞」	「授受補助動詞」<「本動詞」

註)「授」は「授受補助動詞」、「本」は「本動詞」を表わす。

「道案内」と「食べ方」についての調査結果を述べたが、両場面ともに同じく行為説明表現の

場合でも異なる結果が出た。つまり、「道案内」では、被験者 52 人中 40 人が少なくとも 1 回はテモラウやテイタダクを用いていたのに対して、「食べ方」では 52 人中 17 人しかいなかった。さらに、テモラウの出現頻度の違いも現れており、「道案内」では全体を通して 91 回現れたのに対して、「食べ方」では 24 回現れ、「道案内」の方が、「食べ方」よりテモラウを多く使われていることである。しかし、両場面ともに、「本動詞」の方が「授受補助動詞」より多く現れた点については類似点もあった。

本節では、両場面を比較分析して、同じ行為説明表現でも異なる表現形式を用いる理由について考察する。

尾崎(2006)は、役員を引き受けるよう依頼されて受諾するという場面、相手の家で食事を勧められて受諾するという 2 つの場面を取り上げ、面接調査の発話データの中に、受諾を明示する動詞・授受表現・謙虚表現・恐縮表現等がどのように現れるかを中心に分析している。その結果、役員受諾では「ヤル系」、「スル系」が、食事受諾では自分の側を低くする「イタダク系」、「ゴチソーニナル系」が多かったと述べている。更に、授受表現を使用した回答者は、役員受諾で約 2 割、食事受諾では数%に留まり、いずれの場面においても少なかったこと、役員受諾で使用された授受表現は、「アゲル」、「ヤル」よりも、「イタダク」、「モラウ」の方が遥かに多かったと述べている。

大浜(2000)は、我々は会話の相手、場面あるいは事柄の性格などによって発話内容や表現スタイルを変えるのが常であり、初対面の人と友人とでは違うし、会議とおしゃべりでも違うと述べている。また、同じ相手で同種の場面(例えば依頼場面)であっても、ボールペンを借りるのとお金を借りるのでは違ってくと述べている。

尾崎(2006)、大浜(2000)から分かる通り、同様な相手と同様な場面であっても何を(発話内容)、何のために(表現意図)表現⁶⁹するのかによって異なる表現形式を用いるということが分かる。

本研究の対象である 2 つの場面における行為説明表現においても「道案内」と「食べ方」では表現の違いがあることが分かった。つまり、「道案内」ではテモラウやテイタダクを多く使われているのに対して、「食べ方」では「道案内」ほど多くは使われていなかった。

⁶⁹ 蒲谷(2013)では、「何を」を「発話内容」としており、「何のために」を「表現意図」としている。本発表では蒲谷の表現を用いて述べることにする。詳細については蒲谷(2013)を参照されたい。

それでは、どうして同じ行為説明表現であるにもかかわらず、このような違いが生じるのだろうか。それは、言語は本質的に対人関係的である(福田 2013:4)からではないかと考えられる。つまり、被験者は、「道案内」と「食べ方」について、それぞれの事の重大さの違いを意識して、異なる表現形式を用いて説明したものと考えられる。具体的には、「道案内」では、話し手に目的地まで(ちゃんと)たどり着いてもらいたいという表現意図が働く。その表現意図が遂行されるためには、話し手が説明したとおりに相手が動くことが必要となる。そのことから、話し手の説明内容が相手に対して指示や命令をするという形に近づいてしまったり、又は相手が話し手から指示や命令をされていると感じてしまったりしているのではないかとの思いが話し手に生まれるのではないか。そして、これらを緩和するために、そうではないということ、つまり「(初対面であるあなたを指示や命令という形で乱暴に扱っているのではなく)あなたのことをちゃんと配慮しています」という思いを相手に汲み取ってもらう必要が生じ、このような思いをテモラウやテイタダクを使うことによって表現しているのではないかと考えられる。

一方、「食べ方」は「道案内」と比べて、事の重大さがさほど大きくない。しゃぶしゃぶの食べ方は様々あり、決して、話し手が説明したとおりに食べる必要もなく、また、話し手自身そのように考えているだろう。そのため、「道案内」と違って、説明に正確性は求められないことから、話し手は説明するに際して、聞き手との関係において「道案内」のような緊張感が生じることはなく、聞き手にそれほど配慮する必要がないことからテモラウやテイタダクの使用が少なかったものと考えられる。

今回の調査では、「道案内」、「食べ方」における表現の違いについて、被験者に、特に、「道案内」ではテモラウやテイタダクを用いたにもかかわらず、「食べ方」では使わなかった被験者に、その理由等に関するフォローアップインタビュー調査を行わなかったことは残念であり、反省点である。今後それについても更なる研究を進めていきたい。

5.3.5 日本語の調査のまとめ

本節では、日本語母語話者を対象に行った「道案内」と「食べ方」についての調査結果及び考察を行った。それをまとめると以下ようになる。

- 1) 「道案内」では、被験者 52 人中 40 人が少なくとも一回はテモラウやテイタダクを用いていた。

- 2) 形態別にみると、「本動詞」が一番多く現われており、「授受補助動詞」は「本動詞」に比べてそれほど多くはなかった。
- 3) このような結果から、テモラウやテイタダクは使わなくても文としては全く問題のない適格的な文であることが分かった。
- 4) 上記Ⅲのことは、被験者のうちの日本語教師の答えではテモラウやテイタダクは用いていなかったことから裏付けられることである。
- 5) 敬語表現の中、尊敬語は現われておらず、「～ます」を付けての「丁寧語」が少数であったが現われた。
- 6) 一方、「食べ方」は「道案内」と比べてテモラウやテイタダクはあまり用いておらず、52人中17人しかいなかった。17人は「道案内」にでもテモラウやテイタダクを用いていて、「食べ方」だけテモラウやテイタダクを用いている被験者はいなかった。
- 7) 形態別でみると、「道案内」同じく「本動詞」が一番多く現われており、「授受補助動詞」、「丁寧語」の順で現われた。
- 8) このような結果から、場面によってテモラウの使用頻度が異なることが分かった。

次に、日本語の調査と同じ場面、同じ調査方法により、韓国語の表現について確認することとする。

5.4 韓国語の調査の結果

本章では韓国語における「道案内」と「食べ方」についての調査結果及び考察を行う。調査は韓国語母語話者の自然な発話を導くため(日本にいる韓国人は日本語に影響されている可能性があるため)、韓国で調査を行った。場所はソウルと仁川にある学校、空港、文化センターなどで筆者自身が行った。被験者は50人である。年齢、男女、職業なども様々である。調査内容(設定場面)及び方法は日本での日本語における調査と全く同じである。

まず、調査結果及び考察に入る前に韓国語の敬語表現について確認する。

5.4.1 韓国語の敬語表現に関する先行研究

이익섭(2009)、고영근・구본관(2008)は、韓国語の敬語表現について、行為の主体に対

する「主体敬語」、行為が及ぶ側、つまり客体に対する敬語「客体敬語」、聞き手に対する敬語「相対敬語」の3種類があると述べている。菊地(2003)の日本語の敬語表現の分類を参考に、日韓両言語の敬語表現の対応関係を整理すると以下の<表 5-16>ようになるものと考えられる。

以下、本研究における日韓両言語の対照研究に際しては、韓国語の「相対敬語」、「主体敬語」、「客体敬語」を、日本語での「丁寧語」、「尊敬語」、「謙讓語」として述べることにする。

表 5-16 日韓両言語の敬語表現の対応関係

日本語	韓国語
丁寧語	相対敬語
尊敬語	主体敬語
謙讓語	客体敬語

以下からは、이익섭(2009)を参考に韓国語の敬語表現について確認する。まず、丁寧語について簡単に確認する。이익섭(2009)は丁寧語は文末語尾によって表現できるとしている。たとえば、「雨が降る」ということを表す際には、以下のようなバリエーションがあり、相手のレベルによって適切に選択されるという。

表 5 - 17 韓国語の文末のバリエーション⁷⁰

形態	文末表現
①ㄴ다	비가 온다 (雨が降っている)
②아	비가 와 (雨が降っている)
③아요	비가 와요 (雨が降っています)
④ㅂ니다	비가 옵니다 (雨が降っています)

↓
より敬語表現になる

次に尊敬語についてであるが、尊敬語は主体の年齢が高かったり、社会的地位が高かったり、関係が親しくない場合に、話し手は動詞の語幹に「(으)시(eu) si」を付け、尊敬の意を表すという特徴を有している。以下の例を見てもらいたい。(43)は「우리 선생님 (uri seonsaengnim/我々の先生)」は「부르시는구나(buru-si-neunguna/歌われているね)」のよう

⁷⁰ 이익섭(2009)を参考に筆者が整理したものである。

に「시 (si)」によって待遇されている。それに比べて、(42)の例文、「네 동생 (ne dongsaeng/君の弟)」には「시 (si)」で表現していない。

(42) 네 동생이 오늘도 가고파를 부르는구나.

ne dongsaeng-i oneul-do gagopa-reul bureu-neunguna

君の弟さんが今日もカゴパを歌っているね。

(43) 우리 선생님이 오늘도 가고파를 부르시는구나.

uri seonsaengnim-i oneul-do gagopa-reul bureu-si-neunguna

私の先生は今日もカゴパをお歌いになっているね/歌われているね。

次に、謙譲語について確認する。韓国語の謙譲語は日本語と同様、主体の行為によってその行為が及ぶ相手を挙げて表現する敬語表現の一つである。以下の用例を用いて説明する。

(44) 혜숙아, 이 편지 오빠한테 가져다 주어라.

hyesug-a, i pyeonji oppahante gajyeoda jueola.

ヘスク、この手紙兄に持って行ってあげて。

(45) 혜숙아, 이 편지 할머니께 가져다 드려라.

hyesug-a, i pyeonji halmeonikke gajyeoda deulyeola.

ヘスク、この手紙お祖母さんに持って行って差し上げて。

(44)と(45)の違いは、主体である「ヘスク」の行為が及ぶ相手である。(44)の相手は「ヘスクの兄」であるのに対して、(45)の相手は「ヘスクのお祖母さん」であることから「手紙を持って行ってあげる」と「手紙を持って行って差し上げる」という風に使い方を区別している。つまり、「お祖母さん」を上げるという、話し手による謙譲を表現するために、「주어라 (ju-eora あげて)」ではなく「드려라 (deu-lyeola 差し上げて)」で表現する。このような敬語表現のことを謙譲語と呼んでいる。

最後に、3つの敬語表現以外に、主に文中に現れる「요(-yo)」についてごく簡単に確認する。「요(-yo)」は、主に、名詞、副詞、助詞、連結語尾などについて、尊敬語としての役割をする。例えば、以下の例文が「요(-yo)」の典型的なものである。

(46) 나는요, 밥을요, 많이요, 먹어요.

naneun-yo, bab-eul-yo, manhi-yo, meog-eoyo

私はですね、ご飯をですね、たくさんですね、食べます。

(47) 저는 아침에 일어나서요, 신문을 읽고요, 그리고나서 학교에

jeoneun achim-e il-eonaseo-yo, sinmun-eul ilg-go-yo, geuligonaseo haggoye

가요.

gayo.

私は朝、起きてですね、新聞を読んでですね、それから学校へ行きます。

上記の「요-yo」は、以下のように省略しても意味には代わりがない。

(48) 나는 밥을 많이 먹어요.

naneun bab-eul manhi meog-eoyo

私はご飯をたくさん食べます。

(49) 저는 아침에 일어나서 신문을 읽고 그리고 나서 학교에 가요.

jeoneun achim-e il-eonaseo sinmun-eul ilg-go geuligonaseo haggoye gayo.

私は朝、起きてですね、新聞を読んでですね、それから 学校へ行きます。

分析の方法を述べる前にまず、日本語の授受表現に対応する韓国語の授受表現と敬語表現の対応関係を以下の表を用いて改めて整理しておく。

表 5 - 18 日韓両言語の授受表現と敬語表現の対応関係

授受表現		敬語表現	
日本語	韓国語	日本語	韓国語
てくれる	아/어 주다(a/eo juda)	~(ら)れる/ お~になる	-(으)시 (eu) si
てくださる	아/어 주시다(a/eo jusida)		
てやる	아/어 주다(a/eo juda)		
てあげる			
てさしあげる	아/어 드리다(a/eo deurida)		
てもらう	*아/어 받다(a/eo badda)		
ていただく			

〈表 5-18〉のように、日本語のテモラウ/テイタダクは韓国語ではそれに対応する授受表現がなく、「～てくれる」に対応する「아/어 주다 (a/eo juda)」、「아/어 주시다(a/eo jusida)」で対応する⁷¹。また、日本語では動詞の原形の語幹に「～られる/お～になる」を付けると敬語表現になるが、韓国語は動詞⁷²の原形の語幹に「-(으)시 (eu) si」を付ければ敬語表現になる。なお、韓国語では、動詞の原形の語幹が子音で終わっている場合には「-으 (eu)」を付けてから「시 (si)」を付け、一方、動詞の原形の語幹が母音で終わっている場合には「시 (si)」だけ付ける。たとえば以下のようなものである。

(50) 읽다(読む)⇒ 읽으시다(お読みになる/読まれる)

(51) 한다(する)⇒ 하시다(なさる)

(50)の「읽다(ilgda 読む)」は、「다 (-da)」の前の語幹が子音で終わるため、語幹の「읽 (ilg 読)」に「-(으)시 (eu) si」を付けて「읽으시다(ilgusida お読みになる/読まれる)」になり、一方、(51)の「한다(hada する)」は「다 (-da)」の前の語幹が母音であるから、語幹の「하 (ha す)」に「시 (si)」を付けて「하시다(hasida なさる)」になったのである。

上記の韓国語における敬語表現を参考に、韓国人を対象に行われた両場面、「道案内」と「食べ方」に関する調査を分析することにする。

⁷¹ 第 1 章でも述べたが、日本語のテモラウに対応する韓国語は以下の(1)のように韓国語の授受表現である「아/어 주다 (a/eo juda)」で表現する場合もあるが、授受表現に対応しない表現も多く存在している。

- 1) (私は)先生に日本語を教えてくださいました。
선생님께서 (저에게) 일본어를 가르쳐 주셨습니다.
(先生が(私に)日本語を教えてくださいました)
- 2) (先生が学生に)研究室、使ってもらっていいよ。
연구실, 사용해도 돼요.
(研究室、使っていいよ)
- 3) (浅田真央のファン)真央ちゃんにはぜひ頑張ってもらいたいですね。
마오짱, 열심히 하세요.(열심히 하길 바랍니다)
(真央ちゃん、頑張ってください/頑張ることを願います)

⁷² 動詞だけではなく形容詞の敬語の作り方も同じであるが、動詞だけに焦点を当て分析を行う。

5.4.2 「길 안내(道案内)」の調査の結果及び考察

韓国語母語話者の場合、被験者 50 人の中、50 人全員が文中ではテモラウに対応する「~어 주다-eo-juda」を使わずに回答した。つまり、①「아/어 주고 (a/eo -jugo/~てもらって)」、②「아/어 주면 (a/eo -jumyon/~てもらうと/~てもらったら)」、③「아/어 주다가 (a/eo -judaga/~てもらって)」、④「아/어 주어서 (a/eo -jueoseo/~てもらって)」、⑤「아/어 주시고 (a/eo -jusigo/~ていただいて)」、⑥「아/어 주시면 (a/eo -jusimyon/~ていただくと/~ていただいたら)」、⑦「아/어 주시다가 (a/eo -jusidaga/~ていただいて)」、⑧「아/어 주셔서 (a/eo -jusyeoseo/~ていただいて)」のような表現は現れていなかった。

このような結果から本節では、「가다(-gada/行く)」、「돌다(-dold/曲がる)」、「건너다(-geonneoda/渡る)」、「하다(-hada/する)」の 4 つの動詞について、以下のような形態に分けて分析を行った。

- a. 本動詞
- b. 尊敬語
- c. 本動詞+요(-yo)
- d. 尊敬語+요(-yo)

4 つの形態に基づいて分析した結果、以下の〈表 5-19〉に整理したような結果が得られた。

表 5 - 19 韓国語の「道案内」の結果

区分	形態	形態	形態	形態
a.本動詞	면 (8) -myeon	고 (2) -go	어서 (25) -eoseo	다가 (1) -daga
b.尊敬語	시면 (30) si-myeon	시고 (8) si-go	셔서 (19) si-eoseo	시다 (29) si-daga
c.本動詞+ 요 (-yo)	면요 (1) myeon-yo	고요 (0) go-yo	어서요 (1) eoseo-yo	다가요 (1) daga-yo
d.尊敬語+ 요 (-yo)	시면요 (0) si-myeon-yo	시고요 (2) si-go-yo	서서요 (3) eo-si-eoseo-yo	시다가요 (2) si-daga-yo
合計	39	12	48	33

註) 数字は度数である。

上記の結果から、「어서(-eoseo)」以外はいずれも「尊敬語」の表現が一番多く現われたことが分かる。また、4つの動詞を用いて形態別に分類しそれぞれの現われた数を整理したものが以

下の表である。

「(으)면(-eu)myeon」

区分	면-myeon	시면-si-myeon	면요-myeon-yo	시면요-si-myeon-yo
가다行く	가면 (3) 行くと	가시면 (16) 行かれると	가면요 (1) 行ったらですね	가시면요 (0) 行かれたらですね
돌다曲がる	돌면 (0) 曲がると	도시면 (0) 曲がられたら	돌면요 (0) 曲がったらですね	도시면요 (0) 曲がられたらですね
건너다渡る	건너면 (0) 渡ったら	건너시면 (2) 渡られたら	건너면요 (0) 渡ったらですね	건너시면요 (0) 渡られたらですね
하다する	하면 (5) したら	하시면 (12) されたら	하면요 (0) したらですね	하시면요 (0) されたらですね

「고(-go)」

区分	고-go	시고-si-go	고요-go-yo	시고요-si-go-yo
가다行く	가고 (1) 行って	가시고 (0) 行かれて	가고요 (0) 行ってですね	가시고요 (0) 行かれてですね
돌다曲がる	돌고 (0) 曲がって	도시고 (0) 曲がられて	돌고요 (0) 曲がってですね	도시고요 (0) 曲がられてですね
건너다渡る	건너고 (0) 渡って	건너시고 (0) 渡られて	건너고요 (0) 渡ってですね	건너시고요 (0) 渡られてですね
하다する	하고 (1) して	하시고 (8) されて	하고요 (0) してですね	하시고요 (2) されてですね

「어서(-eoseo)」

区分	어서 -eoseo	셔서 -si-eoseo	어서요 -eoseo-yo	어서서요 -eo-si-eoseo-yo
가다行く	가서 (1) 行って	가셔서 (3) 行かれて	가서요 (0) 行ってですね	가서서요 (1) 行かれてですね
돌다曲がる	돌아서 (4) 曲がって	도셔서 (0) 曲がられて	돌아서요 (0) 曲がってですね	도서서요 (0) 曲がられてですね
건너다渡る	건너서 (0) 渡って	건너셔서 (0) 渡られて	건너서요 (0) 渡ってですね	건너서서요 (0) 渡られてですね
하다する	해서 (20) して	하셔서 (16) されて	해서요 (1) してですね	하서서요 (2) されてですね

「다가(-daga)」

区分	다가 -daga	시다가 -si-daga	다가요 -daga-yo	시다가요 -si-daga-yo

가다行く	가다가(1) 行って	가시다가(17) 行かれて	가다가요(1) 行ってですね	가시다가요(1) 行かれてですね
돌다曲がる	돌다가(0) 曲がって	도시다가(0) 曲がられて	돌다가요(0) 曲がってですね	도시다가요(0) 曲がられてですね
건너다渡る	건너다가(0) 渡って	건너시다가(0) 渡られて	건너시다가요(0) 渡ってですね	건너시다가요(0) 渡られてですね
하다する	하다가(1) して	하시다가(12) されて	해다가요(0) してですね	하시다가요(1) されてですね

註) 数字は度数である。

また、「尊敬語」、「本動詞+요(-yo)」、「尊敬語+요(-yo)」の敬語表現の中、一つでも敬語表現を用いて表現した被験者は、全体の 50 人中 47 人もいた。一方、敬語表現が付いていない「本動詞」だけで表現した被験者は 3 人しかなかったということから、韓国語母語話者は初対面の人に道を教える際に、文末はもちろんのこと、文中においても、敬語表現を用いて説明する傾向が非常に大きいということが分かった。

以下からはそれぞれの形態別に用例を通して考察していく。まず、(52)から(54)までは「(으)면(-eu)myeon」の用例であるが、(52)の「가면요(gamyeon-yo/行くとですね)」、(53)の「가시면(ga-si-myeon/行かれると/お行きになると)」、(54)の「직진하면(jigjinha-myeon 直進すると)」のように、「本動詞(54)」で表現するものもあれば、「尊敬語(53)」、「本動詞+요(-yo)(52)」のように表現するものもある。(52)は、文中においては「가면요(行くとですね)」のように尊敬語は用いていないが、「가면(行くと)」に「요(ですね)」を付けて、丁寧に表現している。また、文末においては「좌회전 하시면 돼요(左折すればいいです)」のように「하다(する)」の尊敬語である、「하시다(される/なさる)」で表現しており、全体的には丁寧に表現しているように思われる。(53)の被験者は「가다(行く)」、「건너다(渡る)」を用いて尊敬語の形である「가시다(行かれる/お行きになる)」、「건너시다(渡られる/お渡りになる)」で表現している。また、(54)の被験者は「직진하다(直進する)」に関しては、「직진하면(直進したら)」のように尊敬語は用いていないが、「간 다음에요(行った後はですね)」のように丁寧に表現したり、文末においては、「보일 거예요(見えると思います)」のように丁寧に文を終えている。

(52) 지금 현재 위치에서 하늘역사거리를 가세요. 응.. 거기서 우회전 해서 꿈은 행사거리까지 가면요, 거기 사거리가 나오면, 좌회전 하시면 돼요. 희망역쪽으로.

(今の現在位置から空駅十字路に行ってください。うん、、、そこで右折して、夢銀行十字路まで行くとですね、そこに十字路が出てくるので左折されればいいです。希望駅方面。)

- (53) 오른쪽을 보시면、하늘역 7 번 출구가 있어요. 거기서 오른쪽으로 돌아서 약 5 분정도 가시면, 꿈은행이 보이거든요. 거기가 바로 꿈은행 사거리예요. 그 맞으편을 건너시면 희망역이 보이실거예요.

(右側をご覧になると、空駅 7 番出口があります。そこを右方面に曲がって約 5 分ぐらい行かれると/お行きになると、夢銀行が見えるんですよ。そこがちょうど夢銀行十字路です。その反対側に渡られる/お渡りになると希望駅が見られると思います。)

- (54) 하늘역 7 번 출구까지 간 다음에요, 우회전해서 꿈은행 사거리에서 직진하면 희망역이 보일거예요.

(空駅 7 番出口まで行った後ですね、右折して夢銀行十字路で直進すると希望駅が見えると思います)

また、以下のように、同じ被験者でも「本動詞」で表現したり、「尊敬語」で表現したりしていることが分かる。

- (55) 현위치에서 하늘역사거리에서 우회전하시고 꿈은행사거리에서 좌회전해서 조금만 걸으시면 희망역이 좌측에 보입니다.

(現在位置から空駅十字路で右折されて、夢銀行十字路で左折してほんの少し歩かれると/お歩きになると、希望駅が左側に見えます。)

- (56) 하늘역사거리까지 가서 우회전해서 조금만 가다 보면은 꿈은행사거리에서 좌회전하시면 희망역이 나옵니다.

(空駅十字路まで行って 右折してほんの少し行ってみれば夢銀行十字路で、左折されると希望駅が出てきます。)

- (57) 현위치에서 하늘역까지 직진으로가다가 하늘역사거리에서 우회전을 하세요. 우회전하셔서 직진으로 가다가 꿈은행 사거리가 나오면 좌회전하세요. 좌회전을 하셔서 가시다 보면 희망역이 나옵니다.

(現在位置から空駅まで直進して空駅十字路で右折してください。右折されてまっすぐ行って夢銀行十字路が出てきたら左折してください。左折され 行かれて/お行きに

なってみれば希望駅が出てきます。)

以下からは、a から d までの用例を通して分析することにする。

a. 本動詞

日本語のテ形に対応する韓国語は「고(-go)」、「어서(-eoseo)」⁷³、「다가(-daga)」⁷⁴であるが、その中で「어서(-eoseo)」が一番多く現れた。次に、日本語のト形とタラ形に対応する「(으)면(-eu)myeon」が多く現れた。

(58)の被験者は「직진하다(直進する)」に「(으)면(-eu)myeon」を付けて「직진하면(直進すると)」で表現している。また、(59)は「하다(する)」に「어서(-eoseo)」を付けて、「해서(して)」で表現している。

(58) 하늘역 7 번 출구까지 간 다음에요, 우회전 해서 꿈은행 사거리에서 직진하면 희망역이 보일 거예요.

(空駅 7 番出口まで行った後にですね、右折して夢銀行十字路で直進すると希望駅が見えると思います)

(59) 지금 현재위치에서 보면 하늘역사거리가 보입니다. 거기서 우회전해서 가다 보면 바로 꿈은행 사거리가 보입니다. 그곳에서 좌회전해서 조금 걷다보면 바로 희망역이 보입니다.

(今の現在位置から見ると空駅十字路が見えます。そこで右折して行ってみればすぐ夢銀行十字路が見えます。そこで左折してほんの少し歩いてみればすぐ希望駅が見えます)

⁷³ また、「어 가지고(-eogajigo)」は「어서(-eoseo)」とは厳密には異なる意味も有しているが、今回の場面においては、「어서(-eoseo)」と同じ意味で使われていたため、「어서(-eoseo)」として数えた。例えば、以下(1)のように「하셔가지고요(-hasyeogajigoyeo)」の場合「하셔서요(-hasyeoseoyeo)」として数えた。さらに、「가다보시면(-gada-bo-si-myeon)」のような形態は、「가다(-gada)」+「아 보다(-a-boda)」+「시(-si)」+「면(-myeon)」の形からなっているが、「가시면(-ga-si-myeon)」と同じ意味として使われていたので、「가시면(-ga-si-myeon)」として数えた。

1) 네. 제가 가르쳐 드리겠습니다. 여기서 직진 쪽 하셔가지고요, 한참을 우회전, 우회전으로 쪽 가다보시면, 꿈은행 사거리라는 곳이 나오거든요. 꿈은행 사거리에서 다시 좌회전해서 쪽 조금만 가시면 거기 희망역이라는 곳이 나옵니다.

⁷⁴ 「아 다가(-a daga)」は日本語で訳すと、ト形、タラ形の場合もあったが、便宜上テ形として述べることにする。

b. 尊敬語

以下の被験者は、「직진하다(直進する)」、「가다(行く)」、「하다(する)」、「건너다(渡る)」を用いて尊敬語である「(으)시(-eu)si)」を付けて、「직진하시다가(直進されて)」、「가시다가(行かれて/お行きになつて)」、「가시면(行かれると/お行きになられて)」、「건너시면(渡られたら/お渡りになつたら)」、「직진하시고(直進されて)」で表現している。

- (60) 아아.. 희망역을 가려면요. 여기서 쪽 직진하시고 하늘역 사거리에서 우회전하시면 돼요. 거기서 쪽 직진하시다가 꿈은행사거리가 나오면, 거기서 좌회전하시고 한참 가시다가 보면 좌측에 희망역이 있습니다.

(ああ…希望駅に行くにはですね。ここでまっすぐ直進されて空駅十字路で右折されるといいですね。そこでまっすぐ直進されて、夢銀行十字路が出てくると、そこで左折されてずっと行かれて/お行きになつてみると左側にに希望駅があります)

- (61) 네 일단 하늘역사거리까지 쪽 직진하시고 하늘역사거리에서 우측으로 쪽 꿈은행사거리까지 가시면 그리고 건널목을 건너시면 희망역이 보이십니다.

(はい。まず空駅十字路までまっすぐ直進されて、空駅十字路で右にまっすぐ夢銀行十字路まで行かれたら/お行きになつたら、そして横断報道を渡られると/お渡りになると、希望駅が見られます)

- (62) 현재위치에서 하늘역사거리까지 쪽 직진하시고 하늘역 7 번 출구에서 우회전하시면 꿈은행을 보실 수 있으신데요, 거기서 좌회전하시면 희망역이 보이실 겁니다.

(現在位置から空駅十字路までまっすぐ直進されて、空駅 7 番出口から右折されると夢銀行を見られることが出来ると思うんですけど、そこで左折されると希望駅が見られると思います)

c. 本動詞+요 (-yo)

(63)の被験者は「하다(する)」に「고(-go)」をつけて「하고(して)」に丁寧を表わす「요(ですね)」を付けて表現している。また、(64)の被験者は「하다(する)」に「어서(-eoseo)」、さらに丁寧を表す表現である「요(ですね)」を付けて「해서요(してですね)」で表現している。しかし、(63)、(64)の被験者は、「本動詞+요(ですね)」だけで表現しているわけではなく、「本動詞」である「직진하시다가(直進して) (63)」、「해서(して) (64)」、「가면(行ったら) (64)」も用いてい

ることが分かった。

(63) 직진하다가 하늘역 7번 출구를 끼고 우회전하고요, 가고자 하는 희망역은 좌측에 100미터 쯤에 있습니다.

(直進して空駅7番出口を右折してですね、行きたい希望駅が左側に100メートルぐらいにあります)

(64) 지금 현재 위치에서 희망역 7번출구로 나가갖고 우회전해서요,꿈은행사거리에서 직진으로 우회전 해서 직진으로 네 그렇게 가면 될 것 같아요.

(今の現在位置から希望駅7番出口を出て右折してですね、夢銀行十字路で直進で右折して直進で、はい、そのように行けばいいと思います)

d. 尊敬語 +요 (-yo)

以下の被験者は、「하다(する)」、「가다(行く)」、「직진하다(直進する)」に尊敬語を表す「(으)시-(eu)si」を付けて、さらに、尊敬語を表す「요(-yo)」を付けて「하셔서요(されてですね/なさってですね)」、「가시다가요(行かれてですね/お行きになってですね)」、「직진하시다가요(直進されてですね)」で表現している。しかし、「尊敬語+요(-yo)」の場合においても、「尊敬語+요(-yo)」だけではなく、「本動詞」である「해서(して)」、「尊敬語」である「가시면(行かれると/お行きになると)」を一緒に用いている。

(65) 여기서 조금만 가시면 사거리가 있는데 거기서 우회전하셔서요, 더 가시면 꿈은행사거리가 나와요. 거기서 좌회전을 하셔야 하는데 거기서 조금만 가시다 보면 희망역이 보이세요.

(ここからほんの少し行かれると/お行きになると十字路があって、そこを右折されてですね、もうちょっと行かれると夢銀行十字路が出てきます。そこを左折されなければいけないので、そこを少しだけ行かれて/お行きになると希望駅が見られますね)

(66) 지금 현재 위치에서 하늘역사거리에 가시다가요, 우회전 한 다음 쪽 가세요. 꿈은행사거리가 나오면 왼쪽으로 가세요. 그러면 왼쪽에 희망역이 보이실 거예요.

(今の現在位置から空駅十字路方へ行かれると/お行きになるとですね、右折した後まっすぐ行ってください。夢銀行十字路が出てきたら左側に行ってください。そしたら左に希望駅が見られると思います)

- (67) 여기서 직진하시다가요, 하늘역 7 번출구에서 우회전해서 가시다 보면요, 꿈은행사거리가 나오거든요. 거기서 좌회전해서 쪽 가시다보면 희망역이 보이실 거예요.

(ここから直進されてですね、空駅 7 番出口を右折して行かれてみると/お行きになつてみるとですね、夢銀行十字路が出てくるんですね。そこを左折してまっすぐ行かれると/お行きになると希望駅が見られると思います)

上記の結果から、同じ被験者においても、a.「本動詞」、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」が混在しており、このような特徴は日本語の調査結果と類似している。さらに、文末に焦点を移して観察してみると、文中においては「本動詞」だけ用いていた被験者でも文末には敬語表現を用いて、全体的に文を丁寧に表現していることが分かった。このようなことも日本語での調査と同じ結果である。

5.4.3 「먹는 방법(食べ方)」の調査の結果及び考察

最近韓国でも日本のしゃぶしゃぶ料理が流行っている。家庭では作らず、外食が多いようである。また、食べ方は日本とは異なる。さらに、材料は店によって異なって、豚肉、牛肉、野菜、それに、海産物(イカ、貝類、ダコなど)まで食べられる店があるようである。タレに関しても、日本と違って、赤みそ、チリソース、醤油などがある。このように、日本と食べ方が異なることから、被験者の答えも日本人の答えとは異なるものであった。日本語の「取る」、「つける」、「入れる」、「する」、「食べる」に対応する韓国語の動詞である、「잡다(jibda 取る)」、「찍다(jjigda つける)」、「넣다(neohda 入れる)」、「하다(hada する)」、「먹다/ 드시다/잡수시다(meogda 食べる/deusida/jabsusida 召し上がる)」なども現われたが、それだけに限らず、「건지다(取り出す)」、「꺼내다(取り出す)」、「갖고 오다(持ってくる)、バイキング形式の店のため)」、「국물을 내다(だしを出す)」、「담그다(浸す)」、「맞추다(合わせる)」、「익다(煮える)」、「데치다(ゆがく)」なども現れたため、日本語と全く同じ方法では分析ができなかった。韓国語の「食べ方」の分析においては、日本語のテ形に対応する「고(-go)」、「어서(-eoseo)」

「다가(-daga)」、タラ形、ト形に対応する「(으)면(-eu)myeon」を中心に分析を行った。「고(-go)」、「어서(-eoseo)」、「다가(-daga)」、「(으)면(-eu)myeon」を「道案内」と同様、a.「本動詞」、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」のように形態別に分析を行った。分析の結果が〈表 5-20〉の通りである

表 5-20 韓国語の「食べ物」の結果

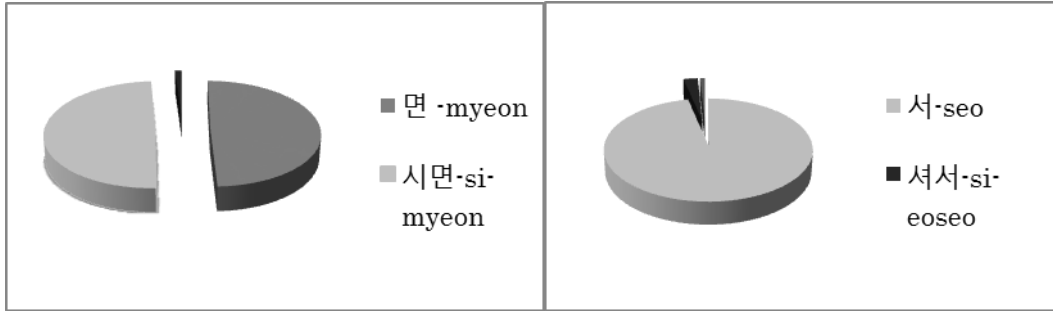
区分	形態	形態	形態	形態
a.本動詞	면 (45) -myeon	고 (92) -go	어서 (115) -eoseo	다가 (19) -daga
b.尊敬語	시면 (45) si-myeon	시고 (11) si-go	셔셔 (3) si-eoseo	시다 (0) si-daga
c.本動詞+ 요 (-yo)	면요 (1) myeon-yo	고요 (1) go-yeo	어서요 (1) eoseo-yo	다가요 (1) daga-yo
d.尊敬語+ 요 (-yo)	시면요 (0) si-myeon-yo	시고요 (1) si-go-yo	셔셔요 (0) eo-si-eoseo-yo	시다가요 (0) si-daga-yo
合計	91	105	119	20

註) 数字は度数である。

〈表 5-20〉から分かる通り、「道案内」とは違って、タラ形、ト形に対応する「(으)면(-eu)myeon」は a.「本動詞」と b.「尊敬語」の結果と同じだが、それ以外のテ形に対応する、「고(-go)」、「어서(-eoseo)」、「다가(-daga)」は a.「本動詞」が一番多く現れた。また、「食べ方」は「道案内」とは異なって、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」の敬語表現の中、一つでも敬語表現を用いて表現した被験者は、全体の 50 人中 13 人しか現れなかった。このような結果は、日本語の「道案内」と「食べ方」の調査結果と似ている結果である。つまり、日本語の「道案内」では、授受補助動詞(テモラウ/テイタダク)を一回でも用いて答えた被験者が 41 人も現れたのに対して、「食べ方」においては 17 人しか現れなかったことである。その結果を以下の図で示す。

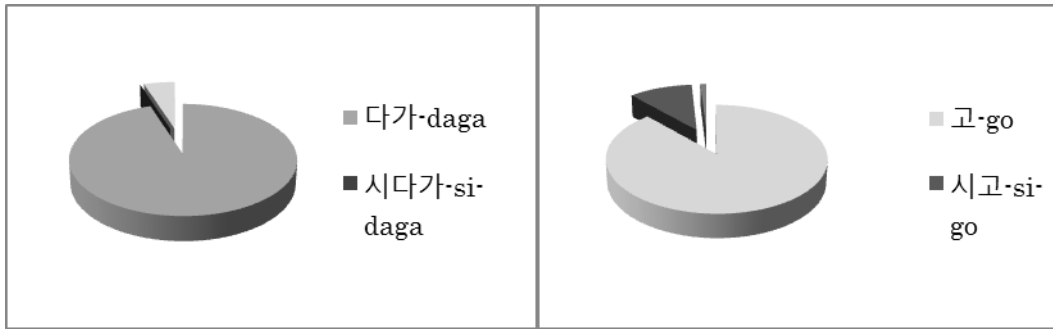
(으) 면(-eu)myeon

어서-ooseo



고-go

다가-daga



以下からは、被験者の答えを通して考察していく。

a. 本動詞

韓国語は日本語のテ形に対応する「어서(-ooseo)」が一番多く現れた。次に、日本語のト形とタラ形に対応する「(으) 면 (-eu)myeon」が多く現れた。

以下からは a.「本動詞」について用例を用いて考察していく。

(68) 아아, 네. 샤브샤브 먹을 때는 물이 막 끓을 때 야채 먼저 넣고 고기 넣고 먹다가 다 먹은 다음 칼국수를 넣고 끓여서 먹고 국물을 마십니다.

(ああ、はい、しゃぶしゃぶを食べる際にはお湯が沸いたら、野菜を先に入れて、肉を入れて、食べて、食べた後、うどんを入れて、煮込んで、食べて、スープを飲みます)

(69) 일단, 식당에서는 국물이 나오잖아요. 야채 고기가 있으면 그냥 자기가 좋아하는 순서 대로 먹으면 될 거 같아요. 고기 먼저 넣어도 되고 야채를 먼저 넣어도 될 거 같아요. 그거 다 먹은 다음, 국물도 우리나라면 맛있을 거예요. 그것도 먹어도 되고 칼국수 같은거 넣어서 그것도 먹으면 될거

같아요.

(まず、食堂ではスープが出てくるんですね。野菜、肉があれば、そのまま自分が好きな順序で食べればいいと思います。肉を先に入れてもいいし、野菜を先に入れてもいいと思います。それを全部食べた後、スープも味が出てきておいしいと思います。それも飲んでもいいし。うどんのようなものを入れて食べてもいいと思います。)

- (70) 일단, 식당에서는 국물이 이렇게 나오잖아요. 그러면 야채가 옆에 준비돼 있거든요. 그러면 자기가 약간 좋아하는 순서대로 먹으면 될 거 같네요. 고기 먼저 넣어도 되고 야채 먼저 넣어도 되고 해물 먼저 넣어도 되고 먹고 나서 국물도 좀 우리나라면 맛있어요. 칼국수도 같이 넣어서 먹으면 맛있어요. (まず、食堂ではスープが出てくるじゃないですか。そして野菜が脇に用意してありますからね。そしたら、自分が好きな順序で食べるといいと思います。肉を先に入れてもいいし、野菜を先に入れてもいいと思います。海産物を先に入れてもいいし、食べた後に、スープも少し味が出るのでおいしいです。うどんも一緒に入れて食べるとおいしいです。)

- (71) 샤브샤브는 물이 끓으면 좋아하는 야채를 가져다가 그다음에 육수에 넣어서 먹기 좋은 크기로 잘라서 아주 푹 익기 전에 건져서 소스에 찍어서 드시면 됩니다. (しゃぶしゃぶはお湯が沸いたら好きな野菜を持ってきて、スープに入れて食べやすい大きさに切って、完全に煮える前に取りだして、ソースに付けて召し上がればいいです)

(68)의被験者は「넣다(直進する)」に「고(-go)」を付けて「넣고(入れて)」、「먹다(食べる)」に「다가(-daga)」をつけて、「먹다가(食べて)」、「끓이다(煮込む)」に「어서(-eoseo)」をつけて「끓여서(煮込んで)」で表現している。また、(70)は「넣어도 되다(入れてもいい)」、「먹어도 되다(食べてもいい)」に「고(-go)」を付けて「넣어도 되고(入れてもいいし)」、「먹어도 되고(食べてもいいし)」、「넣다(入れる)」に「어서(-eoseo)」を付けて「넣어서(入れて)」、「먹다(食べる)」に「(으)면(-eu)myeon)」を付けて「먹으면(食べれば/食べたら)」、で表現している。(70)、(71)も同じく解釈できる。

b. 尊敬語

「尊敬語」は「本動詞」に尊敬語を表す「(으)시-(eu)si」がついてある形のことだが、「食べ方」においては「道案内」より「尊敬語」の数が少なかった。以下からは用例を通じて考察を行う。

以下の被験者は、「가지고 오다(持ってくる)」、「끓이다(沸かす)」、「넣다(入れる)」を用いて尊敬語である「(으)시-(eu)si」を付けて、「가지고 오신 다음에(持ってきた後に)」、「끓이시고(お沸かしになって)」、「넣으시고(入れられて/お入れになって)」で表現している。

- (72) 샤브샤브요? 샤브샤브는 먼저 채소를 데쳐드셔야 돼요. 각종 좋아하는 채소를 가지고 오신 다음에, 알맞은 물을 끓이시고, 거기에 넣어서 어느정도 채소가 익으면 그걸 건져서 드시고 국물이 익을 때 이런 얇은 고기를 넣어서 데쳐서 드시면 돼요. 옆에 소스가 있으면 같이 드시면 더 맛있어요.

(しゃぶしゃぶですか?しゃぶしゃぶはまず、野菜を茹でてから召し上がらなければなりません。それぞれ好きな野菜をお持ちになって、適当にお湯をお沸かしになって、そこに入れて、ある程度野菜が食べごろになったらそれを取り出して召し上がって、スープが出たころに、このような薄い肉を入れて 茹でて召し上がればいいです。脇にソースがあったら一緒に召し上がるともっとおいしいです)

- (73) 샤브샤브는 고기랑 야채랑 해산물이랑 갖고와서, 야채부터 먼저 넣으시고 다음에 해산물은 국물을 우려내기 위해서 넣으시고 마지막에 고기 넣으시고 야채랑 고기랑 건져서 옆에 있는 소스들 있는 거, 자기가 기호에 따라 찍어서 드시면 됩니다.

(しゃぶしゃぶは肉と野菜と海産物など持ってきて野菜から先に入れられて/お入れになって、その後海産物はダシが出てきたら入れられて/お入れになって、最後に肉を入れられて/お入れになって、野菜と肉を取り出して隣にソースなどあるので、自分が好きなものを付けて召し上がればいいと思います)

c. 本動詞+요 (-yo)

「本動詞+요(-yo)」は、「(으)면(-eu)myeon」、「고(-go)」、「다가(-daga)」、「어서(-eoseo)」を合わせ3つしか現れなかった。その中で、以下の2つの用例を用いて分析を行う。(74)の被験者は「먹다(する)」に「고(-go)」をつけて「먹고(して)」に丁寧を表わす「요(ですね)」を付けて「먹구요(食べてですね)」で表現している。また、(75)の被験者は「시작하다(する)」に

「(으)면(-eu)myeon」、さらに丁寧を表す表現である「요(ですね)」を付けて「시작하면요(してですね)」で表現している。「익히다 (茹でる)」に「어서(-eoseo)」を付けて「익혀서 (茹でて)」に 「요(ですね)」を付けて「익혀서요 (茹でてですね)」で表現している。

(74) 우선 육수가 준비 되겠죠. 보글보글 끓을 때 야채를 넣습니다. 야채가 어느정도 익어가면 야채를 먹구요.얇은 소고기를 넣어서 건졌다 빼시면 되는데 여기서 중요한 게 너무오래 넣어 두시면 고기가 질길수 있으니 적당한 시간만 건졌다 드시면 됩니다.그리고 칼국수 사리를 드신 후에 종업원을 불러서 볶음밥을 드시면 됩니다. 야채 볶음밥이죠.

(まず、ダシが用意されていると思います。沸いてきたら野菜を入れます。野菜がある程度煮えたら野菜を食べてですね。薄い牛肉を入れて取り出したらいいんですが、ここで重要なのは肉を長い時間入れておくと肉が固くなる場合もあるので適当な時間に取りだして召し上がればいいです。そして、うどんを召し上がった後従業員を呼んで炒めご飯を召しあがればいいです。野菜炒めご飯です)

(75) 샤브샤브는 보통 육수에 소고기 야채 해산물 등을 넣어서 먹는 음식인데요, 일단 육수가 끓기 시작하면요. 고기나 야채 같은 것을 살짝 익혀서요 조금만 익혀서 드시면 되는데 고기같은 건 핏기만 살짝 없어지면 되는 느낌으로 살짝 넣었다가 바로 꺼내서 앞접시가 세팅이 되는데 거기에 덜어서 식당마다 다르겠지만 소스에 찍어서 야채와 함께 드시면 되는데요.야채랑 고기를 다 드신 다음에 육수에 수제미나 칼국수 같은 면음식들을 넣어서요 그것까지 함께 드시면 아주 훌륭한 음식이 될겁니다.

(しゃぶしゃぶは普通スープに牛肉、野菜、海産物などを入れて食べる食べ物ですけど、まず、スープが沸き始めたらですね、肉や野菜などを軽く茹でてですね、少しだけ茹でて召し上がるといいんだけど、肉のようなものは血が少しだけ取れたら食べられるという感じで少しだけ入れてすぐ取り出して取り皿がセッティングされているんだけどそこに取り出して、食堂によって違いうだろうけど、ソースにつけて野菜と一緒に召し上がると思うんですけど。野菜と肉を全部召し上がった後にスープにうどんのような麺類を入れてですね、それも召し上がるととても立派な料理になると思います)

d. 尊敬語+요 (-yo)

「尊敬語+요(-yo)」は、「(으)면(-eu)myeon」、「고(-go)」、「다가(-daga)」、「어서(-eoseo)」を合わせ 7 回現われた。その中(76)は、「담그다(入れる)」に尊敬語を表す「(으)시-(eu)si」を付けて、さらに、尊敬語を表す「요 (-yo)」を付けて「담그시고요(入れられて/お入れになつてですね)」で表現している。

(76) 샤브샤브는 소고기 양고기 야채 등의 재료를 넣어서 살짝 익혀서 먹는 그런 음식입니다. 원하는 만큼 고기와 야채 등을 가져다가 냄비에 넣어서 익혀 먹으면 되는데요, 국물이 끓으면 넣어서 살짝 익힌 후 소스에 찍어 드시면 됩니다. 소고기는 워낙 얇기 때문에 5 초 정도만 담그시고요 건지셔서 드시면 되구요. 국물에 각종 해물 그리고 야채 고기가 익는 동안 그 맛이 우리나라에 되는데 샤브샤브를 다 먹고 난 후에 그 국물에다가 칼국수 같은 것을 넣어서 드시면 되겠습니다.

(しゃぶしゃぶは牛肉、羊の肉、野菜などの材料を入れて少し茹でて食べるという食べ物です。好きなだけ肉と野菜などを持ってきて鍋に入れて茹でて食べればいいんですが、スープが沸いたら入れて少しだけ茹でた後ソースをつけて召し上がればいいです。牛肉はとても薄いので5秒ぐらいだけ入れられて/お入れになつてですね、取り出して召し上がればいいですね。スープに各種海産物そして野菜などが茹で上がる間その味が出てくるんだけど、しゃぶしゃぶを全部食べた後にそのスープにうどんのようなものを入れて召し上がればいいと思います)

a~d まで分析した結果、「道案内」とは違って、a の「本動詞」が一番多く使われていることが分かった。しかし、「道案内」と類似点も多く、同一の被験者の回答の中に a~d まで一緒に使われていること、文中においては「本動詞」で表現していても文末においては丁寧な表現である、「드시면 됩니다(召し上がればいいです)」、「드시면 될 거 같아요(召し上がってもいいと思います)」、「드시면 되겠습니다(召し上がればいいと思います)」などを用いて、全体的に丁寧に表現していることが分かった。このような特徴は日本語の調査の結果とも類似している。

上記の分析の結果から、初対面に「道案内」、「食べ方」を説明する場面において、文中においては①「本動詞」を用いて表現しても、文末には必ず敬語表現を用いて丁寧に表現して

いる被験者もいれば、文末は勿論のこと文中にまで敬語表現で丁寧に表現する被験者もいるということが分かった。

5.4.4 文末との関係

上記の結果から、同一の被験者においても、a.「本動詞」、b.「尊敬語」、c.「本動詞＋よ(-yo)」、d.「尊敬語＋よ(-yo)」が混在しており、それぞれの現われ方に定まったルールは見当たらない。しかし、文中においては「本動詞」だけ用いていた被験者でも文末には敬語表現を用いて、全体的に丁寧に表現していることが分かった。それでは、韓国語では、文中と文末の敬語表現に関するルールはどのようなものなのか。

そこで、本節では、文中と文末の關係に焦点を当て、韓国語の敬語表現の特徴について、국립국어원(韓国国立国語院)(2005)を参考に確認することにする。

韓国語も日本語と同様文末が敬語表現であれば、文中においては敬語表現を使わなくても敬語表現の文として成り立つとしている。以下の例を見てみよう。

(77)、(78)の例文は、一つの主語が2つの述語を持っている複文である。このような複数の述語で表現する場合は、(77)のように、それぞれの述語に「(으)시-(eu)si」を付けて尊敬語で表現しても(78)のように文末の述語だけに「(으)시-(eu)si」を付けて表現しても文としては正しいと述べている。以下の例文では、文中は____で示し、文末は.....で示す。

(77) 우리 아버지는 무척 자상하셔서 주말에는 우리와 함께 음식을 만드시거나
외식을 하러 나가신다.

uri abeojineun mucheok jasangha-si-eoseo jumal-eneun uriwa hamkke eumsigul
mandeu-si-geona weisigul hareo naga-si-nda

(私の父はとてもお優しく週末には私たちと一緒に食事を作られたり/お作りにな
ったり外食に行かれたり/お行きになったりする。)

(78) 우리 아버지는 무척 자상해서 주말에는 우리와 함께 음식을 만들거나 외식
을하러 나가신다.

uri abeojineun mucheok jasangheoseo jumal-eneun uriwa hamkke eumsigul mandeul
geona weisigul hareo naga-si-nda

(私の父はとても優しく週末には私たちと一緒に食事を作ったり外食に行かれたり/

お行きになつたりする。)

(韓国国立国語院:2005)

しかし、以下のように、前の文章と後ろの文章の主語が異なる場合は、それぞれの主語と呼応する述語のそれぞれに「(으)시-(eu)si」で表現しなければならないと述べている。

(79) 우리 아버지는 자상하신 반면, 어머니는 무똥똥한 편이시다.

uri abeoji-neun jasangha-si-n banmyeon eomeoni-neun muttukttukhan pyeni-si-da.

(私の父はお優しいが、母は不愛想の方でいらっしゃる)

(80) 아버지는 운동을 좋아하시고, 어머니는 여행을 좋아하십니다.

abeoji-neun undongueul choaha-si-go eomeoni-neun yeoheanheul choaha-si-nda.

(父は運動が好きでいらっしゃる、母は旅行が好きでいらっしゃる)

このような韓国語の敬語表現の特徴から、調査に協力してもらった被験者は以下の(81)、(82)のように、文中においては「보면(見たら)」、「해서(して)」、「가다보면(行ってみると)」のように敬語表現を使わずに、文末において「보입니다(見えます)」、「있습니다(あります)」を用いて表現していると思われる。

(81) 지금 현재위치에서 보면 하늘역사거리가 보입니다. 거기서 우회전해서 가다보면 바로 꿈은행 사거리가 보입니다. 그곳에서 좌회전해서 조금 걸다보면 바로 희망역이 보입니다.

(今の現在位置から見ると空駅十字路が見えます。そこを右折して行くとすぐ夢銀行十字路が見えます。そこを左折して少し歩いたらすぐ希望駅が見えます)

(82) 하늘역사거리에서 우회전을 해서 직진하면 꿈은행사거리에서 다시 좌회전、좌회전해서 조금만 가면 왼쪽편에 희망역이 있습니다.

(空駅十字路から右折して直進すると夢銀行十字路でまた左折、左折して少しだけ行くと左側に希望駅があります)

また、韓国語の敬語表現は、聞き手に対する尊敬語を使う際、会話の成立中、終始一貫性

のある表現を用いなくても文としては適格であるが、相手に対する礼儀としては失礼になると述べている(韓国国立国語院:2005)。

以下の会話を見てみよう。

후배:	언니, 여행 갔다가 언제 <u>오셨어요?</u> eonni yeoheang gattaga eonje o-si-eottseo-yo? 先輩、旅行行っていつ <u>戻ってこられましたか</u>
선배:	어제 왔어. eoje wattseo. 昨日戻ってきたの
후배:	여행 <u>재미있으셨어요?</u> yeoheang jaemiiss-eusyeoss-eoyo? 旅行、 <u>お楽しみになりましたか</u>
선배:	응, 아주 재미있었어. eungaju jemiisseosseo. うん、とても楽しかったわ
후배:	어디어디 <u>갔었어요?</u> eodieodi gasseosseo-yo? どこどこに <u>行きましたか</u>
선배:	이탈리아하고 스위스에 갔었어. italria-hago seuwiseu-e gasseoss-eo イタリアとスイスに行ったわ
후배:	베네치아에도 <u>갔어요?</u> benechia-edo gas-seoyo? ベネチアにも <u>行ったんですか</u>
선배:	물론 갔지. 곤돌라도 탔어. mulron gas-jji. godolra-do tas-seo. もちろん行ったわ. ゴンドラも乗ったよ
후배:	와, <u>좋으셨겠어요.</u> wa, joeusyeosgeos-seoyeo. わあ、 <u>良かったでしょうね</u>

上記は後輩と先輩との会話である。後輩の発話は全て聞き手である先輩(언니)に向けてのことである。しかし、一人の主体(先輩)の動作や状態を表現している述語の中で、「오셨어요(戻られる)」、「재미있으셨어요(お楽しみになりましたか)」、「좋으셨겠어요(良かったでしょうね)」のように「(으)시-(eu)si」を用いて表現している一方、「갔었어요(行きましたか)」のように「(으)시-(eu)si」を用いていない表現も現れている。日常生活におけるこのような場面においては、終始一貫性のある表現だけではなく、敬語表現と普通形を混ぜて使われるということも韓国語の敬語表現の特徴である。このような現象は仲の良い関係の場合良く現れる。し

かし、このような場合においても「(으)시-(eu)si」で表現する方が、より礼儀正しい表現になると述べている(韓国国立国語院:2005)。

5.4.5 絶対敬語との関係

日本語の敬語表現は「相対敬語」、韓国語の敬語表現は「絶対敬語」と言われている。日本語では、例えば、勤めている会社の社長が席を外していることをお客さんに伝える際、「社長はただ今席におりません」と表現する一方、韓国語では、自社の社長のことであっても、「사장님께서는 지금 안 계십니다(sajang-nim-kkeseo-neun jigeum an gye-si-pnida/社長様は今いらっしゃいません)」と表現しなければならない。

このようなことについて、韓国の国立国語院(2005)でも、以下の用例を用いて説明している。

(83) (평사원이 사장님에게 말하는 상황 平社員が社長に対して)

a. 사장님, 김 과장님은 외출하셨습니다.(○)

sajang-nim, kim gwajangnim-eun wechulha-si-eosseupnida.

(社長様、金課長は外出中でいらっしゃいます)

b. 사장님, 김 과장님은 외출하셨습니다.(×)

sajang-nim, kim gwajangnim-eun wechulha-eosseupnida.

(社長様、金課長は外出中です)

(83)は聞き手の社長と平社員である話し手の会話の一部である。主体が「課長」である状況で、聞き手が一番高いポジションであり、話し手が一番低いポジションである。主体である課長は聞き手である社長よりポジションが低くても、話し手より高いことから、職場では聞き手が主体より高いポジションであっても、「(으)시-(eu)si」をつけて、主体を高くして表現しなければならない。このようなことから、(83a)は正しく、(83b)は正しくない表現であると述べている。

今回の調査においても、このような韓国語の敬語表現の性格の影響を受け、質問者である筆者より若い被験者は年上である筆者に対して以下のように、b.「尊敬語」を多く用いて表現していた。本研究は、社会言語学的な研究ではないため、年齢別、男女別などに分けて分析したわけではないが、被験者と調査者の関係によって回答内容も変わってくる傾向が見えたが、

それについての詳しい分析は今後の課題としたい。

- (84) 여기서 직진을 하시다가 하늘역사거리에서 우회전을 하세요. 우회전하시고 직진으로 가시다가 꿈은행사거리가 나오면 좌회전을 하세요. 좌회전을 하셔서 직진하시다가 보면 희망역이 나옵니다.

(ここを直進されて空駅十字路で右折してください。右折されて直進されて夢銀行十字路が出てきたら左折してください。左折されて直進されると希望駅がでています)

- (85) 현재위치에서 하늘역사거리까지 직진을 합니다. 직진을 한 뒤 우측에 보시면 하늘역 7 번 출구가 보이시는데 하늘역 7 번 출구를 우측으로 두고 우회전을 합니다. 우회전을 한 뒤 직진으로 계속 가시다보면 꿈은행이 보이시는데 꿈은행사거리까지 직진을 한 뒤 좌회전하시면 목적지인 희망역이 보입니다.

(現在位置から空駅十字路まで直進します。直進した後右側を見られると空駅 7 番口が見られるので、空駅 7 番出口を右側して右折します。右折をした後直進でまっすぐ行かれると夢銀行が見られるので夢銀行十字路まで直進した後左折されると目的地の希望駅が見えます。)

- (86) 현위치에서 하늘역방면으로 쪽 가시다가 보면 하늘역 7 번 출구가 나오는데 거기서 다시 오른쪽 그리고 꿈은행 사거리에서 다시 좌회전하셔서 조금만 가시다가 보면 희망역이 보이실 겁니다.

(現在位置から空駅方面にまっすぐ行かれて空駅 7 番出口が出てくるけどまた右方面そして夢銀行でまた左折されて少し行かれると希望駅が見られると思います。)

5. 4. 6 韓国の調査のまとめ

本章では、韓国語の母語話者を対象に行った「道案内」と「食べ方」についての調査結果及び考察を行った。それをまとめると以下ようになる。

- 1) 「道案内」では、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」の敬語表現の中、一つでも敬語表現を用いて表現した被験者は、全体の 50 人中 47 人もいた。一方、敬語表現が付いていない a.「本動詞」だけで表現した被験者は 3 人しかいなかったということから、韓国語母語話者は初対面の人に道を教える際に、文末はもちろんのこと、文中においても、敬語表現を用いて説明する傾向が非常に大きいということが分

かった。

- 2) 「食べ方」は「道案内」と比べ、b.「尊敬語」、c.「本動詞＋요(-yo)」、d.「尊敬語＋요(-yo)」の敬語表現はあまり使われておらず、全体の 50 人中 13 人しか現れなかった
- 3) 形態別でみると、「道案内」では、b.「尊敬語」が一番多く現れており、a.「本動詞」、c.「本動詞＋よ(-yo)」、d.「尊敬語＋よ(-yo)」の順に現れた。一方、「食べ方」は、aの「本動詞」が一番多く現れており、b.「尊敬語」、c.「本動詞＋よ(-yo)」、d.「尊敬語＋よ(-yo)」順に現れた。

5.5 まとめ

本章では、第 4 章で述べたメディアでの調査結果の分析を踏まえ、我々の日常生活における説明してあげるといふ依頼された話し手からの発話に焦点を当てて調査・分析をした。場面は、初対面同士で起こり得る「道案内」と「食べ方」を用いた。調査は、日韓両言語の母語話者を対象に日韓両国で同じ方法を用いて行った。その結果を大まかにまとめると以下の表のようになる。

表 5-21 日韓両言語における行為説明表現の調査結果

場面	日 本		韓 国	
	形態別の現れ順	授受補助動詞の回答人数	形態別の現れ順	敬語表現の回答人数
道案内	a.授受補助動詞 b.本動詞 c.丁寧語	授受補助動詞 52 人中 40 人	b.尊敬語 a.本動詞 c.本動詞＋요(-yo) d.尊敬語＋요(-yo)	敬語表現 50 人中 47 人
食べ方	b.本動詞 a.授受補助動詞 c.丁寧語	授受補助動詞 52 人中 17 人	a.本動詞 b.尊敬語 c.本動詞＋요(-yo) d.尊敬語＋요(-yo)	敬語表現 50 人中 13 人

日韓両言語同じく「道案内」と「食べ方」で異なる結果が出た。つまり、日本の調査における「道案内」では、テモラウやテイタダクを 1 回でも使った被験者が全体の 52 人中 40 人もいたのに対して、「食べ方」ではそれほど多くはなかった。一方、韓国の調査における「道案内」では、敬語表現を用いて答えた被験者が 50 人中 47 人もいたのに対して、「食べ方」においては 13

人しかいなかった結果であった。同じ行為説明場面において同じ被験者であっても説明内容によって異なる結果が両国共に現れた。また、「道案内」では、日本語の調査では本研究の対象であるテモラウが多く現れたのに対して、韓国の調査においては敬語表現が多く現れた。

今回の調査から、テモラウを使ったり使わなかったりする被験者の回答から、テモラウを使わない表現にしても行為説明表現として成り立つということが分かった。それでは、テモラウを用いて説明する理由は何故だろう。次の第6章では、テモラウを使った被験者を対象に行ったテモラウを用いて表現した理由についての答えを用いて、話し手の表現意識と表現形式との関係について述べる。

第6章

行為説明表現におけるテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」の機能

6.1 はじめに

第5章では、「道案内」、「食べ方」という2つの行為説明場面を設定し、日韓両言語における被依頼者の発話について調査分析を行った。分析の結果、話し手に受益が生じない場合においてもテモラウを用いて表現していることを確認した。

そこで、次はテモラウを用いて表現した理由の解明である。本章の最大の特徴は前述の調査において、実際にテモラウを使って表現した被験者に対し、直接聞き取り調査を行い、その結果を整理、分析し、テモラウを使って表現した理由について考察を行ったことである。また、併せて、前述の韓国語についての調査結果に基づき、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の新たな機能を提起したことである。

6.2 先行研究

第2章の「先行研究」で述べたようにテモラウに関する従来の研究では、テモラウは話し手に受益が生じる場合その受益が生じる側から用いられるという特徴を持っている。しかし、「道案内」や「食べ方」などの調査においてテモラウは話し手に受益が生じない場合でも用いられるということが確認された。そのようなことが起こる理由は何なのか。それを解明するため、まず、テモラウを始めとする授受表現全体について、それを用いる理由に関する従来の研究を概観する。

日本人が授受表現を用いて表現する理由について渡辺(1985:43)は、話し手の気持ちを表現することが日本人的であり、そのような表現を可能にすることが日本語的であるためであると述べている。特に、「～てあげる」、「～てくれる」、「～てもらう」は「話者自身の希望や期待や親切心や感謝の気持ち、ひっくるめて主体的意義を濃厚に伝える言語形式である」とし、話し手の気持ちを表わす言語表現の主なものとして授受表現を挙げている。

また、日本語は主体にとっての当該事態の利害が好んで表現される傾向が強い(益岡(1991:30))。つまり、「先生が私に日本語を教えた」という客観的な事実に加えて、話し手がその行為から何らかの利害、例えば恩恵を受けたのであれば、そのことを、授受表現を使って「先生が私に日本語を教えてくれた」のように表現することが好まれるということである。

さらに、授受表現が待遇表現としての機能をも担っているとしている研究として、任・井出(2001:45)、任・井出(2004:117)が挙げられる。任・井出は、敬語表現の単純化、授受表現の多用化という現象から、「日本語が客観的事実について述べる上でも微妙な人間関係を反映させた表現をせざるえない性質を持つことを示すのだろう。このことを考えると日本語における授受表現は、広義には人間関係を規定する待遇表現としての機能を担っていると考えられるだろう」と述べている。また、日本語における授受表現の多用の原因について、「日本社会は対人関係上の恩恵の行き来に関してかなり敏感である。日本人は人にしてもらったこと全てを「恩」に捉え、その恩を必ず返す「恩返し」に敏感だが、この価値観は「鶴の恩返し」や「かさ地蔵」に代表される日本の昔話にも反映されている。」と述べている。

テモラウと受身文を比較分析した研究としては許(2000:7)が挙げられる。許は、同様な事柄を表すテモラウ文と受身文を対象に、その事柄に対する話し手の受け方には微妙なニュアンスの差があり、そのニュアンスの差について述べている。また、「～てもらおう」という表現形式を頻繁に使っている理由については、①「～てもらおう」文が基本的に人間同士の出来事を表す構文であること、②動作が話し手に向けられていることによって話し手が当事者として出来事に関わるようになることにあると述べている。

授受表現を他の文法範疇と比較分析を行い、授受表現の使用の変化について述べた研究には森(2011)がある。森は、明治期以降、依頼表現において直接的な依頼表現型の用例は殆どみられず、受益型が用いられるようになってきたとしている。その背景には、「受益表現の運用が、聞き手に対する丁寧さを示すことと結びつき、用法を拡張していく様相を示していると考えられる」と述べている。つまり、話し手に利益があるかどうかに関わらず、聞き手を恩恵の関係の上位者として待遇することが明治以降必須になったことである。さらに、森(2011)は、2007年に出された文化審議会答申『敬語の指針』で紹介された「～させていただく」⁷⁵に関する

⁷⁵ 『敬語の指針、41』で紹介された「～させていただく」文は以下のような用例である。

[結婚式における祝辞]

私は、新郎と三年間同じクラスで勉強させていただいた者です。

[自己紹介]

私は、〇〇高校を卒業させて頂きました。

る発話について、その発話を規範的に容認するかどうかはともかく、このように「～させていた
 だく」が頻用される背景には、授受表現を用いて恩恵による上下関係を示すことが聞き手への
 丁寧さを示していることになるということがあると述べている。

さらに、橋元(2001:46)では、「要請する」という行為指示型言語行動の場合、それ自体相
 手に何らかの負担(コスト)を強いるものであることから、他者に対する負担を最小限にし、ある
 いは、他者に対する利益を最大限にするという配慮を言語上で工夫しなければならないと述
 べている。そのため、英語では、Could you....?などのように可能助動詞や仮定法を用いたり、
 Would you mind....?のように心理的に負担であるかどうかを相手に問いだすという方策が多く
 用いられる。一方、日本語では、ある行為を遂行することによって生じる恩恵の方向性を示唆
 する授受表現が発達していると述べている。

渡辺(1985)、益岡(1991)、許(2000)、任・井出(2001・2004)、森(2011)、橋元(2001)においては、
 話し手は対人関係を意識して、その話し手の気持ちを言語行動において表現しているところから、
 日本語は話し手の気持ちを表現するのに授受表現を用いる傾向が強い言語であると考えていると
 思われる。

上記の先行研究を表にまとめると以下のようなになる。

6-1 授受表現の多用の理由

研究者	授受表現について
渡辺(1985)	話し手の気持ちを表わす。
益岡(1991)	利害を好んで表現する。
許(2000)	話し手は当事者として出来事に関わる。
任・井出(2001・2004)	待遇表現としての機能を担っている/恩恵の行き来に敏感
橋元(2001)	恩恵の方向性を示唆する。
森(2011)	聞き手に対する丁寧さを示す。

従来の研究では、上記のように、授受表現の多用に関して、対人関係を意識し、相手に配
 慮するための表現として使われるということについて述べているところ、それを裏付ける具体的

な調査は見当たらない。また、上記の研究は本研究が対象としている、話し手に受益が生じない場面において用いられるテモラウ文については触れていない。

第 5 章での調査で設定した場面は「道案内」や「食べ方」という、説明を求める場面である。説明するということは、話し手が持っている情報を相手に「教えてあげる」ということである。日本語の場合、「～てあげる」とか「～してさしあげる」のような表現は、相手に恩着せがましく感じさせる表現である。

庵(2011)は、現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ。2009 年度モニター版)における授受表現の出現頻度について調査を行った。この結果から本動詞用法より授受補助動詞用法の方が多ことが分かる。しかし、「あげる」、「さしあげる」の使用頻度は他の授受補助動詞より低く、特に「さしあげる」の使用頻度の低さは顕著である。

6-2 本動詞と授受補助動詞の出現頻度

あげる	さしあげる	くれる	くださる	もらう	いただく
614	257	942	471	4153	3999
てあげる	てさしあげる	てくれる	てくださる	てもらう	ていただく
3306	114	24196	22974	13008	11842

目下の人が目上の人に対して(勿論初対面の人に対しても)説明する場合には、「さしあげる」という授受補助動詞の使用は躊躇され、使用することは適切ではないと話し手は判断するものと考えられる。「恩着せがましい」という印象を相手に与えてしまうことは、相手との対人関係を良好に保つという目的に反する⁷⁶。そして、依頼してくる聞き手に対しては、優しく、丁寧に、命令にならないように表現しようとする。これは対人関係を意識した(=配慮した)表現であると考えられる。

上記の先行研究を踏まえて、「道案内」、「食べ方」の両場面で現れたテモラウ文をもう一度観

⁷⁶ 熊谷(1995、2000)は、日本語の言語行動における二つの指向性について、「当該言語行動の目的を効果的に達成すること」と「相手との対人関係を良好に保つこと」があると述べている。詳細については、熊谷(1995、2000)を参照されたい。

察してみると、話し手である被依頼者が話し手に受益が生じない場面でもテモラウを用いて表現した理由については、次のような仮説が成り立つものと考えられる。話し手においては、低姿勢で依頼してきた聞き手に対して、「道案内」や「食べ方」を説明する」という目的を達成する必要がある。それとともに相手との対人関係を良好に保つため、相手を待遇するというもう一つの目的も達成するという意識(=気持ち)が働き、この意識が言語行動へと反映され、その反映の結果が、テモラウというマーカを用いての表現となったというものである。

以下、この仮説を立証していくが、まず、6.3節では本研究でいう待遇表現の定義について述べる。

6.3 待遇表現

本研究でいう待遇表現とは、熊井(2003:31)の待遇表現の範囲、つまり菊池(1994、1997)が述べている尊敬語、謙譲語、丁寧語を合せた狭い意味での「敬語」よりも広義の意味を持つという考えに基本的に従う。菊池(1994、1997)では、「敬語」とは「同じ事柄を述べるのに、述べ方を変えることによって敬意または丁寧さを表す、そのための専用の表現」と述べている。本研究の対象であるテモラウは菊池の言う狭義の「敬語」と同じではないが、相手に対する丁寧さを表す表現として捉えており、テモラウを「敬語」より広義の意味を持つ「待遇表現」として考察していく。なお、菊池の言う狭義の「敬語」のことを本研究では「敬語表現」と呼ぶことにする。

まず、以下の例文を見てもらいたい。

- (1) 赤ちゃんがいらっしゃったり、あるいは小さなお子様がいらっしゃったり、あの本当にお家で使っていただくときに便利ですし、しかも(後略)

「ショップチャンネル」(2011年6月28日放送)

(1)の例文は、掃除機を売る場面におけるバイヤーの発話であるが、「赤ちゃん」や「お子様」に対しても最も高い敬語表現(尊敬語)である「いらっしゃる」を使って表現している。このように、敬語表現が使われている場面においては敬語表現と共にテモラウも現れているということがよ

く見られた。(1)はショップチャンネルを見ている視聴者を客として扱い、その客の子供までも待遇するという意識から、敬語表現を用いて表現したものと考えられる。さらに、敬語表現だけではなく、「使う」にテイタダクを付けて「使っていただく」で表現することによって、敬語表現と同じような気持ちで待遇表現として使ったものと考えられる。

それでは、「待遇表現」とは何か。『日本語文法大辞典』によると、「話し手は言語表現に際し自分自身と相手及び話題にする人物とのそれぞれの関係を上下、親疎などの基準によって判断しその位置づけ(待遇)を用語や言語形式などの表現に反映させること、またその表現」である。つまり、待遇表現とは、相手との人間関係に応じた話し手の気持ちを表す表現である。このような待遇表現には、庵(2001)が述べているように、話題の人物や聞き手を高く扱いたい場合にはプラスの待遇表現((2))、話し手が特に配慮を表したいと思わない場合には待遇表現のない表現、すなわち、中立的な表現((3))、低く扱いたい場合にはマイナスの待遇表現((4))がある。本研究では、行為説明表現を依頼してきた依頼主体との親疎関係によって被依頼主体の表現形式に違いがあるかについても分析を行う。さらに、テモラウの省略の可否についても検証を行うため、庵(2001)の3つの待遇表現に基づいて分析を行う。

(2) あの方がいらっしゃった。(プラスの待遇表現)

(3) あの人が来た。(中立的な表現)

(4) あいつが来やがった。(マイナスの待遇表現)

(庵 2001)

熊井(2003)は、以下の例はそれぞれの丁寧さに微妙な違いがあるが、つまり敬意または丁寧さを表してはいるが、どれもいわゆる敬語表現を含んでいるわけではないため、その丁寧さの違いを狭義の意味での敬語表現によって生じたものと考えすることはできないと述べている。

(5) 一緒に来て。

(6) 一緒に来てくれる？

(7) 一緒に来てくれない？

(8) 一緒に来てもらえる？

(9) 一緒に来てもらえない？

つまり、肯定文か、疑問文かまたは否定文か、受益を表す補助形式を伴っているかどうかという違いはあるが、ここで用いられている肯定文・疑問文・否定文という文のタイプや「てくれる」「てもらう」などのいわゆる授受表現は、それ自体は「敬意または丁寧さを表すための専用の表現」ではない。このようなことから、「敬意または丁寧さ」を表す表現は、その「専用の表現」である敬語表現だけではなく、幅広く存在し、これらが、「より広い意味での敬語」、すなわち、いわゆる「待遇表現」と呼ばれているものであると述べている(熊井 2003:32)。

本研究で扱う待遇表現の範囲は上記の熊井(2003)のものであり、つまり「敬語表現より広い意味での敬語」とし、また待遇表現についての考察を行うためには以下に述べる、蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)の理論を用いることにする。

以下の 6.4 節では、蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)の待遇表現⁷⁷に関する理論的な枠組みについて述べる。

6.4 行動展開表現

前述した「道案内」や「食べ方」などの調査では、説明を求める依頼者のそれぞれの依頼に対する被依頼者の発言内容に焦点を当てて分析を行った。被依頼者における行為説明表現は、当該依頼者に説明内容が理解されるだけではなく、「相手(=依頼者)」がその説明の通りに行動を起こし、その行動によって依頼者に受益が生じる(助かる)というような表現である。このような表現のことを蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)では「行動展開表現」で呼んでいる。「行動展開表現」とは、〈自己の感情・認識などに基づく「表現内容」が「相手」に理解されるだけではなく、それによって「相手」あるいは「自分」(または「両者」)が何らかの行動を起こし、その行動によって「表現内容」が実現されることを「表現意図」とする「文話」⁷⁸である。そのため、「人間関係」の認識に基づく表現である「待遇表現」とは密接な関わりを持つ「文話」である(蒲谷他 1998:116)。本節ではまず、「行動展開表現」についての基本的枠組みについて確認する。

蒲谷(2013)がいう「待遇コミュニケーション」とは、コミュニケーション行為を「待遇」という観点

⁷⁷ 蒲谷(1998)は、「敬語」と「敬語表現」について、使い分けて述べている。つまり、「敬語」とは、「お…になる」とか「…(ら)れる」などと言った抽象的なことばとして考えており、具体的な「人間関係」や「場」の条件などを伴う、「敬語表現」とは切り離して捉えている。本研究では蒲谷の「敬語表現」のことを便宜上「待遇表現」と呼んで述べる

⁷⁸ 「文話」については後述する

から捉えようとするものである。「待遇」という観点というのは、言い換えれば、表現主体や理解主体(「コミュニケーション主体」)が認識する「人間関係」や「場」に重点を置くことである。「待遇コミュニケーション」を考察するための基本的な要素について、だれが(「表現主体」)、だれに対して(「相手」)、いつ・どこで(「場」)、何(だれ)について(「題材」)、何を(「内容」)、何のために(「表現意図」)、どんなふうに、話したり、書いたりするのか、という表現の基本について整理している。その中で、蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)に基づいて、「表現主体」、「相手」、「場」、「題材」・「内容」、「表現意図」について詳細に記す。

① 表現主体⁷⁹

待遇表現が成り立つときに、①敬語を知っていて、②敬語をしようとする気持ちのある、③「話し手」や「書き手」(表現主体)が必ず存在し、その話し手もしくは書き手が表現主体である。

つまり、「表現主体」なしに待遇表現は成立しないということ、「表現主体」に待遇表現をしようとする気持ちがなければ待遇表現は成立しないこと⁸⁰、さらに、「表現主体」が待遇表現を知らなければ待遇表現は成立しないということである。

② 相手⁸¹のレベル

「相手」のレベルについて、「上下関係」「親疎関係」の両者を組み合わせた「上下の座標軸」を設定して関係のレベルを一本化する。また、「表現主体」が認識した自分自身のことを「自分」、「表現主体」が認識した表現の相手のことを「相手」という術語で示し、「自分」は「J」、「相手」は「A」と略号で示し、「相手」のレベルについて〈表 6-3〉で示す

⁷⁹ 本研究における「表現主体」は「話し手」であるが、この章では、便宜上「話し手」を「表現主体」として述べることにする。

⁸⁰ ただし、この「待遇表現をしようとする気持ちがある」ということと、「尊敬の気持ちと謙りの気持ちなどを持っている」ということは少し違いがある。その理由は「尊敬の気持ち」とか「謙りの気持ち」などの「敬意」を持っていなくても「待遇表現」は成立するからである。

⁸¹ 本研究における、「相手」とは「聞き手」であるが、本章では便宜上「聞き手」のことを「相手」として述べることにする。

表 6-3 「相手」のレベル

A+2	……年齢差のある教師・上司など
A+1	……あまり年齢差のない教師・上司など
A0	……あまり親しくない同年輩の人、特にかかわりのない初対面の人など
A-2	……親しい同年輩の人、後輩・部下・家族など
A-1	……極めて親しい友人、親しい後輩・部下など

そして、基本的には、「相手」のレベルを A0 以上と認識したときに待遇表現が成立するということになる。

③ 場のレベル

「表現主体」が表現するときの、時間的・空間的な位置のことを「場」と呼び、「相手」や「話題の人物」が同じであっても「場」が異なれば表現も異なってくる。「場」についても「相手」のレベルと同様に 5 段階のレベルを設定する。

レベル設定の仕方については、「改まり」とも「くだけ」とも認識し得ない通常の「場」のレベルを〔0〕とし、次に、「改まり」、「くだけ」を、その程度によって 2 段階を設けて、それぞれを〔+1〕、〔+2〕、〔-1〕、〔-2〕とする。また、「場」を「B」と略号で示し、以下のように整理する。

表 6-4 「場」のレベル

B+2	……式典、講演会などの「場」
B+1	……会議、講義などの「場」
B0	…… 通常 of 社会生活の「場」
B-2	……喫茶室、家庭などの「場」
B-1	……酒場での内輪の会合などの「場」

そして、基本的には、表現主体が、「場」のレベルを〔B0〕以上と認識したときに待遇表現が成立するということになる。

④ 題材・内容

「題材」とは、「表現主体」が「何について」表現するのかということであり、「内容」とは、「表現主体」が「何を」表現するのかということである。「題材」と「内容」は、待遇表現とのかかわりでは、「相手」に対する配慮から、表現することが好ましいものと好ましくないものがあるということが問題になる。また、「題材」と「内容」は「場」とも関連があつて、その「場」にふさわしい「題材」、「内容」とふさわしくないものがある。「相手」のレベルや「場」のレベルと同様に、「題材」、「内容」についても、「相手」や「場」にとって「好ましいか否か」、「ふさわしいか否か」という観点から、レベルを設定している。「相手」や「場」にとって「好ましい」、「ふさわしい」のどちらとも言えない場合を〔0〕のレベルとし、「好ましい」、「ふさわしい」と言える場合は〔+〕のレベル、「好ましくない」、「ふさわしくない」と言える場合には〔-〕のレベルとし、「題材」と「内容」についても待遇表現としての位置づけを〔+〕、〔-〕、〔0〕で表す。

⑤ 表現意図

待遇表現では、表現主体に待遇表現をしようとする気持ち、つまり意図があるということが重要となる。「表現意図」とは、文字とおり、「表現主体」が表現することの「意図」だが、「表現意図」を考えるということは、要するに、「表現主体」は、「何のために表現するのか」、「何が表現したいのか」、「その表現を通じて何を叶えようとしているのか」といった点を明らかにしようとするということである。

「表現主体」は、「人間関係」や「場」に配慮しつつ、いかに待遇表現をしようとする気持ちを伝えるか、「理解主体」⁸²は、その間接的・婉曲的な待遇表現からいかにして「表現主体」の「表現意図」を理解するか、といったところに待遇表現の特色があり、同時に難しさもある。

「表現意図」は次のように、自己表出、理解要請及び行動展開の大きく3類型に分けられる。

自己表出……特に「相手」を意識することなく、自己の感情・認識などを表出すること自体を意図するという「表現意図」

例:風呂に入って「ああ、いい湯だなあ。」などというような独り言など。

理解要請……自己の感情・認識、知識・情報などが「相手」に理解されることを意図するとう「表現意図」

⁸² 「理解主体」とは「相手」のことである。

例:小学生を「相手」に「クジラは魚類ではなく哺乳類です」と説明するような表現など。

行動展開……自己の感情・認識などに基づく「表現内容」が「相手」に理解されるだけでなく、それによって「相手」あるいは「自分」(またはその「両者」)がなんらかの行動を起こし、その行動で「表現内容」が実現されることを意図するという「表現意図」。

例:「水を一杯ください」と頼んだり、「これ、使ってもよろしいですか」と許可を求めたりするような表現など。

なお、「自己表出」を「表現意図」とする「文話」のことを「自己表出表現」、「理解要請」を「表現意図」とする「文話」のことを「理解要請表現」、「行動展開」を「表現意図」とする「文話」のことを「行動展開表現」と呼んでいる。「文話」とは、〈「表現主体」が「表現意図」をかなえるための表現上の一まとまり〉と規定されるもので、上記のように大きくは、①「自己表出表現」、②「理解要請表現」、③「行動展開表現」の3つに類型化することが可能である。そのなかで、「行動展開表現」は〈自己の感情・認識などに基づく「表現内容」が「相手」に理解されるだけでなく、それによって「相手」あるいは「自分」(またはその「両者」)が何らかの行動を起こし、その行動によって「表現内容」が実現されることを「表現意図」とする「文話」であるため、「人間関係」の認識に基づく表現である敬語表現とは密接な関わりを持つ表現のことである(蒲谷他(1998: 116))。

本研究が調査対象としている以下のような、「テレビ」、「ラジオ」、「ショップ」、「道案内」、「食べ方」で用いられた表現、つまり「行為説明表現」は、蒲谷が述べている「行動展開」を「表現意図」としている文話に該当するものと考えられる。

(10) リポーター:外国人参政権についてどう思われますか。

市民:日本に帰化してもらって投票にいかしたら良いですね。

「ニュース」

(11) 料理研究家:オイルは少なめに使いますので、フライパンを傾けてもらって、オイルを集めてもらったところに、スライスしたにんにくを加えてもらうといいと思います。

「ラジオビタミン」

(12) もう一回VTRご覧にいただきますけど、届いたら、まずこれを開けていただいてこのバ

ッテリを出していただいて、ここだけ接続してください。

「ショップ」

- (13) ここまっすぐ行っていただいて、空駅十字路というところに突き当たりますので、そこを右にまがりますね。一本目に夢銀行十字路というところがありますので、そこを左に曲がってください。で左に希望駅があります。

「道案内」

- (14) お鍋とお皿と配膳されてきたら、まず、お好きな具をお箸でつかんでいただいて、お湯の中でしゃぶしゃぶと、つけていただいて食べてください。でも、少しお野菜は煮た方がいいかもしれませんね。お肉ですけども、お肉をお箸でつまんで、お湯の中でつけてしゃぶしゃぶと手振り、つけていただいて、好きな、ま〜ポン酢だったり、ゴマタレだったりありますので、それにつけていただいて召し上がってください。

「食べ方」

例えば、(10)は、リポーターが「外国人参政権についてどう思われますか」と聞き、それに答える市民の発話であるが、「日本に帰化する」、「投票に行かず」という「行動展開」を「表現意図」とした表現であると解釈できる。(11)、(12)、(13)、(14)についても同じく「行動展開」を「表現意図」とした表現と解釈できるものと考えられる。つまり、「道案内」などの場面は、待遇表現が成立する、[A0]の「相手のレベル」、[B0]の「場のレベル」、「表現の題材や内容」が「相手」や「場」にとって[+レベル]の「好ましい/ふさわしい」場面であり、「表現意図」は「行動展開」を「表現意図」としている文話に該当するものである。このような場面において、表現主体である話し手が①待遇表現を知っていて、②待遇表現をしようとする気持ちがあるのかどうかを確認することによって、行為説明表現に用いられるテモラウの待遇表現としての実際の姿がさらに鮮明に浮かび上がって来るものと思われる。

なお、「表現意図」がそれぞれ、「理解要請」であるということ、「行動展開」であるということは、あくまでも「表現意図」であって、事実としての結果とは直接関係がない。つまり、現実には事実が「意図」と反する結果になることは多いわけで、それだからこそさまざまな表現上の工夫が必要になる(蒲谷他 1998:29)

6.4.1 「行動」・「決定権」・「利益・恩恵」

蒲谷(2013)は、「行動展開表現」について、その一つである依頼表現の考察を通して説明しており、依頼表現を以下の3つの段階に分けて説明している。

- 1) 依頼という意図や行為自体に内在する構造
- 2) 依頼という意図とそれを実現するための表現行為との関係
- 3) 依頼という意図とそれを実現するための表現行為とその結果としての表現との関係

まず、依頼という行為は、依頼する主体(依頼主体)と、依頼される主体(被依頼主体)とが存在し、依頼主体は何らかの依頼内容を持ち、それを被依頼主体に伝え、実現してもらおうとする表現行為である。そこには依頼内容を実現するという「行動」をする者は被依頼主体であり、その行動をするかどうかを決める力、すなわち「決定権」を持っているのも被依頼主体であり、その行動によって「利益・恩恵」を受ける者は依頼主体である、といった「依頼という意図や行為自体に内在する構造」がある。

また、依頼という表現行為は依頼主体である表現主体が、自分の「利益・恩恵」のために、相手にその依頼の意図や内容を実現するための「行動」をしてもらう、ただし、その行動を展開するかどうかの「決定権」は相手が持つ、という認識の下でなされる表現行為である。つまり、表現主体である「自分」と理解主体である「相手」の二者間における依頼表現において、「行動」するのは相手[A]、その行動の「決定権」を持つのも相手[A]、「利益・恩恵」を受けるのは自分[J]ということになる。

たとえば、「～てくれるか」という依頼文をこうした構造に基づいて分析すると、次のようになる。

し (「行動」=[A])
てくれる (「利益・恩恵」=[J])
か? (「決定権」=[A])

つまり、「する」という「行動」とその行動をするか否かの「決定権」は「相手 A」にあり、その行動によって「利益・恩恵」は「自分 J」にあるということである。

次に、「依頼という意図とそれを実現するための表現行為とその結果としての表現との関係」

について見ていくことにする。

依頼表現の典型的な表現は、「それを取ってくれるか？」ということになる。それが、[A レベル・-1]であれば、「それを取ってくれる？」、[A レベル・0]であれば「それを取ってくれますか」、[A レベル・+1]であれば「それを取ってくださいますか。」となるわけである。

しかし、それ以外にも、例えば以下のような依頼表現があり、相手のレベルによってさらに様々な表現形式があるわけである。

「あ、それ、すみません」

「あ、それを。」(と指さしながら言う。)

「あの、それを取って」

「それ、取ってもらえるかな」

「取ってもらえる？」

このような分析に基づいて本研究が対象としている説明の依頼を受けた被依頼者による説明表現である行為説明表現を分析すると、以下ようになる。

(13) ここまっすぐ行っていただいて、空駅十字路というところに突き当たりますので、そこを右にまがりますね。一本目に夢銀行十字路というところがありますので、そこを左に曲がってください。で左に希望駅があります。

(13)は「道案内」を依頼された被依頼者が「希望駅」までの道順を説明する際に、テモラウを用いて表現している。「まっすぐ行く」という「行動」をするのは依頼者(「相手[A]」)である。それは、「十字路に突き当たる」、「右にまがる」、「左にまがる」という他の「行動」も行うのは同じく依頼者にある。また「行動」をするか否かという「決定権」も依頼者(相手[A])にある。さらに、その行動をすることによって依頼者である「相手[A]」に「利益・恩恵」が生じるのであり、以下の構造を持っていると分析でき、依頼表現とは異なる構造を持っていることが分かる。

し (「行動」=[A])

てもらって (「利益・恩恵」=[A])

ください (「決定権」=[A])

依頼表現と行為説明表現を「行動」、「決定権」、「利益・受益」の観点から表にまとめると以下のようになる。

表 6-5 依頼表現・行為説明表現

区分	行動	決定権	利益・恩恵
依頼表現	A	A	J
行為説明表現	A	A	A

依頼表現は「利益・恩恵」が「自分J」に生じることから、例えば道で遭遇した初対面である[A0]の「相手のレベル」、[B0]の「場のレベル」の場面においては以下のようにもっとも丁寧な表現を用いなければならない。

(15) 希望駅までの行き方を教えていただけませんか／もらえないでしょうか／もらえますか。

(15)の表現主体である依頼主体は、依頼という意図や行為の持つ構造を認識し、依頼という意図を持ち、それを実現するために必要な言材や文話などの表現形式に関する知識を持っているだろう。それらの意図と照らし合わせる形で、自己に「利益・恩恵」が生じることを十分認識したことからテモラウという表現形式を選択し、表現したものと考えられる。

一方、(13)の表現主体である被依頼主体は、「利益・恩恵」は「相手A」に生じる(つまり、被依頼主体には「利益・恩恵」は生じない)場合でも、テモラウを用いて表現している。つまり、これによって、依頼表現と同じような

し(「行動」=[A])

でもらって(「利益・恩恵」=[J]⁸³)

ください(「決定権」=[A])

という構造としている。

⁸³ 「利益・恩恵」は実際には話し手である「自分」に生じていないが、あたかも「自分」に生じたかのように表現したため「J」と表記する。

なぜ、テモラウを用いて表現しているのか。その理由を解明するためには、このような行為説明表現についても、行動展開表現の一つである依頼表現の分析で用いた「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」という観点を取り入れ、それらに基づいて調査、分析することが有意義であると考ええる。行為説明表現をこのような観点から説明することにより、本章の冒頭で述べた、テモラウについての仮説、つまり、相手との対人関係を良好に保つため、相手を待遇するという目的を達成するために用いられた表現であるということが立証できるものと考えられる。また、6.2節で述べた渡辺(1985)などの先行研究を裏付ける具体的な調査の分析と考察に役立つものと考ええる。

6.4.2 9種類の行動展開表現

本節では、「行動展開表現」の類型について記す。

行動展開という意図に内在する構造としての「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」という観点から、二者間における行動展開について、「行動」するのは自分[J]か、相手[A]か(あるいは両者[JA]か)、[決定権]を持つのは自分か相手か、「利益・恩恵」を受けるのは自分か相手か(あるいは両者か)、といった基準で整理する(蒲谷他(1998)、蒲谷(2013))。それぞれの意図の関係を示すと、次の9類型に分類できる。

「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」それぞれの項目が「相手」にある場合は「A」、「自分」にある場合は「J」で表記している。

表 6-6 行動展開表現の9類型

区分	パターン	意図名
1	JJJ	宣言
2	JJA	宣言 ^{*84}
3	JAJ	確認、許可求め
4	JAA	申し出
5	AAA	忠告・助言・勧め
6	AAJ	依頼
7	AJA	許可与え

⁸⁴ 基本的には[J]、[J]、[A]の構造を持つものとして考えられる意図は、申し出と近い「宣言」である。ただし、典型的には[J]、[J]、[J]の構造を持つと言える(蒲谷 2013:230)

8	AJJ	指示・命令
9	JA/A/JA	誘い

なお、「利益・恩恵」については、実際には特に自分[J]にあるとも相手[A]にあるとも言えない場合もあるが、それを含めて記述すると、煩雑になるため、基本的にその意図に内在する構造としてどちらにあるのかという観点で示している。

行動展開表現の種類と9つの類型の表現形式について、以下では相手のレベルを[Aレベル・0]として述べる。なお、実際には[A レベル・0]だと認識した相手に対して常にこの表現が使われるということではなく、典型例を示すための抽象的な表現ということで、カタカナ表記にしている(蒲谷 2013)。

表 6-7 行動展開表現の9類型(典型的な表現形式)

パターン	典型的な例
JJJ 宣言	(ワタシガ) シマス (ワタシガ) サセテモライマス
JJA 宣言★	(ワタシガ) シテアゲマス
JAJ 確認、許可求め	(ワタシガ) シテモイデスネ
JAA申し出	(ワタシガ) シテアゲマショウカ
AAA忠告・助言・勧め	(アナタハ) シタホウガイデスヨ (アナタハ) シマセンカ
AAJ依頼	(アナタハ) シテクレマスカ (ワタシハ) シテモラエマスカ
AJA許可与え	(アナタハ) シテモイデスヨ
AJA指示・命令	(アナタハ) シテクダサイ (アナタハ) シナサイ
JA/A/JA誘い	(ワタシトアナタデ) シマセンカ

上記の類型化は、実際の表現を帰納的に整理した結果というものではなく、「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」という観点で行動展開表現を分類し、それを考察のための枠組みとして利用することによって、実際の表現における意識やあり方が説明可能になることを目的として分類されたものである。

前述したとおり、「道案内」などは依頼された被依頼者の行動展開を意図した表現ではある

が、行動展開表現の 9 つの類型には直接には当てはまらない表現である。「依頼表現」は行動展開表現の 9 つの類型の一つとして入っており、〈表 6-5〉の通り、「AAJ」としてパターン化している。一方、被依頼者による行為説明表現は、上記のとおり、「AAA」というパターンを有しており、これは、行動展開表現の 9 つの類型では「忠告・助言・勧め」と同様のパターンである。しかし、「AAA忠告・助言・勧め」の典型的な例としては、「(アナタハ) シタハウガイデスヨ;(アナタハ)シマセンカ」となっており、「利益・恩恵」が「相手=A」に生じるという表現である。「道案内」で使われたテモラウを用いた表現は、実際は「利益・恩恵」が「相手[A]」である場合でも、「利益・恩恵」を「自分[J]」としていることから、行動展開表現の「AAA忠告・助言・勧め」と同じものと考えすることはできない。

6.5 テモラウ文の機能

上記の理論に基づき、本節では第 5 章の「道案内」、「食べ方」の調査結果に基づいて、テモラウを用いた理由について調査した結果についての考察を行う。また、テモラウを用いて表現した表現主体の表現意識と表現形式に至るまでの流れについて考察する。

宮地(1975)は、現代になって、より授受表現を用いて表現されるようになった理由を解明するため、源氏物語の原文と現代語の訳を比較分析し、現代語より複雑な敬語表現がある源氏物語に授受表現の用法が用いられているかどうかを確認している。その結果、現代語訳には原文にない「てやる、てくれる、てもらう」という授受表現が多く使われていることが確認されている。このことは、われわれ現代人が当時の人々よりも、「てやる・てくれる・てくださる」によって表わされる人間関係あるいは行為の授受関係を細かく把握する習慣を持っており、また、事態の授受的認識についても細かく仕分ける傾向があることを意味する(宮地:1975:807)。敬語表現の単純化を補うかのごとく発達してきたのが、事態の授受表現⁸⁵だと述べている(宮地 1975:814)。

それでは、「道案内」と「食べ方」において用いられるテモラウはどのような理由で使われたのであろうか。

以下からはテモラウを用いて表現した理由について分析する。

⁸⁵ 宮地(1975)は本研究で言う「授受表現」のことを「受給表現」と呼んでいる。

6.5.1 テモラウを使用する理由

「道案内」、「食べ方」の調査では 52 人を対象に行ったが、「道案内」においては当該被験者 52 人のうち 40 人が、「行く」、「歩く」、「渡る」、「直進する」、「進む」、「曲がる」という動詞に「行ってもらって」、「曲がってもらって」のようにテモラウや、「行っていただいて」、「曲がっていただいて」のようにテイタダクを用いたり、テモラウやテイタダクを一回でも用いて表現した。残り 12 人はテモラウやテイタダクを一回も用いておらず、本動詞のみで、つまり「行って」、「曲がって」、「直進して」のような表現であった。

テモラウやテイタダクを用いて表現した 40 人のうち、38 人に対して、以下のようなやり取りを行い、これを通してテモラウを用いて表現した理由についての回答を得た。本節では、当該回答を整理し分析を行う。また、テモラウを用いた表現が意識的に行われたのか、無意識で行われたのかについても考察する。

以下は調査員(筆者)である「I」と被験者である「J」とのやり取りである。まず、(16)の「J1-1」と「J1-2」の欄に記載されているような説明を受けて、次にテモラウを用いて表現した理由について質問(「I1-3」ほか)を行った。以下、被験者と調査員のやり取りの内容に基づいて分析する。

(16) [被験者J1 とのやり取り]

I1-1	希望駅までの行き方を教えてください。
J1-1	まず、まっすぐ行ってもらうと、空駅という十字路がありますんで、そこを左にまが、あっ失礼、右に曲がってもらって、まっすぐ行くと、右側にゆめ銀行ってあります。そこにゆめ銀行という交差点がありますから、そこを今度は左に曲がってもらってしばらく行くと希望駅があります。
I1-2	次は、しゃぶしゃぶの食べ方を教えていただけませんか。
J1-2	え〜〜と。しゃぶしゃぶはまず、お肉を取ってもらって、え〜〜あの〜鍋がぐつぐつ中でお湯みたいなものがあると思うんで、その中で肉を2、3回こうしゃぶしゃぶとか、そそいでもらって、そうすると後は、ソースがいくつかポン酢とかえ〜〜となんかあるから、自分の好きなものに付けてもらって、それで食べるともう十分です。
I1-3	あ〜〜そうですか。ありがとうございます。じゃ、ここで1つ伺いたいと思うんですけども、先ここ、右に曲がってもらってってということばを使いましたけど、右に曲がってってだけではだめですか？例えば右に曲がって。

J1-3	いや、いいと思いますよ。いいと思うんだけど、え～～～～とてもらってを使わないとどう言うんでしたっけ。右に曲がって？
I1-4	あ、はい。
J1-4	右に曲がってしばらく行って左に曲がってってこと？
I1-5	はい。
J1-5	(笑)けど。ま～～～それでもいいですけど、どっちでもいいですけど、ま～
I1-6	どうして、てもらってを使いますかね？
J1-6	それは分からないですけど、、、そのほうがいいなと思っただけです。
I1-7	家族とか仲の良い友達にはどのように教えますか？たとえば、(1)番の道案内の場合？
J1-7	え～、友達ですか。ここまっすぐ行って、右に曲がって、しばらく行くとゆめ銀行があるから、そこをえ～交差点を渡ってもうちょっと歩くと左側にあるよ。かな～
I1-8	ありがとうございます。

上記の被験者[J1]は、テモラウを意識して使い分けていることが分かる。つまり、被験者[J1]の回答「J1-3」、「J1-4」、「J1-5」、「J1-6」、「J1-7」から、被験者[J1]はテモラウを用いないで表現することに違和感を持っているということが分かる。特に、「J1-7」の「家族や仲の良い友達にはテモラウは使わない」ということから、意識的にテモラウを用いて表現しているものと考えられる。

被験者[J1]とは異なって、以下のように、テモラウを用いたことを自覚していない被験者もいた。

(17) [被験者J8 とのやり取り]

I8-1	希望駅までの行き方を教えていただけませんか。
J8-1	空駅十字路というところがあるんですけど、そこを右に行ってもらって、で、ずっとしばらく歩いて行ってもらって、え～～～とゆめ銀行というところがあるんですけど、そのところの角で右に曲がってください。しばらく行ったら希望駅があります。
I8-2	ありがとうございます。それから、しゃぶしゃぶの食べ方を教えていただけませんか。
J8-2	そこのお肉をとってもらって、え～～～と鍋の中で 2、3 度しゃぶしゃぶしてください。そのあとは、好みのソースに付けて召し上がってください。

I8-3	先ほど、行ってもらってとか、とってもらってとか、もらうを使ってたんですが、その理由はなんですか。
J8-3	もらってっていいました？
I8-4	(笑)ええ。
J8-4	いや。わからないですね。なんか。
I8-5	そしたら、ここ(1番を指しながら)ご自身のお子さんに言うとしたら？
J8-5	子供だったら？ここまっすぐ行って、大きな道路があるから、そこを右に曲がって、次の信号で左に曲がってくださいね。
I8-6	はい、ありがとうございました。

上記の被験者「J8」の回答内容をみると、被験者「J8」はテモラウを無意識的に用いていることが分かる。被験者「J8」の回答「J8-3」、「J8-4」から、被験者自身テモラウを用いて表現したことがすら分かっていないし、テモラウを用いて表現した理由についても答えられない。しかし、被験者「J8」も被験者「J1」の回答と同様、家族(ご自身の子供)に対してはテモラウを用いないと回答しており、テモラウの使い分けは行われているが、それは無意識的に行われているものと考えられる。

被験者「J1」や「J8」を含め、38人の被験者と上記のような調査員とのやり取りを経て、38人の被験者から得た回答を整理し、それらの回答に共通するキーワードを抽出し、整理すると、以下の4つにまとめることできる。

- ① 命令したくない
- ② 初対面だから丁寧、敬語にしたい
- ③ 相手に配慮したい
- ④ 習慣

それぞれのキーワードごとに、被験者の回答例を示すと以下のとおりになる。

① 命令したくない

(18) やっぱり相手に何かをしろというあの～～～させる感じなので、してもらって何かそう

ですね。やってもら、このとおりに行けばできますのでそのとおりにしてもらっていい
ですかって感じですかね。ニュアンス的には。

- (19) うん～～～何か、行ってください。曲がってください。っていうとちよつと命令してる
ような気がして命令する気がするので、その命令の口調を柔らかくするためかな～～。

② 初対面だから丁寧、敬語にしたい

- (20) あの～～初対面の方に教えるにはやっぱり綺麗な言葉を使いたいので、丁寧語、敬
語？
- (21) 相手に対して、丁寧？相手にこうって、こうって、言うより、モラッテ、モラッテのほうが
丁寧かな。相手を思ってって感じかな。
- (22) 初対面の人だと、こう、やはり、くだけた言い方、何というの？初対面の人にはあまり、
こう～～敬語使ったほうがいいでしょう。歳も分かんないし、どんな立場かも分からな
いし。

③ 相手に配慮したい

- (23) それは何か行動してもら、いや、相手にその行為をしてもらというか、え～としても
らうのでえ～と何だろう、受身？あの自分が喋ってる方が受身、で、あの～相手が行
動者、能動者になってもらって、相手の立場になってというときかな。

④ 習慣

- (24) うん、、、それから、もらうを使ったほうが丁寧かな～～。わからない(笑)。習慣？
- (25) え～丁寧に言わなければと思って。知らない人だから。うん習慣かもしれません。

さらに、これらを合わせた被験者 38 人の回答内容全体から、テモラウを用いて表現した被
験者のおおまかな理由は、以下のように解釈することができるものとする。

「相手が初対面であることから、命令をしたと思われたくないこともあり、相手に何らか配慮
したいと思い、だから丁寧な表現をすべきと、または敬語を使うべきと考え、テモラウやテイタ
ダクで表現した」

ある言葉を発する際に、その表現を一々考えて発するわけではないから、その言葉を用いた理由を突然質問されて、前述のとおり、「特に考えていない」、「わからない」という言葉から考え始めた被験者も多く、中には、「私、モラッテって使ったっけ？」と被験者自身も用いたことに気づいていない場合もあった。

(26) え～～と特に何か考えて使ったわけではないですけど、日常的に何とかしてもらって言葉として身につけてしまったと思います。

(27) 相手に敬語を使うためにかな？初めて会った人だから？分かりません。

それでも、被験者自身にテモラウで表現した理由を改めて考えさせてみた結果、上記のように回答を得て整理できたわけである。このようなテモラウを用いた理由について直接被験者に対し聞き取り調査を行ったという事例はこれまで見当たらず、初めての試みであると思われる。

それでは、テモラウを用いる用いないの使い分けに何らかの基準があるのだろうか。それを解明するため、テモラウを用いて表現した被験者を対象に、相手が初対面の人ではなく、家族や仲の良い人の場合にはどのように表現するのかについて調査を行った。その結果を次の節で述べるが、その前に、テモラウと敬語表現についての関係について言及する。というのも、興味深いことに、本調査において、テイタダクは勿論のこと、テモラウも敬語表現であると思っ

ている被験者が多いということが分ったからである。

6.5.2 テモラウの使い分けの基準

まず、テモラウが敬語表現として使われているとするならば、テモラウを敬語表現に言い換えて表現できるかどうかを検討する必要がある。以下の用例を用いて検討する。

(28) まず、まっすぐ行ってもらおうと、空駅という十字路がありますんで、そこを左に曲が、あっ失礼、右に曲がってもらって、まっすぐ行くと、右側にゆめ銀行ってあります。そこにゆめ銀行という交差点がありますから、そこを今度は左に曲がってもらってしばらく行くと希望駅があります。

(28) 〘まず、まっすぐ行かれると/お行きになると、空駅という十字路がありますんで、そこを左に曲が、あっ失礼、右に曲がられて/お曲がりになって、まっすぐ行くと、右側にゆ

め銀行ってあります。そこにゆめ銀行という交差点がありますから、そこを今度は左に曲がられて/お曲がりになってしばらく行くと希望駅があります。

まず、(28)を見てみると、被験者が回答した「行ってもらおうと」、「曲がってもらって」をそれらの尊敬語の形である、(28)「のように言い換えても意味は通じるし、文法的にも何ら問題はない。

以下の(29)においても、被験者の「進んでいただいて」、「曲がっていただいて」、「進んでいただく」を尊敬語である、(29)「進まれて/お進みになって」、「曲がられて/お曲がりになって」、「進まれると/お進みになると」に言い換えても同様の結果となる。(30)、(31)も(28)、(29)と同様に解釈できる。

(29) まず、今いる通りをまっすぐ進んでいただいて、空駅の7番出口がありますのでその、え〜〜右に曲がっていただいて、え〜そうしますと銀行とえ〜と製薬会社がありまして、え〜〜と交差点がありますので、そこを進んでいただいて、左側に進んでいただくと希望駅があります。

(29)「まず、今いる通りをまっすぐ進まれて/お進みになって、空駅の7番出口がありますのでその、え〜〜右に曲がられて/お曲がりになって、え〜そうしますと銀行とえ〜と製薬会社がありまして、え〜〜と交差点がありますので、そこを進まれて/お進みになって、左側に進まれると/お進みになると希望駅があります。

(30) 今の道をまっすぐ進んで、空駅の7番で出口を右に曲がってください。曲がるとそのまま直進してもらったら、右手にゆめ銀行があるのでゆめ銀行を右手にみて左手に希望駅にまっすぐ進んでください。

(30)「今の道をまっすぐ進んで、空駅の7番で出口を右に曲がってください。曲がるとそのまま直進されたら/お直進になって、右手にゆめ銀行があるのでゆめ銀行を右手にみて左手に希望駅にまっすぐ進んでください。

(31) まず、今がここにいるのでしばらくまっすぐ行っていただいて、えっと空駅の7番出口が右手に見えますので、そこを右手に曲がってください。それをしばらくえっとまた直進していただいて、するとゆめ銀行十字路というところがでますので、そこを行くと右手にゆめ銀行が目印で見えると思います。ただ、ゆめ銀行の方とは逆側、左側に曲がってまっすぐ進んでいただくと左手に駅が見えると思いますので、ちょっと難しいと思いますが頑張ってください。

(31) 〰まず、今がここにいるのでしばらくまっすぐ行かれて/お行きになって、えっと空駅の 7 番出口が右手に見えますので、そこを右手に曲がってください。それをしばらくえっとまた直進されて/お直進になって、するとゆめ銀行十字路というところがでますので、そこを行くと右手にゆめ銀行が目印でみえると思います。ただ、ゆめ銀行の方とは逆側、左側に曲がってまっすぐ進まれると/お進みになると左手に駅が見えると思いますので、ちょっと難しいと思いますが頑張ってください。

さらに、尊敬語は以下のように省略しても文としては適格なものであり、意味的にも変わらないと考えられる⁸⁶。このことはテモラウの省略についても当てはまる。つまり、被験者は「希望駅」までの行き方について説明する際に、実際に「行く」などの動詞にテモラウを用いたり用いなかっただけであり、テモラウは使わなくても文としては適格である。

(28) 〰まず、まっすぐ行くと、空駅という十字路がありますので、そこを左に曲が、あっ失礼、右に曲がって、まっすぐ行くと、右側にゆめ銀行ってあります。そこにゆめ銀行という交差点がありますから、そこを今度は左に曲がってしばらく行くと希望駅があります。

(29) 〰まず、今いる通りをまっすぐ進んで、空駅の7番出口がありますのでその、え～～右に曲がって、え～そうしますと銀行とえ～つと製薬会社がありまして、え～～と交差点がありますので、そこを進んで、左側に進むと希望駅があります。

(30) 〰今の道をまっすぐ進んで、空駅の 7 番で出口を右に曲がってください。曲がるとそのまま直進したら、右手にゆめ銀行があるのでゆめ銀行を右手にみて左手に希望駅にまっすぐ進んでください。

(31) 〰まず、今がここにいるのでしばらくまっすぐ行って、えっと空駅の 7 番出口が右手に見えますので、そこを右手に曲がってください。それをしばらくえっとまた直進して、するとゆめ銀行十字路というところがでますので、そこを行くと右手にゆめ銀行が目印でみえると思います。ただ、ゆめ銀行の方とは逆側、左側に曲がってまっすぐ進むと左手に駅が見えると思いますので、ちょっと難しいと思いますが頑張ってください。

⁸⁶ 日本語母語話者 3 人にテモラウや尊敬語を省略した文の妥当性について聞いてみたところ、3 人全員ともテモラウや尊敬語を使わなくても文としては適格であると答えているが、「(使わないと)理由は分からないが、どこかがさびしい」としていた。

上記のテモラウ文、尊敬語による表現、テモラウや尊敬語を省略した表現を整理すると以下のようなになる。

テモラウ		敬語表現		省略
・行ってもらうと	→	行かれると	→	行くと
・曲がってもらって	→	曲がられて	→	曲がって
・進んでいただいて	→	進まれて	→	進んで
・直進していただいて	→	直進されて	→	直進して
・進んでいただく	→	進まれると	→	進むと

テモラウやテイタダクは使用しなくても意味は通じること、そのような場合でも使用していること、そのテモラウやテイタダクは、代わりに尊敬語が使用可能ということ、その尊敬語も使用しなくても意味は通じることと考え合わせると、被験者は敬語表現の機能を無意識にテモラウやテイタダクに託しているものと考えられる(テモラウやテイタダクを敬語表現と思っている被験者については言うまでもない)。このことは、前述の、テモラウやテイタダクを使用した被験者の使用理由についての解釈にも沿うものと考えられる。

そこで、相手が初対面の人ではなく、家族や仲の良い人の場合の表現をそうでない場合の表現と比較調査することにより、上記のテモラウが敬語表現機能として使われているということがはっきりするものと思われる。テモラウやテイタダクを使用した被験者 40 人に対して質問調査をしたところ、40 人全員が、相手が初対面の人ではなく、家族や仲の良い人の場合にはテモラウやテイタダクは使わないと回答した。このうち、2 人の具体的な回答を以下で紹介する。

(32) [相手が初対面の場合]

えっと、希望駅に行くには、現在位置からまず、まっすぐ進んでいただいて、空駅十字路を右に曲がります。その時に右手に空駅7番出口が見えます。で、空駅十字路を右に曲がってもらって、直進するとゆめ銀行十字路という十字路が見えますので、そこを左に曲がってください。左に曲がって、まっすぐ、行くとえ～～と向かって左側に希望駅が見えます。

[相手が家族や仲の良い人の場合]

空駅十字路をえ～～右に曲がって、直進するとゆめ銀行十字路があるので、そこを

左に曲がって直進すれば左側に希望駅がある。

(33) [相手が初対面の場合]

え～今いるところから、空駅十字路というところがありまして、そこまで一回歩いてだいて、え～～でその7番出口があるのでそこについたら右に曲がってください。曲がってまっすぐ行くと十字路があつてゆめ銀行があつてゆめ銀行の反対の方向に渡ってください、うん～～ゆめ銀行を背中に向けてまっすぐ歩いて行ってください。ずっと歩いて行くと左手の方に駅があります。

[相手が家族や仲の良い人の場合]

現在位置からまっすぐ行って、行くと、途中に角の方に 7 番出口があるからそこを右に曲がって、まっすぐ行くと、また十字路にぶつかるから、え～～その十字路の角のところの方にゆめ銀行があるから、銀行が見つかったら、え～～と信号の緑薬局の方じゃないところに渡る。渡って、反対側を渡るとゆめ銀行を背中にして、その～～まっすぐ行くと駅がある。

上記の例で分るとおり、相手が家族や仲の良い人の場合にはテモラウやテイタダクが使われていないことに加え、主節が敬語表現ではなくなっている。ここでは2人の例しか記載していないが、全体的にも敬語表現はしないとの回答であった。このことから、全体的な文が敬語表現でない場合には、文中でテモラウやテイタダクは使われないということが確認された。

以上、テモラウを用いて表現した理由については、相手が初対面であることから、命令をしたと思われたくないこともあり、相手に何らかの配慮する気持ちで、丁寧な表現をすべきと、また敬語表現を使うべきという意識(無意識を含む。)に基づくものであるということが分かった。また、テモラウで表現した箇所を敬語表現(尊敬語)で言い換えてもまったく問題のない文になるということも確認した。また、家族や仲の良い人に対してはテモラウを用いないこと、全体的な文が敬語表現でない場合には、文中でテモラウやテイタダクは使われないということが確認された。

以上のことから、冒頭で述べた、テモラウが待遇表現の機能を担っているという仮説は立証できたものとする。

6.5.3 待遇意識から待遇表現へ

話し手に受益が生じない場合でもテモラウを用いて表現する理由について被験者に直接聞き取り調査を行って分析を行った。以下からは、蒲谷(2013)の待遇意識における「意識」の段階と「形式」の段階について確認し、待遇意識から待遇表現、つまりテモラウを用いた表現に至るまでのメカニズムについて確認し、テモラウが待遇表現としての機能をも担っていることをより具体的に立証していくことにする。

待遇表現の背景にある待遇意識は、例えば、「敬語は敬意を表わすために使う言葉だ」などと言われるように、表現形式の選択につながってくる意識である。待遇コミュニケーションを考察するということは、コミュニケーション主体が「場面」をどのようなものとして認識し、それによってどのような「意識(きもち)」、「内容(なかみ)」、「形式(かたち)」を連動させつつコミュニケーションを行っているのかを明らかにすることである。

以下の〈図 6-1〉は蒲谷(2013)の「意識」の段階と「形式」の段階についての説明をまとめたものである。

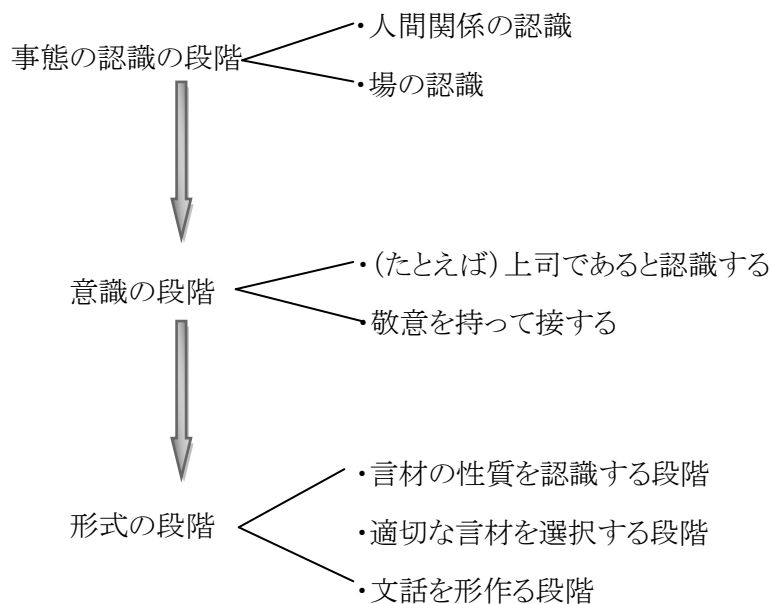


図 6-1 「意識」の段階から「形式」段階への流れ

例えば、人間関係や場(場面)について、まず、実際に存在する人間と場所がまずあり(事態としての段階)、それをコミュニケーション主体がどのように捉えようとするのかという意識の段階があり、そこでそのコミュニケーション主体としての人間関係と場の認識ができて上がる。そして、

例えば、当該人間は自分の上司である(自分は部下である)と認識する段階から、この人を上位者として敬意を持って接しようとする意識の段階につながっていく。コミュニケーション主体はそうした待遇意識を持ち、次に、例えば敬語表現を用いようとする形式の段階に移行するが、形式の中でも、言材の性質を認識する段階、適切な言材を選択する段階、文話を形作る段階、という段階に分かれ、それが連動しているというように考えられるのである。

このような段階に基づいて、テモラウを用いた表現に至るまでの流れを具体的に分析、考察していくためにまず、蒲谷(2013)の「丁寧さの原理」について確認することとしたい。蒲谷(2013:233)は丁寧であるということについて以下のように述べている。

- ・「行動」は、相手にさせるのではなく、自分がするほうが丁寧だ。
- ・「決定権」は、自分が取ってしまうのではなく、相手に持たせる方が丁寧だ。
- ・「利益・恩恵」は、自分が相手に与えてあげてあげてを表明するのではなく、相手が自分に与えてくれることをありがたいと捉える方が丁寧だ。

つまり、「行動」=自分、「決定権」=相手、「利益・恩恵」=自分であるという表現が最も丁寧な表現であるということである。このパターンの構造を持つのは、前述の行動展開表現の9項類型のうちでは、「許可求め表現」である。「許可求め表現」の典型的な例は以下のようなものである。

(34) ワタシガ シテモイイデスネ/シテモ イイデスカ

上記の「許可求め表現」は「行動」は「自分」であり、その行動をするか否かの「決定権」は「相手」である。さらに、その「行動」によって「利益・恩恵」が生じるのは「自分」であり、「JAJ」のパターンである。このような表現は「自分」に「利益・恩恵」が生じるため、最も丁寧な表現を用いて表現しなければならないのである。

一方、「丁寧ではない」ということは、上記の逆となり、次のようなことである。

- ・「行動」は、自分がするのではなく、相手にさせるほうが丁寧ではない。
- ・「決定権」は、相手に持たせるのではなく、自分が取ってしまうほうが丁寧ではない。
- ・「利益・恩恵」は、相手が自分に与えてくれることをありがたいと捉えるのではなく、自分が相手

に与えてあげることを表明するほうが丁寧ではない。

このパターンの構造を持つのは、同じく9類型のうちでは、「許可与え表現」である。「許可与え表現」の典型的な例は以下のようなものである。

(35) アナタハ シテモイデスヨ

上記の「許可与え表現」は「行動」は「相手」であり、その行動をするか否かの「決定権」は「自分」である。さらに、その「行動」によって「利益・恩恵」が生じるのは「相手」であり、「AJA」のパターンである。このような表現は「相手」に「利益・恩恵」が生じることを表現するため、丁寧さからは最も遠いものになる。

丁寧に表現するということは、対人関係を意識した発話であり、「丁寧さの原理」は相手を意識した表現、つまり、待遇表現における原理でもある。まず、以下では「道案内」で使われたテモラウ文に関する被験者の「意識の段階」について分析を行う。分析に際して「丁寧さの原理」の考えに沿って行う。

分析はテモラウを一番多く用いて表現した被験者の回答を対象として行った。

(36) まず、今いる通りをまっすぐ進んでいただいて、空駅の7番出口がありますのでその、え～～右に曲がっていただいて、え～そうしますと銀行とえ～つと製薬会社がありまして、え～～と交差点がありますので、そこを進んでいただいて、左側に進んでいただくと希望駅があります。

この被験者の表現からテモラウ(テイタダク)を省略したものについて、「丁寧さの原理」に沿って分析すると下表の記載のようになる。

(36) 〳

	発話内容	行動	決定権	利益・恩恵
1	まず、今いる通りをまっすぐ進んで、	A	A	A
2	空駅の7番出口がありますのでその、え〜〜右に曲がって、	A	A	A
3	え〜そうしますと銀行とえ〜と製薬会社がありまして、え〜〜と交差点がありますので、そこを進んで、	A	A	A
4	左側に進むと希望駅があります。	A	A	A

「進む」、「曲がる」、「進む」、「進む」という「行動」をするのは道案内を依頼してきた「相手」であり、その行動をするかしないかの「決定権」も「相手」にある。さらに、その行動をすることによって「利益・恩恵」が生じる側も「相手」であることから、「AAA」というパターンとなる⁸⁷。「AAA」は行動展開表現の9種類のパターンの中、「忠告・助言・勧め(AAA)」と同じパターンである。「忠告・助言・勧め」は、「アナタハ シタホウガイデスヨ/アナタハ シマセンカ」のような表現であるが、「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」が全て「相手」にあるという表現であることから、丁寧さの原理から考えると、それほど丁寧な表現ではないことになる。

次に、被験者のテモラウ(テイタダク)を用いた表現を分析すると下表の記載のようになる。

(36) 〳〳

	発話内容	行動	決定権	利益・恩恵
1	まず、今いる通りをまっすぐ進んでいただいて、	A	A	J
2	空駅の7番出口がありますのでその、え〜〜右に曲がっていただいて、	A	A	J
3	え〜そうしますと銀行とえ〜と製薬会社がありまして、え〜〜と交差点がありますので、そこを進んでいただいて、	A	A	J
4	左側に進んでいただくと希望駅があります。	A	A	J

⁸⁷ ここで述べる「行動」、「決定権」、「利益・恩恵」が「自分」なのか、「相手」なのかに関しては日本人3人に対する聞き取り調査を行った結果に基づいたものである。

上記のように、テモラウで表現することにより、「進む」、「曲がる」、「進む」、「進む」という「行動」は「相手」、その「決定権」は「相手」である。そして「利益・恩恵」であるが、テモラウという授受表現を使うことによって、実際の「利益・恩恵」は相手に生じるが、あたかも⁸⁸「自分」に生じるかのような表現になっている（[J]に対しては[J']で示している。）。

このように考えに基づき、前記の待遇コミュニケーションに関する蒲谷の「意識」の段階と「形式」〈図 6-1〉に沿って、テモラウを用いて表現する話し手の表現意識から表現形式に至る流れを考察すると、以下のようになると考えられる。

表 6-8 「意識」の段階から「形式」段階への流れ

段階の流れ	内容
①事態の認識	相手は初対面の人である。公共の場所である。
②意識の段階	初対面の人だから、命令したくない、丁寧、敬語にしたい、配慮したい。
③形式の段階	実際の状況からすれば「進む」などという「行動」をするのは「相手」、その「行動」をするか否かの「決定権」を持っているのは「相手」、それによって「利益・恩恵」を受けるのは基本的には「相手」ということになる。そのため、そうした「AAA」というパターンの認識をそのまま表現した、「まっすぐ進んでいいですよ」という「AAA」と同じパターンで表現することも可能である。 しかし、「丁寧さの原理」からすると、たとえその「行動」をすることにより、道を教えてもらった「相手」に「利益・恩恵」が生じるとしても、「相手」に「利益・恩恵」があるとするよりも、「相手」に「行動」してもらうことで「自分」にも「利益・恩恵」があるということを表現する方が丁寧な表現になるという意識に基づき「AAJ」の表現形式を選択した。
④言材の性質を認識する段階	そこで、「道案内」は本来は「忠告・助言・勧め」パターンAAAであったとしても、その意識を直接表現するのではなく、<「表現意識」をあたかも「依頼」パターンAAJであるかのように変えて、その意識に基づいて依頼表現で表現する>ことによって「相手」に対する適切な丁寧な表現となり得る。
⑤適切な言材を選択する段階	その結果として選択された表現形式が「まっすぐ進んでください」という表現である。
⑥文話を形作る段階	まず、今いる通りをまっすぐ進んでください、空駅の7番出口がありますのでその、え〜〜右に曲がっていただき、え〜そうしますと銀行とえ〜と製薬会社がありまして、え〜と交差点がありますので、そこを進んでいただき、左側に進んでいただくと希望駅があります。

⁸⁸ 蒲谷他(1998)、蒲谷(2013)は、上司が部下に対して、「明日までに、この書類を作ってくれ」という指示・命令表現を用いると、「行動」は[A]、「決定権」は[J]、「利益・恩恵」は[J]になるため、「丁寧さの原理」に基づけば、あまり丁寧な表現にはならない。そこで、事実としての事態は変わらなくても、表現主体が表現上の認識を変えることで、より丁寧になると述べている。つまり、指示・命令表現を[A]、[A]、[J]という構造を持つ依頼表現にし、その結果としての表現を「明日までに書類を作成してくれないか」、「明日までに書類を作成してもらえませんか」などとするができる。このような表現のことを「あたかも表現」と呼んでいる。「あたかも表現」についての詳細は蒲谷(2013:239)を参照されたい。

このような考えは、以下のようにテモラウを使った被験者からの聞き取り調査の分析から検証できるものとする。

【被験者「J9」の表現】

(37) 希望駅に行くのには、このまま空駅十字路までまっすぐ行ってもらって、空駅の7番出口の角を右に曲がって、で、しばらくまっすぐ行くと、え〜とゆめ銀行の十字路が見えてきますので、ゆめ銀行の十字路の交差点をまっすぐ渡ってもらって、しばらくまっすぐ行くと希望駅が見えます。

(37)〔被験者「J9」とのやり取り〕

I9-1	ありがとうございます。一つ伺っても宜しいでしょうか。
J9-1	うん、うん。
I9-2	まっすぐ行ってもらって、とか、渡ってもらってっておっしゃってたんですが、モラウを使ったんですけど、そのモラウはどうして使ったんですか。
J9-2	分からない。癖なのかな。
I9-3	例えば、モラウを使わない場合は？例えば、まっすぐ行ってとか、肉をとって、とか。
J9-3	まっすぐ行って。うん〜。モラッテがなく(笑)
I9-4	モラウを使うと何か違うんですかね。
J9-4	接続語みたいなことになっているんですよ。多分。お願いかも知れない。行ってくださいよりね。行ってもらっての方がね。行ってもらっては行ってください。肉をとってもらっては肉をとってください、うん〜お願いかも。
I9-5	てくださいより、てもらうを使った方が、自然ですか？
J9-5	自然なんですかね。丁寧かもね。てくださいは命令に聞こえるでしょう。だからかな。(笑)分からない。考えたことないもん。
I9-6	(笑)ありがとうございました。

被験者「J9」は当初、「癖」、「テモラウを使ったほうが自然」というように答えていたが、やり取りが進むに連れ、自分の意識を探って、「テクダサイは命令に聞こえる」、「お願いかも」、「丁寧かも」という回答をした。習慣的にテモラウを用いて表現しているようだが、意識をもって表現

しているということが見て取れる。

次は被験者「J10」である。

【被験者「J10」の表現】

(38) えっと、希望駅に行くには、現在位置からまず、まっすぐ進んでいただいて、空駅十字路を右に曲がります。その時に右手に空駅7番出口が見えてきます。で、空駅十字路を右に曲がってもらって、直進するとゆめ銀行十字路という十字路が見えますので、そこを左にまがってください。左に曲がって、まっすぐ、行くとえ～～と向かって左側に希望駅が見えます。

(38)〔被験者「J10」とのやり取り〕

I10-1	そうですか。ありがとうございます。あの～～一つ伺いたいんですが、ここ(調査用紙の1番を指しながら)、例えば、とても仲の良い友達から、希望駅までの行き方教えてくれる？と言われた場合は？
J10-1	(笑)空駅十字路をえ～～右に曲がって、直進するとゆめ銀行十字路があるので、そこを左に曲がって直進すれば左側に希望駅がある。
I10-2	テイタダイテ使ってないんですね。
J10-2	使いません。友達には。
I10-3	どうして先(初対面の人の場合)は使いましたか？
J10-3	あの～～初対面の方に教えるにはやっぱり綺麗な言葉を使いたいので、丁寧語、敬語だと思って。
I10-4	よく使いますか？
J10-4	はい、もう習慣かも。

被験者「J10」は、相手が初対面の人の場合にはテモラウを用いて表現したが、「J10-1」のように相手が仲の良い友達の場合にはテモラウは用いないと回答した。また、テモラウを使った理由は「J10-3」のように相手が初対面であることから、綺麗な言葉で丁寧に表現するためであるという風に答えており、やはり初対面である相手を意識して表現したということが分かる。

次は被験者「J5」の回答である。

【被験者「J5」の表現】

(39) えっと、今いる道をまっすぐ進んでいただいて、空駅が見えてくるので、そこをええと、右に曲がってもらって、そのまままっすぐ進んでもらいます。そうすると、初めて交差点が見えてくるので、ゆめ銀行が見えてくるので、そのゆめ銀行の反対側の横断報道を歩くと、まっすぐそのまま行くと駅に着きます。

(39)〔被験者「J5」とのやり取り〕

I5-1	テモラウを使って表現した理由について教えていただけますか。
J5-1	やっぱり相手に何かをしろというあの～～～させる感じなので
J5-2	やってもらう、してもらうって何かそうですね。
J5-3	このとおりに行けばできますのでそのとおりにしてもらっていいですかって感じですかね。
J5-4	ニュアンス的には。

被験者「J5」の意識は、「道案内」をするということは相手に「何かをしろという感じなので」、テモラウを使うことによって「相手からしてもらう」という感じにするというものであった。つまり、相手に命令しないように配慮し、むしろ相手に「そのとおりに行ってもらっていいですか」という表現意識からテモラウを用いて表現したということである。

最後に、以下の被験者J7 は日本語講師であるが、テモラウを用いて表現した被験者ではないが、調査員とのやり取りからテモラウを用いて表現する理由についての考えを提示したので、ここで紹介する。

(40)〔被験者「J7」とのやり取り〕

I7-1	希望駅までの行き方を教えて頂けませんか？宜しくお願ひ致します。
J7-1	希望駅に行かれるということですね。
I7-2	はい。
J7-2	あの～～目の前の空駅十字路がありますね。その空駅十字路を右に曲がってください。しばらく歩きますと、ゆめ銀行十字路があります。ゆめ銀行十字路を今度は左に曲がってください。すると、左側に希望駅があります。

I7-3	はい、ありがとうございます。次は、しゃぶしゃぶの食べ方を教えていただけませんか？
J7-3	しゃぶしゃぶの食べ方ですね。箸を使って、肉をとって、この鍋の中で、なんとか、お湯につけたりして、肉を暖めます。で、自分の小皿にソースをそえて味付けして食べます。
I7-4	ありがとうございます。先生、私、実は(中略)、道案内をするとき、ここをまっすぐ行ってもらってとか、右にまがってもらってとか、使うんじゃないですか。先生は使ったことないんですか？
J7-4	そうかもしれませんね。あの～～～ここまっすぐ行ってもらって、右に曲がってもらってとか言うかもしれませんね。
I7-5	そのもらうってどうして使うと思いますか？
J7-5	うん～～～何か、行ってください。曲がってください。っていうとちょっと命令してるような気がして命令する気がするので、その命令の口調を柔らかくするためかな～～～。

上記の日本語講師は今回の調査では一回もテモラウは使っていないが、普段はテモラウを使っていると、「命令表現にならないように」、「命令の口調を柔らかくするため」テモラウを使うかも知れないと回答しており、テモラウは丁寧に表現するために用いられるという意識を持っているということが分かった。

以上、被験者の回答からも、被験者は聞き手を意識して表現する傾向にあることが確認された。そして、「相手に命令したくない」という意識は、本来、相手が行う行動も、自分の行動であるかのような表現を用いようとするにつながり、「相手からしてもらおう」という感じにしたいとの意識は、相手にどうするか決定権があり、さらに自分には、その相手の行動により利益・恩恵が生じるというような表現につながる。つまり、話し手は聞き手に対して、まず待遇意識が生じ、この待遇意識の表現形式としてテモラウという表現が選択されたものであると考えられる。

6.6 「아/어 주다 (a/eo juda)」の機能

6.5 節では、「道案内」、「食べ方」でテモラウを用いて表現した被験者の答えから、テモラウを用いて表現した背景にある意識について考察を行った。

本節では、話し手に受益が生じない場面において用いられる、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の機能について、これまで述べられることがなかった新たな機能、つまり授受表現としての機能以外の機能をも担っていることを提起する。

第 2 章において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴として、「受益性」、「期待充足」があると述べた。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の主体は人や有情物である必要があるが、「꽃이 피 주었다(花が咲いてくれた)」のような表現は、「花」を擬人化して話し手と「花」との関係性を表すため比喩表現として「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現することは可能であることを確認した。さらに、話し手に受益が生じない場面において用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」については、「期待充足」という意味的特徴を表すと共に、話し手と聞き手との関係性を表わすために用いられるのではないかと述べた。

本節では、話し手に受益が生じない場面において用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」の新たな機能について述べる。話し手に受益が生じない場面において用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」文についての使用の自然さや理由について考察する。また、「길 안내 (道案内)」、「먹는 방법 (食べ方)」の場面では「아/어 주다 (-a/eo juda)」は現れなかったことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」が用いられた場面との比較分析を行う。

なお、本論文においては、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の新たな機能について提起することに留める。新たな機能についての詳細な解明には更なる研究が必要であり、それについては今後の課題としたい。

6.6.1 受益性のない「아/어 주다 (a/eo juda)」文

本研究が行った、「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」の調査において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現した被験者は一人もいなかった。そして、当該場面においては、殆どの被験者が敬語表現を用いて表現しているということが確認された。たとえば、「길 안내 (道案内)」についての答えは以下の通りである。

- (41) 현재위치에서 하늘역사거리까지 쪽 직진하시고 하늘역 7번 출구에서 우회전하시면 꿈은행을 보실 수 있으신데요, 거기서 좌회전하시면 희망역이 보이실 겁니다.

(現在位置から空駅十字路までまっすぐ直進されて、空駅7番出口から右折されると夢銀行を見られることが出来ると思うんですけど、そこで左折されると希望駅が見られると思います)

そこで、「길 안내(道案内)」の調査において敬語表現である「尊敬語」、「本動詞+요(-yo)」、「尊敬語+요(-yo)」の3つの中、1つでも用いて表現した被験者は50人中47人であったところ、その中30人に対して敬語表現を用いて表現した理由について聞き取り調査を行った。その結果、以下のような回答を得た。

- (42) 설명을 할 때 어른이니까 높임말을 써야죠.
(説明をする際、大人だから敬語を使わなければならないでしょう)
- (43) 모르는 사람이니까 높임말을 써야 된다고 생각해요.
(知らない人だから敬語を使わなければならないと思いました)
- (44) 뭔가 존칭을 써 줘야 할 거 같아서. 모르는 사람이잖아요. 처음 보는 사람인데 반말 할 수 없잖아요.
(何か敬語を使わなければならないと思って。知らない人でしょう。初めて会う人だから、ため口ではいけないでしょう)
- (45) 모르는 사람이니까 “내려가다가”라고 하면 저 보다 더 어린 사람한테 하는 얘기 같아서 처음 보는 사람이라 경어를 넣게 됐어요.
(知らない人ですから、「降りていって」って言うと私よりもっと年下に言うような気がして、初めて会う人だから敬語を入れることにしました)
- (46) 나보다 어른이라고 생각됐고 남이니까 존경의 의미로 사용한 거 같은데.
(相手が私より年上だと思っていて、ナム(他人/外の人)だから尊敬の意味で使用したような気がする)
- (47) 처음 보는 사람이니까 뭔가 예의를 갖추는 그런 의미?
(初めて会う人だから何か礼儀を持つというそのような意味)

(48) 뭔가 좀 친절해 보여서 그런 거 같은데요.

(何か少し親切に思える、そんな気がします)

上記のような被験者からの回答から共通するキーワードを抽出し、整理したところ、「처음 보는 사람 (初対面)」、「모르는 사람 (知らない人)」、「남 (他人)」、「상대 존중 (相手尊敬)」、「높임말, 존경 (敬語)」、「친절 (親切)」、「예의 (礼儀)」というキーワードに大きく整理でき、出現頻度もこの順に多かった。このような結果から、日本語のテモラウを用いた理由についての調査結果と類似していることが分かる。しかし、「자연스럽게 나왔어요. (自然に出ました)」、「그냥요. (別に/あまり考えずに)」のように、あまり考えずに自然に出たと答えた者は 26 人中 3 人しかおらず、殆どの被験者が、相手が「初対面だから」、「年齢が分からない知らない人だから」、「知らない人には尊敬語を使わなければならないので」などの明確な意識に基づいて回答している。つまり、「길 안내 (道案内)」、「먹는 방법 (食べ方)」について説明する際には、年齢などを知らない初対面の相手に対しては敬語表現を使うのが当然であると考えているようである。

一方、一部のメディアにおいては、話し手に受益が生じない場合においても、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現がみられるという実態を第 4 章で確認した。以下は、「ラジオ」番組の中で、アナウンサーがリスナーの質問に対して説明している場面であるが、以下のように「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。

(49) 동물성 기름때에는 소주를 이용해 주시는게 좋습니다. 마시고 남은 소주를 분무기에 담아서 바닥에 기름끼 묻은 곳에 뿌려 주고요 마른 걸레로 닦거나 신문지로 구겨서 닦아 주세요. 소주에 들어있는 에틸 알콜이 고기의 기름끼 같은 유기물을 잘 녹여 주고요 뿐만 아니라, 살균소독 냄새 제거하는 데도 효과적입니다. 주종이 소주가 아니라 맥주나 청주라도 이걸로 닦아 주시면 돼요. 바닥 기름 튄 곳에 밀가루를 골고루 뿌려 주고 밀가루가 기름을 흡수하면서 몽글몽글 멍치면 그 다음에 빗자루로 쓸거나 젖은 걸레로 닦아 줍니다. 기름병을 쏟았을 때도 밀가루를 뿌려서 주고 닦으면 끈적임 없이 깨끗해 집니다.

(直訳)動物性の油の汚れには焼酎を利用してあげるのがいいですね。飲み残しの焼酎を噴霧器に入れて、床に油がついたところに引っ掛けてあげてですね、乾いた

雑巾で拭いたり、新聞紙で磨いてください。焼酎に含まれているエチルアルコールが肉の油のような有機物をよく溶かしてくれてですね、それだけでなく、殺菌消毒、消臭にも効果的です。焼酎ではなく、ビールや清酒も、これで拭いてあげればいいですね。床に油がはねたところに小麦粉をまんべんなく引っ掛けてあげて小麦粉が油を吸収しながらグルグル固まったら、その次に箒で掃くか、濡れた雑巾で拭いてあげます。油のボトルをこぼした時も、小麦粉を掛けてあげて拭くと、べたつくことなくきれいになります。

(「뒤를 케는 여자」 2015 /1/9 삼겹살 구워 먹고 바닥이 미끌미끌할 때)

(「後を追う女」 2015 /1/9 焼肉の後の床掃除をする方法)

- (50) 꿀팩이 가장 좋았는데요, 꿀을 입술에 발라 주면 보습효과를 많이 가져옵니다. 꿀을 입술에 듬뿍 바르고요 랩을 입술을 거의 덮을 만한 크기로 잘라서 한 20분 동안 썩워 두는 거예요. 마무리로 립밤으로 마무리 해 주시면 좋습니다. 평소에 립밤이나 보습제를 발라 주고요. 보습제를 발라 줬는데도 거칠다면 각질 제거를 해 주는 것도 좋아요. 일주일에 한번 정도 샤워나 목욕을 하고 난 후 면봉을 이용해서 입술의 주름에 따라 잘 문질러 주면 되구요 아니면 스팀타올로 팩을 하고 나서 각질을 불린 다음에 문질러 주면 좋습니다. 입술을 잡아뜯거나 하시면 안 되구요 양치물이 묻지 않도록 조심해 주시고요.

(直訳) 蜂蜜が最も良かったんですが、蜂蜜を唇に塗ってあげれば保湿効果を多く取り入れられます。蜂蜜を唇にたっぷり塗ってですね、リップを唇をほぼ覆うほどの大きさに切って約 20 分間かぶせておくんです。仕上げにリップバブで仕上げてあげるといいです。普段リップバブや保湿剤を塗ってあげてですね。保湿剤を塗ってあげても堅いなら角質除去をしてあげるのもいいですね。週に 1 回ぐらい、シャワーや入浴をした後、綿棒を利用して唇のしわに沿ってよく磨いてあげるといいですね。あるいはスチームタオルでパックをしてから角質を磨いてあげるといいですね。唇をはがしたりしてはいけませんね。歯磨きの水がつかないように気をつけてくださいね。

(「뒤를 케는 여자」 2015 /1/7 겨울철 입술 촉촉하게 유지하는 방법)

(「後を追う女」 2015/1/7 冬の季節唇の潤いを維持する方法)

上記の(49)、(50)は、第 4 章で述べたように「아/어 주다 (-a/eo juda)」は省略可能であり、

「아/어 주다 (-a/eo juda)」の代わりに、以下のように敬語表現を用いて表現しても適格な文である。

(49) 〳 동물성 기름때에는 소주를 이용하시는 게 좋습니다. 마시고 남은 소주를 분무기에 담아서 바닥에 기름끼 묻은 곳에 뿌리고요, 마른 걸레로 닦거나 신문지로 구겨서 닦으세요. 소주에 들어있는 에틸 알코올이 고기의 기름끼 같은 유기물을 잘 녹이고요, 뿐만 아니라, 살균소독 냄새 제거하는 데도 효과적입니다. 주종이 소주가 아니라 맥주나 청주라도 이걸로 닦으시면 돼요. 바닥 기름 튄 곳에 밀가루를 골고루 뿌리고 밀가루가 기름을 흡수하면서 몽글몽글 멍치면 그 다음에 빗자루로 쓸거나 젖은 걸레로 닦습니다. 기름병을 쏟았을 때도 밀가루를 뿌리고 닦으면 끈적임 없이 깨끗해 집니다.

(直訳)動物性の油の汚れには焼酎を利用されるのがいいですね。飲み残しの焼酎を噴霧器に入れて、床に油がついたところに引っ掛けてですね、乾いた雑巾で拭いたり、新聞紙で磨いてください。焼酎に含まれているエチルアルコールが肉の油のような有機物をよく溶かしてですね、それだけでなく、殺菌消毒、消臭にも効果的です。焼酎ではなく、ビールや清酒も、これで拭けばいいですね。床に油がはねたところに小麦粉をまんべんなく引っ掛けて小麦粉が油を吸収しながらグルグル固まったら、その次に箒で掃くか、濡れた雑巾で拭きます。油のボトルをこぼした時も、小麦粉を掛けて拭くと、べたつくことなくきれいになります。

(50) 〳 꿀팩이 가장 좋았는데요, 꿀을 입술에 바르시고요. 보습효과를 많이 가져옵니다. 꿀을 입술에 듬뿍 바르고요, 랩을 입술을 거의 덮을 만한 크기로 잘라서 한 20분 동안 씌워 두는 거예요. 마무리로 립밤으로 마무리 하시면 좋습니다. 평소에 립밤이나 보습제를 바르세요. 보습제를 바르셨는데도 거칠다면 각질 제거를 하시는 것도 좋아요. 일주일에 한번정도 샤워나 목욕을 하고 난 후 면봉을 이용해서 입술의 주름에 따라 잘 문지르시면 되구요, 아니면 스팀타올로 팩을 하고 나서 각질을 불린 다음에 문지르시면 좋습니다. 입술을 잡아뜯거나 하시면 안 되구요, 양치물이 묻지 않도록 조심하세요.

(直訳)蜂蜜が最も良かったんですが、蜂蜜を唇に塗られてですね保湿効果を多く取り入れられます。蜂蜜を唇にたっぷり塗ってですね、リップを唇をほぼ覆うほどの大きさに切って約20分かぶせておくんです。仕上げにリップバブでお仕上げになるといいです。

普段リップバプや保湿剤を塗られてですね。保湿剤を塗られても堅いなら角質除去をされてもいいですね。週に1回程度、シャワーや入浴をした後、綿棒を利用して唇のしわに沿ってよく磨かれるといいですね。あるいはスチームタオルでパックをしてから角質を磨かれるといいですね。唇をはがしたりしてはいけませんね。歯磨きの水がつかないよう気をつけてくださいね。

それでは、このように「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」と「ラジオ」における調査において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の使用の有無が異なる結果となった理由は何か。つまり、「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」、「ラジオ」におけるアナウンサーの説明も、相手に「○○について説明してください/説明していただけますか」のように依頼された被依頼者における行為説明表現である。しかし、「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」では「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて説明した被験者が一人もいなかったのに対して、「ラジオ」のアナウンサーは、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を多用して説明している。同じ行為説明表現を用いる場面であるのに、このような異なる結果になったのはどのような理由に起因しているのだろうか。

その理由を解明する前に上記のような「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現はアナウンサーだけではなく普通の一般人も使っているのかどうかについて調べる必要があるものと考え。そこで、まず、上記の「ラジオ」のアナウンサーの「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現から「아/어 주다 (-a/eo juda)」を省略した表現あるいは「아/어 주다 (-a/eo juda)」の代わりに敬語表現を用いた表現を用意し、どちらがより自然な表現と思われるか、またその理由は何かについて普通の一般人を対象に調査を行った。以下の第6.6.2節で調査の結果の分析及び考察を行う。

6.6.2 「아/어 주다 (a/eo juda)」の機能に関する調査

6.6.2.1 調査の概要

まず、調査の概要について述べる。調査は、ソウル・仁川に居住している韓国語母語話者計41名を被験者として行った。調査方法は、質問紙に韓国語のラジオ番組である「後を追う女(詳細については第4章)」のアナウンサーが実際に発話した行為説明表現を用いて行っ

た。⁸⁹アナウンサーの実際の発話は以下の通りである。

(중략) 저는 김빠진 콜라를 자주 이용합니다. 김빠진 콜라를 변기 안 쪽을 적셔 가며 천천히 골고루 부으면 되구요 그대로 한 한 시간 정도 불려 줍니다. 그러면 콜라에 남은 발포 성분인 산이나 탄산성분이 때를 불려 주고요 석회수 자국도 없애 주거든요. 이대로 오래 두면 둘 수록 더 좋고요 시간이 지나서 중성 세제를 수세미에 살짝 묻혀서 닦아 주면 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.(中略)私は炭酸の抜けたコーラをよく利用しています。炭酸の抜けたコーラを便器の奥に濡らして、ゆっくりとまんべんなく注ぐといいですね。そのまま一時間ほどおいてあげます。これで、コーラに残った発泡成分である酸や炭酸成分が汚れを浮きあがらせてくれて、石灰水の跡もなくしてくれるんですね。このまま長く置けば置くほど、良いし、時間が経ってから、中性洗剤をスポンジに軽くつけて拭いてあげるとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。(筆者による直訳)

(「뒤를 캐는 여자」 2015 /1/7 변색된 변기를 세척방법)

(「後を追う女」 2015/1/7 変色されたトイレの便器を綺麗にする方法)

上記のアナウンサー(女性)の発話は変色されたトイレの便器を綺麗にする方法について説明する場面であるが、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。上記の「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現(以下、「아/어 주다 -a/eo juda 文」と以下の「아/어 주다 (-a/eo juda)」の代わり、敬語表現である「-(으)시(eu)si」を用いた表現(以下、「-(으)시(eu)si 文」)の2つを提示し、どちらが自然と思うのか、それともどちらも自然と思うのか、また、その理由は何かについて 調査を行った。

(중략) 저는 김빠진 콜라를 자주 이용합니다. 김빠진 콜라를 변기 안 쪽을 적셔가며 천천히 골고루 부으면 되구요 그대로 한 한 시간 정도 불리십니다. 그러면 콜라에 남은 발포 성분인 산이나 탄산성분이 때를 불리고요 석회수 자국도 없애 거든요. 이대로 오래 두면 둘 수록 더 좋고요 시간이 지나서 중성 세제를 수세미에 살짝 묻혀서 닦으시면 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.(中略)私は炭酸の抜けたコーラをよく利用しています。炭酸の抜けたコーラを便器の奥に濡らして、ゆっくりとまんべんなく注ぐといいですね。そのまま一時間ほどお置きになります。これで、コーラに残った発泡成分である酸や炭酸成分が汚れを浮きあがらせて、石灰水の跡もなくすんですね。このまま長く置けば置くほど、良いし、時間が経ってから、中性洗剤をスポンジに軽くつけてお拭きになるとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。(筆者による直訳)

⁸⁹ 調査に関する詳細は「参考資料Ⅲ」を参照されたい。

6.6.2.2 調査の結果

以下のような結果を得た。「아/어 주다 -a/eo juda 文」を選択した被験者が一番多く被験者 41 名中 22 名であった。次は、「-(으)시(eu)si 文」を選択した被験者は 13 名、「どちらも自然」を選択した被験者も 6 名いた。このような結果から、「-(으)시(eu)si 文」より「아/어 주다 -a/eo juda 文」の方が自然であることが分かった。

表 6-9 「아/어 주다 -a/eo juda」の自然さに関する調査

表現	被験者
「아/어 주다 -a/eo juda 文」の方が自然	22 名
「(으)시(eu)si 文」の方が自然	13 名
どちらも自然	6 名
計	41 名

それぞれの表現を選択した理由について聞き取りをしたところ、以下のような回答を得た。

1) 「아/어 주다 -a/eo juda 文」を選択した被験者の回答

- 친근감이 느껴진다(親近感を感じた)
- 「(으)시(eu)si」는 뭔가 반말식으로 들리고「아/어 주다-a/eo juda」는 설명서 같이 친절하기 때문에(「(으)시(eu)si」は何かため口に聞こえて、「아/어 주다(-a/eo juda)」は説明書のように親切だから)
- 상대방을 존중하는 말투와 약간 경험을 토대로 하는 것 같음(相手を尊重する言い方であり経験を基に話しているようで)
- 친절한 느낌이 들고 단순히 「~한다」 라고 하기 보다는 「~해 준다」라는 표현이 효과가 더 클 것 같은 믿음이 들 기때문에(親切な気がして、単純に「~する」とするよりは「~してくれる/~してあげる」という表現が効果がもっと大きい気がして信じられるから)
- 「아/어 주다 (-a/eo juda)」는 평소에 사용하는 말투이고 자세하게 설명하는 듯이 들리는데 「(으)시(eu)si」는 약간 명령식으로 들림(「아/어 주다 (-a/eo juda)」は普段使用している言い方であり、詳細に説明するように聞こえるが、「(으)시(eu)si」は少し命令に聞こえる)

- 「(으)시(eu)si」는 직접적인 것 같음. 「아/어 주다 (-a/eo juda)」는 간접적인 표현인 것 같다. 사람인 경우에는 「~을 해 주다」라는 표현이 쓰일 수 있으나 물건에는 좀 이상하다. 적절하게 섞어야 할 것 같은 기분이 든다. (「(으)시(eu)si」はストレートという感じで。「아/어 주다 (-a/eo juda)」は婉曲的な感じであるようだ。人の場合は「~をしてくれる/~をしてあげる」という表現が使われるが、物には少し変だ。適切に混ぜなければならぬような気がする)

「아/어 주다 -a/eo juda 文」を選択した理由は「아/어 주다 -a/eo juda 文」は「상대방존중(相手尊重)」、「설명하는데 적당한 표현(説明するのに適當表現)」、「친근감(親近感)」、「친절한 느낌(親切)」、「간접적 표현(間接的表現)」、「여성스러움(女性らしい)」、「부드럽다(柔らかい)」という気がしたからというものであった。また「아/어 주다 -a/eo juda 文」の方が「효과가 더 클 것 같은 믿음이 들 기때문에(効果をもっと大きい気がして信じられるから)」という理由から考えられることは、ここで用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「期待充足」という意味的特徴として用いられたのではないかと考えられる。これについての詳細は次節で述べる。

2) 「- (으) 시(eu)si 文」を選択した被験者の回答

- 「아/어 주다 (-a/eo juda)」는 물건에게 존칭을 쓰는 느낌이 들고 「(으)시(eu)si」는 사람에게 존칭을 쓰고 있는 느낌이 들었습니다(「아/어 주다 -a/eo juda 文」は物に敬語を使うような感じがし、「(으)시(eu)si 文」は人に敬語を使っている感じがしました)
- 「~주」가 붙으면 부탁하는 어투가 되는 듯 해서 안 붙여도 될 것 같다. (「~주 (~ju)」がつくとお願いする口調になるような気がして、「~주 (~ju)」を付けなくてもいいような気がする)
- 아나운서는 남자가 될 수도 있고 여성이 될 수도 있는데 「아/어 주다 (-a/eo juda)」는 여성스러움이 강조된 것 같구요, 「(으)시(eu)si」는 약간 딱딱함이 집중력을 향상시키는 것 같아요. 그래서 내용의 이해도가 커졌습니다.
(アナウンサーは男性になることもあり、女性になることもありますが、「아/어 주다 -a/eo juda 文」の文章では女性らしさが強調されたような気がしてですね、「(으)시(eu)

si文」の場合は、少し表現が硬くて集中力を向上させるような気がします。だから内容の理解度が大きくなりました)

- 「아/어 주다 (-a/eo juda)」문장은 김빠진 콜라의 역할을 높임말로 표현하고 변기를 닦는 사람의 행동을 낮춤말로 표현한 거 같고 「(으)시(eu)si」문장은 김빠진 콜라의 역할을 낮춤말로 표현하고 변기를 닦는 사람의 행동을 높임말로 표현했다고 생각해서 선택하게 되었습니다. (「아/어 주다 (-a/eo juda)」の文章は炭酸の抜けたコーラの役割は敬語で表現して、便器を磨く人の行動はため口で表現しているようで、「(으)시(eu)si」の文章は炭酸の抜けたコーラの役割はため口で表現し、便器を磨く人の行動は敬語で表現したと想着て選択しました)
- 「아/어 주다 (-a/eo juda)」문장은 물건에게 존칭을 쓰는 느낌이 들고 「(으)시(eu)si」는 사람에게 존칭을 쓰고 있는 느낌이 들었습니다(「아/어 주다 -a/eo juda 文」は物に敬語を使って表現している気がし、「(으)시(eu)si 文」は人に敬語を用いて表現している気がしました)

「(으)시(eu)si 文」を選択した理由は「딱딱한 표현(硬い表現)」、「직접적 표현(直接的表現)」、「“주다”가 부탁하는 어투라서 (「주다 juda」가頼むという語気だから)、「아/어 주다 (-a/eo juda)」는 물건에 존칭을 부쳐서(「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は物に対して敬語で表現しているから)」というものであった。このような理由から、「(으)시(eu)si 文」は「아/어 주다 -a/eo juda」文より硬い表現であり、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を物に使うのは変であることから、「(으)시(eu)si」のように敬語表現として用いられる可能性があると考えられる。

3) 「どちらも自然」を選択した被験者の回答

- 「아/어 주다 (-a/eo juda)」문장은 잘 모르는 사람에게 설명해 주는 것 같고, 「(으)시(eu)si」는 홈쇼핑에서 소개하는 거 같다.(「아/어 주다 -a/eo juda 文」は知らない人に説明してあげる気がし、「(으)시(eu)si 文」はホームショッピングで紹介している気がした)
- 「아/어 주다 (-a/eo juda)」 「(으)시(eu)si」모두 비슷한 것 같습니다. 「아/어 주다 (-a/eo juda)」문장은 부드러운 표현방식인 거 같다. 그래서 내 방식은 아니다. 내 방식은 「(으)시(eu)si」. (「아/어 주다 -a/eo juda 文」 「(으)시(eu)si 文」兩方似てい

るように感じます。「아/어 주다 (-a/eo juda)」は柔らかい表現のような気がする。それで私のスタイルではない。私のスタイルは「(으)시(eu)si 文」である)

- 둘 다 자연스럽긴 합니다. 하지만「아/어 주다 (-a/eo juda)」문장이 좀 더 친근한 설명이고 더 강한 느낌이 들어요. 「(으)시(eu)si」는 세련된 말투인 듯하나 명령어 같았어요.(両方自然ではあります。しかし、「아/어 주다 -a/eo juda 文」はもっと親切な説明のようでより強い印象です。「(으)시(eu)si 文」は洗練された言葉遣いのようで命令に感じます)

最後に、「どちらも自然」を選択した理由であるが、どちらの方が自然かと聞かれるとどちらも自然であるが、「아/어 주다 -a/eo juda 文」は柔らかい表現だから「-(으)시(eu)si 文」の方を好んで使っている(男性の被験者)というものであった。また、「아/어 주다 -a/eo juda 文」の方が親近感のある説明であり、「-(으)시(eu)si 文」は「명령어로 들린다(命令に聞こえる)」というものもあった。

今回の調査においては、アナウンサーが女性か男性かは被験者に知らせていなかったが、「아/어 주다 -a/eo juda 文」のアナウンサーは「女性」と思われるとの回答がみられ、「아/어 주다 -a/eo juda 文」は、女性らしく、柔らかい表現であると感じられているように思われる。このような「아/어 주다 (-a/eo juda)」のイメージから男性の被験者では好んで使われていないとの回答となったものと考えられる。今回の調査では男女の差違を考慮していなかったが、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の表現は男女で使い方に違いが見られるものと考えられ、それについては今後の課題としたい。

調査の結果を以下の表を用いて整理する。

表 6-10 「아/어 주다 (-a/eo juda)」文と 「-(으)시(eu)si」文の選択理由

「아/어 주다 (-a/eo juda)」文	「-(으)시(eu)si」文
<ul style="list-style-type: none"> • 상대방 존중(相手尊重) • 설명하는데 적당한 표현(説明するのに適當) • 친근감(親近感) • 친절한 느낌(親切) • 간접적 표현(間接的表現) • 여성스러움(女性らしい) • 부드럽다(柔らかい) 	<ul style="list-style-type: none"> • 딱딱한 표현(硬い表現) • 직접적 표현(直接的表現) • 명령(命令)

また、従来の先行研究においては、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いることにより、花や風のように自然物を擬人化し、比喩表現として用いられ、当該自然物に対する親近感を表すと述べているが(방운규 1994、노채환 2006)、今回の調査から、主体が自然物ではない場面においても「아/어 주다 (-a/eo juda)」が用いられることが確認された。そのような「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は親近感が感じられるという答えがあった。以下の用例を見てもらいたい。

(51) (변기를) 그대로 한 한 시간 정도 불려 줍니다.

(便器を) そのまま 一時間ほど置いてあげます。

(52) (변기를) 중성 세제를 수세미에 살짝 묻혀서 댄아 주면 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.

(便器を)中性洗剤をスポンジに軽くつけて拭いてあげるとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。

(53) 콜라에..... 남은 발포 성분인 산이나..... 탄산성분이..... 때를 불려 주고요,
석회수자국도 없애 주거든요.

コーラに残った発泡成分である酸や炭酸成分が汚れを浮きあがらせてくれて、石灰水の跡もなくしてくれるんですね。

(下線の.....は受け手と動作主の主体を表し、____は動作を表す)

(51)、(52)は便器を受け手にして日本語の「～てあげる」に対応する「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現しており、(53)は動作主をコーラにして「～てくれる」に対応する「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している。(53)の「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は「～てくれる」で表現すると非文にならないが、(51)、(52)の「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は「～てくれる」で表現すると不自然になる⁹⁰。しかし、上記(51)、(52)、(53)のような「아/어 주다 (-a/eo juda)」の使い方は韓国語では自然な表現であることが今回の調査からも確認された。

それでは、このような場面において用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は被験者からの答えの通り、親近感を表す意味的特徴を持っているのだろうか。結論から言うと、このような場面において用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は親近感を表すものとしては

⁹⁰ 日本語母語話者3人にこれらの表現の自然さについて聞いてみたところ、「～てくれる」は不自然だが、「～てあげる」は言えるかもしれないという答えだったが、「～てあげる」で言う場合は擬人化した表現かも知れないとのことであった。これらについては更なる考察が必要であると考え、今後の課題としたい。

なく「期待充足」の意味的特徴として用いられたものとする。

방운규(1994)は「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴の一つとして「期待充足」を挙げている。以下は第 2 章の先行研究で述べた「～てあげる」、「～てくれる」の意味を持つ「期待充足」を表す「아/어 주다 (-a/eo juda)」文である。まず、「～てあげる」の意味を持つ「아/어 주다 (-a/eo juda)」文から見てみる。

(54) 홍제동 화장터에서는 웃돈을 얹어 주어야 화부들이 화장한 뼈를 더 잘 뺩아 주지.

(ホンジェドン火葬場では足し金を上乘せしてあげると火夫達が骨をよりよく砕いてくれるのよ)

(54)は、火葬した骨をより細かくしてもらうためには、お金をもっとあげて火夫達を満足させなければならないという条件を「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現しており、このような場面で用いられた「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「期待充足」の意味を表すと述べている。しかし、(54)は話し手に受益が生じるとも解釈でき、「受益性」と「期待充足」両方の意味を持っている文であるとする。また、以下のように「아/어 주다 (-a/eo juda)」は省略可能だが、省略すると骨をよりよく砕いてくれるよう期待したかどうか、話し手に受益が生じたかどうかの確認が難しい文になる。

(54) 홍제동 화장터에서는 웃돈을 얹어야 화부들이 화장한 뼈를 더 잘 뺩지.

(ホンジェドン火葬場では足し金を上乘せると火夫達が骨をよりよく砕くのよ)

次は、「～てくれる」の意味を持つ「期待充足」を表す「아/어 주다 (-a/eo juda)」文である。

(55) 얘기를 쉽게 순산해 주었다.

(赤ちゃんを楽に産んでくれた)

(55)は、子供の安産という話し手の期待を満足させてくれたことを「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現したものと解釈できる。(55)も(54)と同じく話し手に受益が生じ、また「아/어

주다 (-a/eo juda)」は省略可能である。

上記のような「아/어 주다 (-a/eo juda)」における「期待充足」という意味的特徴という観点から、今回の調査対象であるラジオのアナウンサーの行為説明表現を分析すると、そこで用いられた「아/어 주다 (-a/eo juda)」は「期待充足」を表す表現として用いられたものと考えられる。つまり、「炭酸の抜けたコーラを便器の奥にぬらす」、「ゆっくりとまんべんなく注ぐ」、「そのまま1時間ほどおいておく」、「中性洗剤をスポンジに軽くつけて拭く」などの行動をする理由は、「変色されたトイレの便器が綺麗になる」という期待からのものであり、それを「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現したものと考えられる。

アナウンサーの行為説明表現を(54)のように条件文にすると「期待充足」表現として用いられたことがより分かりやすくなる。

(56) 시간이 지나서 중성 세제를 수세미에 살짝 묻혀서 닦아야 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.

時間が経ってから、中性洗剤をスポンジに軽くつけて拭くとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。

また、アナウンサーによる行為説明表現は「아/어 주다 (-a/eo juda)」が省略可能であることは(54)、(55)の用例と同じであるが、相違点もある。つまり(54)、(55)では話し手に直接的な受益が生じるが、アナウンサーによる行為説明表現ではアナウンサーには直接的な受益が生じるわけではない。また、(54)の「～てあげる」は話し手に受益が生じるため、本研究の対象である待遇表現を表すテモラウとは異なり、(55)は「～てもらう」⁹¹と訳せるけれども、話し手に受益が生じるので待遇表現として用いられるテモラウとは相違点がある。

そこで、話し手に直接的な受益が生じない「期待充足」の意味を表すアナウンサーによる行為説明表現と本研究の対象である待遇表現の機能を担っているテモラウとの対応関係を見てみる。「～てあげる」に対応する「아/어 주다 (-a/eo juda)」文と、「～てくれる」に対応する「아/어 주다 (-a/eo juda)」文をテモラウに対応させると以下ようになる。

⁹¹ 本研究の対象である待遇表現として用いられるテモラウと区別するため、便宜上「～てもらう」と表記する。

(51) (변기를) 그대로 한 한 시간 정도 불려 줍니다.

(便器を) そのまま 一時間ほど置いてもらいます。

(52) (변기를) 중성 세제를 수세미에 살짝 묻혀서 닦아 주면 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.

(便器を) 中性洗剤をスポンジに軽くつけて拭いてもらうとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。

(53) 콜라에 남은 발포 성분인 산이나 탄산성분이 때를 불려 주고요, 석회수자국도 없애 주거든요.

*(코라に残った発泡成分である酸や炭酸成分が汚れを浮きあがらせてもらって、石灰水の跡もなくしてもらうんですね。

(51) 、(52) は(51)、(52)のように「～てあげる」に訳すと座りの悪い文になるが、テモラウに訳すと自然な文になる。一方、(53) は(53)のように「～てくれる」に訳すと自然な文であるのに対してテモラウに訳すとおかしい文になってしまう。

つまり、話し手に受益が生じない「期待充足」の意味を表す「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は「～てあげる」の意味を持つもの、「～てくれる」の意味を持つものの 2 つ存在している。「～てあげる」の意味を持つものは「～てあげる」に訳すと不自然な文になるが、待遇表現として用いられるテモラウにすると自然な文になる。一方、「～てくれる」の意味を持つ「아/어 주다 (-a/eo juda)」文は「～てくれる」とは対応するが、テモラウとは対応できないことが分かる。

以上「아/어 주다 (-a/eo juda)」の「期待充足」の意味について、話し手に受益が生じるものと、生じないものの 2 つに分けて、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の日本語の意味、省略の可否、テモラウとの対応関係について確認した。それを表にまとめると以下の〈表 6-11〉のようになる。

表 6-11 期待充足を表す「아/어 주다 (- a/eo juda)」

区分	対応関係			
	受益性有		受益性無	
日本語の意味	～てあげる	～てくれる	～てあげる	～てくれる
省略の可否	○	○	○	○

テモラウとの対応	×	○	○	×
----------	---	---	---	---

〈表 6-11〉は「아/어 주다 (-a/eo juda)」の「期待充足」の意味について整理したものである。その中、網掛けの部分は、話し手に直接的な受益が生じない、「아/어 주다 (-a/eo juda)」文の中、日本語では「～てあげる」の意味を持つ、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は省略可能であり、また日本語のテモラウとは対応できるということを表している。

6.6.2.3 調査の考察

「아/어 주다 (-a/eo juda)」に関する調査によって、受益性のない、そのため省略が可能である「아/어 주다 (-a/eo juda)」文が存在することを確認した。アナウンサーがそのような「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現する理由は、聞き手であるリスナーとの関係性を構築するためであると考えられる。今回の被験者からの回答からも分かる通り、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は親近感、親切、柔らかいというイメージを持つ表現である。このような表現は相手を意識した表現であり、相手を意識しなければ親近感などを表す必要もないだろう。このような「아/어 주다 (-a/eo juda)」の特徴を利用し、アナウンサーはリスナー⁹²によるそれぞれの動作によってアナウンサーにも受益が生じるかのように「아/어 주다 (-a/eo juda)」が持つ受益性という意味的特徴を利用しつつ、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の親近感、親切、柔らかいというイメージによるリスナーとの関係性を表現するために「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現したものと考えられる。

それでは、「길 안내(道案内)」や「먹는 방법(食べ方)」において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現が一つも現われなかった理由は何か。現段階においては以下のように考えている(より詳細な調査、検討が必要であり、これについては今後の課題としたい)。

先行研究によれば、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の基本的な性格として、関係性や行為の方向性の限定を持っているとされている(노채환 2006)。「길 안내(道案内)」と「먹는 방법(食べ方)」という場面においては、依頼者と被依頼者という関係性も既に構築されており、また行為の方向性も限定されていることから、説明者、つまり被依頼者において、相手との関

⁹² 韓国ではリスナーのことを「애청자(愛聴者)」、「애청자 가족(愛聴者家族)」と呼んでいる。

係性を構築したり相手を限定する必要性が生じない。そのため、関係性や方向性の限定を意味する「아/어 주다 (-a/eo juda)」を使う必要はなく、むしろ、使わない方が自然であるのではないかという考えである。一方、「ラジオ」では、アナウンサーはそもそも不特定多数を相手に発話するため、リスナーとの間に係性を構築したり、方向性を限定したりすることにより、リスナーとの間に親近感を醸成する必要があることから、アナウンサーは「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いるのではないかと考えられる。

以上のことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」も授受表現の機能だけではなく、本研究の対象であるテモラウと同じく、依頼されてきた聞き手を意識した待遇表現としての機能をも担っているのではないかと考えられる。それは、<表 6-11>からも分かる通り、受益性のない、かつ省略可能な「期待充足」の意味で用いられる、「아/어 주다 (-a/eo juda)」文の中、「～てあげる」の意味を持つ、「아/어 주다 (-a/eo juda)」はテモラウに対応しており、その「아/어 주다 (-a/eo juda)」文こそがテモラウと同様待遇表現として用いられるものとする。

6.7 まとめ

本章では、「道案内」と「食べ方」の調査において、テモラウを用いて表現した理由について被験者から直接聴取した結果を分析、考察し、テモラウが待遇表現としての機能を有していることを明らかにした。

従来の研究は、授受表現は対人関係を意識し、相手に配慮するための表現としての機能をも担っているということについては言及しているが、被験者から授受表現を用いて表現した理由を直接聴取し、テモラウの待遇表現としての機能について分析したことは初めての試みと思われる。また、話し手に受益が生じない場面においてテモラウ文に焦点を当てた研究は寡聞にして知らない。

「道案内」や「食べ方」という説明行為表現は、依頼に対して説明してあげるという表現であることから、本来は蒲谷の行動展開表現の9種類のうちの「忠告・助言・勧め表現(「AAA」)」と同様の「AAA」というパターンに該当するものである。しかし、テモラウを用いることにより、この「AAA」というパターンを、蒲谷の9種類のうちの「依頼表現」と同様の「AAJ」という、より丁寧な表現パターンに変えているということが分った。さらに、蒲谷の「待遇コミュニケーション」に関する「意識」の段階と「形式」の段階という考えに基づいて、話し手に直接的な受益が生じない場合でもテモラウを用いて表現する話し手の意識等を分析した。その結果、当該話し手の意識

は「相手が初対面であることから、命令をしたと思われたくないこともあり、相手に何らか配慮する気持ちで、丁寧な表現をすべきと、また敬語表現を使うべきと考えて」というようなものであり、この意識の表出として「テモラウやテイタダクで表現した」というものであった。

行為説明表現における話し手に受益が生じない場合でも用いられるテモラウ文は、説明を求めた初対面の人に対してより丁寧に接したい等の話し手の意識により選択された表現形式、つまり待遇表現であることが明らかになった。それに加え、待遇意識と待遇表現との連動性についても明らかになったものとする。

また、韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」についても本研究の対象であるテモラウと同様な機能をも担っているのではないかと考えた。従来の研究は「아/어 주다 (-a/eo juda)」について受益性を表す表現として用いられるという意味的特徴については言及している。しかし、受益性のない場合においても「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現している現状が確認された。そのような場面で用いられる「아/어 주다 (-a/eo juda)」は受益を表す表現として用いられるわけではなく、話し手と聞き手とのある種の関係性を表すためであり、その関係性は対人関係を意識したものであると考える。このような「아/어 주다 (-a/eo juda)」はテモラウと同じく待遇表現である、と現段階においては言い切れないが、そのような機能を有しているのではないかと提起するものである。

第7章 全体のまとめ及び今後の課題

7.1 本研究の全体のまとめ

本章では、本研究の全体のまとめと残された課題について述べる。

第1章では、本研究の問題提起について述べた。テモラウに関する従来の殆どの研究は、話し手や話し手側に受益が生じる場面で用いられるテモラウ文が対象となっているが、話し手に受益が生じない場合でもテモラウが用いられる現象がみられることを問題提起し、そのようなテモラウ文について研究すべき対象として紹介した。話し手に受益が生じない場合に、話し手がテモラウを使っている理由は何だろう。それは、テモラウに本来の機能とは異なる何らかの機能があるのではないかという疑問から、以下の3つの課題を設定し検証した。

- ・課題Ⅰ：韓国語の授受表現と対応しないテモラウ文を韓国語ではどのように表現するのを明らかにする。また、そのようなテモラウ文について韓国人日本語学習者の使用状況を把握し、韓国人日本語学習者に対する教育現場にフィードバックし、学習効果に寄与する。
- ・課題Ⅱ：行為説明表現における日韓両言語の表現形式の類似点及び相違点を明らかにする。
- ・課題Ⅲ：行為説明表現においてテモラウを用いて表現する具体的な理由を調査し、テモラウの機能を明らかにする。

また、本研究の意義を3つの観点から述べた。1番目として、日韓両言語の対照研究の観点からの意義について述べた。次に2番目として、テモラウ文の機能という観点からの意義について、3番目として、日韓両言語の将来における変遷という観点からの意義について述べた。

第2章では、まず、テモラウの基本的な特徴を確認するため、テモラウ文に関する従来の研究

について概観した。

テモラウ文に関する従来の研究は、意味論的な観点から、ある行為における受益の与え手と受け手を中心に述べているもの、また、構文論的な観点から、他の授受表現に言い換えが可能なもの、つまりテクレルに交換可能なテモラウ文を中心に述べているものが殆どであることについて述べた。また、他の文法範疇であるヴォイスやモダリティ表現との比較を通じて、テモラウ文は当該の動作との積極性と関わり性(当該の動作に関わりたい、関係を持ちたい)に強い意味を持っているということから、他の文法範疇と言い換えが可能な場合には、テモラウを頻繁に使われている、というような研究が多いことについて述べた。そこで、本研究の研究範囲として、従来の研究を踏まえた上で、①受け身や使役表現とは言い換えが不可能、②テクレルとも言い換えが不可能、③省略が可能、④文中に現れるテモラウ文を中心に考察することとした。

また、テモラウに対応する韓国語の授受表現に関する先行研究についても概観した。韓国語の授受表現である「아/어 주다 (-a/eo juda)」の意味的特徴は、①受益性、②期待充足であり、これらを持つ用例を日本語の授受表現を用いて訳してみたところ、日本語の「～てあげる」、「～てくれる」、「～てもらおう」といういずれの授受表現でも対応可能であることが確認された。また、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の主語は有情物しか共起できず、無情物や自然現象とは共起不可能であることを確認した。ただし、「꽃이 피 주었다(花が咲いてくれた)」のような表現は、「花」を擬人化して話し手と「花」との関係性について比喩表現として表わすことは可能であるということが分かった。さらに、「아/어 주다 -a/eo juda」は、話し手と聞き手との関係性を表わす機能を担っているということを確認した。そして、テモラウと違って、「아/어 주다 (-a/eo juda)」については、ヴォイスやモダリティ表現との対応関係に関する研究が殆どなく、授受表現については日本語の方が韓国語より幅広く研究されていることを述べた。

第3章では、テモラウ文について行った予備調査の結果を述べた。まず、コーパスによる調査結果から、日本語では授受表現であるテモラウを用いている表現を韓国語では授受表現以外のものを用いて表現する傾向があることが分かった。

日本語母語話者は、話し手に直接的な受益が生じない場面、つまり「第3者への依頼表現」、「第3者への願望表現」、「聞き手への許可表現」においても、テモラウをよく使っていることが分かった。一方、話し手や話し手側に直接的に受益が生じない場面においては、韓国人日本語学習者はテモラウを殆ど用いていないことが判明した。このような場面においてテモラウを用いて表現しない理由の一つとして、韓国語の影響が考えられた。つまり、韓国語では「第3者への依頼

表現」、「第3者への願望表現」、「聞き手への許可表現」のような表現には授受表現を用いての表現ではなく、より直接的な依頼、願望、許可それぞれの表現を用いて表現するためであると考えられた。また、韓国語でもこのような表現においては「아/어 주다 (-a/eo juda)」が殆ど使われていなかったが、このことがその理由であると考えられた。

さらに、話し手に直接的な受益が生じない場面においても、テモラウ文を用いた表現を選択した日本語母語話者の回答から、テモラウは、聞き手または第3者に対して配慮したいという話し手の気持ちから使われているのではないかという仮説が立てられた。

予備調査により、本研究の対象であるテモラウの機能についてのこの仮説を検証するには、テモラウの文法的及び意味的な観点ばかりではなく、その言語形式を用いた話し手の気持ち(表現意識)に焦点を当て、考察する必要があるということが分かった。

第4章では、メディアに現れるテモラウ文と「아/어 주다 (-a/eo juda)」文について調査し、その特徴について分析した結果を述べた。

「テレビ」、「ラジオ」の「インタビュー」と「ショップ」で使われたテモラウ文について受益性という観点から、①話し手に直接的に受益が生じるもの、②話し手には受益が生じないもの、の2つに大きく分類した。ただし、②の中には、間接的には話し手に受益が生じるのではないかと考えられるものがあることから、そのようなものを③と分類した。①を直接テモラウ文、②及び③を間接テモラウ文と呼んで区分し、考察した。

まず、「テレビ」と「ラジオ」の「インタビュー」調査結果に基づき、テモラウを形態別に分類したところ、23種類の形態のテモラウ文が現れた。そのうちでは、テモライタイが一番多く現れ、全体的には直接テモラウ文の方が間接テモラウ文より多く現れた。しかし、テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイの3種類の形態では間接テモラウ文の方が直接テモラウ文より多く現れた。これにより、話し手に受益が生じない、かつテモラウを省略しても文として適格である場合でも、話し手側から、テモライタイ、テモラッテ、テモラエマス、テモラッテイのような表現が多用されていることが分かった。

そして、「ショップ」を対象に行った調査においても、話し手に受益が生じない場面においてもテモラウが用いられるということが分かった。「テレビ」と「ラジオ」の「インタビュー」、「ショップ」のいずれについても、テモラウ文は、話し手に受益が生じない場面においても用いられるということが確認されたが、「インタビュー」と「ショップ」での相違点も見つかった。「テレビ」と「ラジオ」の「インタビュー」では、直接テモラウ文が、間接テモラウ文よりも多く現れたが、「ショップ」では、それと

反対に間接テモラウ文の方が多く現れた。それは「インタビュー」と「ショッピング」の場面が有するそれぞれの性格の違いによるものであると考えた。つまり、「ショッピング」では視聴者である聞き手は商品の潜在的な客であることから、話し手であるキャスターやバイヤーは最も高いレベルの敬語表現を使わなければならないという場面であり、一方、「インタビュー」はそのような必要性はないものである。そのような考察から、テモラウは授受表現としてではなく、待遇表現として用いられているのではないかという主張を行った。

また、第4章では、韓国のラジオ番組を対象に調査を行い、テモラウ文と「아/어 주다 (-a/eo juda)」文の比較分析を行った。番組はリスナーの質問を受けてアナウンサーがそれについて説明するという内容のものである。調査の結果、当該番組においては、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、韓国の「ショッピング」を対象に以前に行った調査に比べ、より多く出現していることが分かった。また、文中と文末に焦点を当てて詳細に分析した結果、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は省略しても文法的に適格的な文であり、意味的にも問題がない場合でも使われているということが確認された。このようなことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」もテモラウと同様授受表現としての機能だけではなく、他の機能をも担っているのではないかと考えられた。また、文末で使われている「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、行為を説明する表現では、「아/어 주세요-a/eo juseyo」のように命令形にしても適格であると考えられるが、そのような表現は見当たらなかった。このような結果から、韓国語においても日本語と同様、行為を説明する場面において、命令形を用いて表現することに抵抗感があるのではないかと考えた。つまり、本来、ある事柄について説明する場面においては話し手に受益が生じるわけではない。しかし、「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現することにより、動作主の行為によって、まるで話し手に受益が生じたかのような表現になり、これにより「아/어 주다 (-a/eo juda)」は聞き手に対する配慮をする気持ちを表現しているのではないかと考えた。そのようなことから命令形でも表現しないのではないかと考えられた。なお、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、主体が相手の身体の場合(例えば、足裏など)に用いられるだけではなく、物の場合(例えば、魔法瓶やコーラなど)にも用いられていることを確認した。

第5章では、テモラウ文が実際の言語生活の中ではどのように使用されているのかについての調査及び結果に対する考察について述べた。

調査は、初対面の人から、「道案内」、「食べ方」について聞かれ、それに答えるという場面を設定し、被依頼者からの発話を中心に行った。被依頼者は、道を案内したり、食べ方を教えるという立場であることから、「まっすぐ行く」、「曲がる」、「しゃぶしゃぶする」、「つける」などの動

作をする側ではなく、それらの行動は、依頼をしてきた聞き手、つまり相手が行うものである。また、教えたとおりに行動に移すかどうかの決定権も相手にある。さらに、その行動によって受益が生じる側も相手である。つまり、このことを蒲谷(1998、2013)の行動展開表現における類型に関する研究に当てはめると、構造的には「AAA」という構造の類型となる。このような場面においては、受益は話し手である自分ではなく依頼した相手に生じることから、被依頼者は依頼者に対し、それほど高い敬語表現を使う必要のない場面である⁹³。このような場面において、日本語母語話者はどのような形態で、どのような意識(気持ち)を持って表現しているのか。また、韓国語では同様な場面においてどのように表現しているのか、調査を行った。

日本語母語話者の結果をまとめると以下の通りである。

- 1) 「道案内」では、被験者 52 人中 40 人が少なくとも一回は「授受補助動詞」であるテモラウやテイタダクを使っていた。
- 2) 形態別にみると、「本動詞」が一番多く現われており、「授受補助動詞」は「本動詞」に比べてそれほど多くはなかった。
- 3) 尊敬語は現われておらず、「～ます」を付けての「丁寧表現」が少数ではあるが現われた。
- 4) 「食べ方」は「道案内」と比べてテモラウやテイタダクはあまり出現せず、52 人中 17 人しか用いていなかった。
- 5) 形態別でみると、「道案内」と同じく「本動詞」が一番多く現われており、「授受補助動詞」、「丁寧表現」の順で現われた。
- 6) 「道案内」と「食べ方」においては、テモラウやテイタダクの出現頻度に大きな差が生じたという結果から、テモラウは場面によってテ使用方法に何らかの違いがあることが分かった。

⁹³ 国立国語研究所は、同研究所が行った『敬語と敬語意識』における調査では、「医者に往診を頼む」「買いつけの店に荷物を預ける」「電報局で電報用紙をもらう」「道教え」等 12 の場面を設定している。その中で、被験者らは、「医者に往診を頼む」場面が一番敬語を使わなければならない場面であり、「魚つりの少年に釣れるかどうか尋ねる」場面を丁寧さの順位としては一番低い場面と答えており、「道教え」は 11 番目に低いものであった。つまり、初対面の人に道を尋ねられた場面ではそれほど丁寧な対応はする必要がないという意識であった。

次に、韓国語母語話者を対象に行った「道案内(길 안내)」と「食べ方(먹는 방법)」についての調査及び結果の考察について述べた。調査では、「道案内(길 안내)」と「食べ方(먹는 방법)」のいずれにおいても「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現が一つも現れなかった。そのため、被験者の表現を、a.「本動詞」、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」のように形態別に分けて分析を行った。a「本動詞」とは、「가다(=行く)」、「돌다(=曲がる)」、「건너다(=渡る)」、「하다(=する)」を用いて、日本語のテ形に対応する「~고-go」、「~어다가-eo daga」、「~어서-eseo」、タラ形、ト形に対応する「~(으)면-(eu) myeon」がついた形のことであり、b.「尊敬語」とは、それぞれの動詞に尊敬語を表わす「(으)시(eu)si」がついた形である。また、c.「本動詞+요(-yo)」は、aの形に丁寧を表わす「요(-yo)」がついた形であり、d.「尊敬語+요(-yo)」はbの尊敬語に「요(-yo)」がついた形のことである。分析の結果、以下のことが分かった。

- 1) 「道案内(길 안내)」では、被験者 50 人中 47 人が少なくとも一回は敬語表現である、「尊敬語」、「本動詞+요(-yo)」、「尊敬語+요(-yo)」を用いて表現していた。
- 2) 形態別にみると、a.「本動詞」、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」を混ぜて表現しており、このような特徴は日本語の調査結果と類似している。つまり、「本動詞」だけでも表現できるということは、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」などの敬語表現は使わなくてもいい(省略可能)ということである。さらに、文末に焦点を移して観察してみると、文中においては a.「本動詞」だけ使っていた被験者でも文末には敬語表現を用いて、全体を通して丁寧に表現していることが分かった。このような特徴も日本語と同じ結果である。
- 3) 「道案内(길 안내)」では、b.「尊敬語」が一番多く現れ、次いで a.c.d の順に現れた。
- 4) 「食べ方(먹는 방법)」では、「道案内(길 안내)」と比べ、b.「尊敬語」、c.「本動詞+요(-yo)」、d.「尊敬語+요(-yo)」の敬語表現はあまり用いられておらず、被験者 50 人中 13 人しか現れなかった。
- 5) 形態別にはみると、「本動詞」が一番多く現れた。しかし、「道案内(길 안내)」と類似点も多く、同じ被験者の答えの中には、a~d を混ぜて表現していること、文中においては「本動詞」で表現していても文末においては丁寧な表現である、「드시면 됩니다(召し上がっても大丈夫です)」、「드시면 될 거 같아요(召し上がってもいいと思います)」、「드시면 되겠습니다(召し上がればいいます)」を使っており、全体を通して丁寧に表

現していることが分かった。このような特徴は日本語の調査の結果とも類似している。

- 6) 文末との関係を分析した結果、韓国語の敬語表現の特徴上、文末が敬語表現であれば、文中にまで敬語表現は使わなくても文としては適格であるが、被験者は文中にまで、b.「尊敬語」、c.「本動詞＋요(-yo)」、d.「尊敬語＋요(-yo)」で表現していることが確認できた。

日韓両言語における「道案内」と「食べ方」についての調査の結果から、日本語母語話者は、自分に受益が生じない場面においても、テモラウやテイタダクを用いて、まるで自分に受益が生じるかのように表現を多用する傾向が強いということが分かった。一方、韓国語母語話者は、授受表現は使わず、その代わりに、敬語表現を用いて表現する傾向が強いということが分かった。

第6章では、第5章での「道案内」と「食べ方」の両場面における調査において、テモラウを用いて表現した理由について、被験者からの直接聞き取り調査を行った。テモラウを用いた理由を意識化させ、整理することによりテモラウの待遇表現としての機能を明らかにした。

従来の研究では、授受表現は対人関係を意識し、相手に配慮するための配慮表現、敬語表現、待遇表現としての機能をも担っているということについては言及している。しかし、被験者から授受表現を用いた理由を直接聞き取り、それについて分析し、考察したことは初めての試みと思われる。また、話し手に直接的な受益が生じない場面において用いられるテモラウ文に焦点を当てた研究は寡聞にして知らない。

「道案内」や「食べ方」という行為説明表現は、ある依頼に対して説明するという表現であることから、本来は蒲谷の行動展開表現の9類型のうちの「忠告・助言・勧め表現(「AAA」)」と同様の「AAA」というパターンに該当するものと考えられる。しかし、テモラウを用いることにより、この「AAA」というパターンを、蒲谷(1998, 2013)の9類型のうちの「依頼表現」と同様の「AAJ」という、より丁寧な表現パターンに変えているということが分かった。さらに、蒲谷の「待遇コミュニケーション」に関する「意識」の段階と「形式」の段階という考えを参考に、話し手に直接的な受益が生じない場合でもテモラウを用いて表現する話し手の意識を分析した。その結果、該当する被験者全体の大まかな意識は「相手が初対面であることから、命令をしたと思われたくないこともあり、相手に何らかの配慮する気持ちで、丁寧な表現をすべきと、また敬語表現を使うべきと考えて」というようにまとめることができる。そして、このような意識の表出として「テモラウやテイタダク

を用いた」というものであったと考えられる。

行為説明表現において話し手に受益が生じない場合でも用いられるテモラウ文は、説明を求めた初対面の人に対して丁寧に接したい等の話し手の意識により選択された表現形式、つまり待遇表現であることが明らかになった。それに加え、待遇意識と待遇表現との連動性についても明らかになったと考えるものである。

一方、韓国語については、「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」の調査において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いて表現した被験者は一人もおらず、殆どの被験者が敬語表現を用いて表現しているということが確認された。

敬語表現である「尊敬語」、「本動詞+요(-yo)」、「尊敬語+요(-yo)」の3つの中、1つでも用いて表現した被験者 30 人に対して敬語表現を用いて表現した理由について聞き取り調査を行った。その結果、「처음 보는 사람(初対面)」、「모르는 사람(知らない人)」、「남(他人)」、「상대존중(相手尊敬)」、「높임말, 존경(敬語)」、「친절(親切)」、「예의(礼儀)」というような回答を得た。このような結果から、日本語のテモラウを用いた理由についての調査結果と類似していることが分かった。しかし、日本語母語話者がテモラウを無意識的に用いているのと異なって、敬語表現を意識的に用いていた。相手が「初対面だから」、「年齢が分からない知らない人だから」、「知らない人には尊敬語を使わなければならないので」など、「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」について説明する際には、年齢などを知らない初対面の相手に対しては敬語表現を使うのが当然であると考えているようである。

また、一部のメディアにおいては、「길 안내(道案内)」、「먹는 방법(食べ方)」の場面と同じく行為説明表現を用いる場面、つまり話し手に受益が生じない場面でも、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現が多くみられたため、その理由を解明すべく調査を行った。調査は、「ラジオ」のアナウンサーの「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現と、その表現から「아/어 주다 (-a/eo juda)」を省略した表現あるいは「아/어 주다 (-a/eo juda)」の代わりに敬語表現「-(으)시(eu)si 文」を用いた表現を用意し、この2つの表現を比べて、どちらがより自然な表現と思われるか、またその理由は何かについて普通の一般人を対象に聞き取りをするという方法であった。

その結果、「아/어 주다 -a/eo juda 文」を選択した被験者が一番多く、全体の被験者 41 名中 22 名であった。次に、「-(으)시(eu)si 文」を選択した被験者が 13 名いた。なお、「どちらも自然」とした被験者も 6 名いた。このような結果から、「-(으)시(eu)si 文」より「아/어 주다 -a/eo juda 文」の方が自然であることが分かった。被験者から聞き取りをしたところ、「아/어

주다 (-a/eo juda)」文は「상대방 존중(相手尊重)」、「설명하는데 적당한 표현(説明するのに適当な表現)」、「친근감(親近感)」、「친절한 느낌(親切)」、「간접적 표현(間接的表現)」、「여성스러움(女性らしい)」、「부드럽다(柔らかい)」という気がしたからというものであった。

それでは、「길 안내(道案内)」や「먹는 방법(食べ方)」において、「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いた表現が一つも現われなかった理由は何か。先行研究によれば、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の基本的な性格として、関係性や行為の方向性の限定を持っているとされている(노채환 2006)。「道案内(길 안내)」と「食べ方(먹는 방법)」という場面においては、依頼者と被依頼者という関係性も既に構築されており、また行為の方向性も限定されている。そのようなことから、説明者、つまり被依頼者において、相手との関係性を構築したり相手を限定する必要性が生じないため、関係性や方向性の限定を意味する「아/어 주다 (-a/eo juda)」を使う必要はなく、むしろ、使わない方が自然であるのではないかと考えられる。一方、「ラジオ」では、アナウンサーはそもそも不特定多数を相手に発話するため、リスナーとの間に関係性を構築したり、方向性を限定したりすることにより、リスナーとの間に親近感を醸成する必要があることから、アナウンサーは「아/어 주다 (-a/eo juda)」を用いるのではないかと考えられる。

以上のことから、「아/어 주다 (-a/eo juda)」も授受表現の機能だけではなく、本研究の対象であるテモラウと同じく、依頼されてきた聞き手を意識した待遇表現としての機能をも担っているのではないかと考えられる。

以上、本研究では、テモラウの新たな機能を明らかにするため、いくつかの調査を行うとともに、いくつかの視点から分析を試みた。それをまとめると以下の表の通りになる。

表 7-1 「行為説明表現」における授受表現の日韓対照研究

調査	場面	受益性	日本語	韓国語
コーパス調査	①第三者への「命令」を表すテモラウ (とにかくこのステージには合わないわ。直ちに降りてもらって)	有	テモラウ	×「아/어 주다-a/eo juda」 命令表現 빨리 내려 오라고 해 (早く降りて来いって)
	②話し手の「意志」を表すテモラウ (あしたの大和の市でひともうけさせてもらわにゃ)	有	テモラウ	×「아/어 주다 a/eo juda」 意志表現 많이 벌어야겠다 (沢山儲からなければ)
	③聞き手の受益を表すテモラウ (でいったい誰に育ててもらったんだ!)	有	テモラウ	○「아/어 주다 a/eo juda」 누가 길러줬지? (だれが育ててあげた?)
	④「許可」を求める場合のテモラウ (部屋を見せてもらえますか)	有	テモラウ	○「아/어 주다 a/eo juda」 방 좀 보여줄 수 있어요? (部屋を見せてくれますか)
韓国人日本語学習者に対する調査	⑤第3者への依頼表現 (先生に推薦状を書いてもらってきてください)	間接的有	テモラウ	×「아/어 주다 a/eo juda」 命令表現 추천서를 가지고 오세요 (推薦状を持ってきてください) 本動詞(-받다 batda) 추천서를 받아 오세요 (推薦状をもらって来てください)
	⑥第3者への願望表現 (真央ちゃんには是非頑張ってもらいたいですね)	間接的有	テモラウ	×「아/어 주다 a/eo juda」 命令表現 열심히 하세요. (頑張ってください) 願望表現 열심히 하길 바랍니다. (頑張ることを祈ります)
	⑦聞き手への許可表現 (先に帰ってもらっていいよ)	無	テモラウ	×「아/어 주다 a/eo juda」 許可表現 먼저 가도 돼요. (先に帰ってもいいですよ)
シヨップ	⑧小分けするときに暖めたいものと暖めたくないもの、例えば唐揚げとポテトサラダを入れていた だく際にポテトサラダだけ外していただいて電子レンジに入れていただくこともできるんです。	間接的有	テモラウ	○「아/어 주다 a/eo juda」 敬語表現 넣어 주실 때 (お入れる際に) 빼 주시고 (外されて) 넣어 주시고 (お入れになって)

ラジ オ	⑨オイルは少なめに使いますので、フライパンを傾けてもらって、オイルを集めてもらったところに、スライスしたにんにくを加えてもらうと思います。	無	テモラウ	○「아/어 주다 a/eo juda」 敬語表現 기울려 주시고 (傾けられて) 모아 주시고 (集められて) 넣어 주시면 (加えられて)
道 案 内	⑩えっと、希望駅に行くには、現在位置からまず、まっすぐ進んでいただいて、空駅十字路を右に曲がります。その時に右手に空駅 7 番出口が見えてきます。で、空駅十字路を右に曲がってもらって、(中略)	無	テモラウ	×「아/어 주다 a/eo juda」 敬語表現 쭉 가서서 (まっすぐ行かれて) 오른쪽으로 꺾으시고 (右側に曲がれて)
食 べ 方	⑪はい。人それぞれなんですけど、鍋にお湯があるので、お肉を取ってもらって、好みの加減にしゃぶしゃぶして(中略)	無	テモラウ	×「아/어 주다 a/eo juda」 敬語表現 고기를 건져서서 (お肉をお取りになって)

※「受益性」は、話し手または話し手側における受益性の有無のことである。

上記の表から次のことは分かる。

日本語では調査対象とした全ての場面においてテモラウを用いての表現が出現した。それに対して、韓国語では「아/어 주다 (-a/eo juda)」で表現する場面もあれば、敬語表現を用いる場面、直接的な表現(許可表現、願望表現、命令表現、意志表現)を用いて表現する場面などに分かれ、必ずしも、「아/어 주다(-a/eo juda)」はどのような場面でも用いることができるというものではないということが分かった。「아/어 주다(-a/eo juda)」にはどのような使用上の制約があるのかに関しては今後の課題としたい。

7.2 本研究の成果

次に、本研究が従来の研究に加えて有する意義について述べる。

本研究は次の 4 点が従来の研究とは異なる。

1点目は、話し手に受益が生じない場面において用いられるテモラウ文が日常的に使われていることを確認するとともに、その機能を明らかにした点である。さらに、それと対応する韓国語との比較分析を行った点である。

日韓両言語ともに同じく授受表現があり、テモラウに対応する韓国語の授受表現として「아/어 주다 (-a/eo juda)」があるが、話し手に受益が生じない場面においても使われる日本語のテモ

ラウに対し、韓国語では、そのような場面では授受表現ではなく、他の表現形式を用いて表現していることが多く見られた。

また、「テレビ」と「ラジオ」の「インタビュー」、「ショッピング」でのバイヤーとキャスターの商品説明の表現に現れたテモラウについて、具体的な個々の発話内容から、話し手に受益が生じる場合と生じない場合とに分けて分析した結果、話し手に受益が生じない場合でもテモラウが多く用いられていることが確認された。さらに、このようなテモラウの特徴と比較分析を行うために「아/어 주다 (-a/eo juda)」の使用事例を個別に分析してみたところ、「아/어 주다 (-a/eo juda)」においてもテモラウと同じく、話し手に受益が生じない場合にも用いられていることが確認された。

このようなことから、テモラウ文と「아/어 주다 (-a/eo juda)」文には、両者共通の授受表現としての機能だけではなく、新たな機能、つまり聞き手に対する待遇表現としての機能をも担っているということが言えるのではないかと考える。

さらに、テモラウのこのような特徴を参考に韓国語の授受表現の新たな特徴を提起できた点は大きな意義であったと考える。「아/어 주다 (-a/eo juda)」に関する従来の研究は授受表現としての機能についての研究が殆どであり、待遇表現としての機能について言及した研究はかんげんの限りでは本研究が初めてであると考ええる。「아/어 주다 (-a/eo juda)」についての新たな機能についての発見は、まさに日本語との対照研究からの賜物であり、日本語の授受表現との対照研究により、今後の韓国語の授受表現に関する研究課題が明確にされたものとなった。

2点目は、上記のような機能を明らかにするため、様々な角度からの具体的な調査を行ったことであり、それに基づき分析、考察したことである。

従来の研究では、授受表現、特にテモラウについて、敬語表現、配慮表現、待遇表現などの機能を持っているということについては言及しているものの、それを裏付けるような調査やそれに基づく考察がみられなかった。また、本研究が対象としている、話し手に受益が生じない(または、間接的には受益が生じる)テモラウに焦点を置いた研究はこれまで見当たらない。

本研究では、話し手に受益が生じない場面を設定し、調査を行い、さらに被験者からの聞き取り調査という具体的調査を行い、それに基づき、受益が生じない場合でもテモラウを用いて表現する理由を明らかにしたという点において意義のある研究であったと考える。

3点目は、行為説明表現における表現形式に至るまでの背景にある表現意識について聞き取り調査を行った点であり、その調査の結果を用いて表現意識と表現形式との連動性について考

察した点である。

我々は言葉を発する際に、場面、人間関係などを把握し、それに合った表現を用いて表現している。例えば、相手が初対面や目上の人に対しては敬語表現を用いて表現しようと思うだろうし、相手に依頼をする際には、依頼の軽重により、言葉を選んで表現するだろう。このような選択は一瞬のうちに、あるいはほとんど無意識で行われているものと考えられる。

「道案内」や「食べ方」の調査において、テモラウを用いた被験者にテモラウを用いて表現した理由について聞き取り調査を行った。被験者の中には、自分がテモラウを用いて表現したことを意識していない者もあった。しかし、そのような被験者に対しても、テモラウを用いて表現したこと及びその理由を意識化させることにより、テモラウを用いて表現した各被験者の理由を述べてもらった。その内容から共通する意識を抽出することによって、テモラウという表現形式の後ろにある意識との連動性を明らかにした点と考えられる。

4 点目は、このような調査と考察により、明らかとなったテモラウを用いて表現する日本語母語話者の表現意識について、日本語の教育現場にフィードバックできるという点である。テモラウが授受表現としての機能の他に待遇表現としての機能をも担っているということを日本語の教育現場において実践することにより、日本語学習者の能力向上に結び付くものとする。本研究の第3章において、韓国人日本語学習者は高い日本語のレベルを有しながら、母語である韓国語をそのまま単純に言い換えて表現している傾向が非常に多いことを確認した。もちろん、そのままでも文法的な間違いもなく、意味も通じ、失礼のない表現であれば、それでいいという考えもあるだろう。しかし、日本語母語話者がテモラウを用いて表現している背景を知ることにより、そのような背景を含めた表現が日本語の特徴であることを意識化させることにより、適切な場面においてより微妙なニュアンスを表現できるようになり、ひいては日本語による高次のコミュニケーションにつながっていくことが期待される。

7.3 今後の課題

本研究の対象としたテモラウ文については、授受表現としての機能以外に待遇表現としての機能をも担っていることが明らかになったと考える。このような結論に至るまでには、様々な調査を行った。日韓両言語の対応関係に関するコーパス調査、韓国人日本語学習者のテモラウの使用状況調査、メディアを対象にテモラウと「아/어 주다 (-a/eo juda)」の使用状況等、

さらに、実際の日常生活の言語活動における使い方、被験者の使用意識調査等々。このような調査により得られたものも数多くあるが、さらに調査すべき残された課題も多くみられ、今後はこれらの課題について調査を継続していきたい。

まず、「道案内」と「食べ方」についての調査において、「道案内」ではテモラウで表現し、「食べ方」ではテモラウで表現しなかった被験者に対し、その理由の聞き取り調査ができなかったが、被験者から直接聞き取り調査をすることにより、どのように使い分けをしているのか、行為説明表現が説明内容によって異なる表現が現れる理由が実証的に裏付けられるものと考えられる。

次は、「아/어 주다 (-a/eo juda)」は、「ショップ」、「道案内」、「食べ方」においては殆ど用いられていなかった。それに対して、ラジオ番組の調査では多く用いられていたという結果に対して、これをさらに発展的に調査することにより、「아/어 주다 (-a/eo juda)」がどのような場面で使われるのか、また、どのような人間関係でより多く使われているのか分析することである。そして、このような分析を行うことによって、「아/어 주다 (-a/eo juda)」の特徴がより一層浮かんでくるものと考えられる。

また、日本人韓国語学習者を対象に、韓国語の授受表現の使用状況を調査することである。本研究により、韓国人日本語学習者は話し手や話し手側に受益が生じない場面においてはテモラウを殆ど使っていないということが分かった。その理由は母語である韓国語の干渉によるものと考えられ、日本人韓国語学習者にもそのような傾向があるのか、つまり、反対に母語である日本語の干渉を受けて、テモラウと対応せず本来韓国語では使われない場面においても「아/어 주다 (-a/eo juda)」を使っているのか調査、分析し、増加傾向が続いている日本人韓国語学習者への教育に役立てたい。

最後に、韓国語の変化に関する調査である。韓国人日本語学習者は学習言語である日本語のテモラウの影響にされて、本来、彼らの母語である韓国語では非文である「아/어 받다 a/eo batta」⁹⁴という表現を使用している。この表現がおかしなものと認識されなくなり、普通に使われることにより、いつかは定着していくという方向もあり得るものと考えられる。それが韓国人日本語学習者に固有の問題であり、彼らだけに留まるのか、日本語学習者以外の韓国人にも使われるよう

⁹⁴ 「もらう」は韓国語の授受動詞の一つである「받다(-batda)」が対応する。「받다(-batda)」は授受補助動詞の形にすると「아/어 받다(-a/eo batda)」となるが、実際には使われず、日本語の「～てもらう」を「아/어 받다(-a/e batda)」で表現すると非文になる。

になるのか。言葉の変遷の大きな流れを、その一つとして、「아/어 받다 a/eo batta」について注目しつつ研究を進めていきたい。

参考資料 I

予備調査② 日本語母語話者と韓国人日本語学習者のテモラウに使用状況

日本語母語話者

場面 1



留学生センターの事務室を背景にした場面です。
あなたは事務室で奨学金の受付を担当しています。ある留学生が奨学金の書類を持ってきましたが、どうやら留学生は、申請に必要な教授の推薦状を入手していないようです。

以下の会話文で、あなたはどのように留学生に言いますか？該当する表現に○を付けてください。

留学生：○○奨学金の申込書を持ってきたんですが。

あなた(書類を確認した後)：

1. 推薦状持ってきてください。
2. 推薦状書いてもらってきてください。

場面 2



浅田真央が一週間後に世界フィギュア選手権大会に参加する予定です。不振が続いている浅田真央について、あなたはテレビ放送局のレポーターからコメントを求められました。

何と答えますか？該当する表現に○を付けてください。

レポーター：浅田真央が一週間後に世界フィギュア選手権大会に出ますが、一言どうぞ。

あなた：

1. 真央ちゃんには是非頑張ってもらいたいですね。
2. 真央ちゃん、是非頑張ってくださいね。

場面 3



あなたは会社員で、上司の立場にいると仮定して、次のような場面でどのように表現するかお考えください。

あなたは新入社員（入社間もない新入社員）と同じプロジェクトを担当しています。

しかし、あなたの部下である新入社員は、夜 11 時が過ぎてもなかなか退社しようとしません。そこであなたは、新入社員に対して、自分に遠慮しないで先に帰るように伝えます。

そのような場合、あなたはどのような表現を使いますか。該当する表現に○を付けてください。

1. 先に帰ってもらっていいよ。
2. 先に帰っていいよ。

次に、反対に、あなた自身が新入社員である場合、上司は 1 と 2 のどちらの表現を使った方が部下にとって気持ちがいいと感じますか。また、その理由は何ですか。

答え：

韓国人日本語学習者

장면 1



유학생 센터에 있는 사무실을 배경으로 한 장면입니다.

귀하께서 사무실 직원이라고 가정하고 대답해 주십시오.

유학생이 장학금 신청 서류를 가지고 왔습니다만, 신청에 필요한 지도교수님의 추천서가 없었습니다. 장학금 신청을 하기 위해서는 반드시 지도교수님의 추천서가 필요합니다. 자연스럽게다고 생각하는 일본말로 대답해 주십시오.

留学生：〇〇奨学金の申込書を持ってきたんですが。

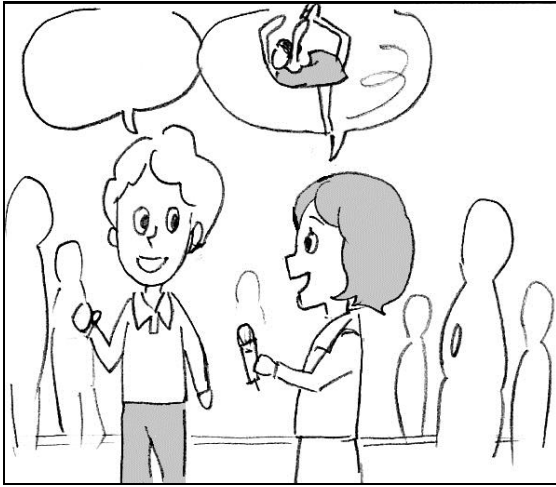
あなた(書類を確認した後)：

그리고, 한국말로 어떻게 표현하는지 써 주십시오. 단, 위의 일본말을 번역하는 식의 한국말이 아니라, 자연스럽게 한국말로 표현해 주십시오.

유학생： 장학금서류 가지고 왔는데요.

사무실 직원(서류를 보고난 후)：

장면 2



방송국 기자가 귀하께 인터뷰를
요구하는 장면입니다.

김연아 선수는 요즘 잦은 부상으로
컨디션이 별로 좋지 않습니다. 그런
김연아 선수에게 응원의 말씀을 해
주신다면 어떤식으로 표현하십니까?
자연스럽다고 생각하는 일본 말로
대답해 주십시오.

レポーター：キムヨナが一週間後に世界フィギュア選手権大会に出ますが、一言どうぞ。

答え：

그리고, 한국말로 어떻게 표현하는지 써 주십시오.

리포트： 김연아가 일주일 후에 세계피겨선수권 대회에 나간다고 하는데, 응원의 말씀
한 마디 해 주세요.

대답：

장면 3



귀하께서 회사원이라고 가정하시고
대답해 주십시오.

귀하께서는 부하직원인 신입사원과
같은 프로젝트를 담당하고 있습니다.
신입사원인 부하가 11시가 넘었는데도
불구하고 퇴근하지 않고 있습니다.
귀하께서 부하에게 먼저 퇴근해도
된다는 말을 해 주고 싶습니다.
귀하께서는 어떻게 표현하십니까?
자연스럽다고 생각하는 일본말로 대답해
주십시오.

日本語

答え :

그리고, 한국말로 어떻게 표현하는지 써 주십시오.

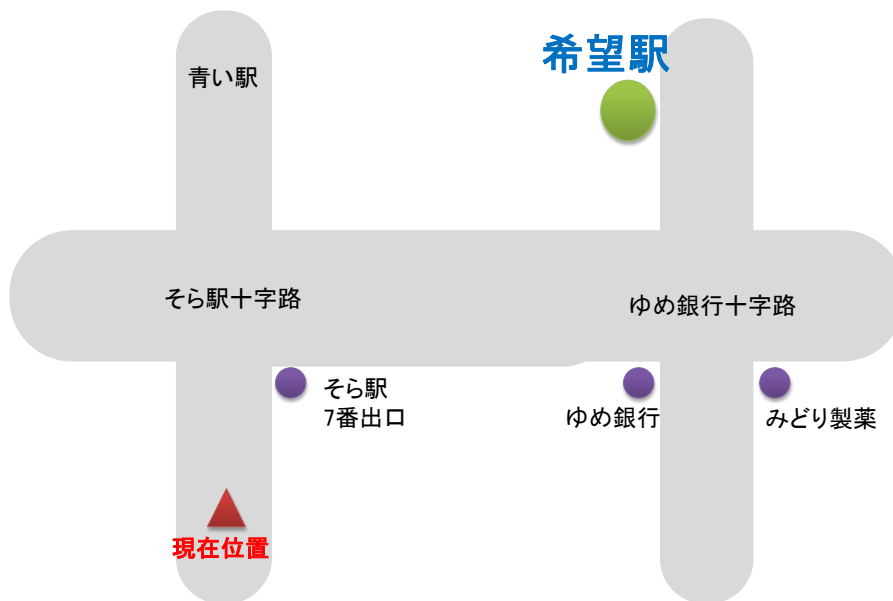
한국말 :

参考資料Ⅱ

「道案内」と「食べ方」に関する調査

日本語の調査

1. 初対面の人に道案内をする場面です。「希望駅」までの行き方を下の地図を使って説明してください。

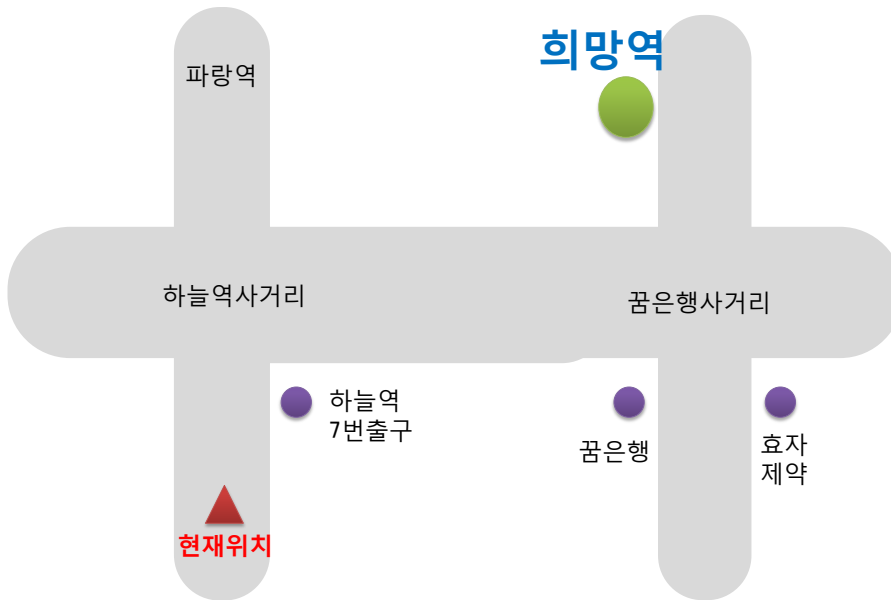


2. しゃぶしゃぶを初めて食べる初対面の人にその食べ方を、「お肉を取る/鍋の中で 2～3 度しゃぶしゃぶする/好みのソースをつけて食べる」などの言葉を使って説明してください。

韓国語の調査

1. 通行人이 당신에게 희망역까지 가는 방법에 대해서 물었습니다. 이하의 약도를 보면서 설명해 주십시오.

찾아오시는 길



2. 식당에서 옆 테이블 사람이 샤브샤브를 먹는 방법에 대해서 물었습니다. 「고기를 젓가락으로 집는다/고기를 끓는 육수에 5초 정도 담근다/고기가 익으면 소스에 찍어 먹는다」 등을 사용해서 설명해 주십시오.

参考資料Ⅲ

「아/어 주다 (a/eo juda)」의機能に関する調査

(翻訳は次のページを参照)

<문제 1>

이하의 문장 중에서 보다 자연스러운 문장을 선택해 주십시오. (1)과 (2) 모두 자연스럽다고 생각하시면 두 개 다 선택하셔도 됩니다.

-장면-

라디오 아나운서가 변색 된 변기를 세척하는 방법에 대해서 설명하는 장면입니다.

- (1) (중략) 저는 김빠진 콜라를 자주 이용합니다. 김빠진 콜라를 변기 안쪽을 적셔가며 천천히 골고루 부으면 되고요, 그대로 한 한 시간 정도 불려 줍니다. 그러면 콜라에 남은 발포성분 인산이나 탄산성분이 때를 불려 주고요, 석회수 자국도 없애 주거든요. 이대로 오래 두면 들수록 더 좋고요, 시간이 지나서 중성세제를 수세미에 살짝 묻혀서 닦아 주면 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.
- (2) (중략) 저는 김빠진 콜라를 자주 이용합니다. 김빠진 콜라를 변기 안쪽을 적셔가며 천천히 골고루 부으면 되구요, 그대로 한 한 시간 정도 불립니다. 그러면 콜라에 남은 발포성분 인산이나 탄산성분이 때를 불리고요, 석회수 자국도 없애거든요. 이대로 오래 두면 들수록 더 좋고요, 시간이 지나서 중성세제를 수세미에 살짝 묻혀서 닦으시면 변기의 때가 쉽게 제거가 될 거예요.

<문제 2>

「문제 1」에서 그렇게 선택하신 이유에 대해서 써 주십시오.

(参考資料Ⅲの翻訳)

<問題 1>

以下の文章の中、より自然だと思われる文章を選択してください。(1)、(2) 両方が自然だと思われたら両方全部選択しても構いません。

-場面-

ラジオのアナウンサーが変色された便器を綺麗に洗う方法について説明する場面です。

- (1) (中略) 私は炭酸の抜けたコーラをよく利用しています。炭酸の抜けたコーラを便器の奥に濡らして、ゆっくりとまんべんなく注ぐといいですね。そのまま一時間ほどおいてあげます。これで、コーラに残った発泡成分である酸や炭酸成分が汚れを浮きあがらせてくれて、石灰水の跡もなくしてくれるんですね。このまま長く置けば置くほど、良いし、時間が経ってから、中性洗剤をスポンジに軽くつけて拭いてあげるとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。(筆者による直訳)
- (2) (中略) 私は炭酸の抜けたコーラをよく利用しています。炭酸の抜けたコーラを便器の奥に濡らして、ゆっくりとまんべんなく注ぐといいですね。そのまま一時間ほどお置きになります。これで、コーラに残った発泡成分である酸や炭酸成分が汚れを浮きあがらせて、石灰水の跡もなくすんですね。このまま長く置けば置くほど、良いし、時間が経ってから、中性洗剤をスポンジに軽くつけてお拭きになるとトイレの汚れが、簡単に取れると思います。(筆者による直訳)

<問題 2>

「問題 1」でそのように選択した理由について書いてください。

参考文献

- 東照二(2009)『社会言語学入門』(改訂版)研究社
- 庵功雄(2000)『日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- _____ (2001)『中級者を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- _____ (2002)『新しい日本語学入門-ことばのしくみを考える』スリーエーネットワーク제이앤씨
- _____ (2011)「日本語教育からみたやりもらい表現」『日本語学』 Vol.30-11、pp.50-58、明治書院
- 市川保子(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク
- 井出祥子(1990)『口座日本語と日本教育 12 日本語要説(下)』明治書院
- _____ (2005)『わかまえの語用論』大修館書店
- 任栄哲・井出里咲子(2001)「人と人を繋ぐもの-なぜ日本語の授受動詞が多いのか-」『月刊言語』Vol.30.No.5、pp.42-45、大修館書店
- 任栄哲・井出里咲子(2004)『箸とチョッカラー-ことばと文化の日韓比較』大修館書店
- 稲熊美保(2004)「韓国人日本語学習者の授受表現の習得について-「もらう」系と「くれる」系を中心に」『国際開発研究フォーラム』第26号、pp.13-26
- 井上優(2011)「日本語・韓国語・中国語の「動詞+授受動詞」」『日本語学』 Vol.30-11、pp.38-48、明治書院
- 林世涓(2009)「日本語と韓国語の授受表現の対応関係について-補助動詞「～てもらう」のコーパス分析を通して-」『日本語教育方法研究会誌』Vol.16、No.2、pp.48-49
- _____ (2010a)「韓国語の授受補助動詞と対応しないテモラウ文に関する一考察-日本語の母語話者と韓国人日本語学習者の使用に関する調査を中心に-」、2010年度日本語教育学会秋季大会
- _____ (2010b)「直接テモラウ文と間接テモラウ文に関する一考察 -ニュース番組のインタビュー文の分析を通して-」、2010年度日本語教育学会世界大会
- _____ (2014a)「「～てもらう」文の新たな機能について -継起の「テモラッテ形」を中心に-」『日本學報』、99号、pp.163-175
- _____ (2014b)「待遇表現としての授受表現に関する日韓対照研究 -テ形に接続する「～てもらう」文を中心に-」『韓国日語日文学会』、91号、1巻 pp.373-390

- 林世涓(2015) 「敬語表現としてのテモラウ文の日韓対照研究-「道案内」の調査を通して-」
『社会言語科学会発表論文集』、第35回、pp.128-131
- 林八龍(1980) 「日本語・韓国語の受給表現の対照研究」『日本語教育』 40号、pp.113-120
- 梅田博之(1991) 『スタンダードハングル講座 2 文法・語彙』 大修館書店
- 尾崎善光(2006a) 「依頼・勧めに対する受諾における配慮の表現」『言語行動における「配慮」の諸相』 国立国語研究所 2006、くろしお出版
- _____ (2006b) 「依頼・勧めに対する断りにおける配慮の表現」『言語行動における「配慮」の諸相』 国立国語研究所 2006、くろしお出版
- 沖裕子(2014) 「談話論からみた命令表現」『日本語学』 Vol33-4、pp.14-21、明治書院
- 大浜るい子(2000) 「語用論的規範」『講座・日本語教育学』第2巻 言語行動と社会・文化、pp.103-115、スリーエーネットワーク
- _____ (2000) 「待遇・敬意表現」『講座・日本語教育学』第2巻、言語行動と社会・文化 pp.116-127、スリーエーネットワーク
- 奥津敬一郎(1979) 「日本語の授受動詞構文-英語・朝鮮語と比較して-」『人文学報』132 東
京都立大学 [奥津(1996)に再録]
- 奥津敬一郎・徐昌華(1982) 「「てもらう」とそれに対応する中国語表現」『日本語教育』 第46
号、pp.92-104
- 奥津敬一郎(1983) 「授受表現の対照研究-日・朝・中・英の比較」『日本語学』 第2巻4
号、明治書院
- _____ (1996) 『拾遺 日本語文法論』 ひつじ書房
- 賈惠京(2001) 『日韓両言語における敬語の対照研究』 白帝社
- 金澤裕之(2008) 『留学生の日本語は、未来の日本語』 ひつじ書房
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵(1998) 『敬語表現』 大修館書店
- 蒲谷宏(2010) 『日本語ライブラリー敬語コミュニケーション』 朝倉書店
- _____ (2013) 『待遇コミュニケーション論』 大修館書店
- 菊池康人(1994) 『敬語』角川書店、講談社
- _____ (2003) 『敬語』朝倉日本語講座 8、朝倉書店
- 熊井浩子(2003) 「「待遇表現」の諸側面と、その広がり-狭くとらえた敬語、広くとらえた敬語
-」『敬語』朝倉日本語講座 8、朝倉書店
- グループ・ジャマシイ(1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞書』 くろしお出版

- 熊谷智子(1995)「依頼の仕方-国研岡崎の調査のデータから-」『日本語学』 14-11
pp.22-32、明治書院
- _____ (2000)「言語行動分析の観点-「行動の仕方」を形づくる諸要素について-」『日
本語科学』 7、pp.95-113、国書刊行会
- 久野暉(1978)『談話の文法』 大修館書店
- 国立国語研究所(1983)『敬語と敬語意識-岡崎における20年前との比較-』 三省堂
- _____ (1992)『国語教育の基本問題(下)』 国立国語研究所
- 坂本正・小塚操・架谷眞知子・児崎秋江・稲葉みどり・原田千恵子(1989)「「日本語のフォーリー
ナトーク」に対する日本語学習者の反応」『日本語教育』、69号、pp. 121-146
- 佐久間(1936)『現代日本語の表現と語法』 肩生閣(1983年、くろしお出版より再版)
- 佐竹秀雄(2000)「みなさんが付けていただく」『サタケさんの日本語教室』 角川文庫
- 杉戸清樹(1992)「言語意識」 真田信治・渋谷勝己・陣内正敬・杉戸清樹編『社会言語学』
第7章 おうふう
- 杉戸清樹(2005)「日本人の言語行動 気配りの構造」『表現と文体』、pp. 362-371、明治書
院
- 鈴木重幸(1972)『日本語文法・形態論』 むぎ書房
- 鈴木睦(1997)「日本語教育における丁寧対世界と普通対世界」『視点と言語行動』、くろしお
出版
- 砂川有里子(2007)「談話から見た文法」、日本語・日本語を研究する、第32回、日本語教育
通信 <http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/index.html> 最終アクセス2014年12
月2日
- 高木美嘉(2003)「依頼に対する「受諾」と「断り」の方法」『早稲田大学日本語教育研究』 2 早稲
田大学大学院日本語教育研究科
- 高木美嘉(2009)『依頼の会話における「待遇ストラテジー」の研究 -相互行為としての会話教育
の理論と実践』 早稲田大学出版部
- 高見健一(2001)「被害受身文と～Vしてもらおう構文-機能的構文論による分析-」『月刊
言語』Vol.30.No.5、pp.26-32、大修館書店
- 高見健一・久野暉(2001)『日英語の自動詞構文』 研究社
- 滝浦真人(2001)「敬語の理論と授受の理論-「聞き手中心性」と「話し手中心性」を軸とし
て」『月刊言語』Vol.30.No.5、pp.54-61、大修館書店

- 滝浦真人(2008)「〈距離〉と〈領域〉の語用論—日韓対照ポライトネス論のために—」『ことばのダイナミズム』くろしお出版
- 寺村秀夫(1982)『日本語のシンタックスと意味 I』くろしお出版
- 鄭演玉(1994)「日本語教育における日・韓国語対照研究—受け身文を中心に—」『日本語教育研究』28、pp.59-78
- 中島一裕・文燕友(1986)「日韓語授受表現対照研究」『国語表現研究』第3号 国語表現研究会
- 仁田義雄(1991)「ヴォイス的表現と自己制御性」『日本語のヴォイスと多動性』くろしお出版
- 沼田善子(1999)「授受動詞文と対人認知」『日本語学』Vol.18、pp.46-54
- 野田尚史・益岡隆志・佐久間まゆみ・田窪行則(2002)『複文と談話』岩波書店
- 前田富祺(2001)「「あげる」「くれる」成立の謎—「やる」「くださる」などとの関わりで—」『月刊言語』Vol.30.No.5、pp.34-40、大修館書店
- 益岡隆志(1979)「日本語の経験的間接関与構文と英語の have 構文について」『林栄一教授還暦記念論文集 英語と日本語』くろしお出版
- _____ (1991)『モダリティの文法』くろしお出版
- _____ (2001)「日本語における授受動詞と恩恵性」『月刊言語』Vol.30.No.5、pp.26-32、大修館書店
- 松下大三郎(1924)『標準日本語文法』紀元社
- 水谷信子(1985)『日英比較 話ことばの文法』くろしお出版
- 南不二男(1974)『現代日本語の構造』大修館書店
- _____ (1987)『敬語』岩波書店
- _____ (1993)『現代日本語文法の輪郭』大修館書店
- 宮地裕(1975)「受給表現補助動詞「やる・くれる・もらう」発達の意味について」『国文学論攷』桜楓社
- 村木新次郎(1991)「ヴォイスのカテゴリと文構造のレベル」『日本語のヴォイスと他動性』くろしお出版
- 森田良行・松木正恵(1989)『日本語表現文型』アルク
- 森田良行(2002)『日本語文法の発想』ひつじ書房
- 森勇太(2010)「行為指示表現の歴史的変遷—尊敬語と受益表現の相互関係の観点から—」『日本語の研究』第6巻2号

- _____ (2011) 「やりもらい表現の歴史」『日本語学』 Vol.30-11, pp.28-37、明治書院
- 橋元良明(2001)「授受表現の語用論」『月刊言語』Vol.30.No.5, pp.46-51、大修館書店
- 黃順花(1994)「日本語の「~てもらう」에 관한 韓国語와의 대조연구 -우리말 해 받다의 사용범위조사를 중심으로-」 『日本語学報』33, pp.365-384
- 許明子(2000)「テモラウと受身文の関係について」『日本語教育』 Vol.105, pp.1-9
- _____ (2011) 「日韓対照研究と日本語教育-話し手と聞き手との関係から見た日本語と韓国語の言語行動について」『日本語教育研究への招待』 くろしお出版
- 福田一雄(2013) 『対人関係の言語学ポライトネスからの眺め』 開拓社
- 文化庁(1984) 『日本語教育指導参考書 2 待遇表現』 大蔵省印刷局
- 堀口純子(1983) 「授受表現にかかわる誤りの分析」『日本語教育』Vol.52, pp.119-132
- _____ (1987) 「「~てくれる」「~てもらう」の互換性とムード的意味」『日本語学』 6-4, p.59-72、明治書院
- 山田敏弘(2004) 『日本語のベネファクティブ』 明治書店
- 山田敏弘(2011) 「類型論的に見た日本語の「やりもらい」表現」『日本語学』Vol.30-11, pp.4-14、明治書院
- 尹テレサ(2014) 「韓国人日本語学習者における第二言語から第一言語への転移現象-授受表現「~てもらう[a/eo batda]」形に焦点を当てて-」『社会言語科学』第 17 卷、第 1 号
- 楊凱榮(1985) 「使役表現」について-中国語と対象を通じて-」 『日本語学』4-4, pp.59-71、明治書院
- 渡辺実(1985) 「語る自分を語る言語形式」『月刊言語』14 卷 12 号, pp.38-43、大修館書店
- 고영근·구분관(2008) 『우리말 문법론』 집문당
- 구종남(1986) 「보조동사의 통사 의미 연구」、전북대학교 대학원 석사학위논문
- 김명희(1984) 「국어 동사구 구성에서 나타나는 의미 관계 연구」、이화여자대학교 대학원 박사학위논문
- 김기혁(1984) 「국어 동사 합성어의 생성적 연구」、연세대학교 대학원 석사학위논문
- 노채환(2006) 「보조동사 아/어 주다의 기능적 특성 연구」『언어와 문화』Vol.2 No.3, pp.67-82
- 방운규(1994) 「보조동사 ‘주다’ 에 대한 연구」『建国語文学』제 17·18 집, pp.181-203
- 박승윤(2003) 「국어 수혜격 문법화 담화와 인지」、제 10 권, 1 호
- 박형익(1989) 「동사 주다의 3 가지 용법」『한글』, Vol.-No.203, pp.145-164

- 서정수(1980)『보조용언에 관한 연구(1)』, 국학논총, 한양대학교 국학연구원
- 손 세모들(1992)「국어 보조동사의 특성」『한양어문연구』, 2, 한양대
- 손 세모들(1992)「보조동사‘주다’의 결합 제약과 의미」『한국학논집』, 19, 한양대
한국학연구소
- 이기동(1979)「주다의 문법」『한글』, 166 호
- 이봉(2009)「한국어와 일본어의 허가를 구하는 표현-게 해주세요 와 (さ)せてく
ださい」『언어표현을 통해서 본 한일문화』 일본문화총서 7, 일본어학·일본어교육, 한국일
어일문학회 제이앤씨, pp.223-230
- 이익섭(2009)『한국어 문법』 서울대학교 출판부
- 최현배(1937)『우리말 본』 초판, 정음사
- 허용(1983)『국어학』 샘문화사
- 허명자(2009)「공유감을 만드는 한국어, 거리감을 두는 일본어-청자의 사적영역에 관한
표현을 통해서 본 한국어와 일본어」『언어표현을 통해서 본 한일문화』 일본문화총서 7,
일본어학·일본어교육, 한국일어일문학회 제이앤씨, pp.277-293
- Brown, Penelope, and Stephen Levinson(1987) *Politeness: Some Universals in Language
Usage*. New York: Cambridge University Press.

参考にした日本語のテキスト及び辞典

- 許明子・宮崎恵子(2013)『レベルアップ日本語文法 中級』くろしお出版
- 『みんなの日本語 初級 I 本冊』スリーエーネットワーク
- 『新NAGANUMAいつでもどこでも日本語 II』学校法人長沼スクール
- 『日本語の文法大辞典』(2001) 明治書院
- 『日本語教育辞典』(1982) 大修館書店

謝辞

2年間の休学を含めた7年間の博士後期課程の修了を目前にし、人生の一つの大きな区切りを実感している。今、7年間のことが走馬灯のように蘇っている。研究に悩み、泣きはらした日々、心身ともにくたくたになり、もうこれまでと諦めようと思った日々。そんな日々の連続であったような気がしている。それにもかかわらず、本拙論を曲がりなりにも完成させることができたのは、偏に指導教授である許明子先生を始めたくさんの方々のご指導や励ましがあったからである。このことを肝に銘じるとともに、この場をお借りしてお礼を申し上げたい。

まず、指導教授である許明子先生に心からお礼を申し上げたい。先生は何も知らない私に論文の書き方のイロハから教えてくださった。論文中の文字には、一文字たりとも意味のないものではなく、その一文字を選択し記載した自分の考えについては説明責任があると常におっしゃっていた。また、先生には論文のご指導をいただいただけでなく、私は先生を通して研究者としての姿勢も学ばせていただいた。時には涙が出るほどの厳しいご指導、時には零れそうな笑顔での励まし。研究が思うように進められず、自分は研究には向いていないのではないかという不安を申し上げたことがあった。その時、先生はご自身も未だにそのような不安を持っているとおっしゃった。もちろんご謙遜や私に対する励ましも含めておっしゃったこととは思うが、それを聞いて研究者としての厳しさをあらためて認識した次第であった。それに比べたら、先生の足元にも及ばない私ごときの不安感など恥ずかしいほどのものであり、もっと頑張ろうという気持ちになったことをはっきり覚えている。

留学生として来日し、現在のような立場まで歩まれてきた先生の存在は、同じく留学生として来日した私だけではなく、日本語を研究している日本語母語話者でない留学生皆の大きな力であり目標である。

先生にご指導をいただいたことを誇りに思い、これからも一人の人間として、また、一研究者として先生の名を辱めないよう研究に邁進する所存である。

沼田善子先生は、私の修士課程の指導教授であり、博士論文に関しての副指導教授でもある。先生がいらっしゃらなかつたら私のような者が筑波大学大学院のような素晴らしい学術機

関で勉学をする機会を得られることはなかった。修士課程を終え、自分の進路を決定するに際し、先生のご専門の応用言語学の研究よりも日本語教育についての研究に興味を向いており、最終的に許明子先生の下で研究したい旨申し上げたとき、先生は私の考えに賛成し励ましてくださった。あのとき、どれほど嬉しかったか未だに覚えている。また、先生はいつ見ても颯爽としており、その振舞いは憧れである。

現在、母国の韓国にいる兄も日本語研究者であるが、先生のご主人であり言語学の第一人者である奥津敬一郎先生の教え子である。そういうことから、先生ご夫妻には兄・妹ともにご指導をいただいているところであり、恥ずかしくないよう、これからも頑張っていかなければいけないと気を引き締めている。

加納千恵子先生には、修士課程からご指導をいただいている。初めて受けた先生の授業は今でも鮮明に覚えている。日本語に関する知識がまだまだ不足していた当時の私にとって授業の内容は難しかったが、先生の明瞭な日本語と透明で綺麗なお声がとても素敵だった。

博士課程に入り 2 年間の休学を経て、複雑な気持ちのまま復学をした際に、先生とお会いした。そのとき、先生の慈母のような優しい笑顔に接し、また、励ましのお言葉をいただいて、先生を前にして涙が止まらなくなってしまった。

博士論文の副指導教授として審査に際しては、日本語教育の観点からのご指導をいただいた。先生のご指導により、将来、日本語教育の研究を通じて、日本語母語話者でない留学生に対し何らかの役に立ちたいという自分の目標が視界に入ったように思っている。

非常に残念なことに、先生のご退官が近い。残り少なくなったお時間、先生が大学にいらっしゃるこの間に、もっともっと沢山お教しを乞わなければいけないと考えている。

関崎博紀先生には、博士論文の副指導教授として、内容はもちろんのこと論文の書き方、記述の仕方についてまで、本当に詳細かつ丁寧にご指導をいただいた。残念ながら先生の授業を受ける機会は無かったものの、先生の論文を拝読し、是非にも先生にご指導いただきたいと願った。そうしたところ、幸いにも、お引き受けくださることになり、とても嬉しかった。公開ヒアリング用のまだまだ途中段階のものを本当に詳細に添削していただいた。授業や研究などでご多忙なはずなのに、どうしてこのような時間を工面されているのか不思議な気持ちと同時に研究者というものの恐ろしさを感じた。公開審査では、先生にお褒めの言葉をいただいたので、ご指導に少しは応えることができたかと思ひほつとした。

井出理沙子先生には、博士論文の副指導教授として、語用論、社会言語学についてご指導をいただいた。全般的に勉強不足の私にとって、語用論、社会言語学の分野は特に知識が不足している分野であり、先生の「言葉」に対する考え方はとても新鮮で面白く感じた。もう少し早い時期に先生と出会えていたら、また異なった観点を本拙論に取り入れることも出来たかもしれないと、自分の能力の無さを出会いの時期のせいになっているが、今後はそういう言い訳ができませんと自覚している。

いつも笑顔で友達のように接して下さった。これからも研究のことだけではなく色々とお話しさせていただきたい。

崔宰栄先生には RA をさせていただきながら、私には未知の世界である統計について教えていただいた。また、統計学がご専門の先生のお考えは、私のような「言葉」を研究している人とは視点が異なっている。先生の視点から調査結果の分析を通して「言葉」を見ると、また新しい新鮮な世界が見えてきた。有り難い経験であった。

また、本拙論が完成するまでには、当然のことであるが、上記で述べた方々以外にも筑波大学大学院人文社会科学研究科国際日本研究の先生方、事務室の方々にご指導と励ましをいただいた。お一人お一人のお名前を挙げることはできないが、ここにあらためて感謝申し上げたい。

許明子ゼミのゼミ生にお礼を申し上げたい。ゼミでは拙論に沢山の質問やコメントをいただいた。議論を通じて考え方の整理ができた。先輩として何もしてあげられなかった私に、それでも彼らは私を先輩として待遇してくれた。今はタイで活躍されているタナパットさんを始め、許ゼミの人たちと出会えたことに感謝している。彼らの今後の活躍を祈念するとともに応援していきたい。

麗澤大学の堤和彦先生を始め同大学別科の先生方にお礼を申し上げたい。来日した際に初めて日本語を教えていただいた。特に、堤先生は日本語の知識が全くない私に、あいうえおから丁寧に教えて下さった。堤先生には人生相談までさせていただいた。ご心配をお掛けすることが多かったにもかかわらず、その度に優しくお言葉をかけて下さった。私の博士論文の審査の時には、まるでご自身のことのように心配して下さった。心から感謝申し上げたい。

星野和子先生には、日本語学の楽しさを教えていただいた。日本語について何も分っていない私は、いつもとんでもない質問をしていた。しかし、それに対し先生はいつも面白いとおっしゃってくださいました。日本語を母語としていないからこそ日本語の特徴が見えてくるということをおっしゃってくださいました。研究はこつこつ休まずやっていたいかなければならないものであるということも先生から教えていただいた。ご定年を迎え、今なお研究を続けていらっしゃる先生のお姿を拝見するにつき、尊敬の念を禁じ得ない。また先生と日本語学についていろいろとお話をしたい。

本拙論は調査にご協力していただいた方々がいらっしゃらなかったら、完成させることはできなかった。調査に当たっては、NEC株式会社、神田外語学院、神田外語大学、東京医科大学の方々にご協力いただき感謝している。また筑波大学に留学中の韓国人日本語学習者、羽田空港と金浦空港でいきなりマイクを近づけた私に真摯に対応してくださいました日本人、韓国人の方々、私のヘルニア手術での約一ヶ月間の入院期間中に調査に協力していただいたお医者さん、看護師さん、リハビリの先生、同室の患者さんにはこの場をお借りして感謝申し上げたい。

最後に、家族に感謝したい。

韓国には母と兄弟姉妹がいる。本拙論執筆中、私の気持ちと同調し、皆が共に泣き、共に喜び、共に頑張ってくれた。また、この間母は2回も入院をしていたのに見舞うことができなかった。この7年間、母の老いは進んだ。自分のことで精一杯だった私、本当に申し訳なく思っている。これからは少しでも母の傍で同じ時を歩んでいきたい。

天国には父がいる。いつも見守ってもらっている。これ以上は無理だと思った時、何度父の懐かしい笑顔で、また進むことができたことか。父とはいつも語り合っているけれど、正式に報告し本拙論を墓前に捧げたい。

日本には夫がいる。彼の理解と協力がなければ、本拙論の執筆は不可能であった。執筆を終えた今は、ただただ申し訳なさ感謝の気持ちで一杯である。彼は、私が本拙論の執筆に集中できることを何よりも優先してくれた。義母の入院に私が駆けつけることさえも拒んだ。いつも優しく静かな笑顔で励ましてくれた。また、日本語母語話者である彼との日本語についての議論はとてもエキサイティングで、本拙論を執筆する上でも貴重なアイデアを得た。これからも楽しく議論をしていきたい。

本拙論の完成間近のある日、普段無口な夫が、「なる」目標があって、「必ずなる」又は「必ずなれる」という信念を持って、それに向けてたゆまず努力していると、人間って、それがどんなものであっても、それに「なる」んだんあ」というようなことをつぶやいた。ただ、博士論文の執筆ということを終えた今は、物事の成就の成否には、自分の努力のかかわりなどたかが知れているのではないかと感じている。それよりも、たくさんの方々からのご指導や励ましなどの方がよほど大きくかかわっているということが本当に身に沁みて分った。これからも、この気持ちを忘れず、この時点を出発点として研究に邁進していきたい。いつか日本語教育分野での研究に僅かでも貢献できるようなことになれば望外の幸せであると思っている。